

根 室 市

市民意識調査報告書

令和7年11月

根 室 市

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の結果	2
3.1 調査票の回収結果	2
3.2 回答者の属性	2
3.3 根室市の印象についての市民意識	8
3.4 居住の満足度についての市民意識	10
3.5 保健医療について	14
3.6 少子化・子育て支援について	23
3.7 高齢者支援について	34
3.8 社会福祉全般について	43
3.9 交通について	44
3.10 生活環境について	54
3.11 防災・減災対策について	64
3.12 学校教育・社会教育について	67
3.13 スポーツ・レクリエーション・文化について	75
3.14 産業の振興について	79
3.15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）	85
3.16 市民協働について	87
3.17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）	92
3.18 男女共同参画について	93
3.19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	96
4. 市民意識調査のまとめ	97
5. 総合計画における成果指標の動向	112
6. 根室市創生総合戦略の評価	113
6.1 基本目標別の施策実施効果の評価検討	113
6.2 まとめ	135
資料編	138
資料1 市民意識調査自由回答	139
資料2 市民意識調査票	155

1. 調査の目的

- 根室市では、令和6年度に「第10期根室市総合計画」を策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、「未来志向」の根室市の実現を図るための施策を推進しているところである。
- 総合計画を着実に推進していくためには、その進捗度合いや有効性を逐次確認し、必要に応じて見直しをしていくなど、実情に応じて対応していくことが不可欠である。
- 本調査は、根室市民3,000名を対象として、根室市の住みよさや市政に関する意識調査を実施することにより、これまでの施策の進捗度合いや市民による有効性等の評価を確認し、今後の計画推進に資することを目的として、前期（第9期）計画の2年目にあたる平成28年度から毎年実施しているものである。

2. 調査の方法

- 本調査は、16歳以上の市民を対象として、無作為に3,000名を抽出し、第10期根室市総合計画の成果目標指標のうち、市民意識に関連するKPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標；事業の目標達成度合いを示す指標）に係る設問を中心としたアンケート調査を実施した。
- なお、今年度調査は、昨年度までの調査票を基本とし、施策認知度に関する設問や、男女共同参画社会に関する設問に関しては、新たな施策や社会情勢の変化を勘案して入れ替え・追加等を行っている。
- ただし、各計画策定時からの満足度や達成度を示す指標の比較については、これまでの調査や前期（第9期）計画との継続性を確保するために同じ設問設定とし、その達成状況と課題について検討した。

3. 調査の結果

3.1 調査票の回収結果

- アンケート調査の有効回収数は696票であり、有効回収率は23.2%であった。

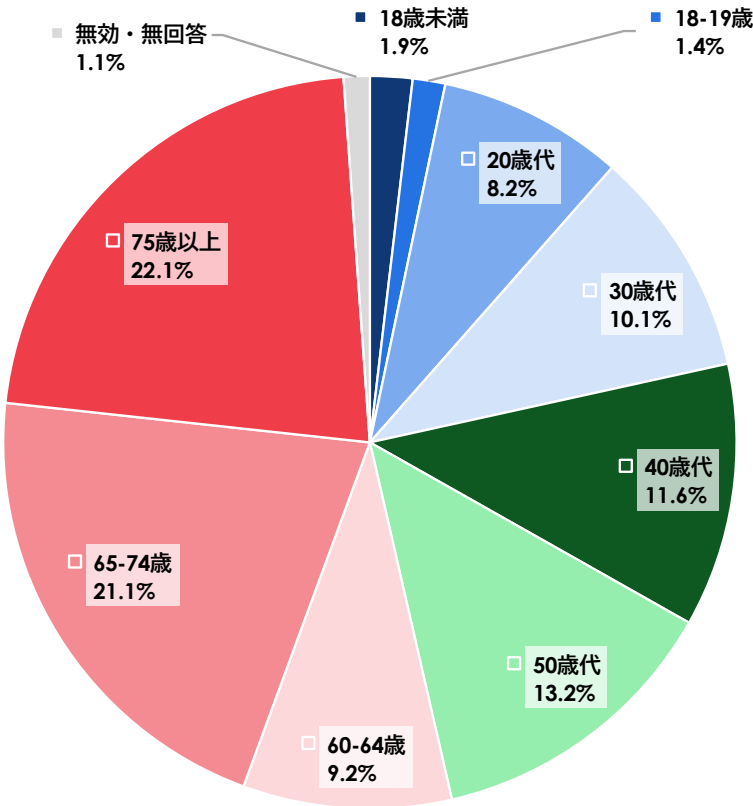
配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000	696	696	23.2%

3.2 回答者の属性

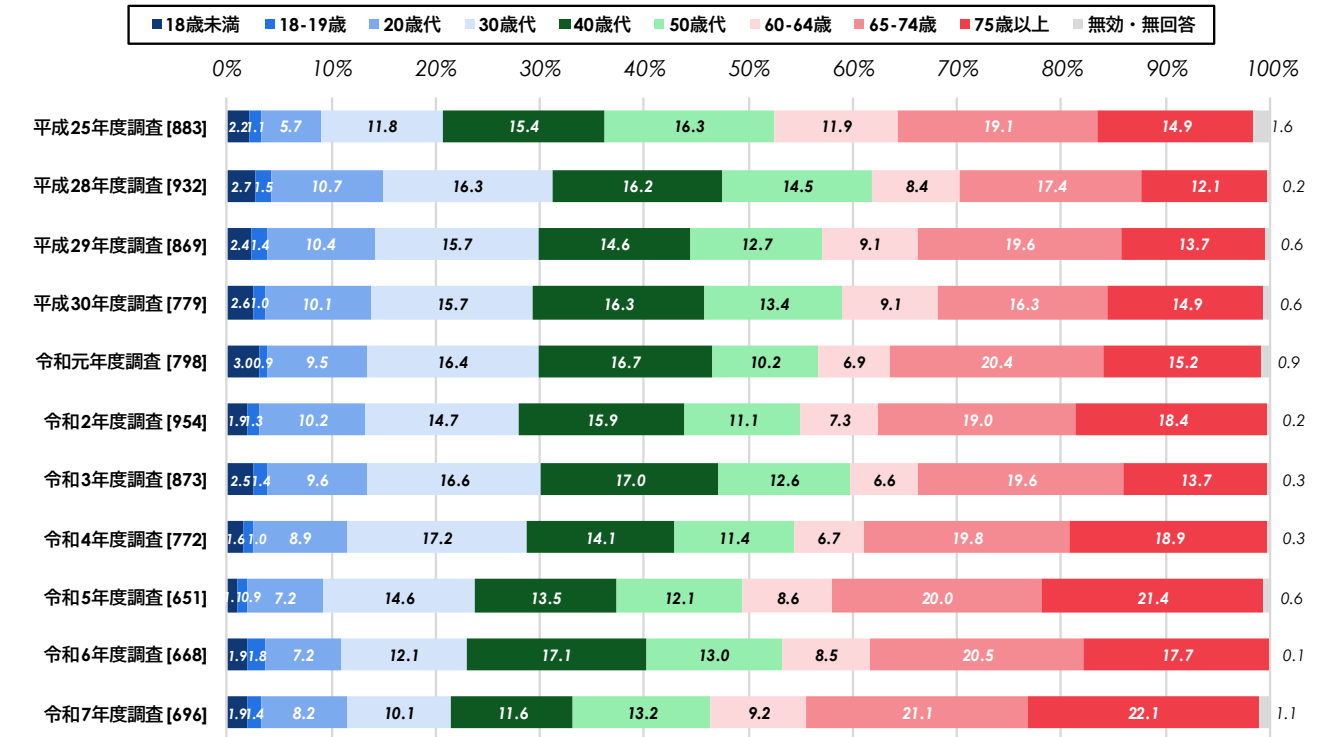
年齢別構成

- 回収票の年齢階層別構成をみると、各年齢階層から回答が得られている状況となっており、全体では75歳以上の割合が最も高い。

サンプル数	18歳未満	18-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳	65-74歳	75歳以上	無効・無回答	
	696	13	10	57	70	81	92	64	147	154	8



- 回答者の割合の推移をみると、平成28年度以降、60歳以上は増加基調にあるものの、30歳代以下では減少基調となっている。

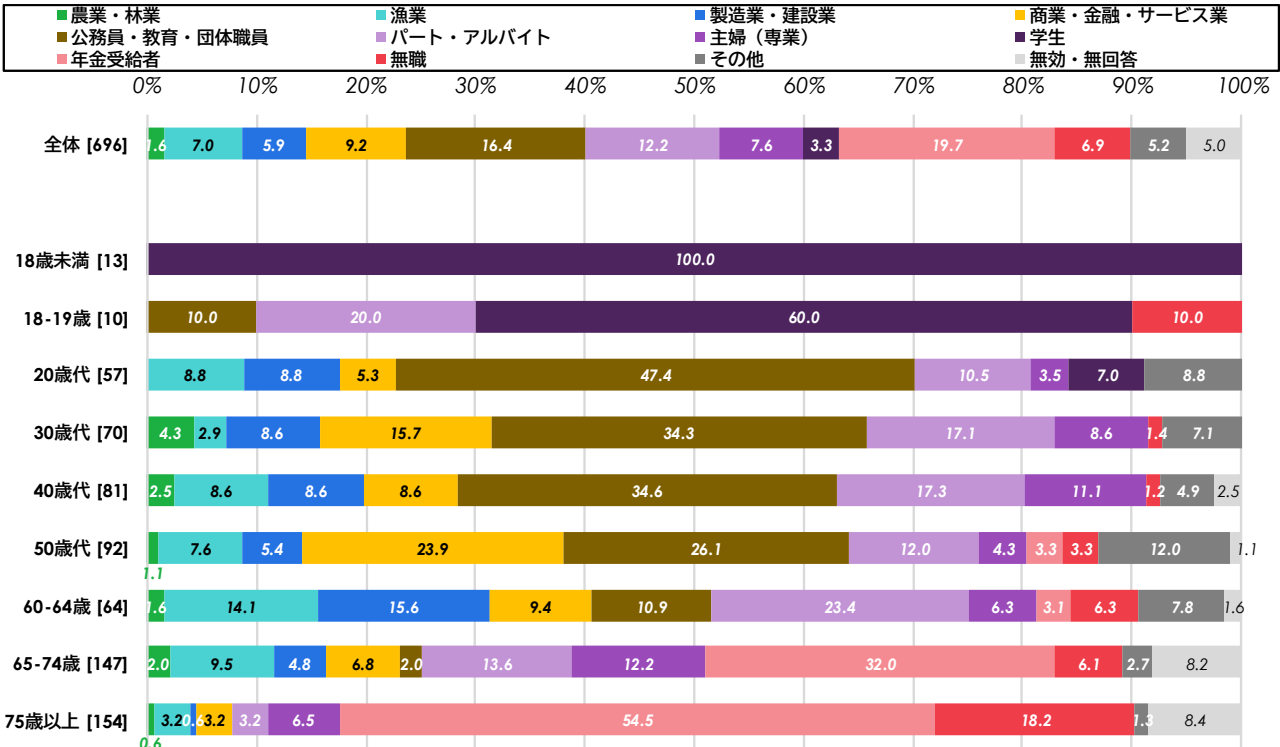
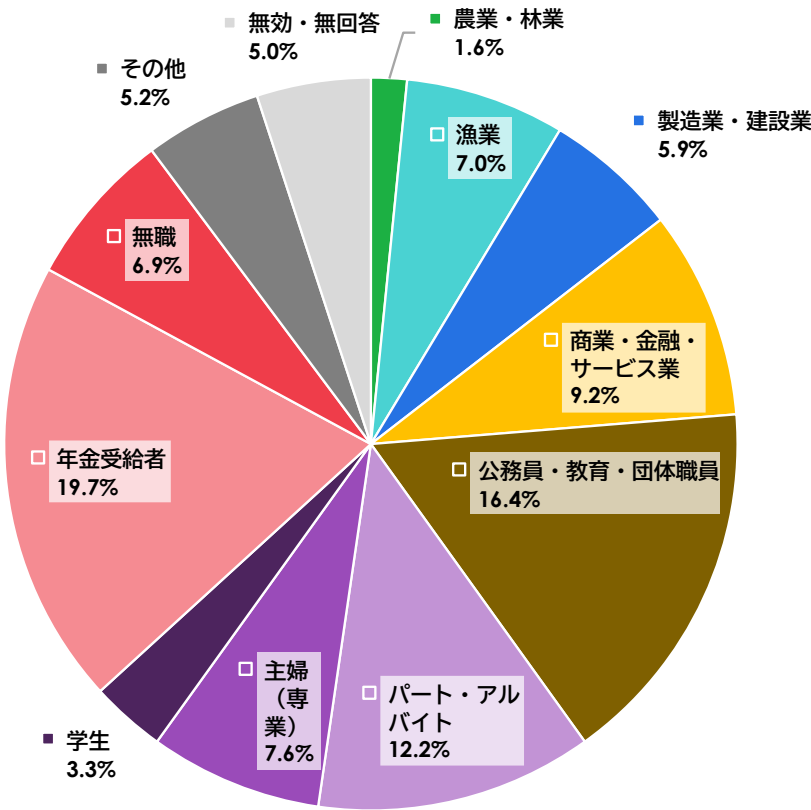


注：各項目の[]内は有効回答数

職業別構成

- 職業別構成をみると、年金受給者、公務員・教育・団体職員、パート・アルバイトの順で多くなっている。

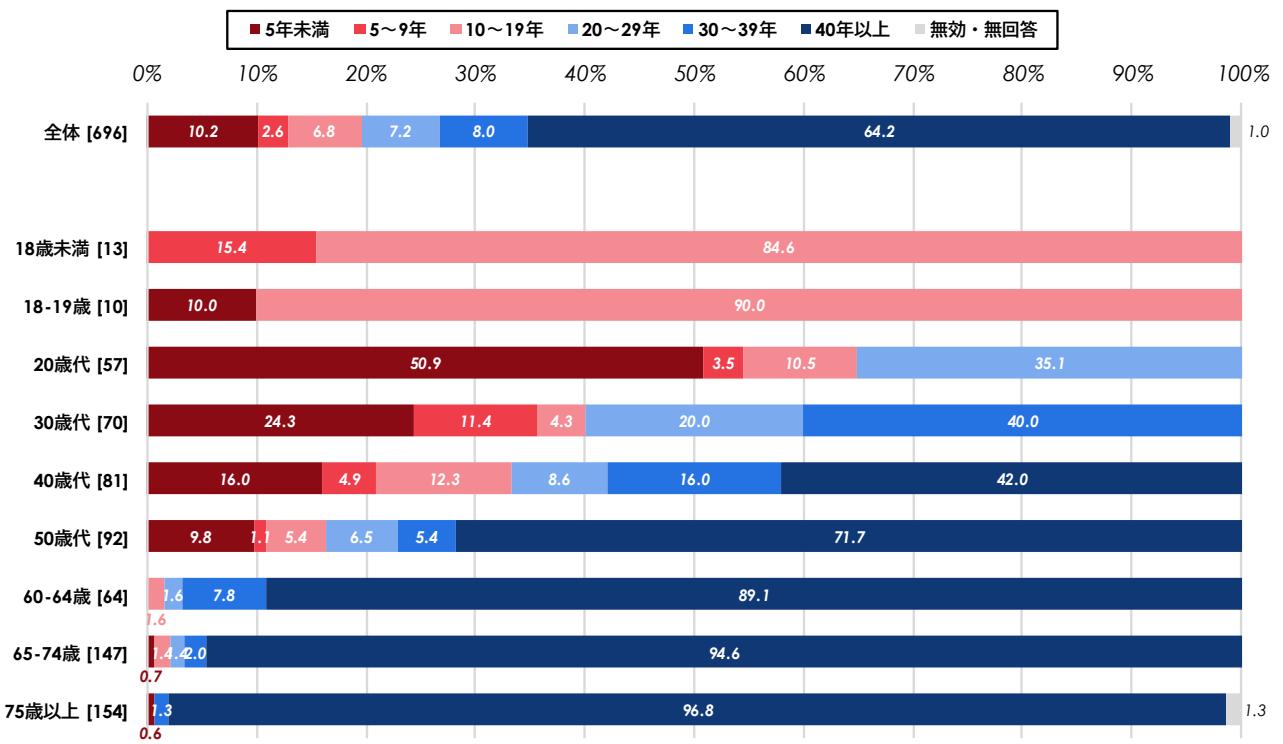
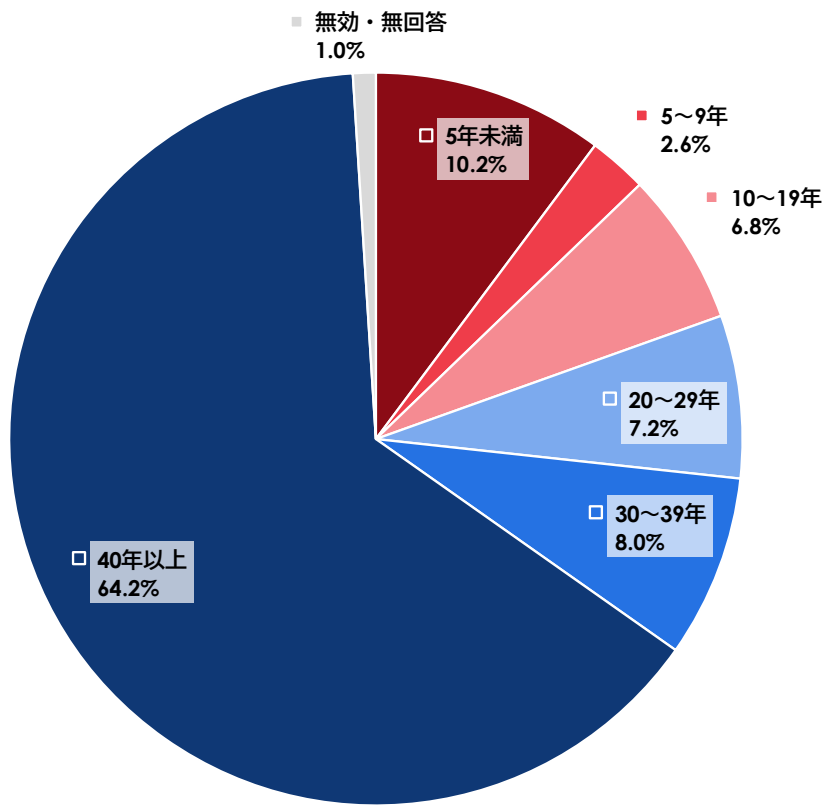
サンプル数	農業・林業	漁業	製造業・建設業	商業・金融・サービス業	公務員・教育・団体職員	パート・アルバイト	主婦（専業）	学生	年金受給者	無職	その他	無効・無回答	
	696	11	49	41	64	114	85	53	23	137	48	36	35



居住年数

- 根室市での居住年数についてみると、40年以上居住している回答者の割合が最も高い。一方、20歳代では、「5年未満」が半数を占める。

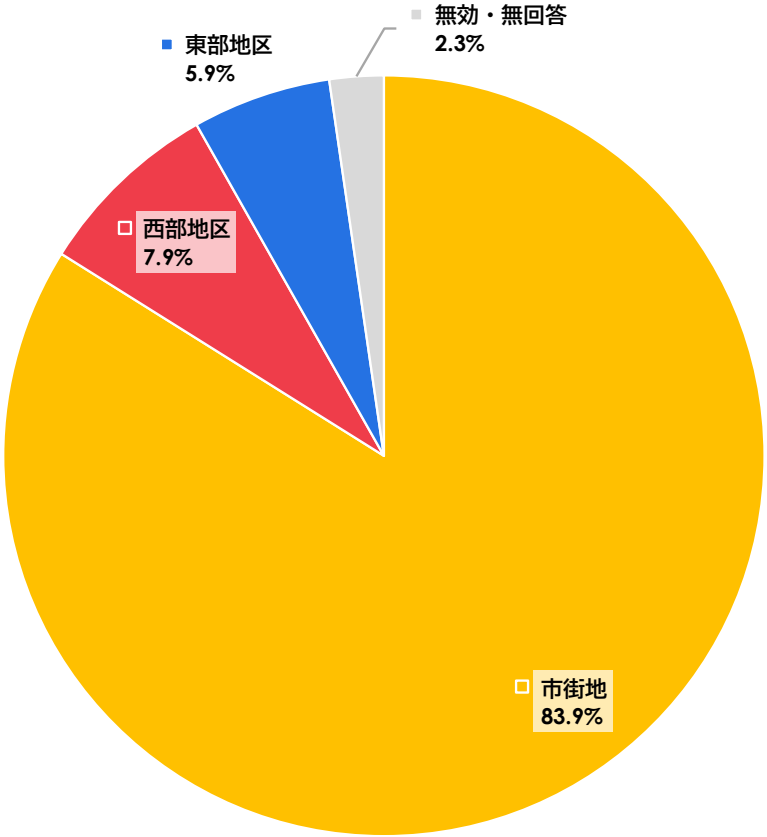
サンプル数	5年未満	5～9年	10～19年	20～29年	30～39年	40年以上	無効・無回答
696	71	18	47	50	56	447	7



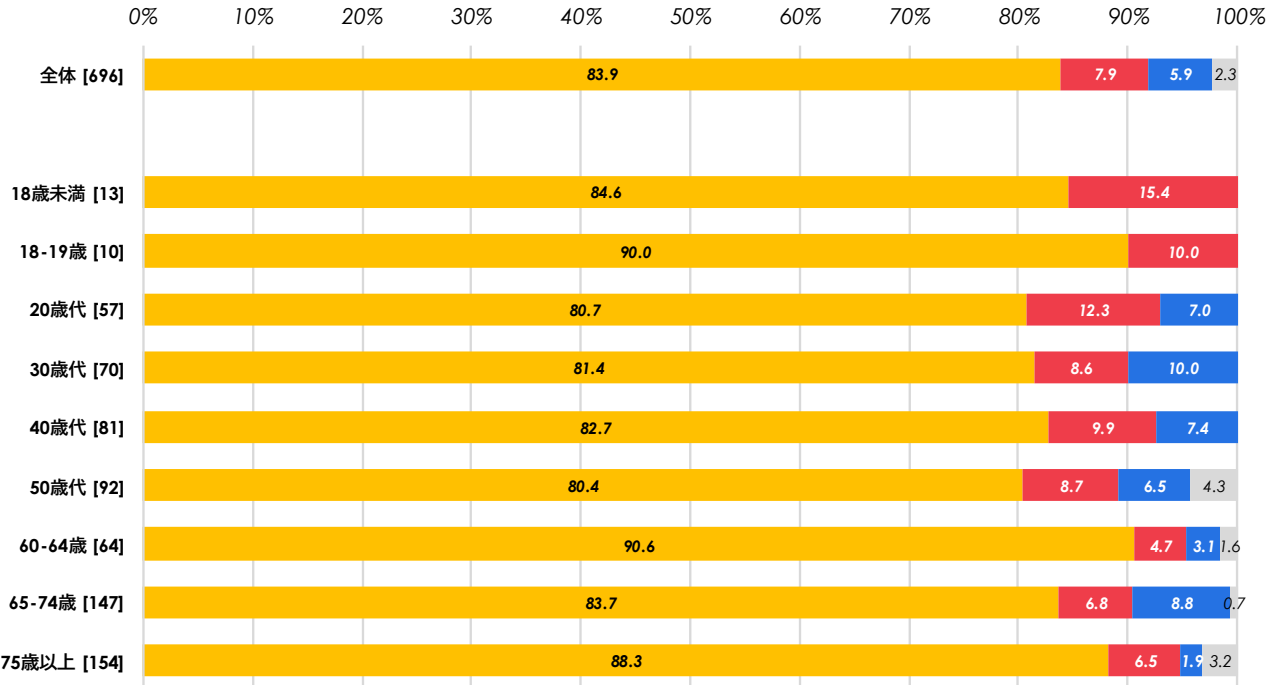
地区別構成

- 回答者数の構成は、市街地地区住民が全体の83.9%を占め、西部地区は7.9%、東部地区は5.9%であった。

サンプル数	市街地	西部地区	東部地区	無効・無回答
	696	584	55	41
				16



市街地	西部地区	東部地区	無効・無回答
-----	------	------	--------

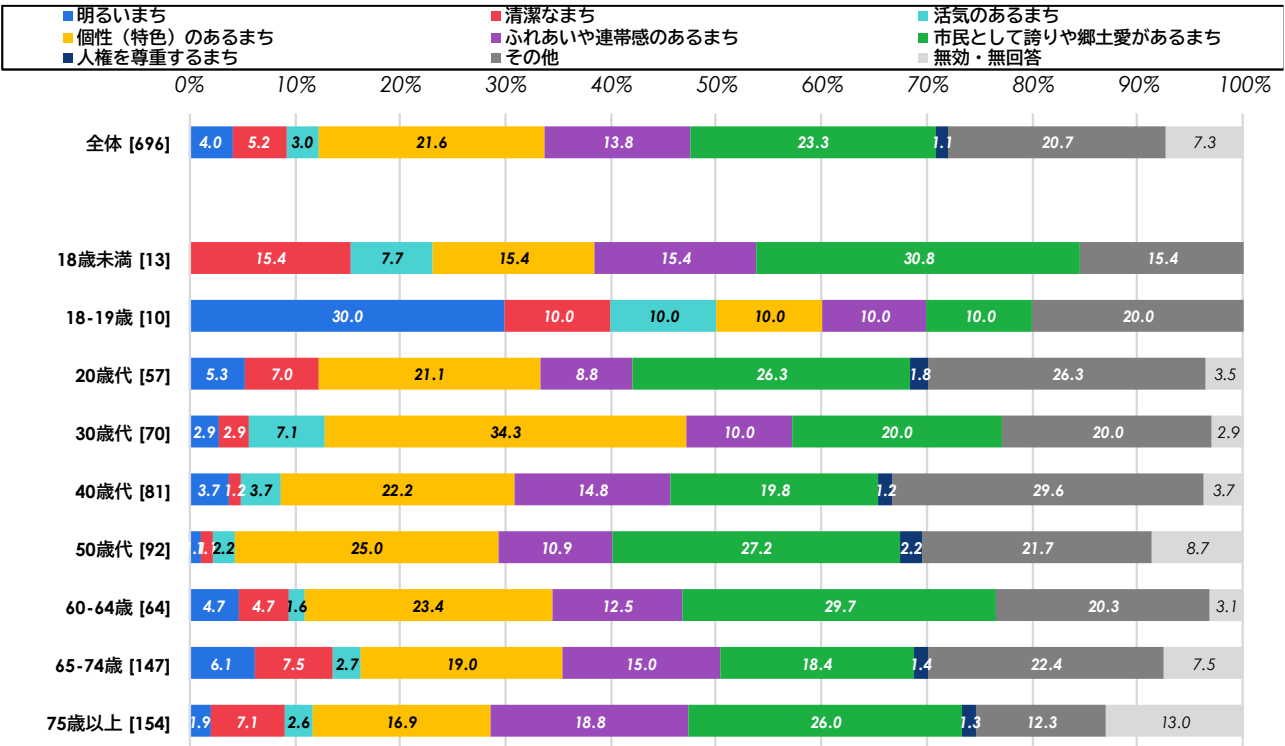
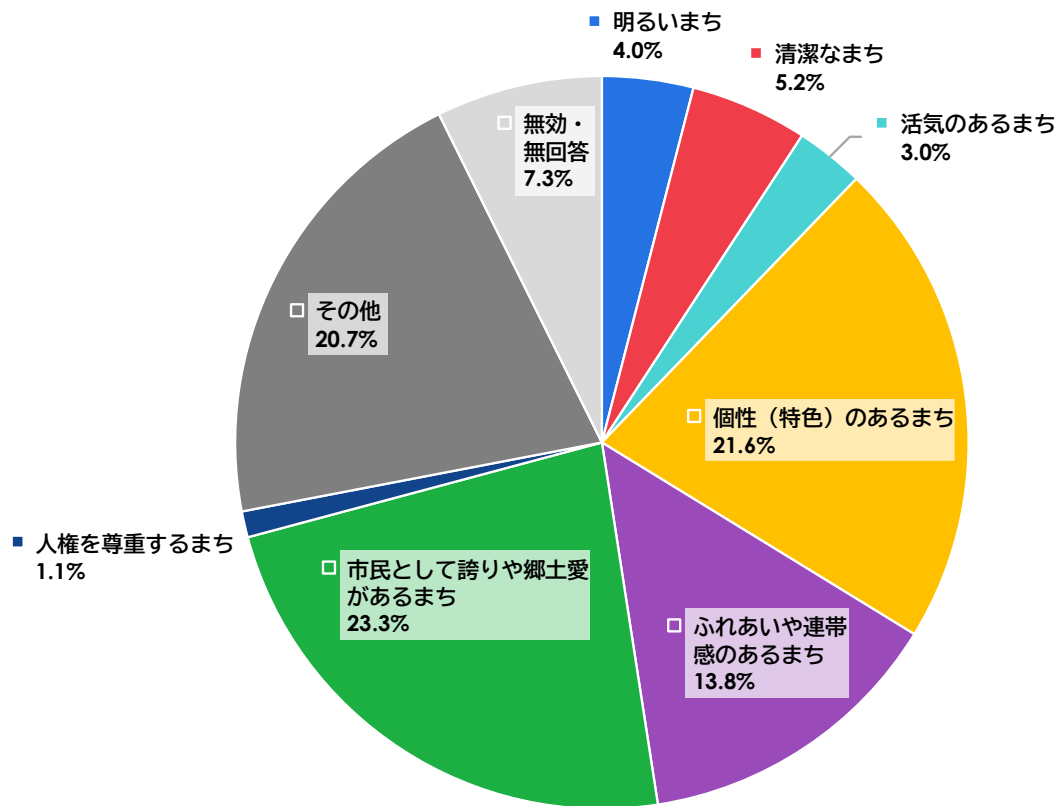


- なお、市街地、西部地区、東部地区の区分は以下のとおりである。

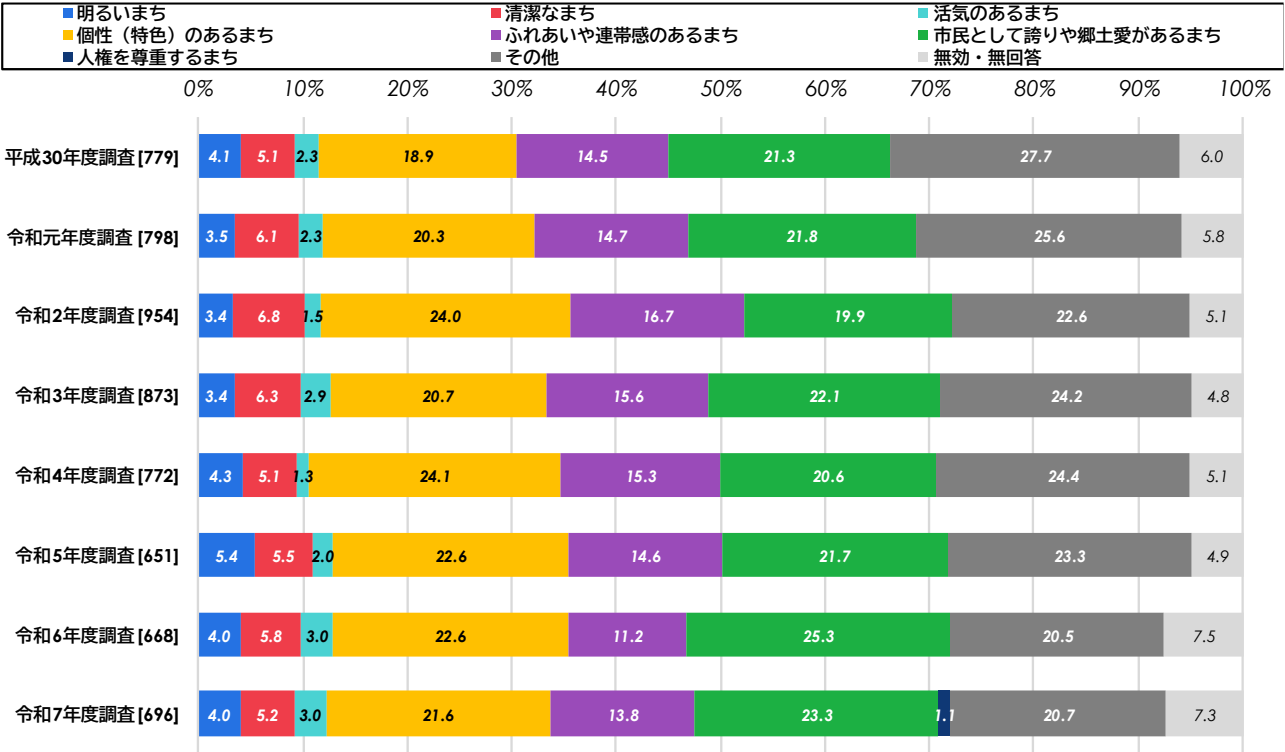
地区	居住地区名
市街地	北浜町、琴平町、弁天町、駒場町、汐見町、海岸町、千島町、栄町、月見町、明治町、曙町、宝町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町、花咲町、松ヶ枝町、弥栄町、幸町、大正町、常盤町、緑町、梅ヶ枝町、弥生町、清隆町、光和町、北斗町、平内町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、西浜町、月岡町、宝林町、昭和町、光洋町、桂木、花咲港
西部地区	穂香、幌茂尻、温根沼、東梅、酪陽、東和田、西和田、長節、浜松、昆布盛、落石東、落石西、別当賀、初田牛、東厚床、厚床、西厚床、明郷、湖南、川口、檜昔
東部地区	友知、双沖、齒舞、瑠瑤瑁、納沙布、温根元、豊里、牧の内

3.3 根室市の印象についての市民意識

- 根室市のイメージとして最も回答割合が高かった項目は、「市民として誇りや郷土愛があるまち」であり、次いで「個性（特色）のあるまち」、「その他」であった。
- 「その他」の内容をみると、過去の調査結果と同様、「活気がない」「何もない」「寂しい」「暗い」といったマイナスイメージを挙げる回答が多かった。一方、数は少ないものの、「自然が豊か」「漁業が有名」「歴史がある」といったプラスイメージを挙げる回答もみられた。



・ 根室市のイメージについての市民意識の傾向は、過去調査と比較しても同様の結果が続いている。

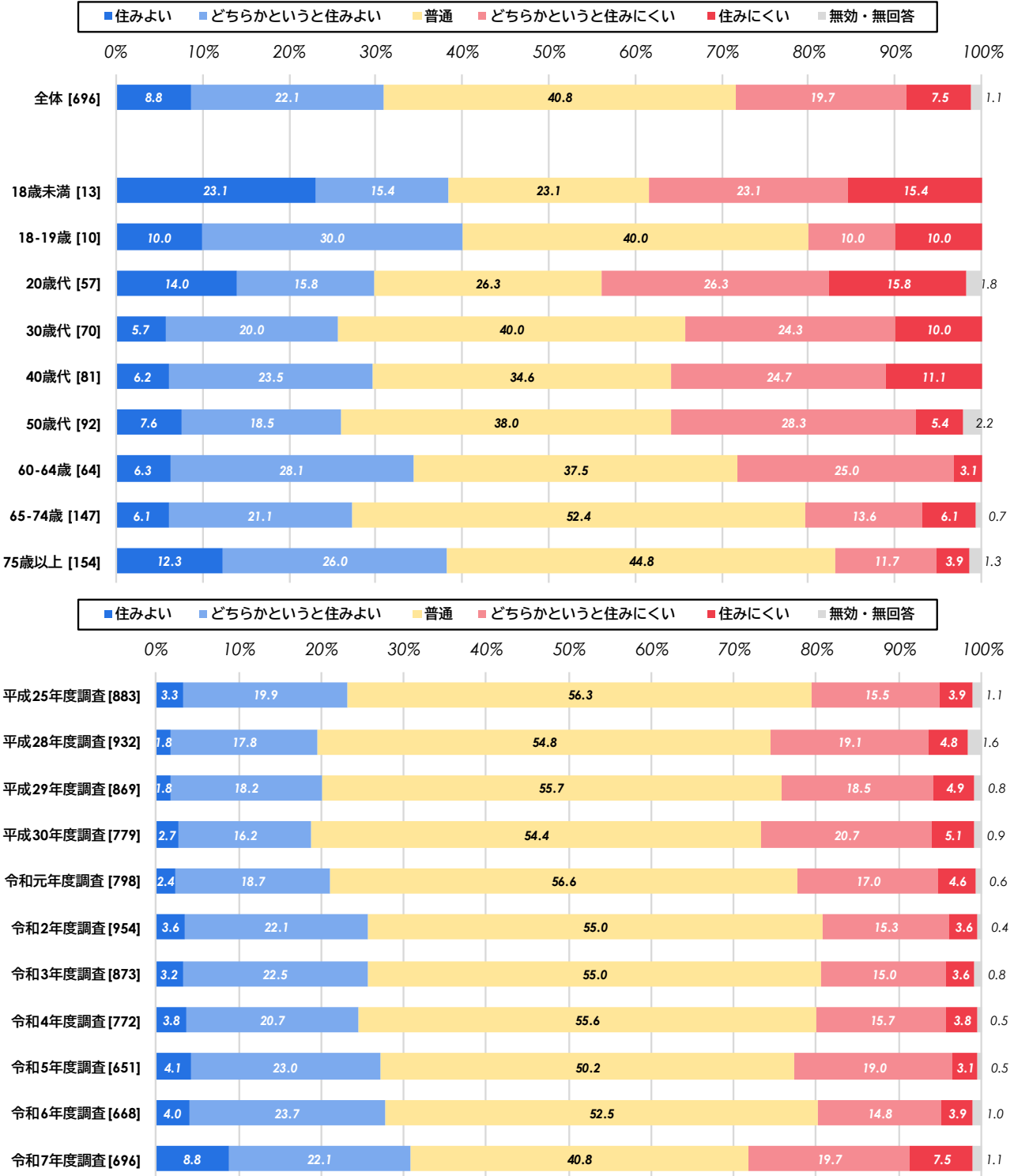


注：「人権を尊重するまち」は令和7年度調査より選択肢に追加

3.4 居住の満足度についての市民意識

(1) 居住の満足度（住みよいと思っているか）

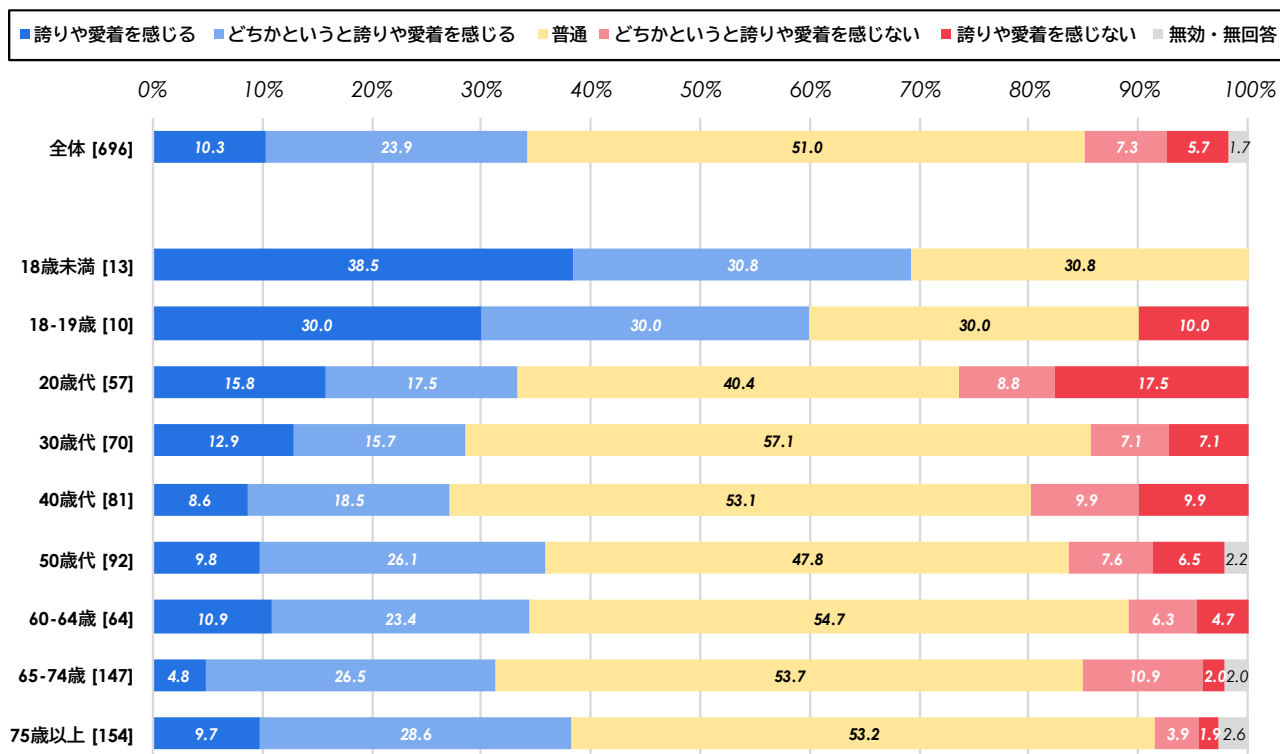
- 根室市を住みよいまちと思っているかについてみると、「住みよい」「どちらかという住みよい」を合わせた割合は30.9%となった。
- 回答理由をみると、「住みよい」では「気候がよい（夏が暑くない・雪が少ない）」「犯罪や災害が少ない」「自然環境がよい」といった理由が、「住みにくい」では「交通が不便」「買い物に困る」「街に活気がない」といった理由が挙げられた。



注：令和6年度までの選択肢は「とても住みよい」「住みよい」「普通」「住みにくい」「とても住みにくい」

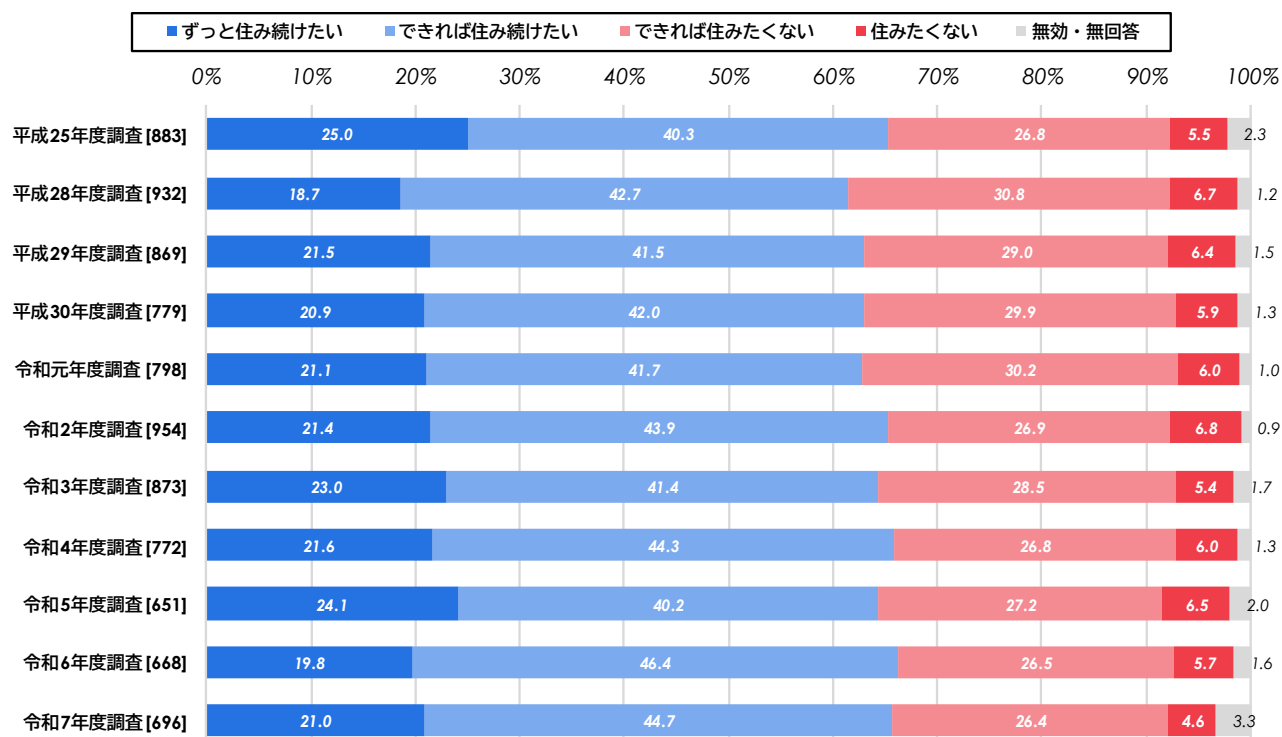
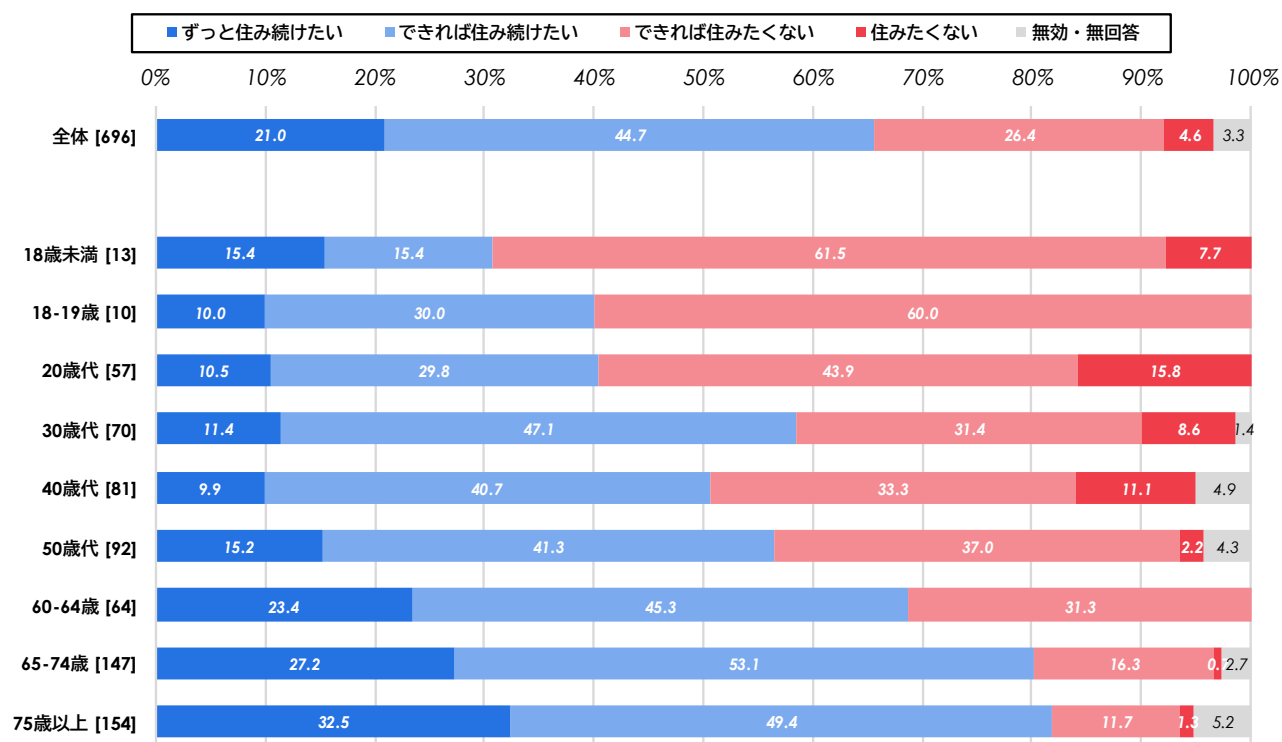
(2) 誇りや愛着（根室市民であることに誇りや愛着を感じているか）

- 根室市民であることに誇りや愛着を感じているかについてみると、「誇りや愛着を感じる」「どちらかという誇りや愛着を感じる」を合わせた割合は34.2%となった。
- 特に10代の若年層では「誇りや愛着を感じる」割合が高い。
- 回答理由をみると、「誇りや愛着を感じる」では「住み慣れた地だから」「祭りが盛んだから」「日本最東端の市・サンマ水揚げ日本一など強い特徴があるから」といった理由が、「誇りや愛着を感じない」では「転勤して日が浅いから」「閉塞感があるから」といった理由が挙げられた。



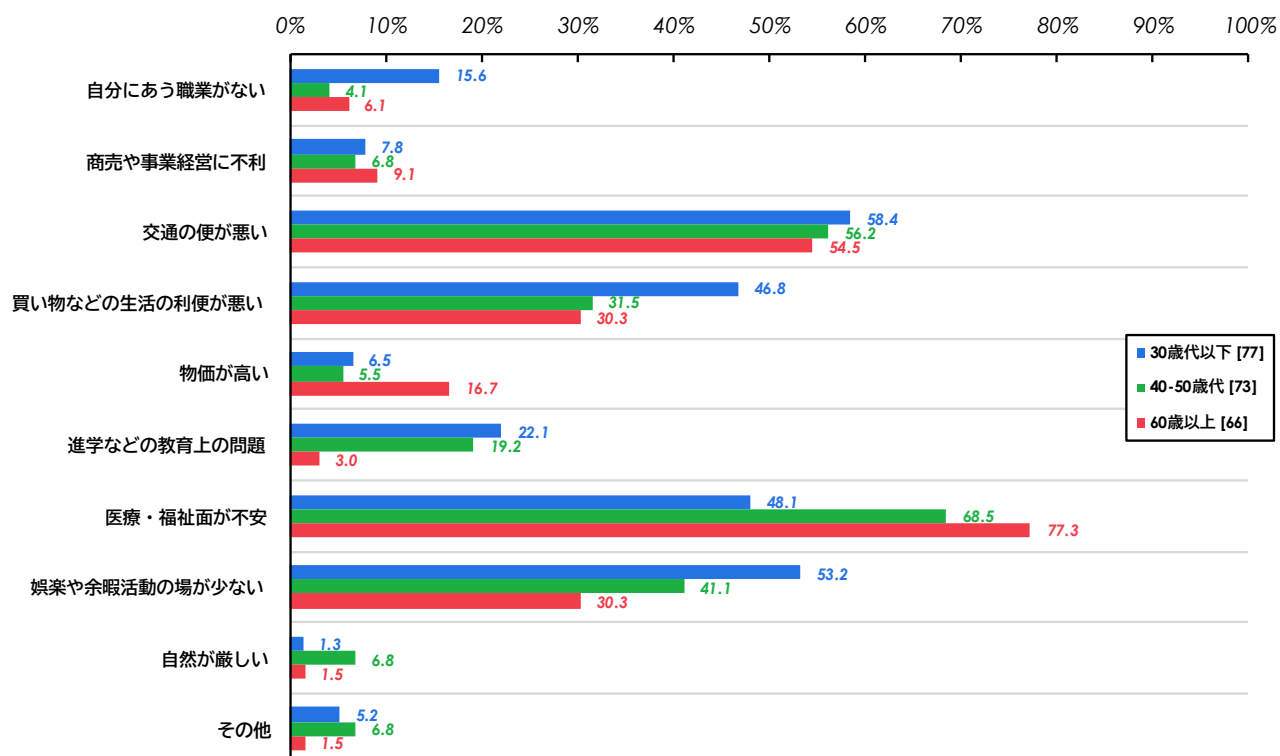
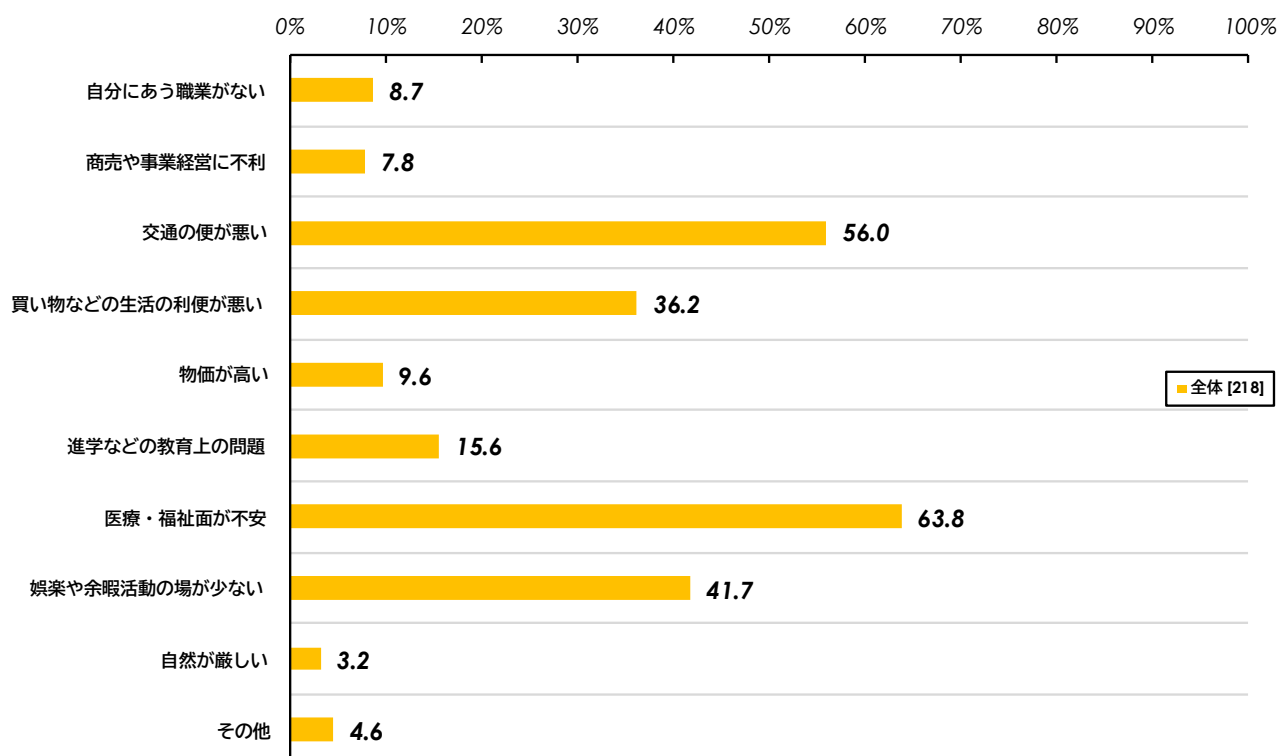
(3) 定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

- 根室市に住み続けたいかどうかについては、「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」を合わせた割合は65.7%となった。
- 年齢別にみると、高齢層ほど定住意向が高い傾向がみられる一方で、20歳代以下の若年層では「できれば住みたくない」「住みたくない」の合計が過半数を占めている。
- 経年変化をみると、市民全体での定住意向はおおむね同程度で推移している。



(4) 住み続けたくない理由

- 根室市に住み続けたくない理由をみると、「医療・福祉面が不安」とする回答割合が63.8%と最も高く、次いで「交通の便が悪い」「娯楽や余暇活動の場が少ない」「買い物などの生活の利便が悪い」と続く。
- 年齢別では、「医療・福祉面が不安」「物価が高い」は高齢層で高く、「娯楽や余暇活動の場が少ない」「自分にあう職業がない」は若年層で高い傾向がみられる。
- 「交通の便が悪い」はいずれの年齢層でも高い。

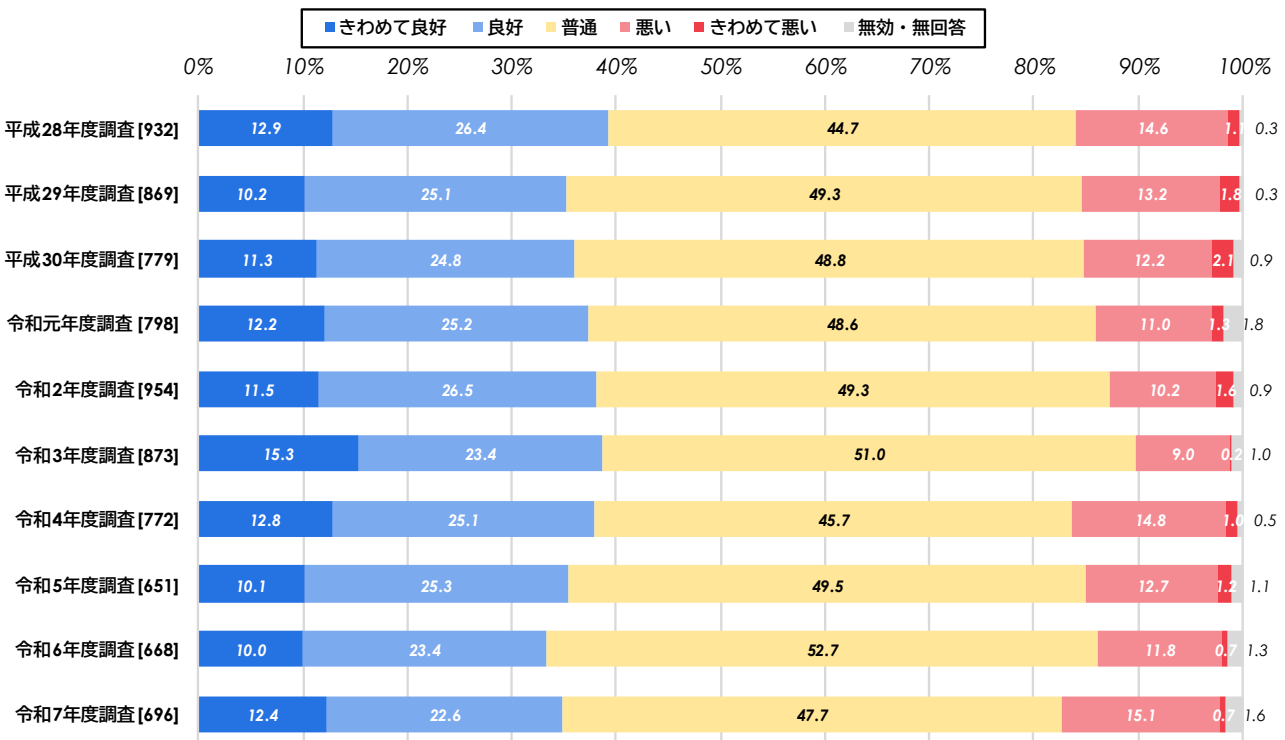
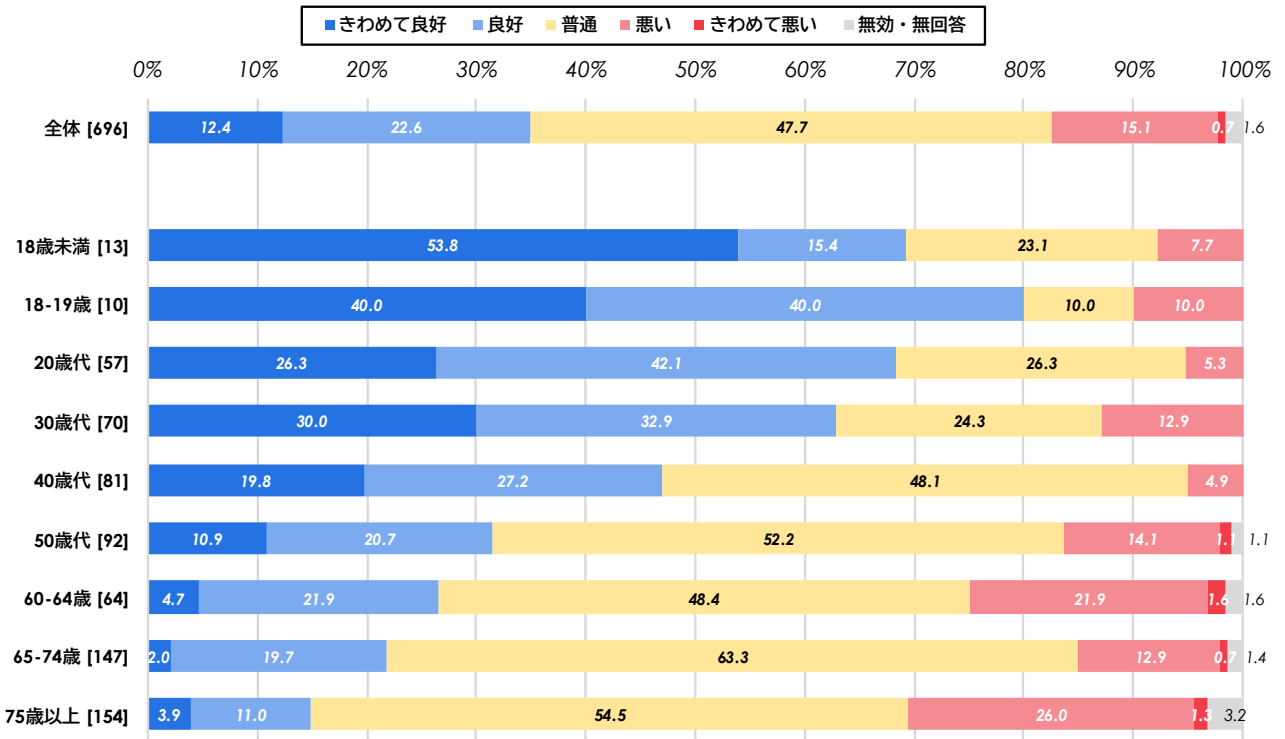


注：複数回答であるが、選択は最大3つまでとしている

3.5 保健医療について

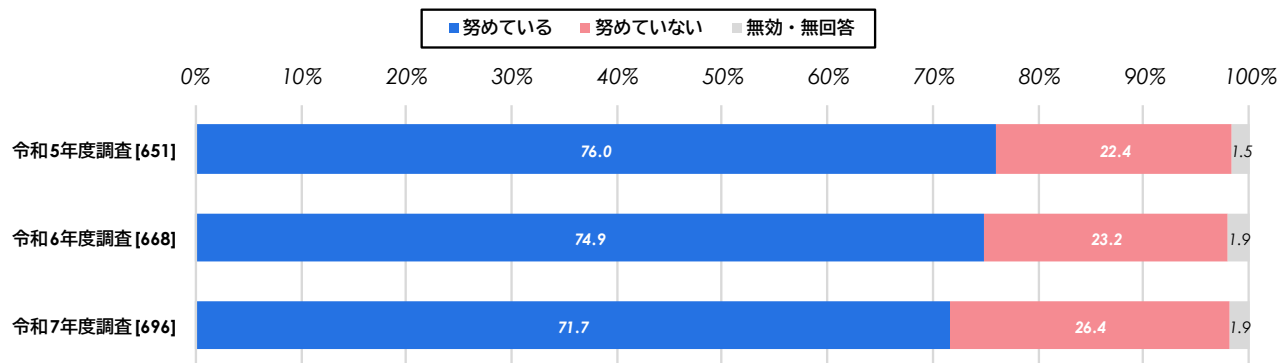
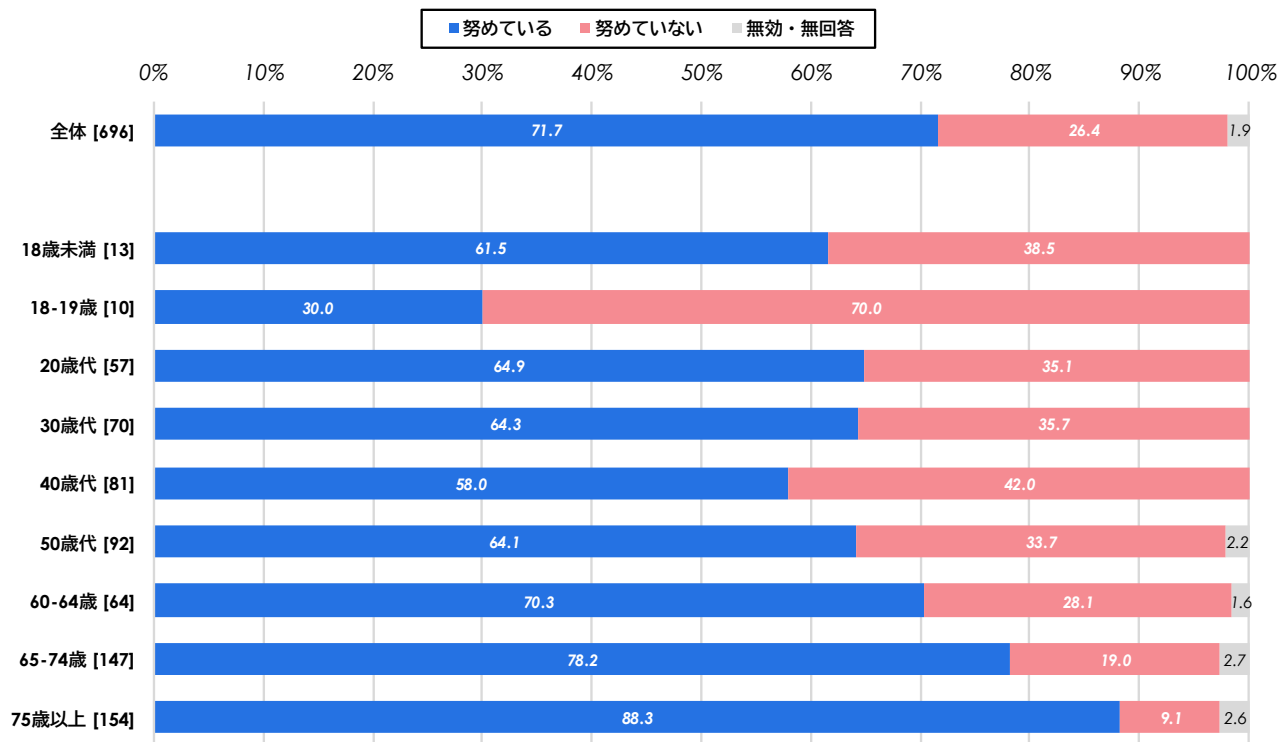
(1) 現在の健康状態

- 現在の健康状態についてみると、「きわめて良好」と「良好」を合わせた割合は35.0%となった。「悪い」と「きわめて悪い」を合わせた割合は15.8%となっている。
- 年齢別にみると、高齢層ほど健康状態を良好な状態とする回答の割合が低い。
- 経年変化をみると、市民の健康状態は同程度の割合で推移している。



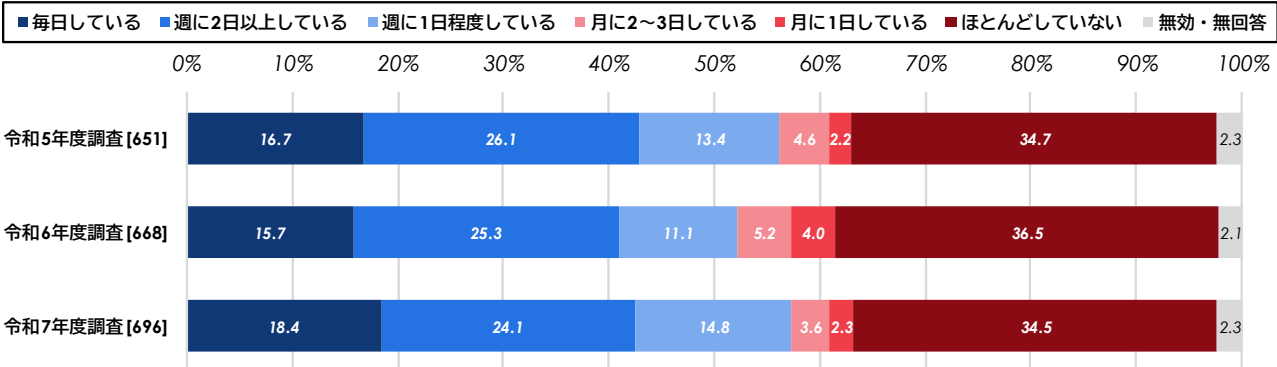
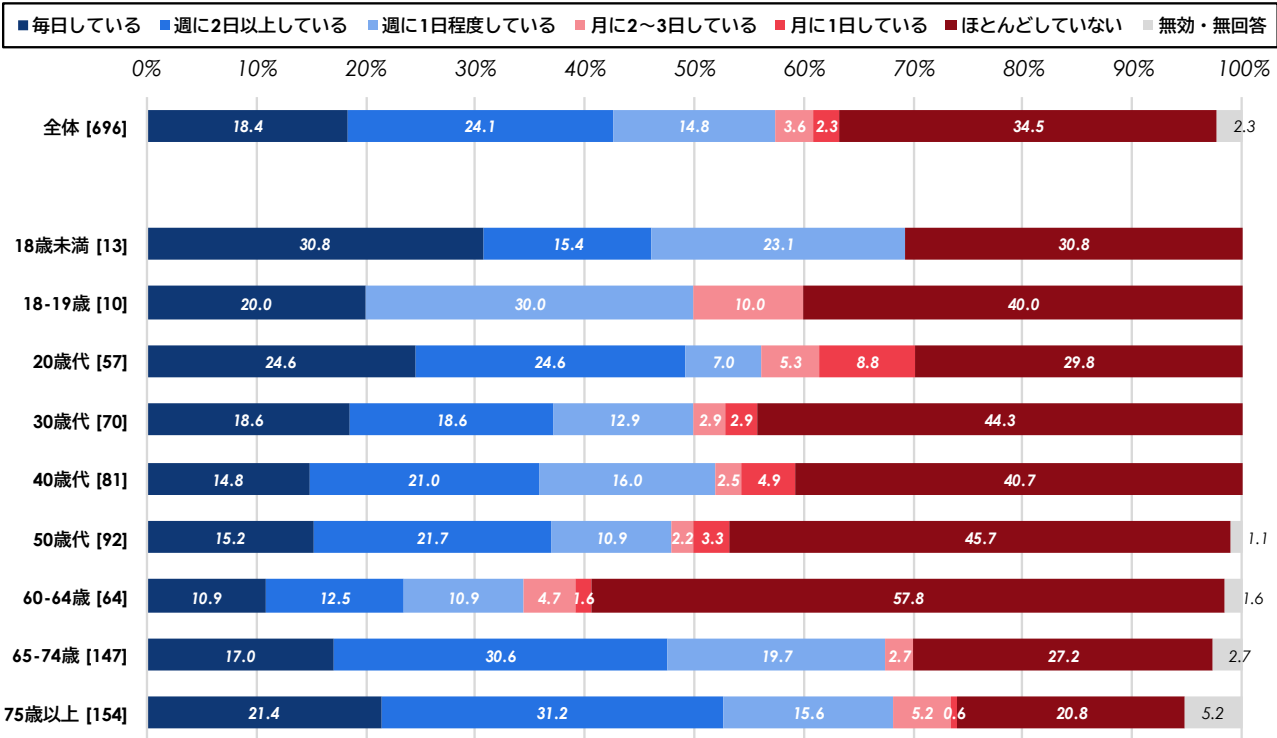
(2) 健康管理

- 日常の健康管理の状況についてみると、71.7%が「努めている」とした。高齢層で「努めている」割合は高い傾向がみられる。
- 経年変化をみると、「努めている」割合は微減傾向がみられる。



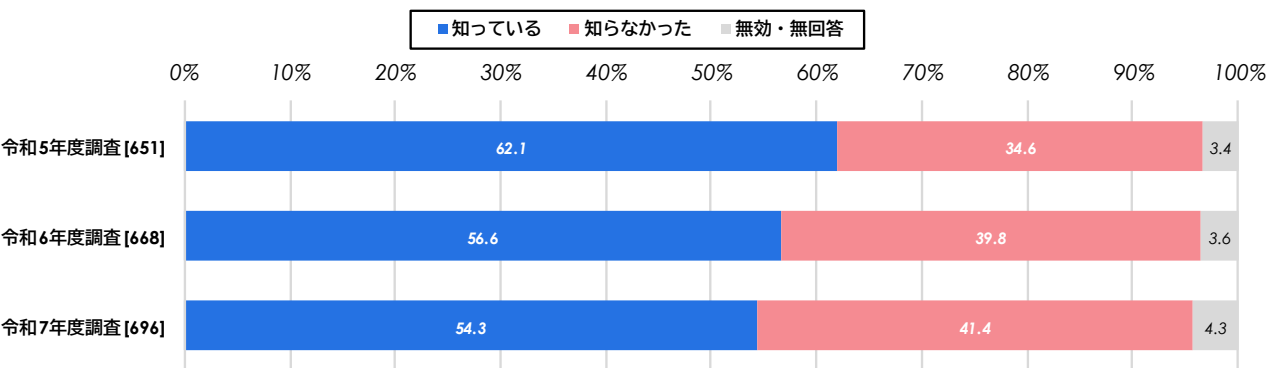
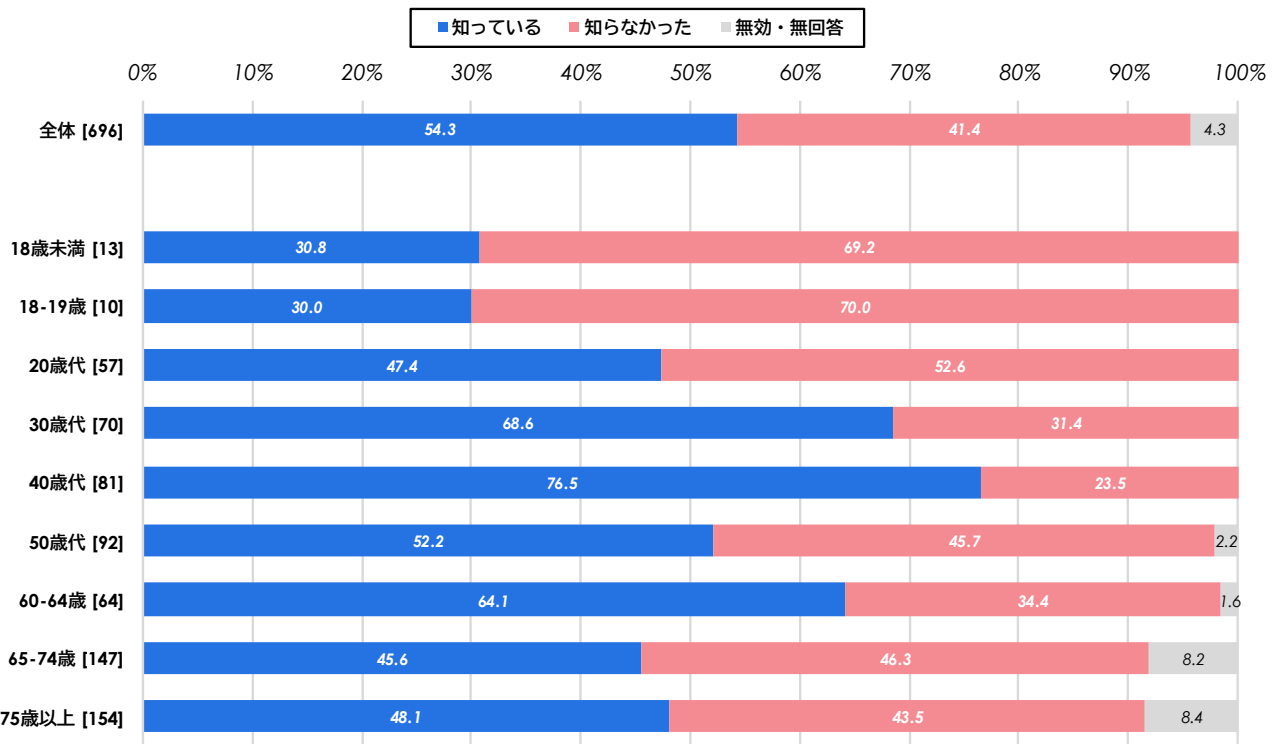
(3) 1日30分以上の運動の実施状況

- 1日30分以上の運動を行っている頻度についてみると、全年齢層では「ほとんどしていない」が最も多く34.5%となっている。一方、週に1日以上（「毎日」「週に2日以上」「週に1日程度」の合計）運動している割合は、57.3%と半数以上を占めている。
- 年齢別にみると、若年層から60-64歳にかけては、年齢が上がるにつれて「ほとんどしていない」割合が高い傾向がみられるが、退職者の割合が増える65歳以上では、週に1回以上運動している割合は全年齢層を上回る割合となっている。



(4) 市立根室病院の分娩再開の認知度について

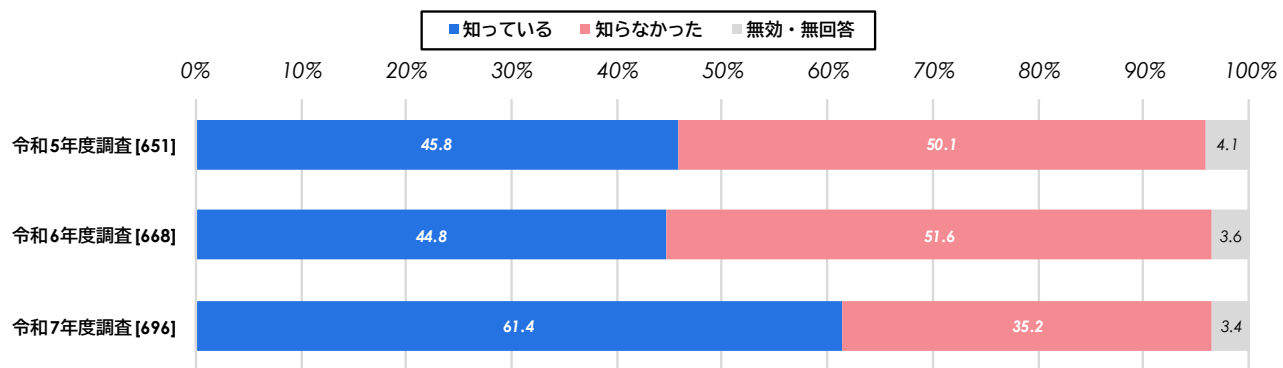
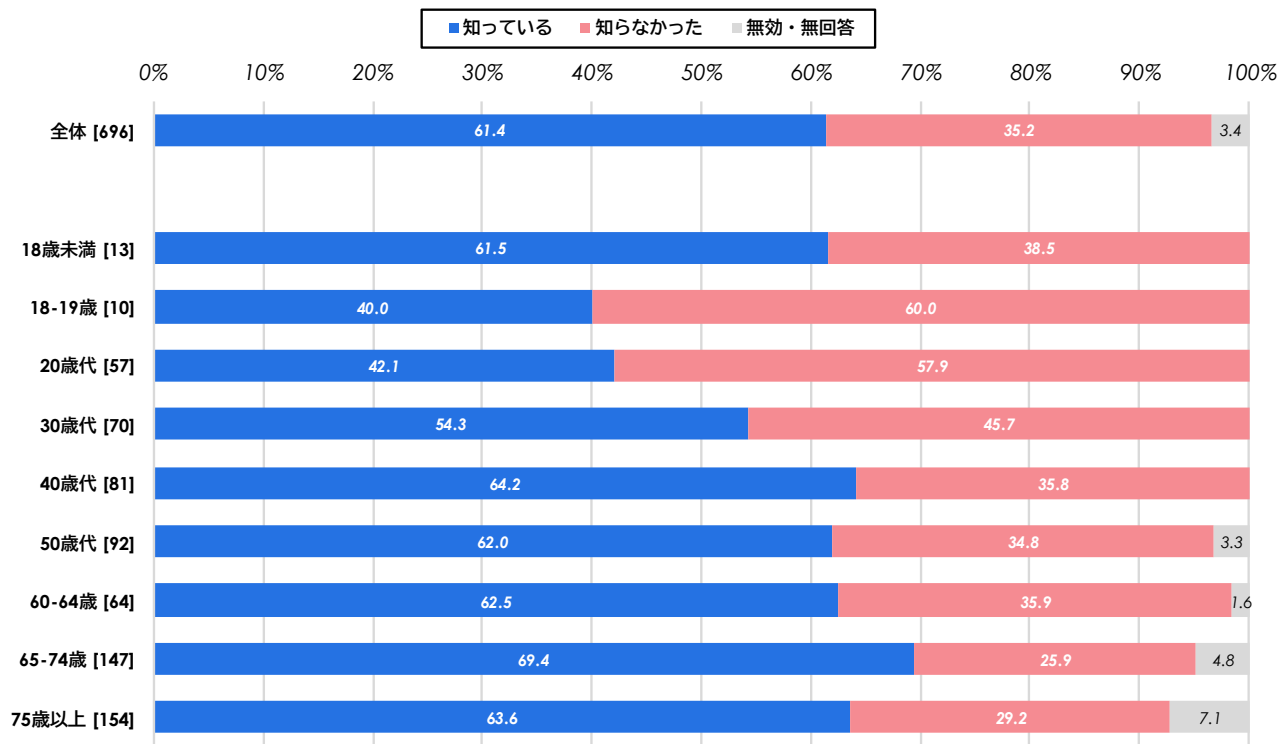
- 根室市では、平成29年4月1日から経産婦の方を対象に分娩を再開しており、今年は分娩再開から9年目となる。
- こうした状況を市民が認知しているかどうかについて調査した結果、「知っていた」割合は54.3%となった。例年の認知度はおおむね60%前後にとどまっているが、近年は認知度に低下傾向がみられる。
- 年齢別にみると、子育て世代に当たる30-40歳代は全体と比較して認知度が高い。



(5) 施策に対する認知度

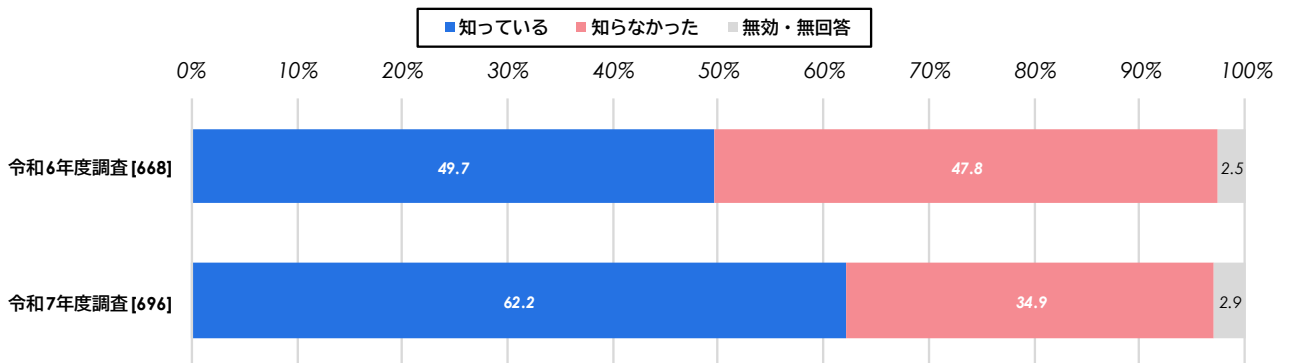
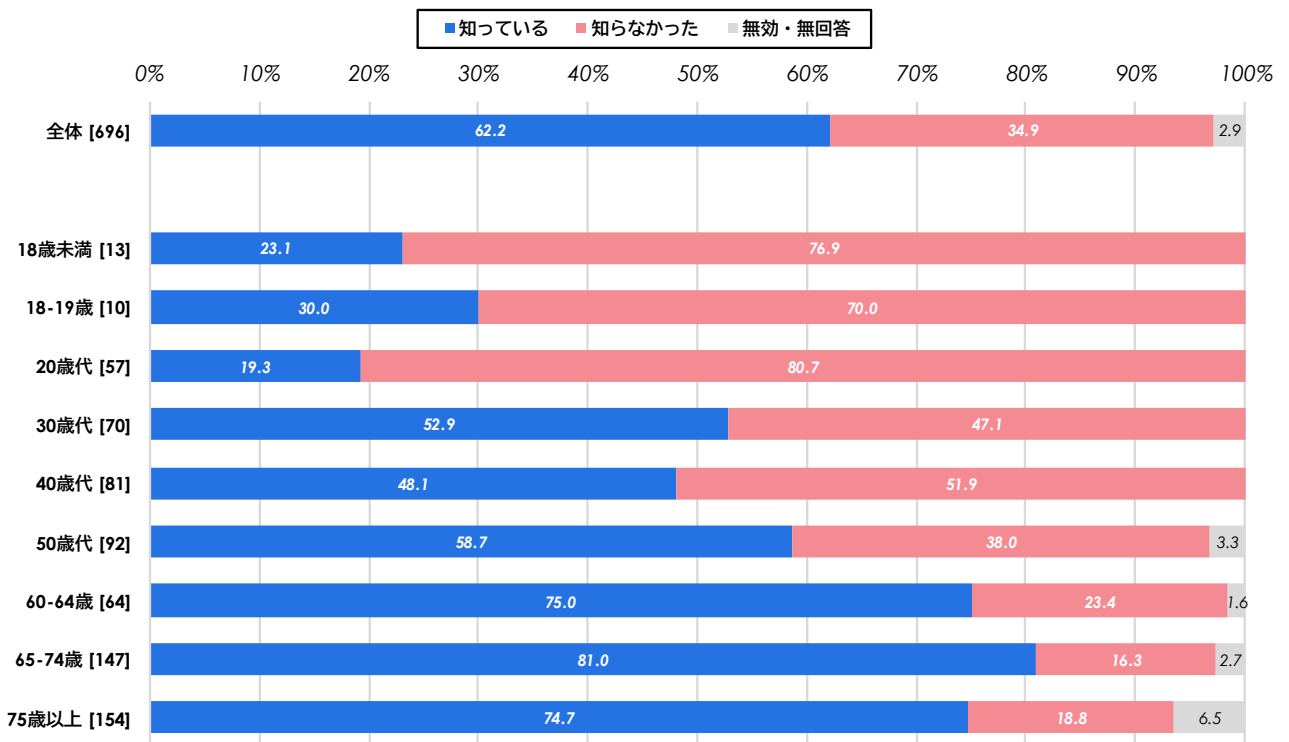
①人材確保対策（医師及び看護師など医療従事者として働くことを希望する学生等への月々の修学資金の貸付）

- 全体では「知っていた」割合は61.4%となった。
- 年齢別にみると、18-19歳、20歳代で認知度が低い。
- 経年変化をみると、昨年度と比較して16.6ポイントの上昇となった。



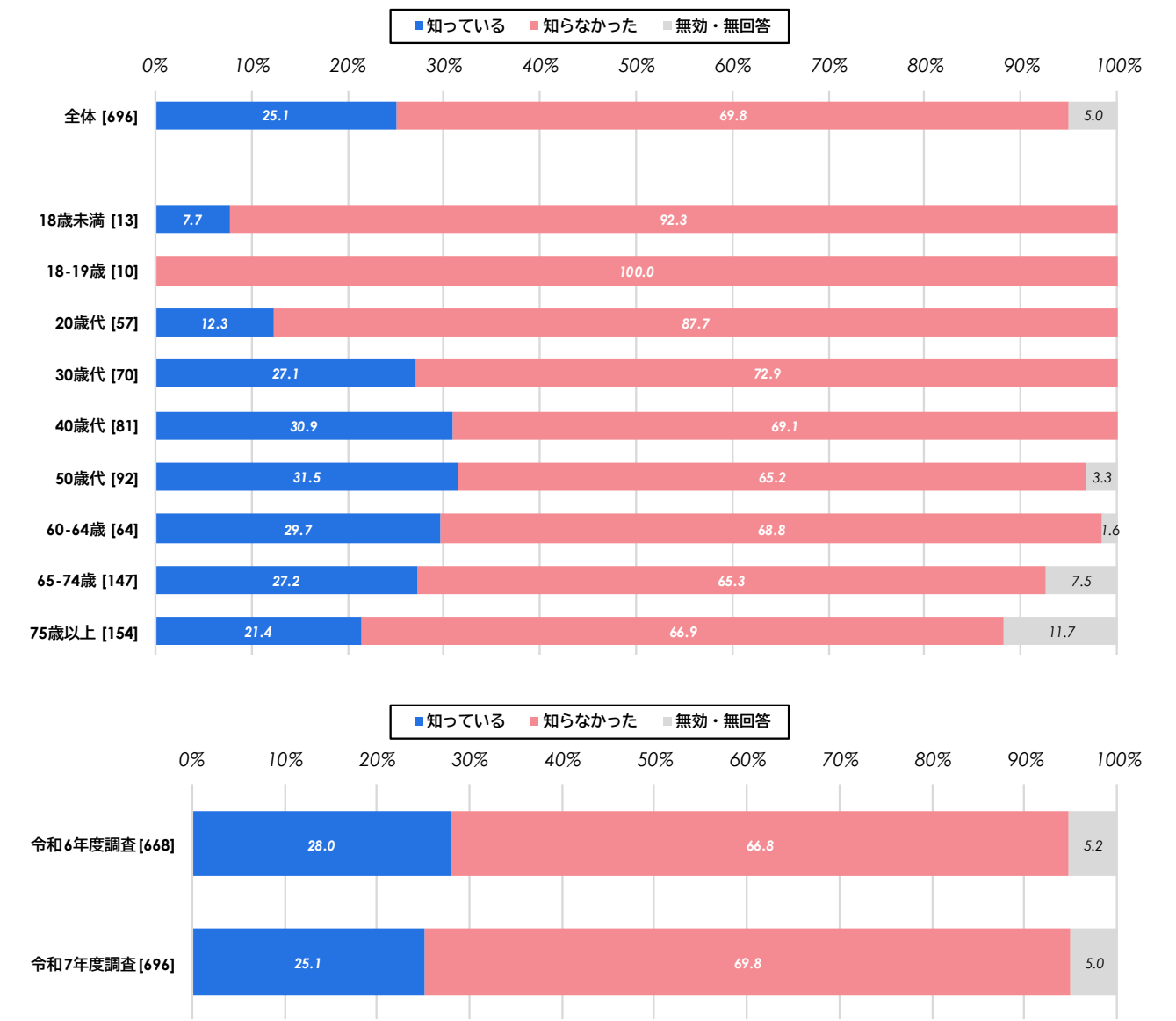
②帯状疱疹の発症を予防するためのワクチン接種費用の一部助成（50歳以上80歳以下を対象にした帯状疱疹予防、罹患後の重症化・後遺症予防）

- 全体では「知っていた」割合は62.2%となった。
- 年齢別にみると、60歳代以上では7割を超える認知度となっているが、20歳代以下では認知度が低い。
- 経年変化をみると、昨年度と比較して12.5ポイントの上昇となった。



③特定不妊治療に対する費用と交通費等の一部助成（不妊治療における経済的負担の軽減）

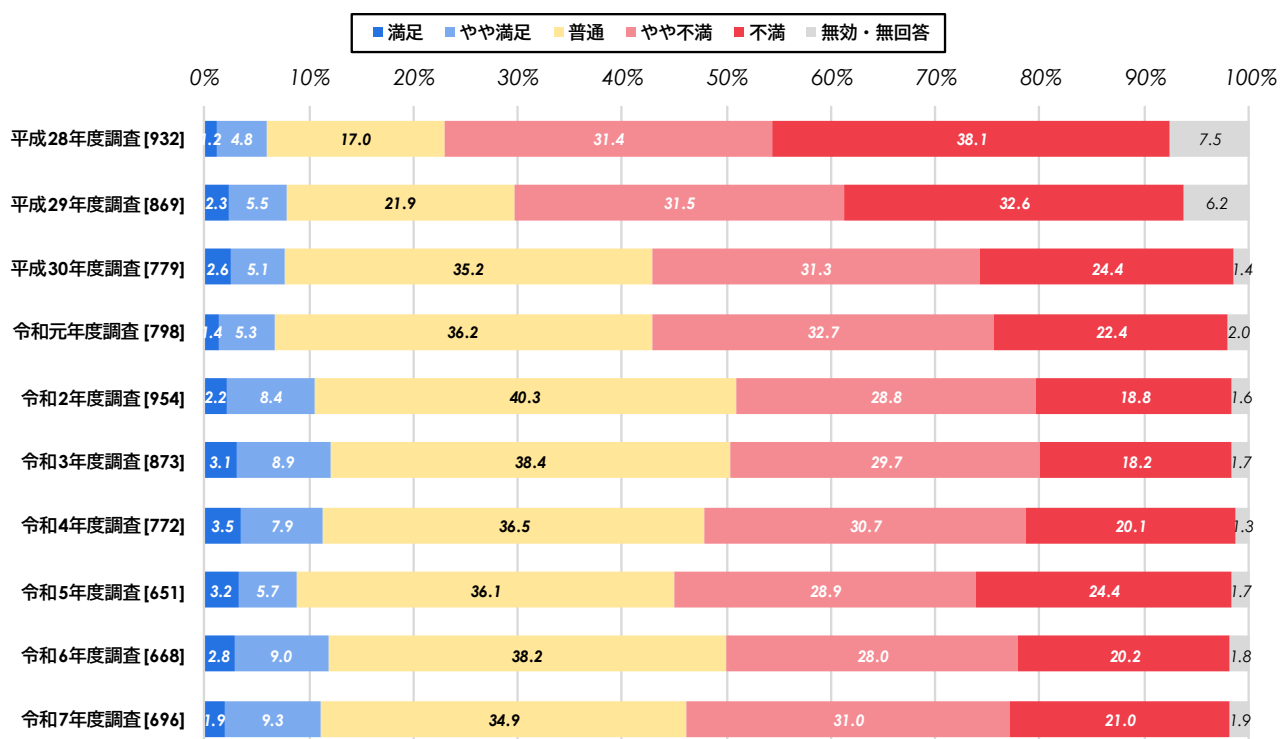
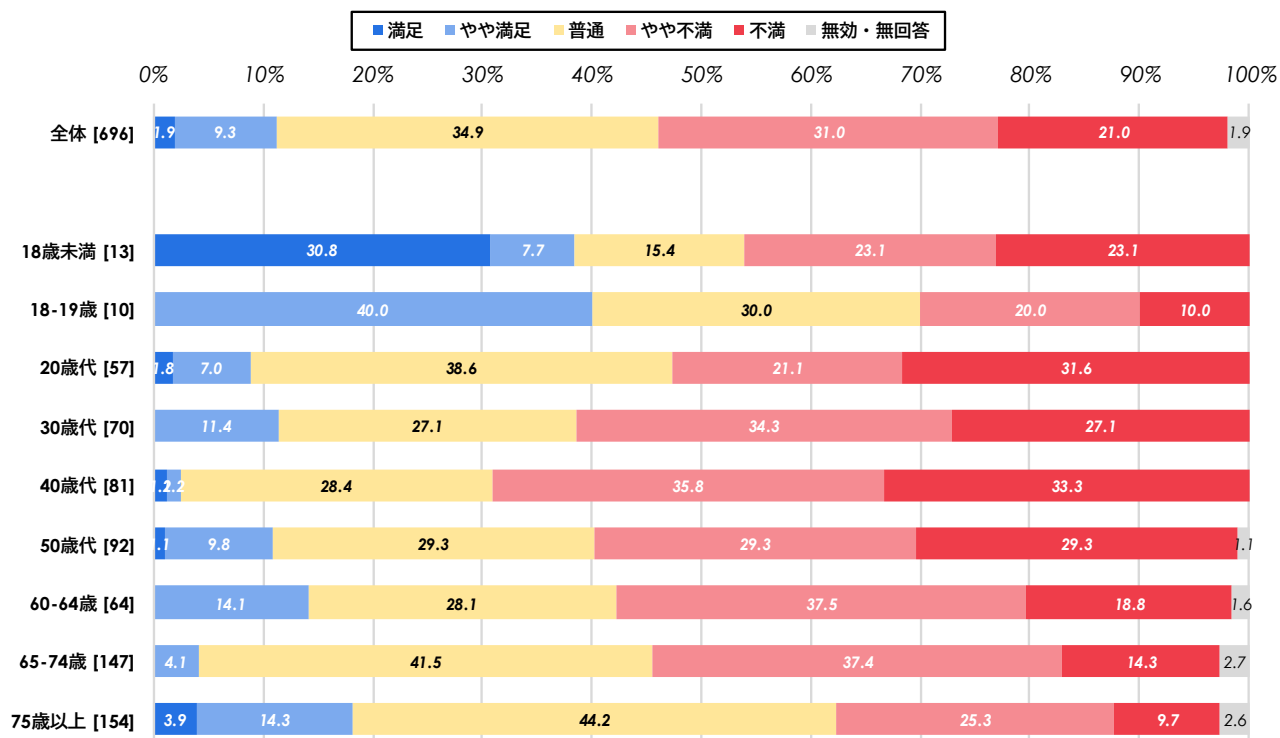
- 全体では「知っていた」割合は25.1%となった。
- 年齢別にみると、20歳代以下で認知度が低く、特に18-19歳では回答者全員が「知らなかった」と回答した。
- 経年変化をみると、昨年度を下回った。



(6) 根室市の医療環境の状況について

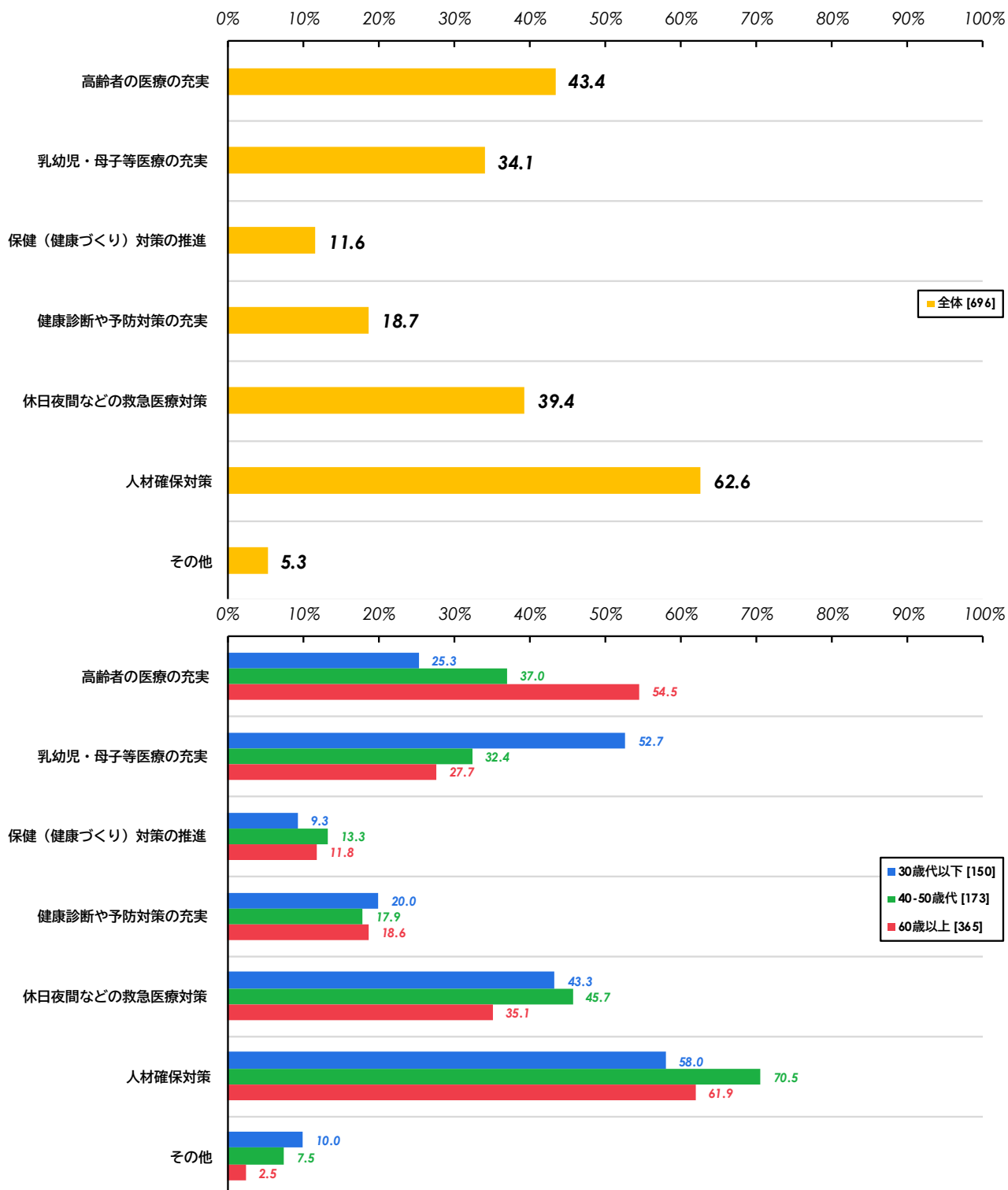
①医療環境に対する満足度

- 市内の病院などの医療環境に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、11.2%となっている。
- 年齢別にみると、20歳代～74歳にかけて、「やや不満」「不満」の合計が過半数を占めている。
- 経年変化をみると、調査開始当初と比較すると満足度は改善傾向がみられるものの、直近数年間は横ばいになっている。



(7) 保健医療政策について

- 根室市の保健医療に関して、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「人材確保対策」が62.6%で最も高く、「高齢者の医療の充実」「休日夜間などの救急医療対策」と続いた。
- 年齢別にみると、「高齢者の医療の充実」は高齢層で高く、「乳幼児・母子等医療の充実」は若年層で高い。



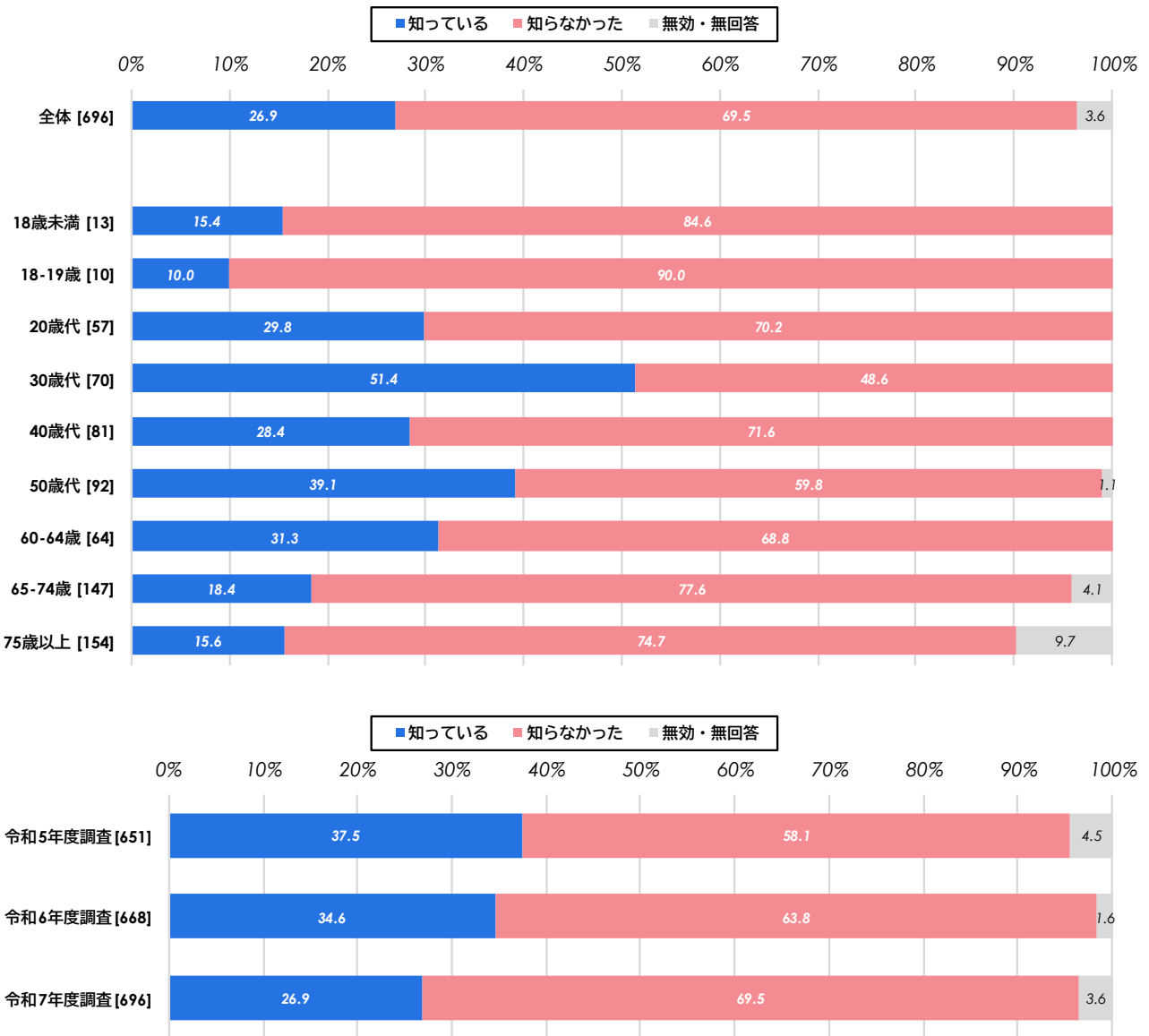
注：令和7年度より、各分野の重点事項に関する回答方式を複数回答（回答数無制限）に変更した

3.6 少子化・子育て支援について

(1) 施策に対する認知度

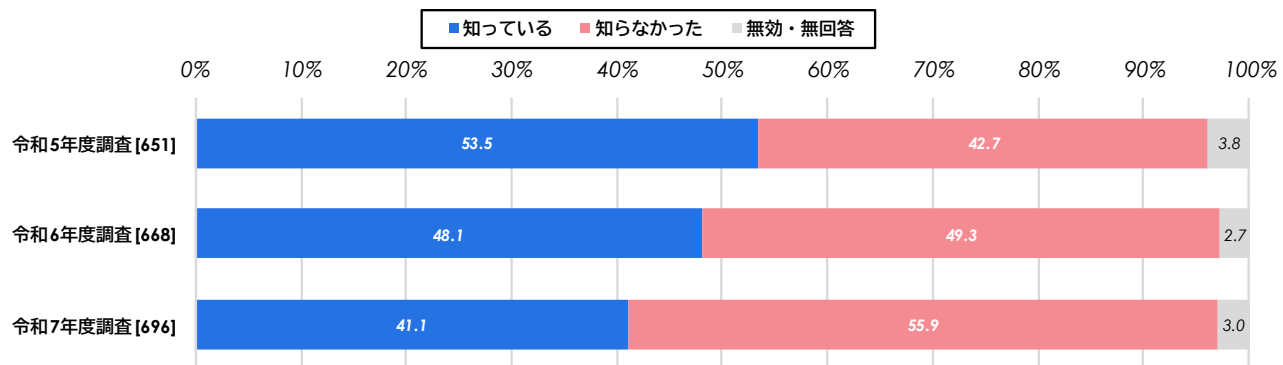
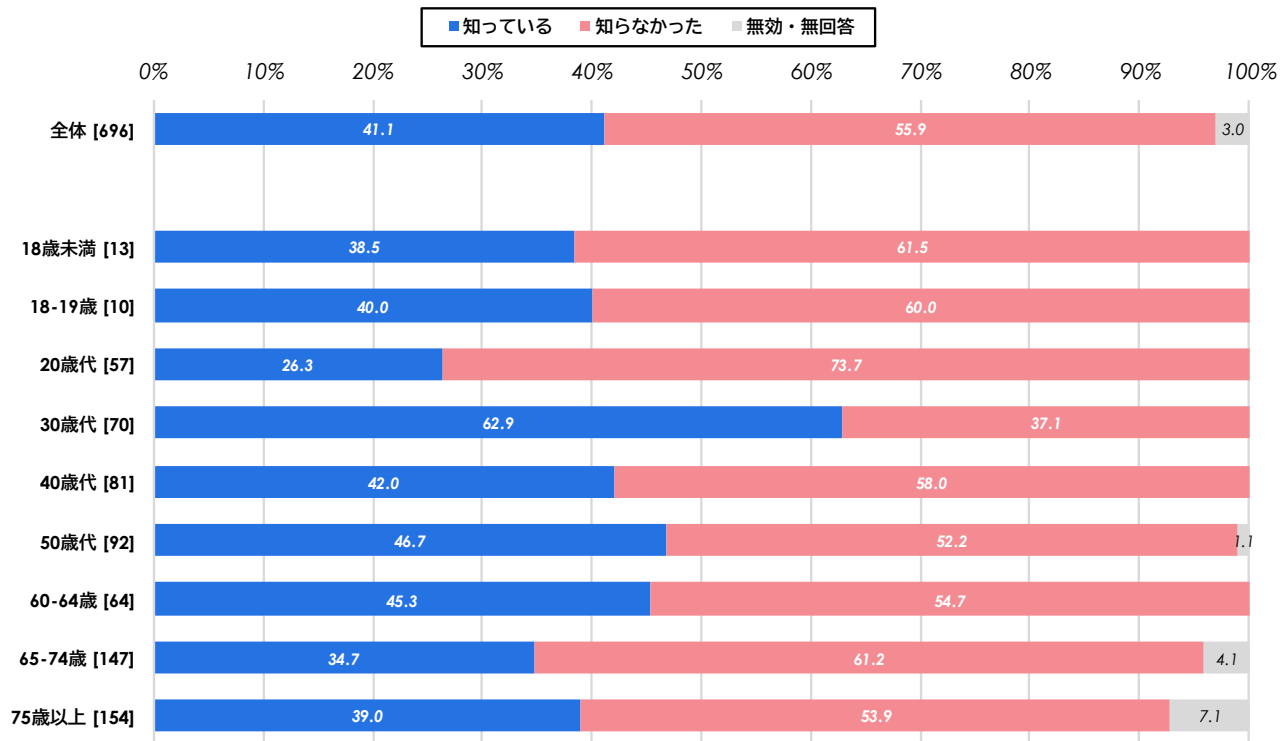
①結婚新生活支援制度の創設（住宅費用、引越し費用及び新生活準備費用について最大100万円を助成する取組み）

- 全体では「知っていた」割合は26.9%となった。
- 年齢別にみると、30歳代では比較的認知度が高く、50%を上回っている。
- 経年変化をみると、認知度は低下傾向にある。



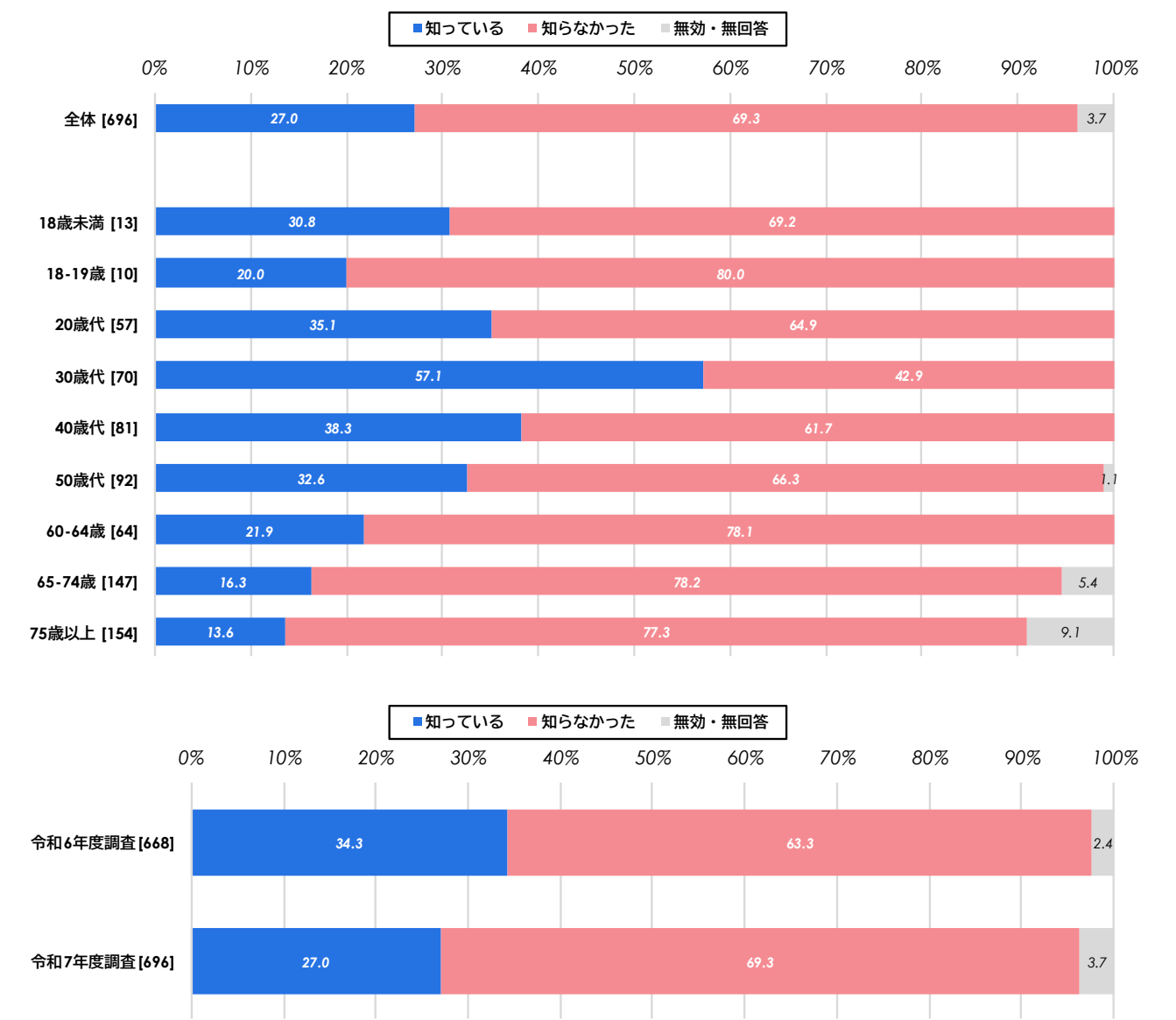
②出産祝金支給制度の創設（出産後にかかる経済的負担を軽減するため、新生児1人につき10万円を給付）

- 全体では「知っていた」割合は41.1%となった。
- 年齢別にみると、30歳代では比較的認知度が高く、50%を上回っている。
- 経年変化をみると、認知度は低下傾向にある。



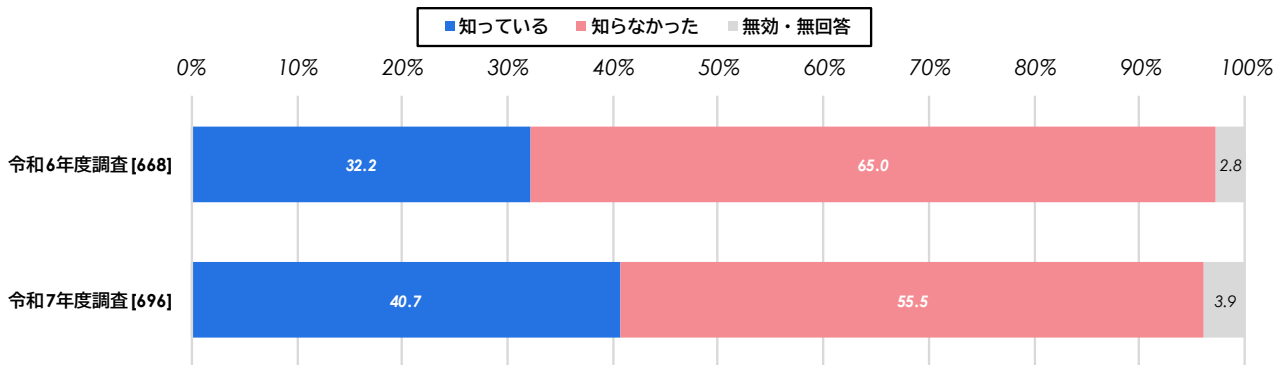
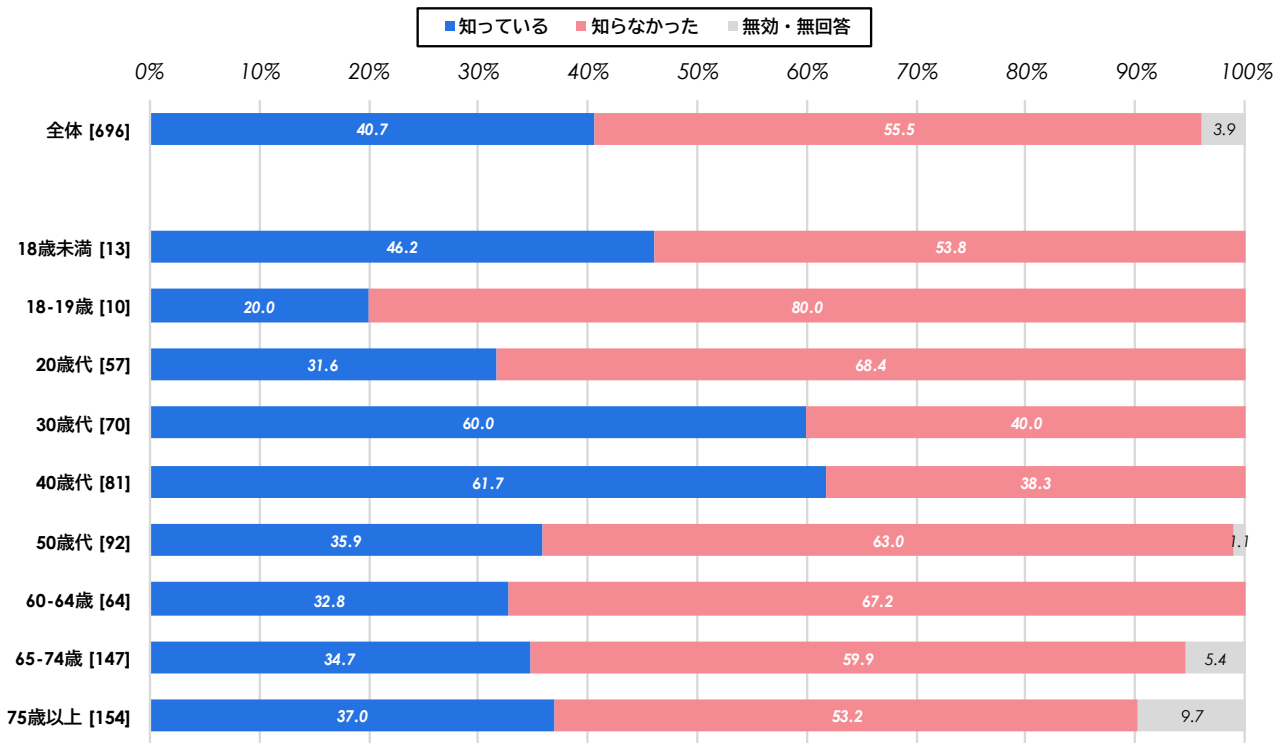
③乳児おむつ用品購入券支給制度の創設（乳児を持つ子育て世帯に対し、年間9万円（月額7,500円×12ヵ月）の乳児おむつ用品購入券を支給）

- 全体では「知っていた」割合は27.0%となった。
- 年齢別にみると、30歳代では比較的認知度が高く、50%を上回っている。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を下回っている。



④3～5歳児の保育料無償化、0～2歳児の保育料を半額にする減免制度の創設（子育て世帯の経済的負担軽減）

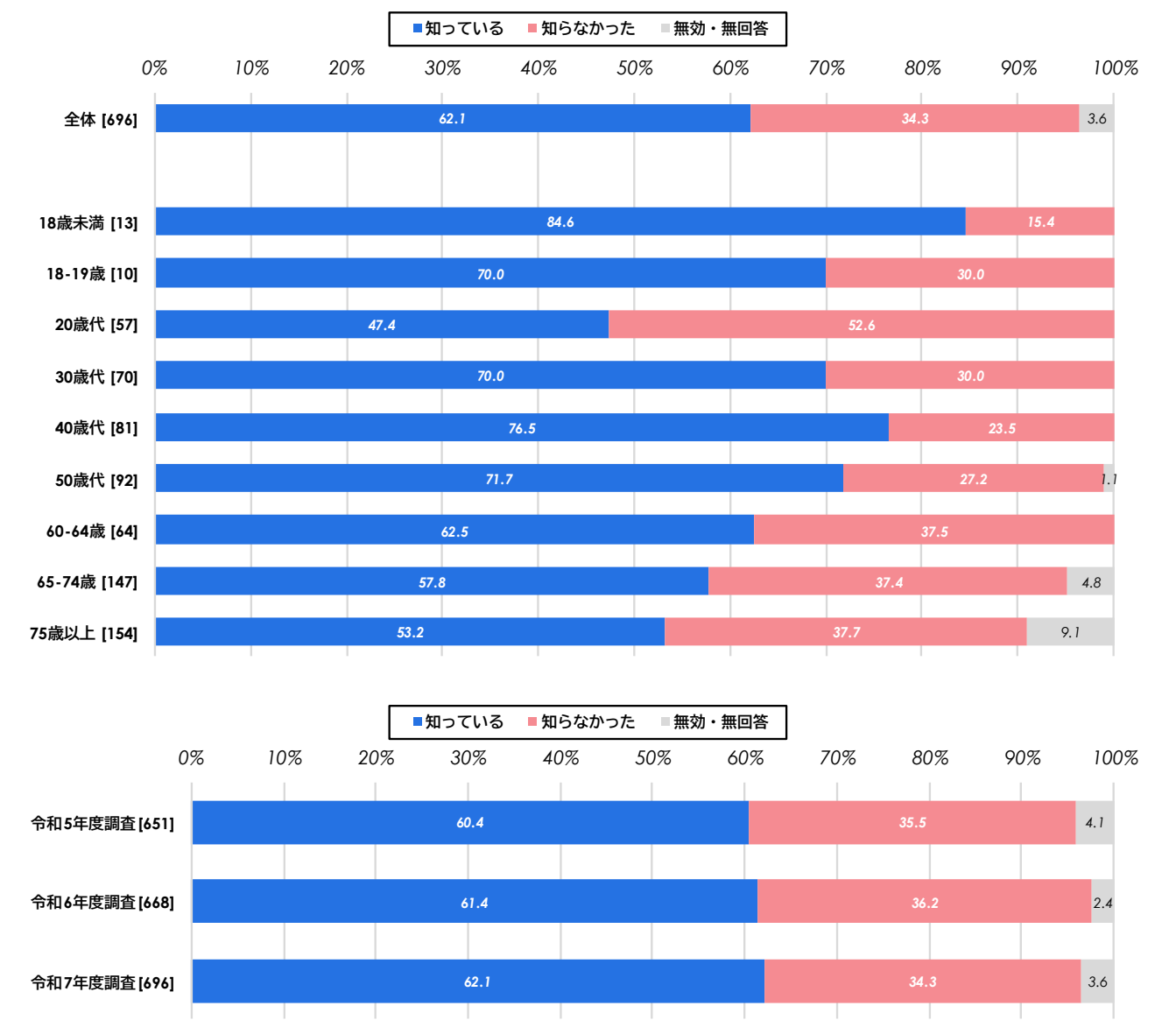
- 全体では「知っていた」割合は40.7%となった。
- 年齢別にみると、30～40歳代では比較的認知度が高く、50%を上回っている。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を上回っている。



注：令和6年度「0～2歳児の保育料を半額にする減免制度の創設（子育て世帯の経済的負担軽減）」、令和7年度「3～5歳児の保育料無償化、0～2歳児の保育料を半額にする減免制度の創設（子育て世帯の経済的負担軽減）」

⑤保育所等における給食費（副食）及び小中学校の給食費無償化（子育て世帯の経済的負担軽減）

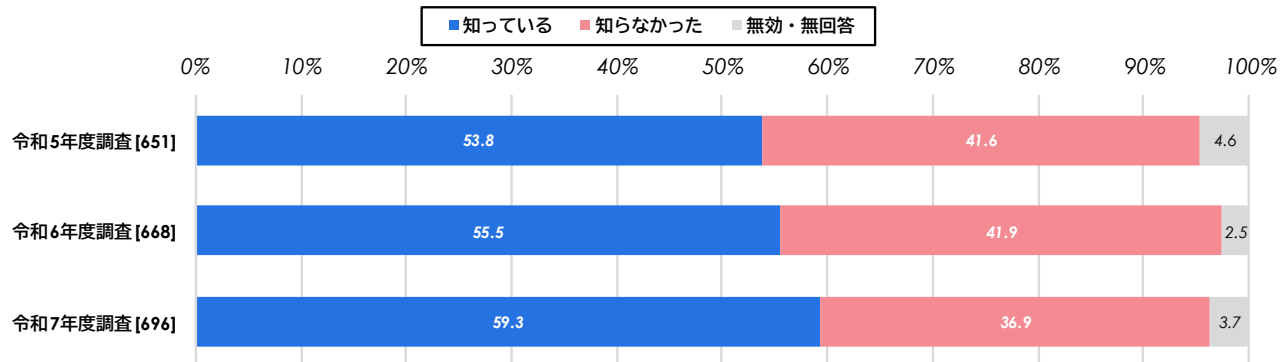
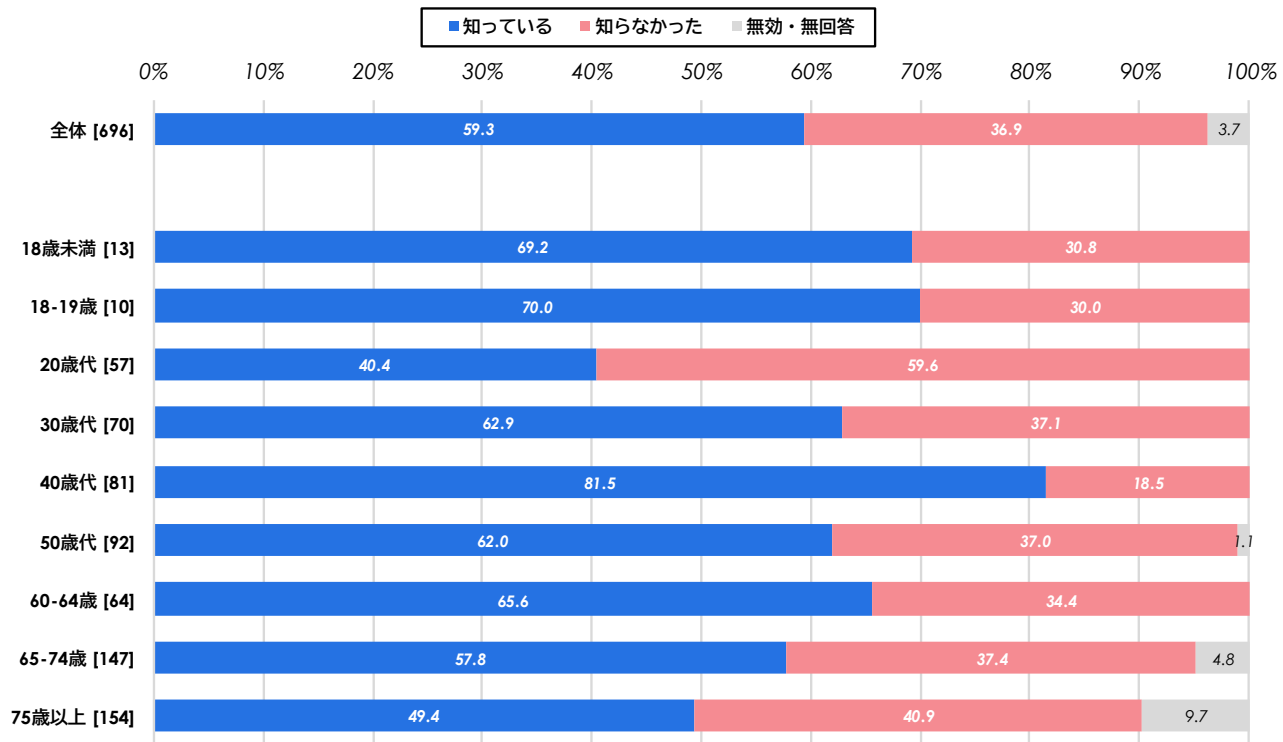
- 全体では「知っていた」割合は40.7%となった。
- 年齢別にみると、20歳代の認知度の低さが目立っている。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を上回っている。



注：令和5～6年度「保育所等における給食費（副食）及び第3子目以降の保育料無償化、小中学校の給食費無償化（子育て世帯の経済的負担軽減）」、令和7年度「保育所等における給食費（副食）及び小中学校の給食費無償化（子育て世帯の経済的負担軽減）」

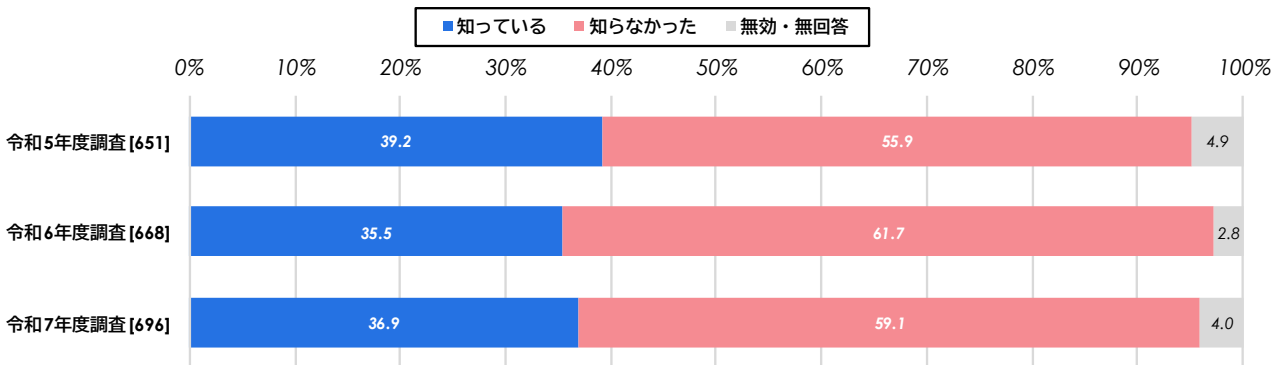
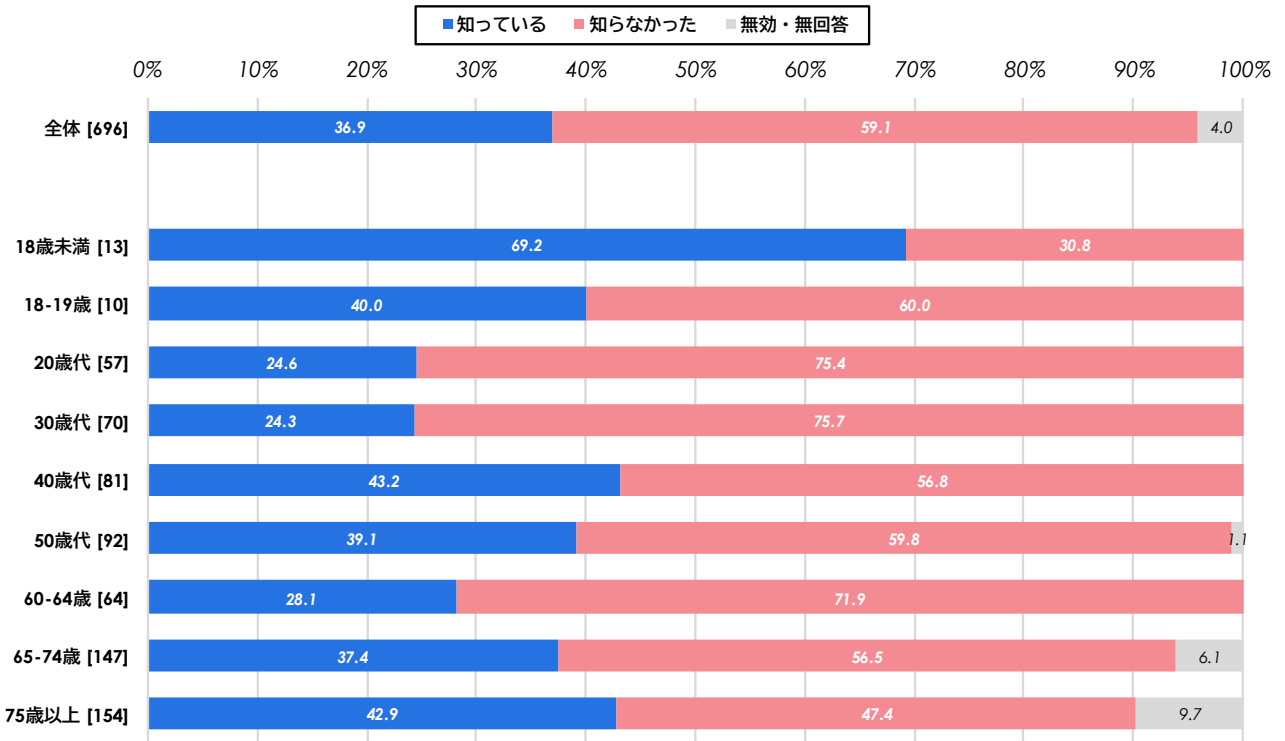
⑥子ども医療費給付の拡充（18歳以下の高校生までの子ども医療費の無償化）

- 全体では「知っていた」割合は59.3%となった。
- 年齢別にみると、20歳代の認知度の低さが目立っている。
- 経年変化をみると、認知度は上昇傾向にある。



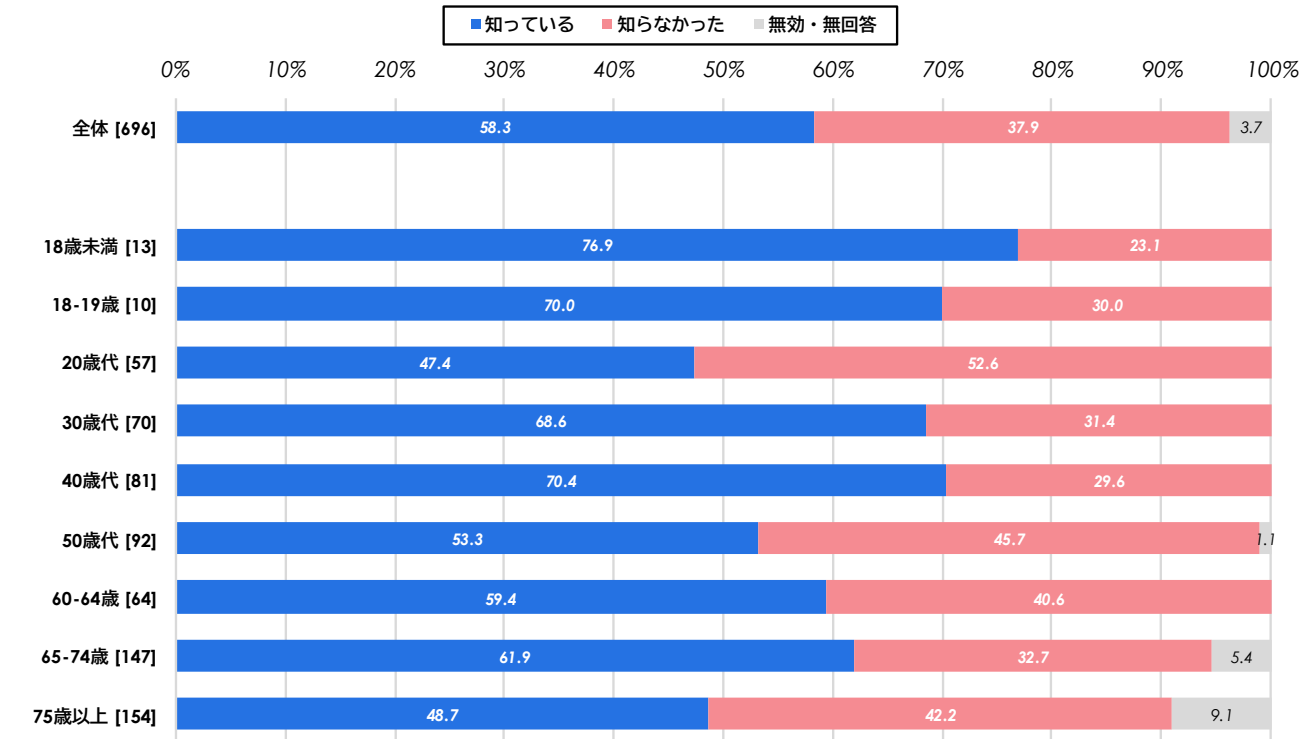
⑦人材確保対策（保育士・幼稚園教諭として働くことを希望する学生等への月々の修学資金の貸付）

- 全体では「知っていた」割合は36.9%となった。
- 年齢別にみると、18歳未満の認知度が高く、69.2%となっている。
- 経年変化をみると、認知度は横ばい傾向にある。



⑧屋内遊戯施設わんぱーくの無料開放（子育て世帯の経済的負担軽減）

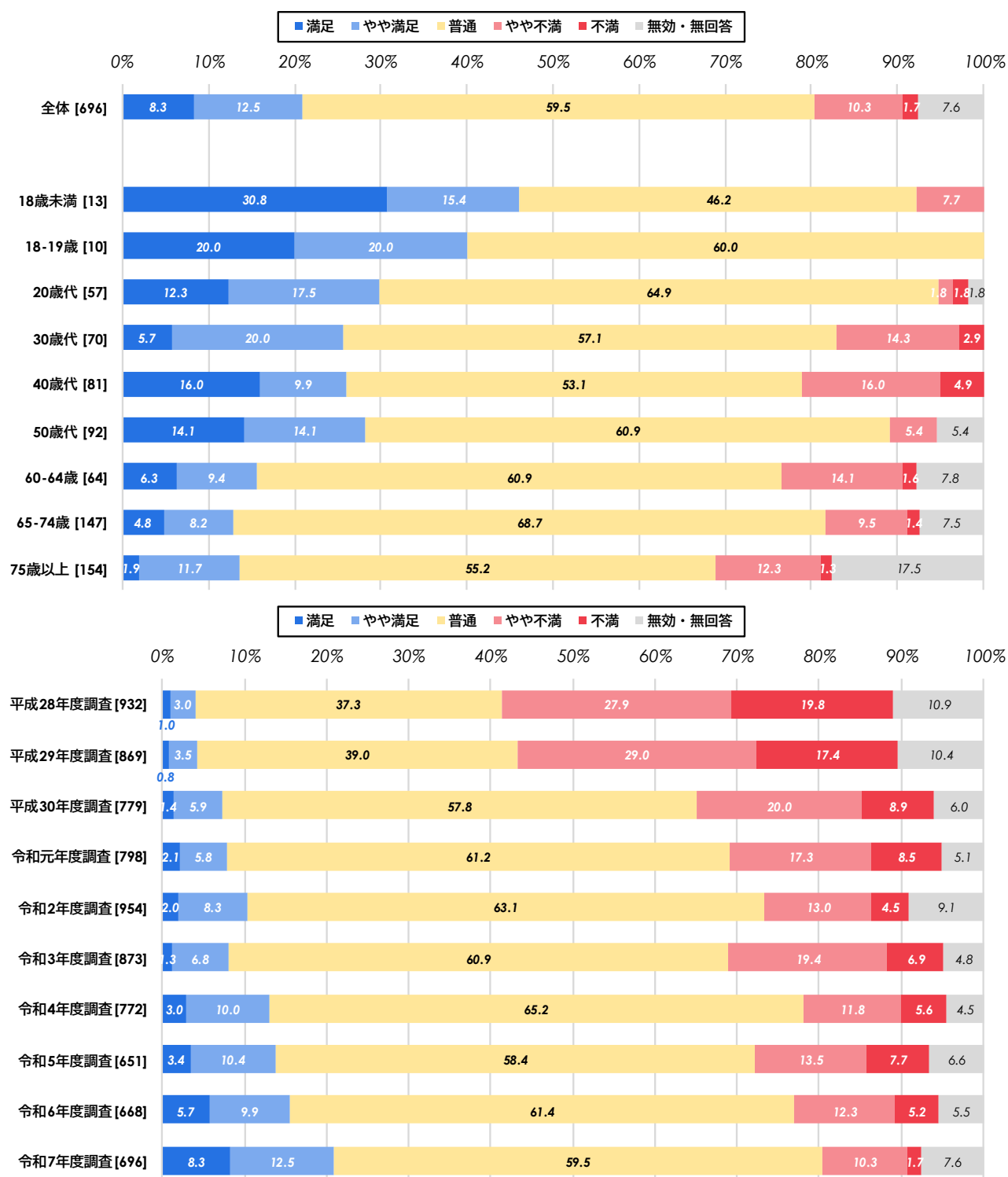
- 今年度より新たに追加された設問である。
- 全体では「知っていた」割合は58.3%となった。



(2) 少子化・子育て支援に対する満足度

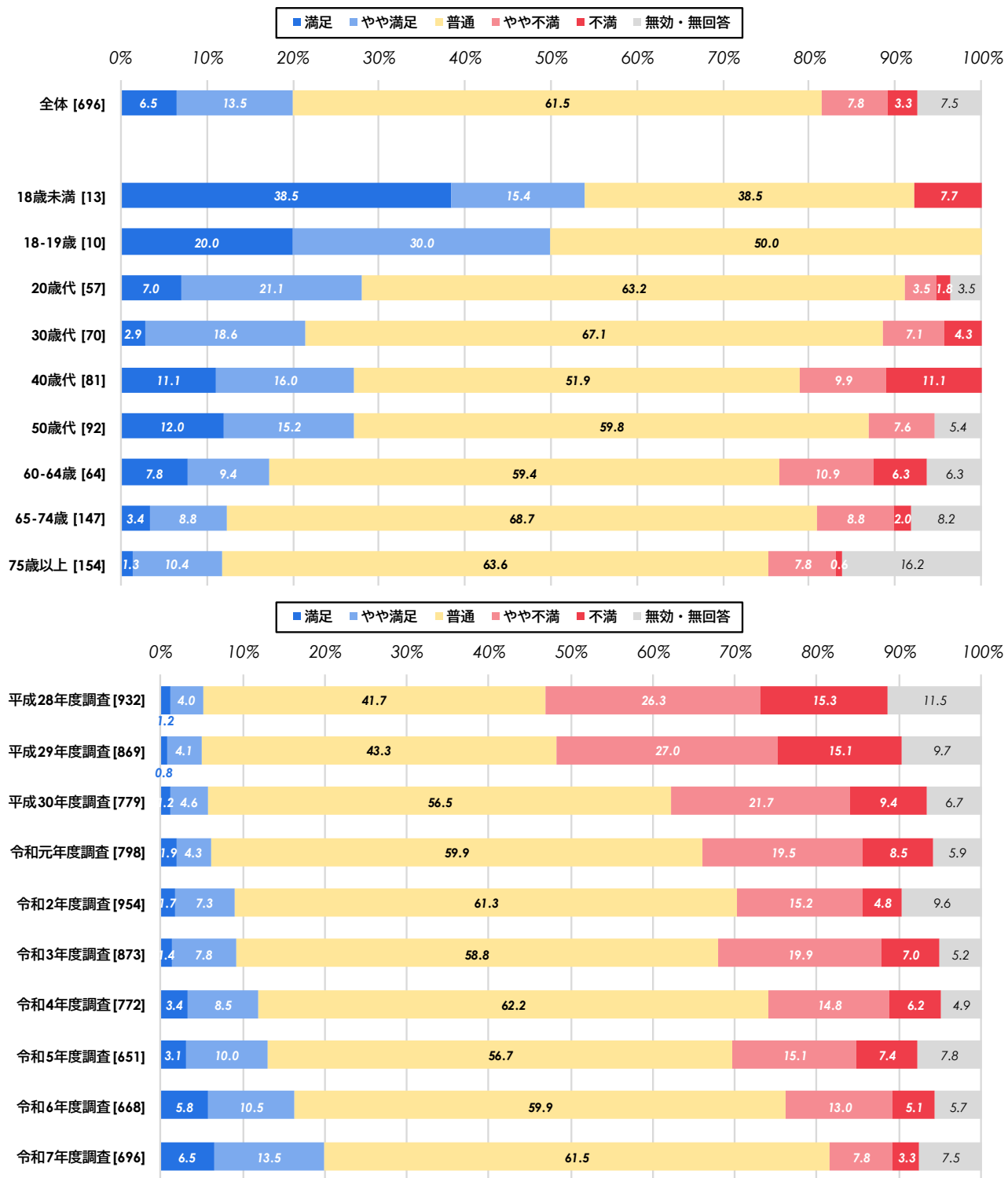
①乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

- 乳幼児や子どものための福祉施設に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、20.8%となっている。
- 年齢別にみると、若年層ほど満足度は高い傾向がみられる。
- 経年変化をみると、満足度は上昇傾向にある。



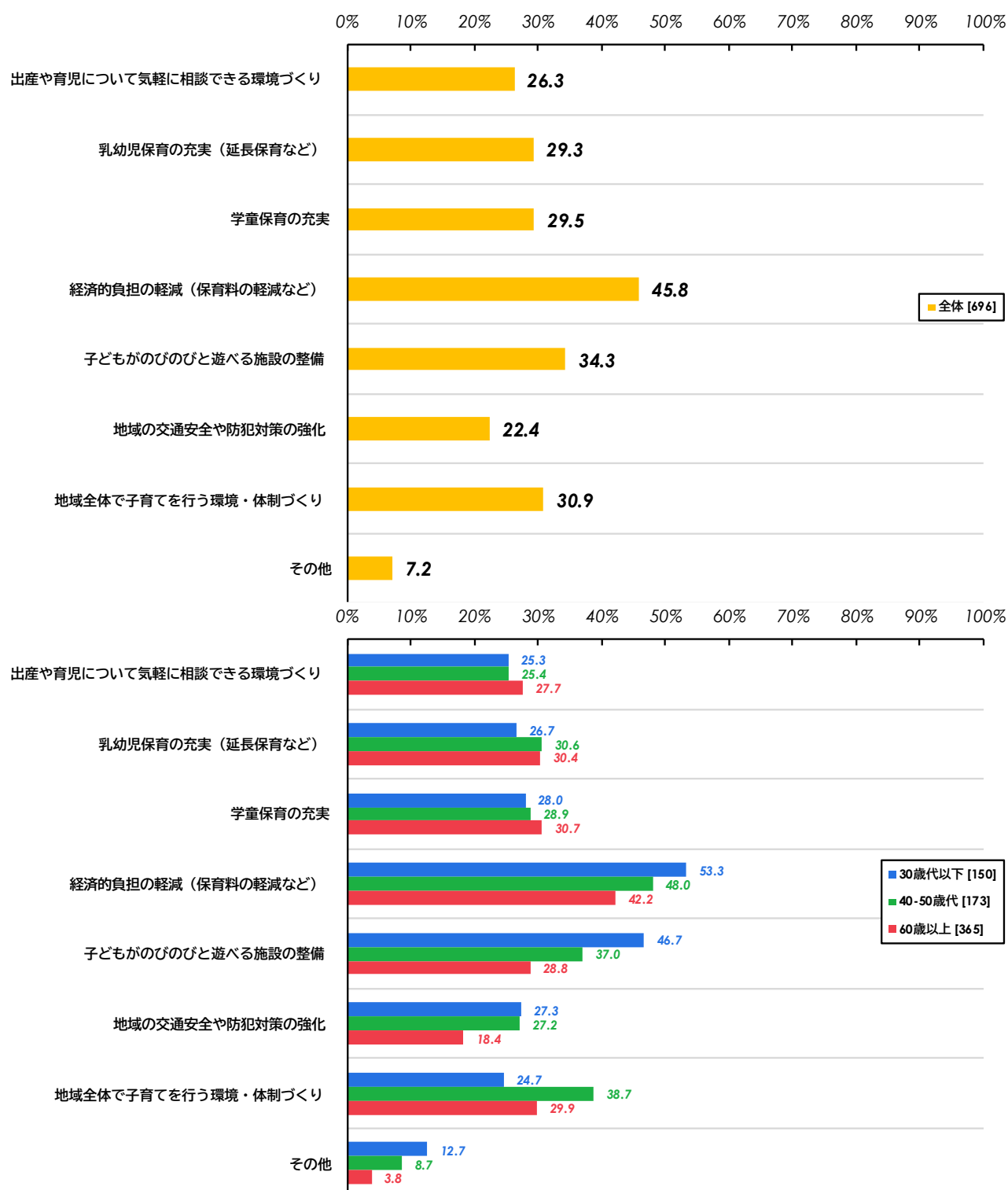
②子育てのための環境や支援に対する満足度

- 子育てのための環境や支援に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、20.0%となっている。
- 年齢別にみると、若年層ほど満足度は高い傾向がみられる。
- 経年変化をみると、満足度は上昇傾向にある。



(7) 少子化・子育て支援策について

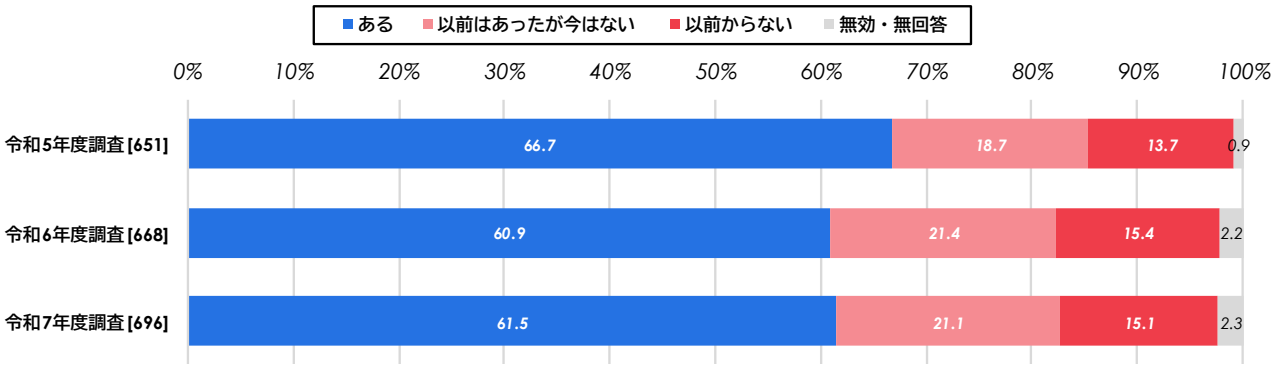
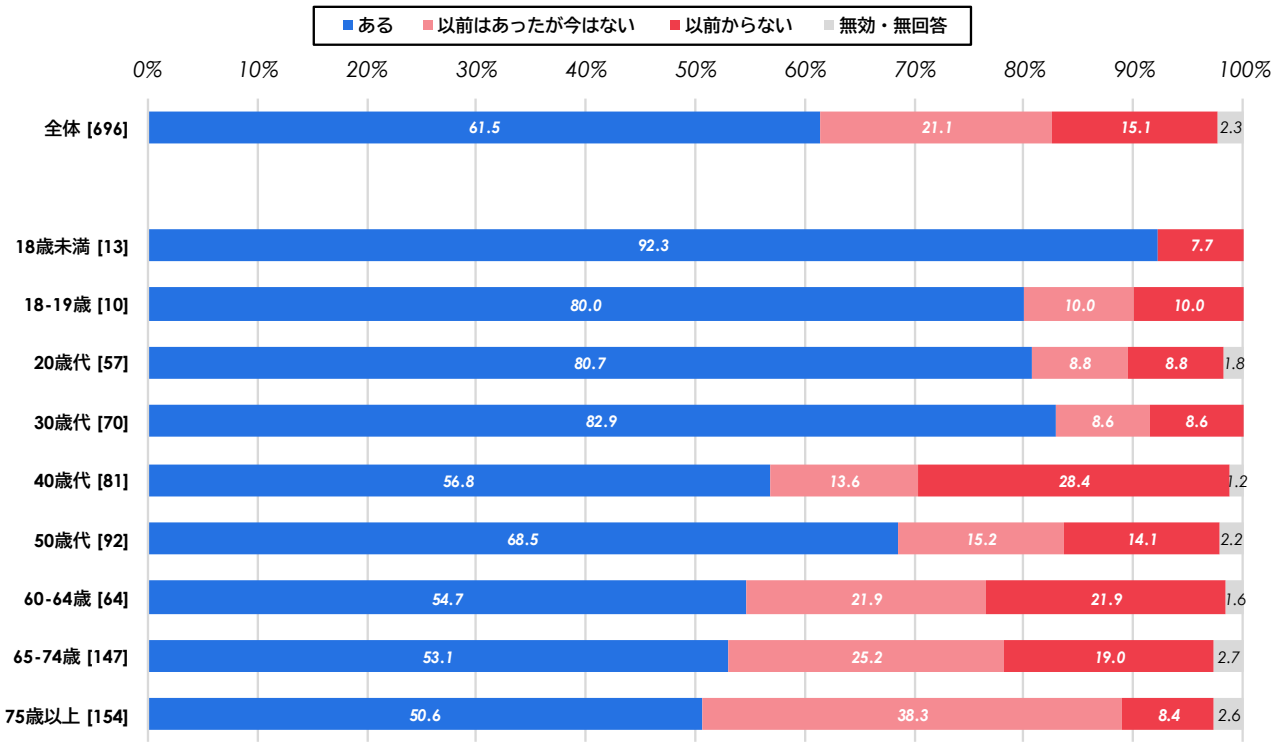
- 根室市の少子化・子育て支援に関して、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「経済的負担の軽減」が45.8%で最も高く、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」と続いた。
- 年齢別にみると、「経済的負担の軽減」「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」は若年層で高い。



3.7 高齢者支援について

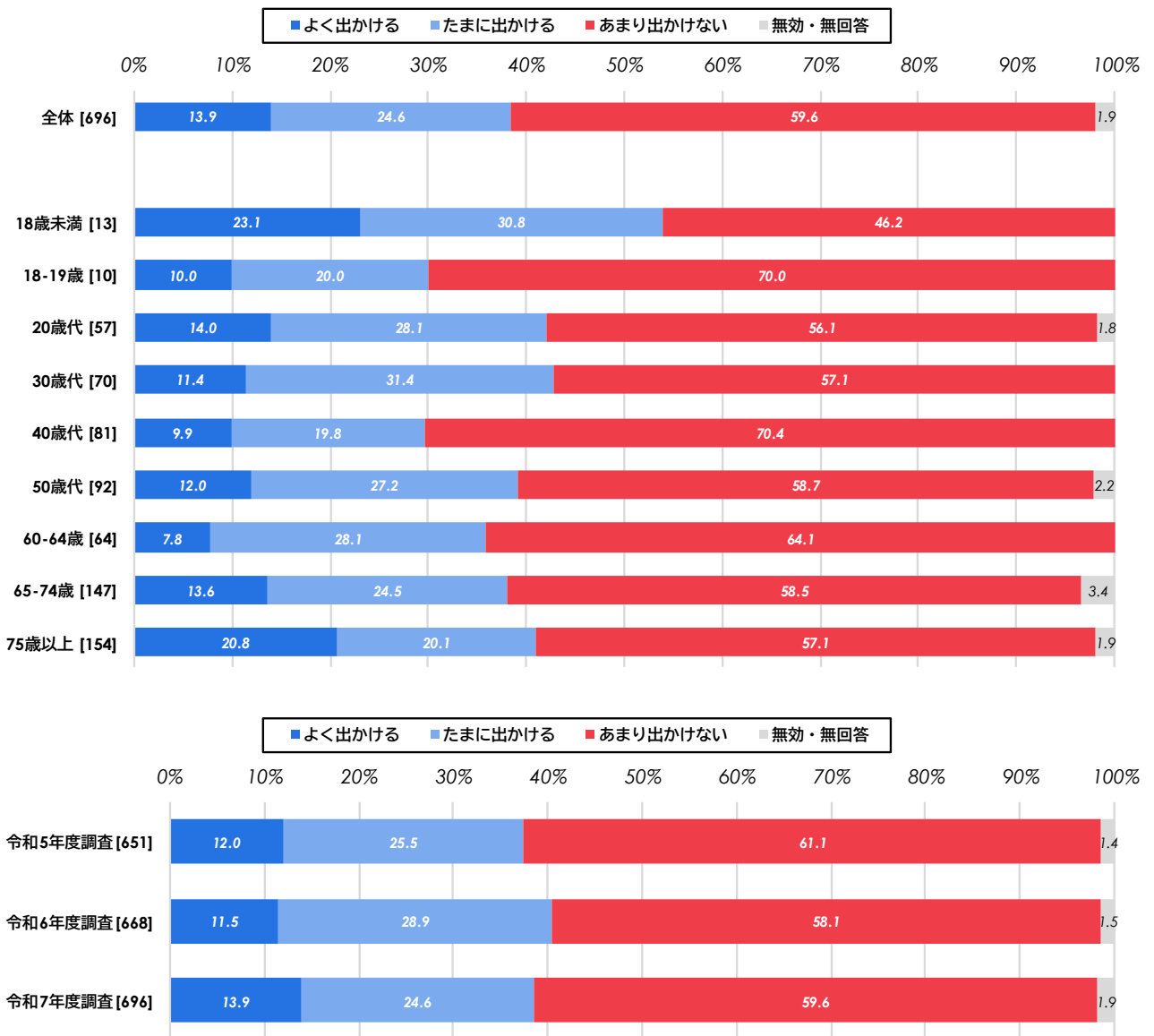
(1) 趣味・楽しみ、生きがいの有無

- 趣味・楽しみ、生きがいが「ある」とした割合は、全年齢層で61.5%となった。
- 年齢別にみると、60歳以上の高齢層では「ある」割合が低い傾向にある。
- 経年変化をみると、「ある」割合は昨年度から横ばいとなっている。



(2) 町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

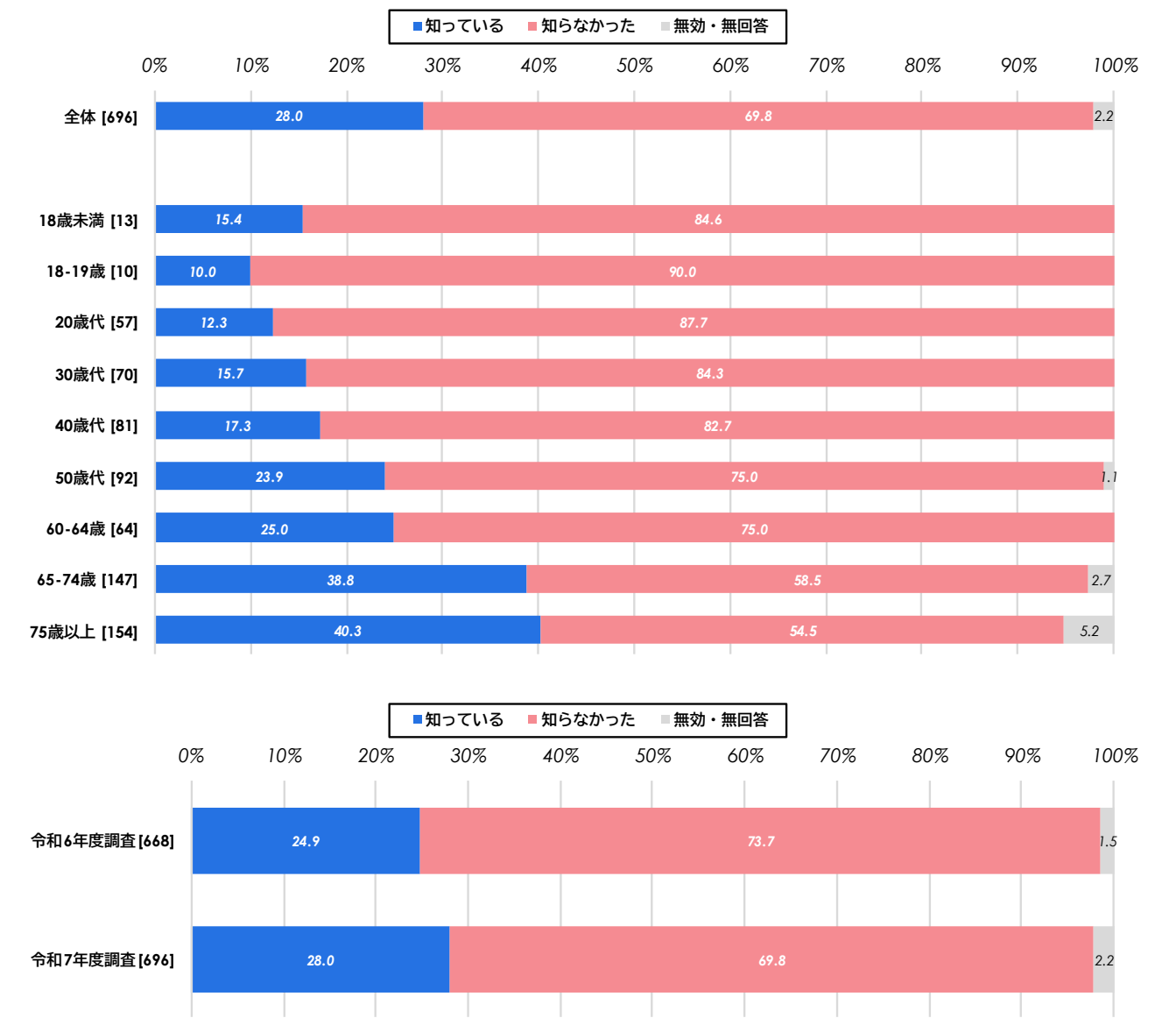
- 町内会の行事、サークル、地域イベント等に「よく出かける」割合は、全年齢層で13.9%となった。
- 経年変化をみると、「よく出かける」割合は横ばい傾向にある。



(3) 施策に対する認知度

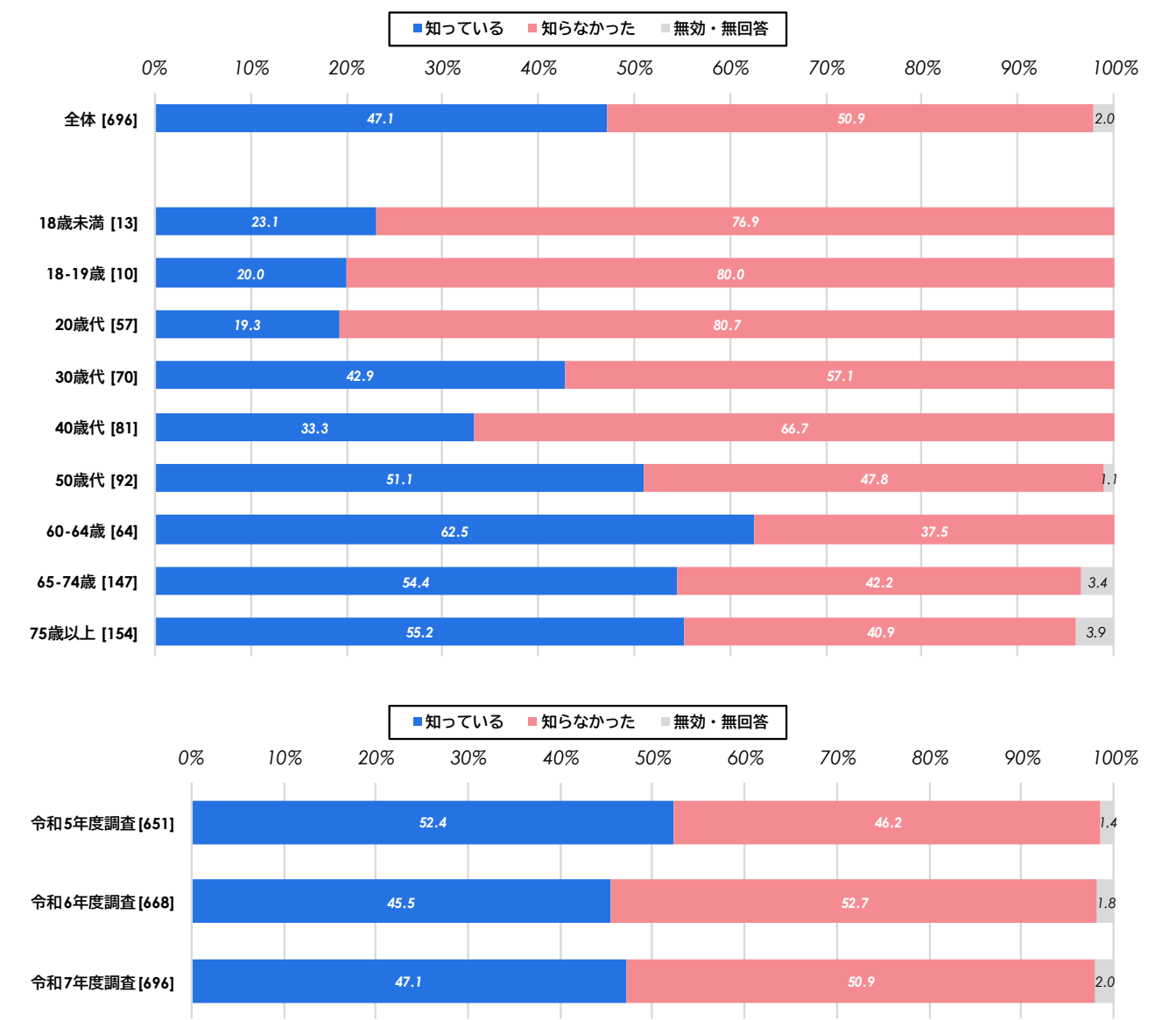
①老人福祉センターの整備に向けた基本計画・設計の着手（老朽化した老人福祉センターの建替え）

- 全体では「知っていた」割合は28.0%となった。
- 年齢別にみると、施策の対象者層である高齢層で認知度が高くなっている。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を上回っている。



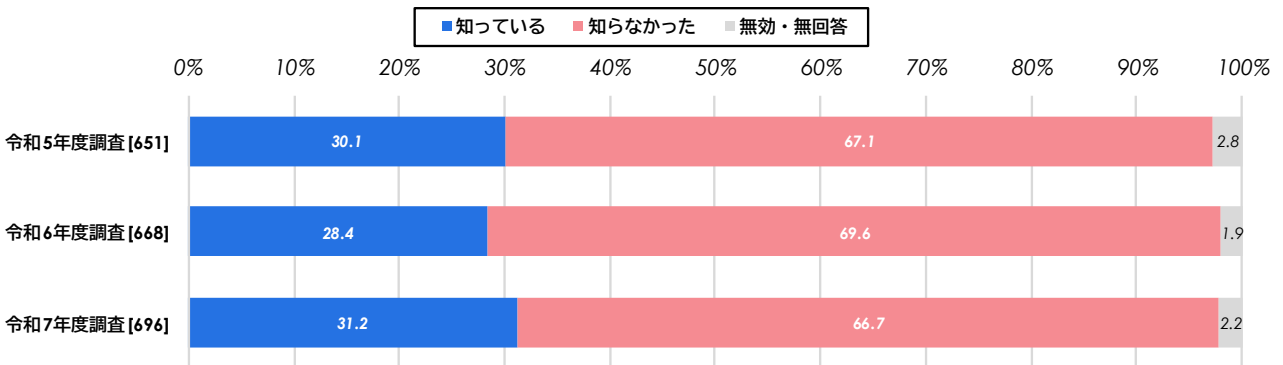
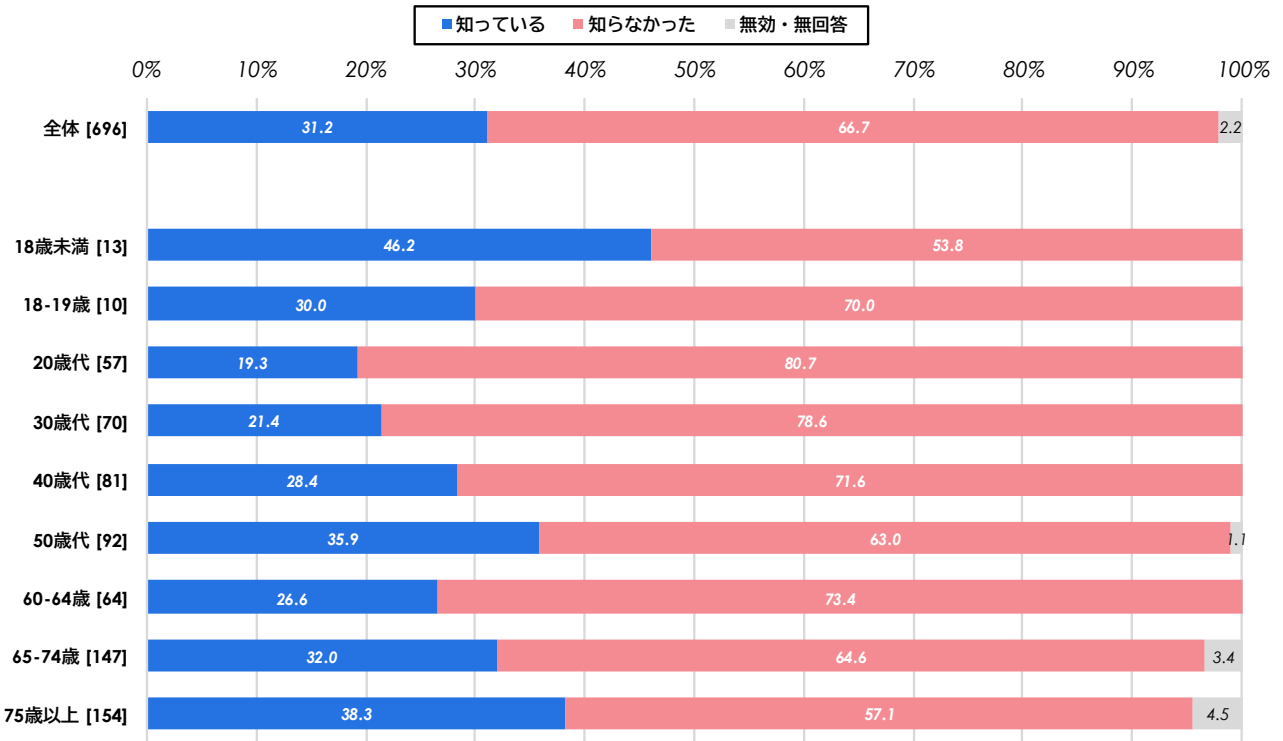
②高齢者見守りボランティア（町会やボランティアによる高齢者世帯の安否確認や声掛け活動）

- 全体では「知っていた」割合は47.1%となった。
- 年齢別にみると、50歳代以上では認知度が50%を上回っている。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度をやや上回っている。



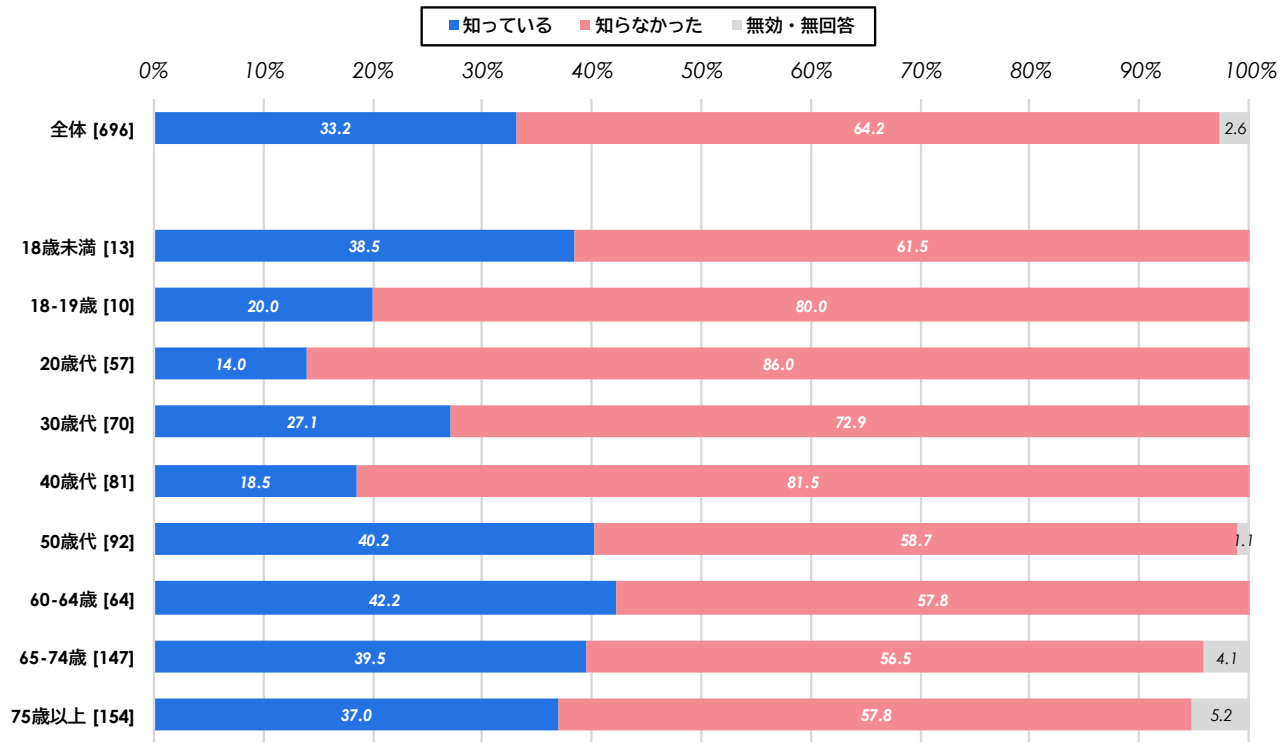
③人材確保対策（介護職員資格取得費用に対する助成、介護従事者として働くことを希望する学生への月々の修学資金の貸付）

- 全体では「知っていた」割合は31.2%となった。
- 年齢別にみると、20～30歳代で認知度が低くなっている。
- 経年変化をみると、認知度は横ばい傾向にある。



④要介護者支援（精神的・経済的負担の軽減支援として、要介護4又は5と認定された高齢者を介護する家族に対する介護用品の給付）

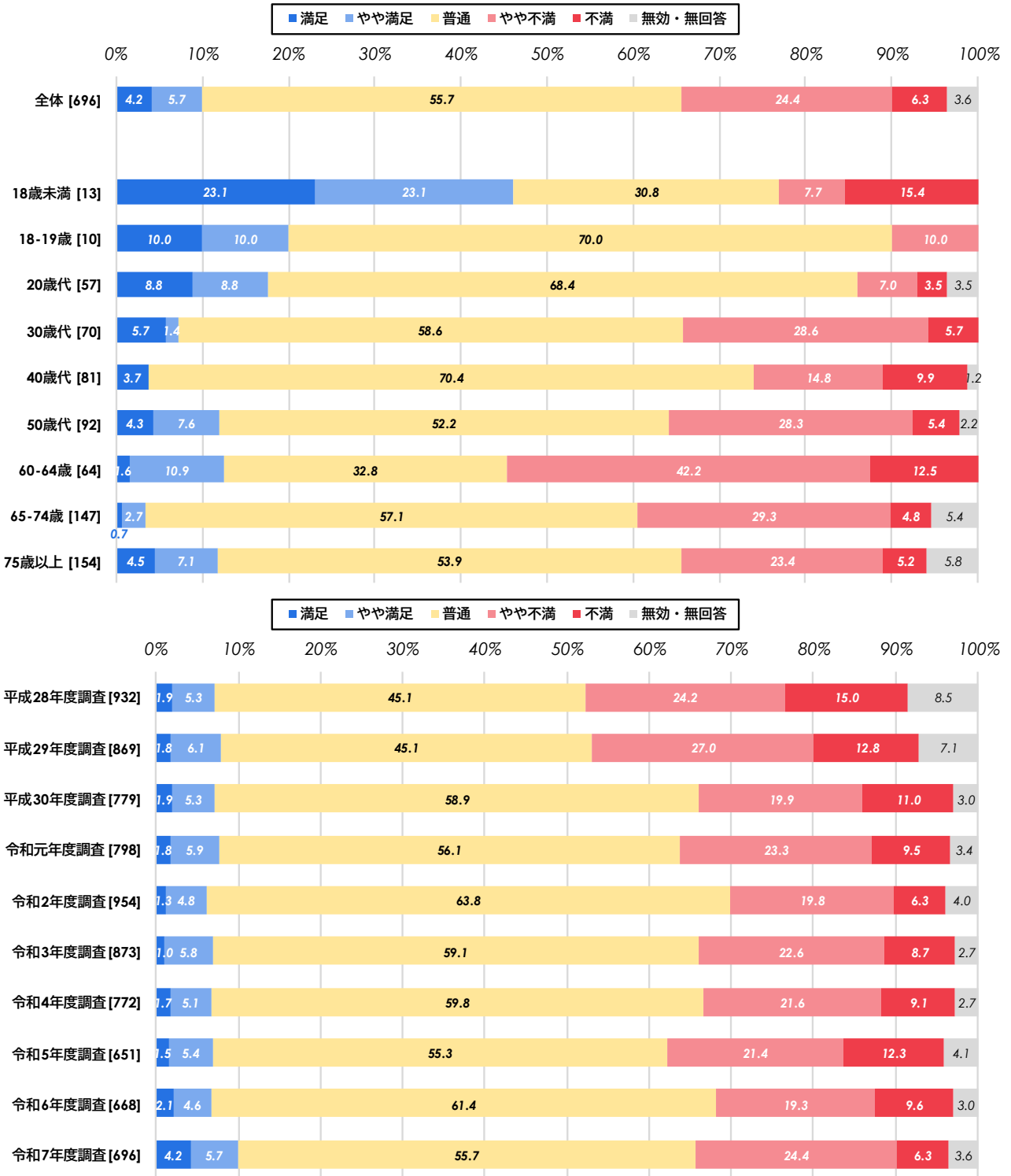
- ・ 今年度より新たに追加された設問である。
- ・ 全体では「知っていた」割合は33.2%となった。
- ・ 年齢別にみると、50歳代以上の認知度は比較的高くなっている。



(4) 高齢者支援に対する満足度

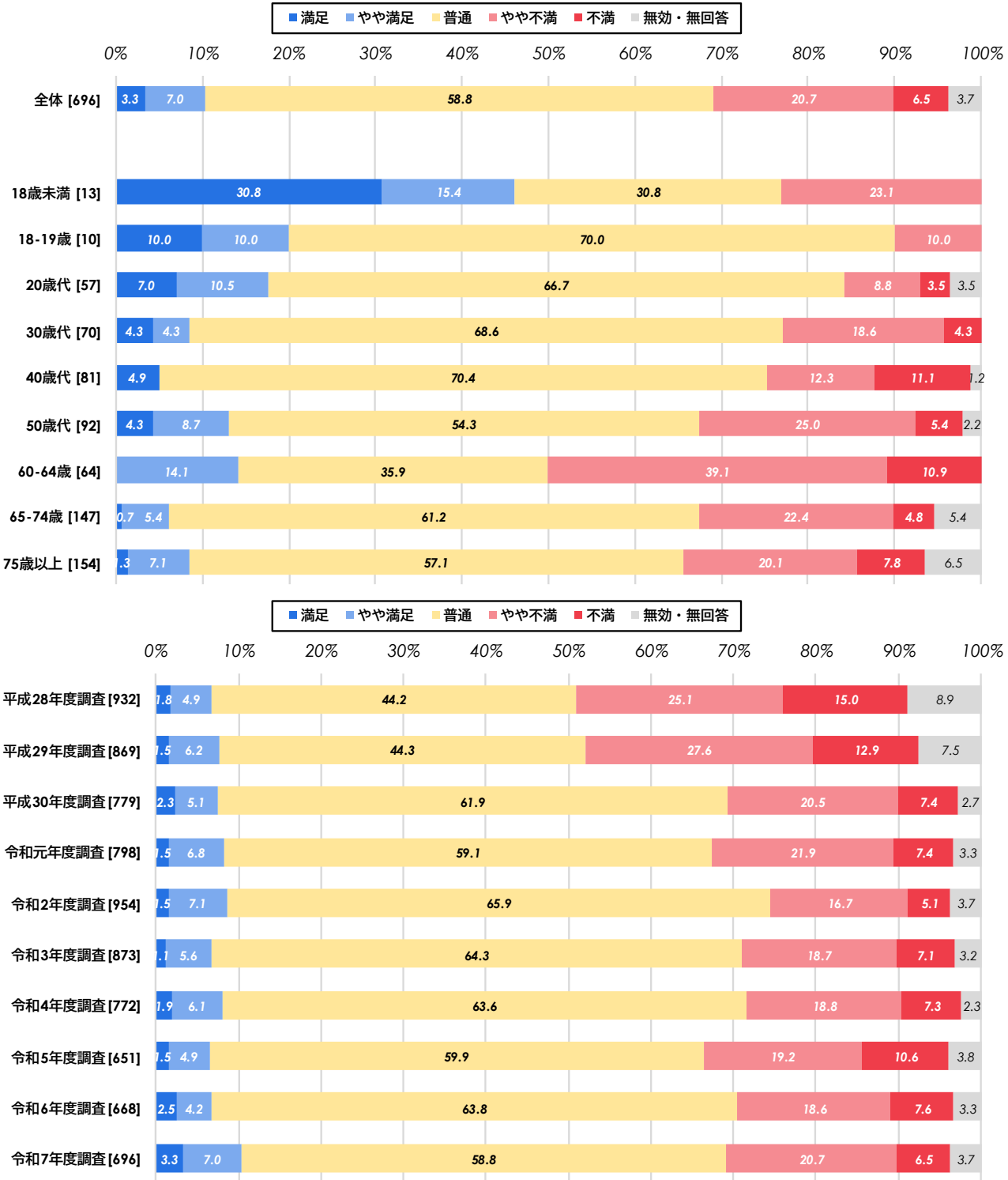
①高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

- 高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、9.9%となっている。
- 年齢別にみると、60-64歳では「やや不満」と「不満」の合計が50%を超えているなど、高齢層の満足度は全体に比べて低い。
- 経年変化をみると、満足度は横ばい傾向にある。



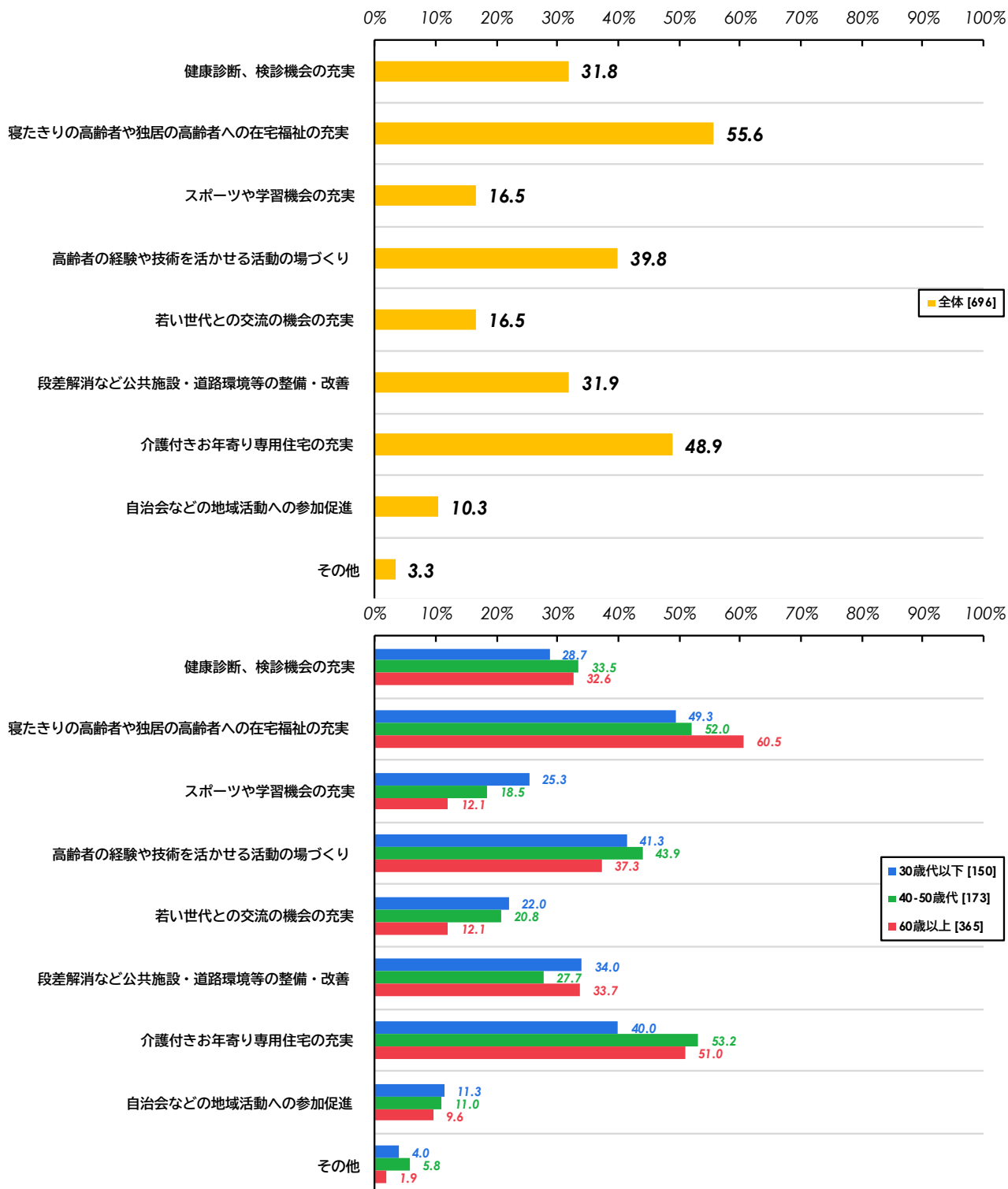
②高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度

- ・ 高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、10.3%となっている。
- ・ 年齢別にみると、60-64歳の満足度が全体と比較して低くなっている。
- ・ 経年変化をみると、満足度は横ばい傾向にある。



(5) 高齢者にとって重要と思う施策について

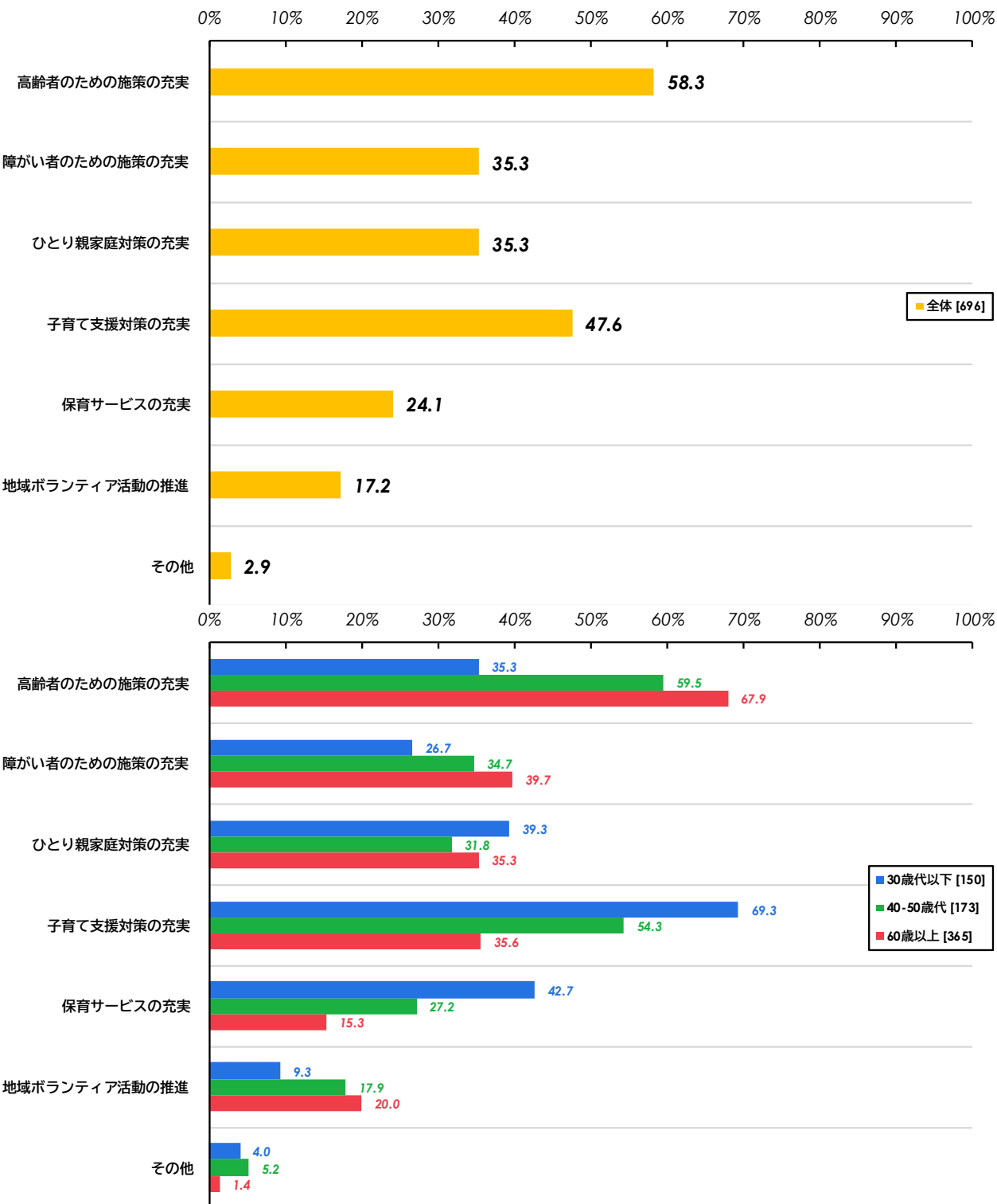
- 今後の高齢化に向けた支援施策として、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「寝たきりの高齢者や独居の高齢者への在宅福祉の充実」が55.6%で最も高く、「介護付きお年寄り専用住宅の充実」「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」と続いた。
- 年齢別にみると、「寝たきりの高齢者や独居の高齢者への在宅福祉の充実」は高齢層で高い。



3.8 社会福祉全般について

(1) 社会福祉に関して重要と思う施策について

- 社会福祉に関して、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「高齢者のための施策の充実」が58.3%で最も高く、「子育て支援対策の充実」「障がい者のための施策の充実」「ひとり親家庭対策の充実」と続いた。
- 年齢別にみると、「子育て支援対策の充実」「保育サービスの充実」は若年層で高く、「高齢者のための施策の充実」「障がい者のための施策の充実」は高齢層で高い。

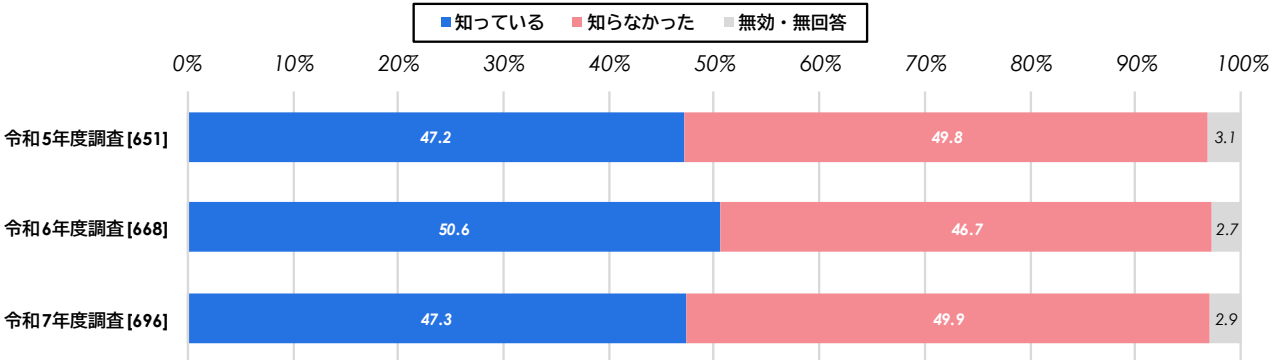
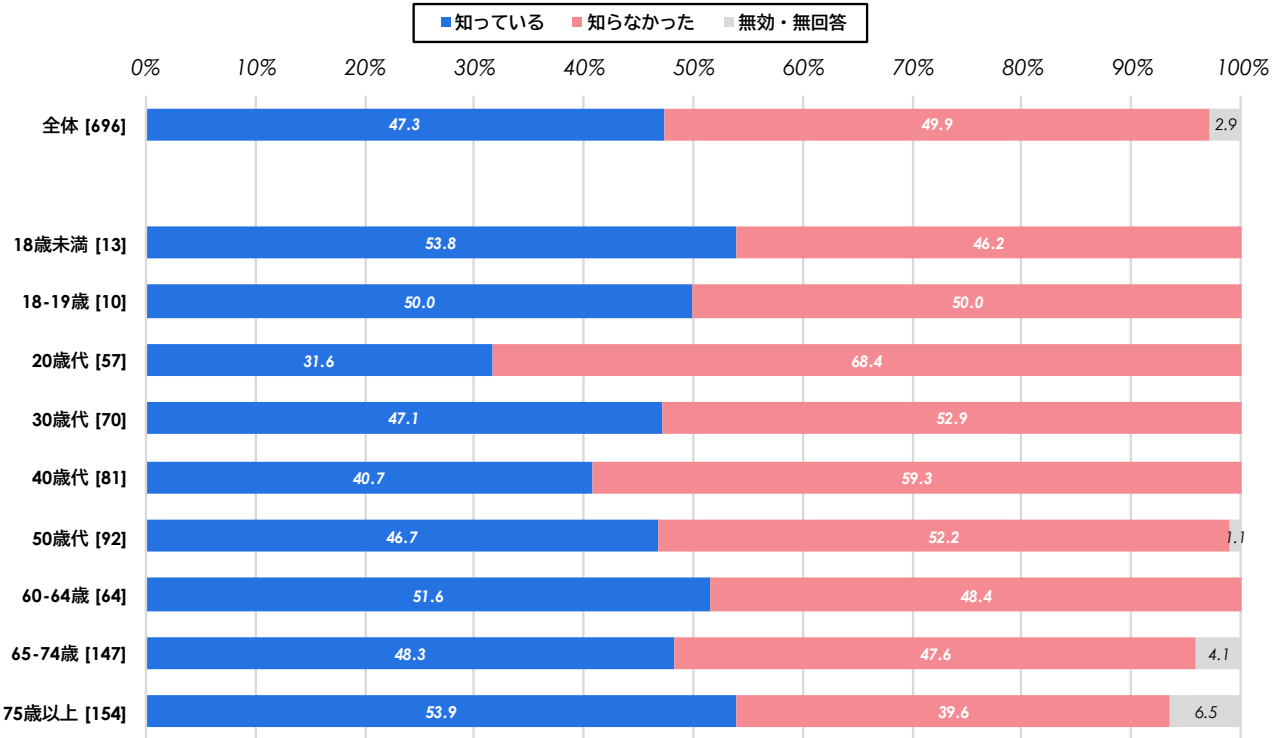


3.9 交通について

(1) 施策に対する認知度

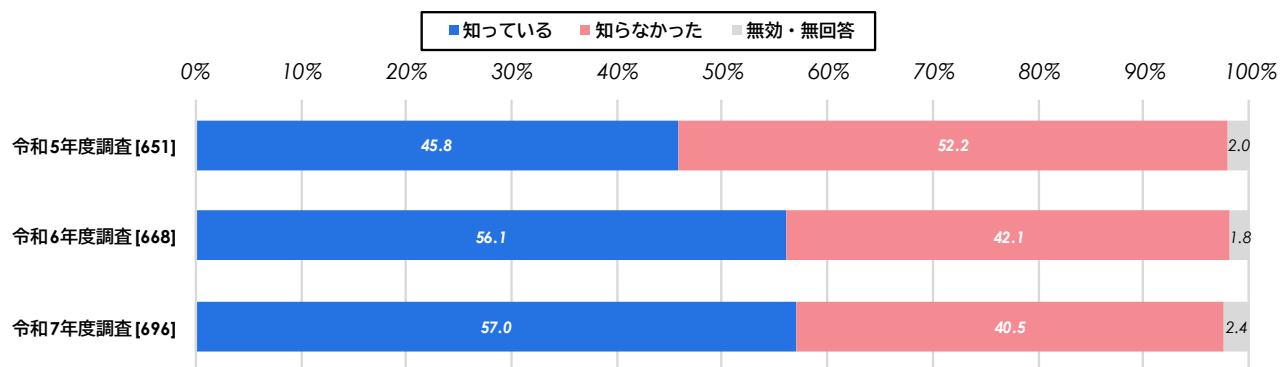
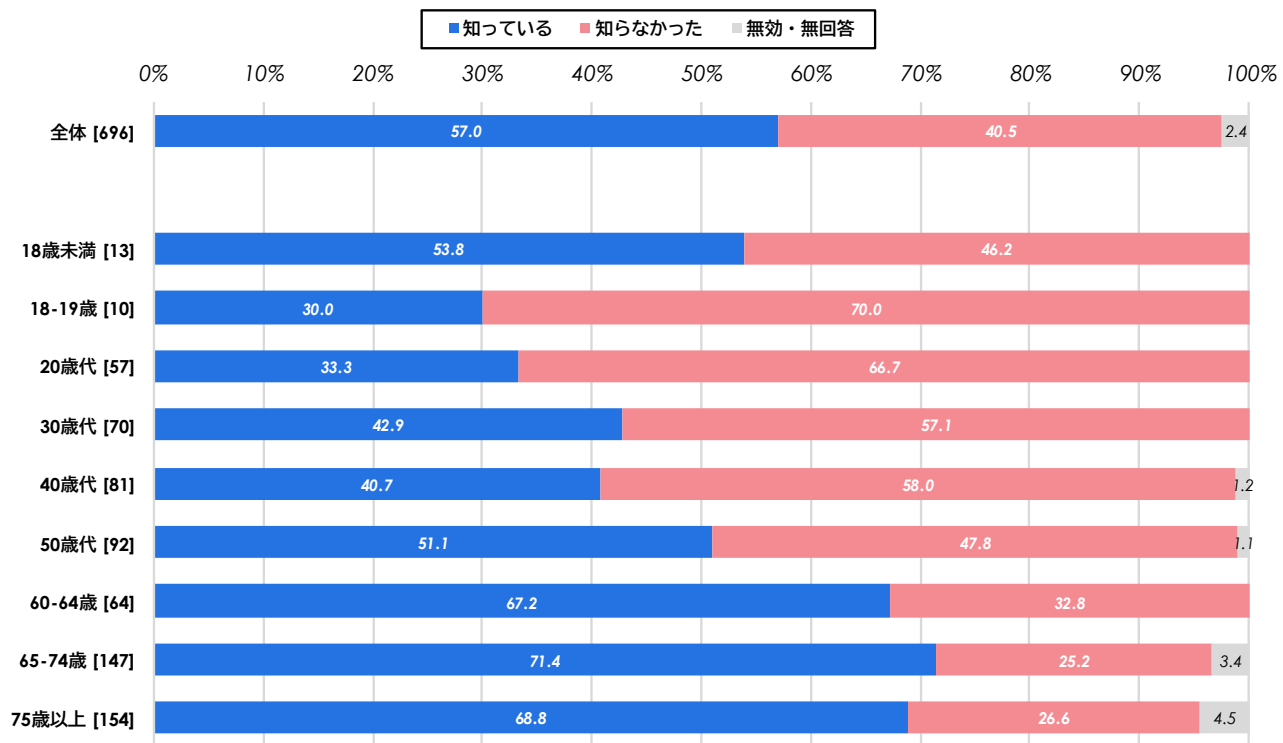
①JR花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み（花咲線存続に向けたブランド再構築や魅力の情報発信）

- 全体では「知っていた」割合は47.3%となった。
- 経年変化をみると、認知度は横ばい傾向にある。



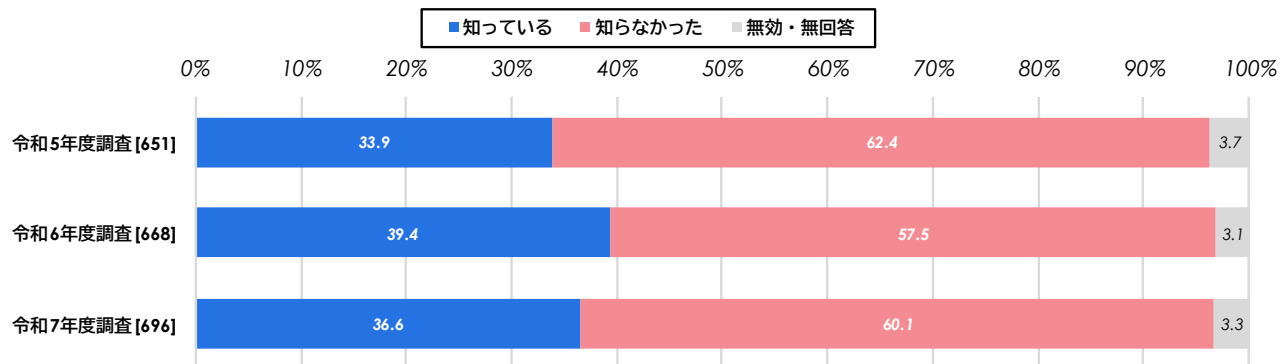
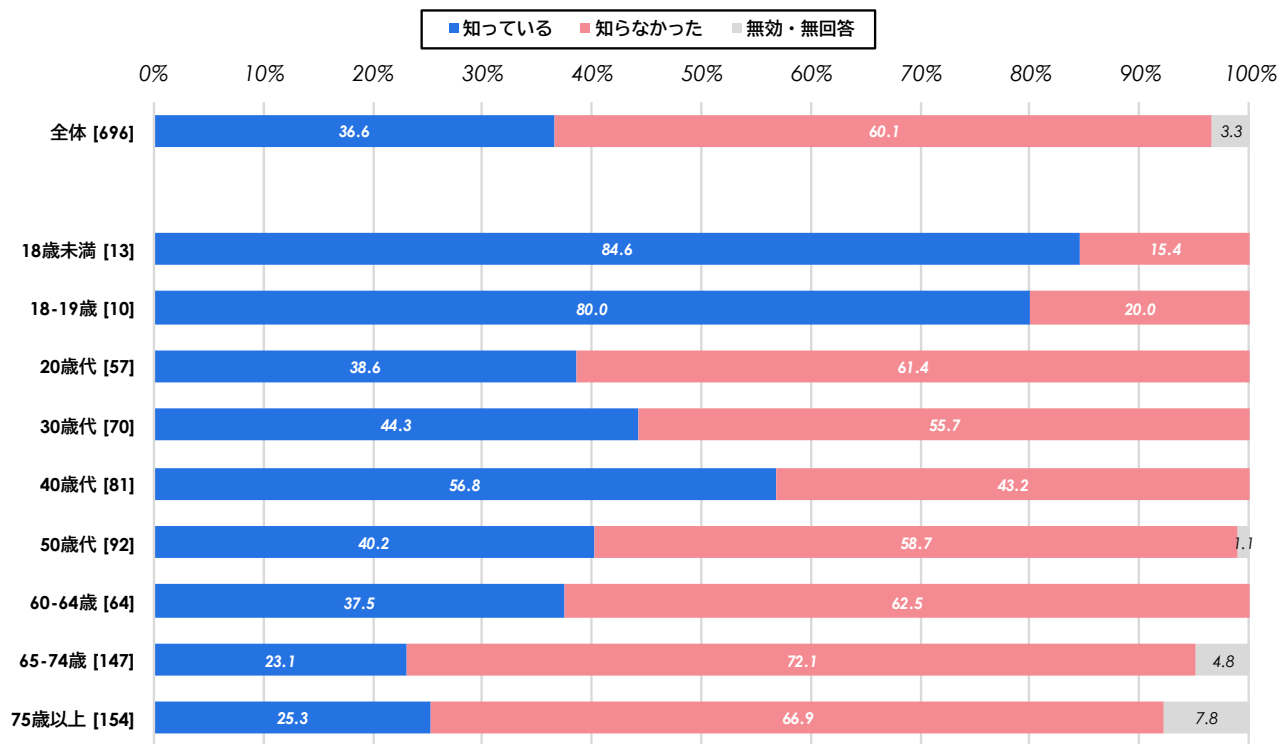
②市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、釧路線（根室市と釧路市を結ぶ都市間バス）への財政支援

- 全体では「知っていた」割合は57.0%となった。
- 年齢別にみると、18歳未満を除き、高齢層ほど認知度が高い傾向がみられる。
- 経年変化をみると、認知度は上昇傾向にある。



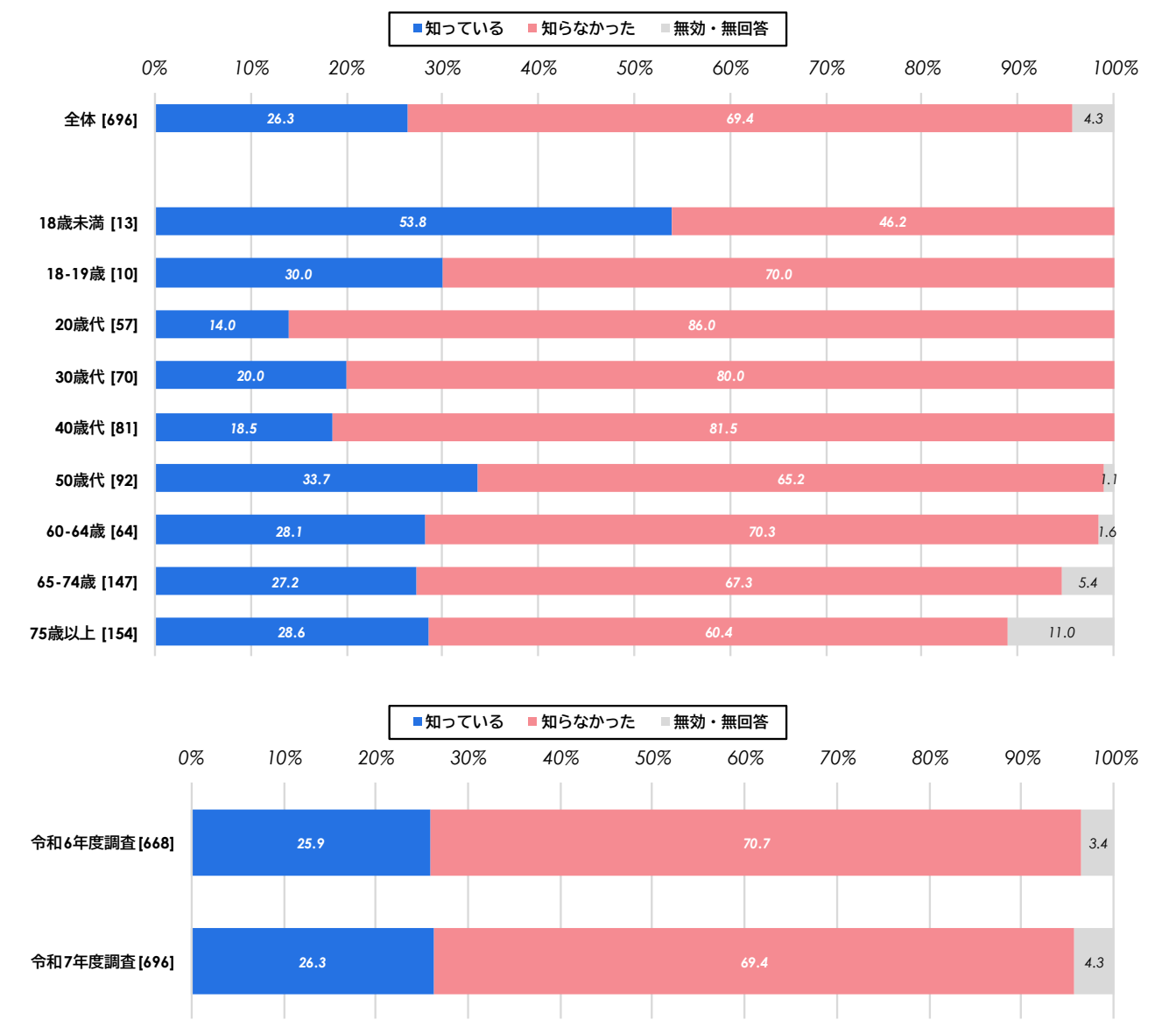
③18歳以下の市民について市内路線バス利用料を無償化する取組み

- 全体では「知っていた」割合は36.6%となった。
- 年齢別にみると、10代と、その保護者世代と考えられる40歳代の認知度が高い。
- 経年変化をみると、認知度は横ばい傾向にある。



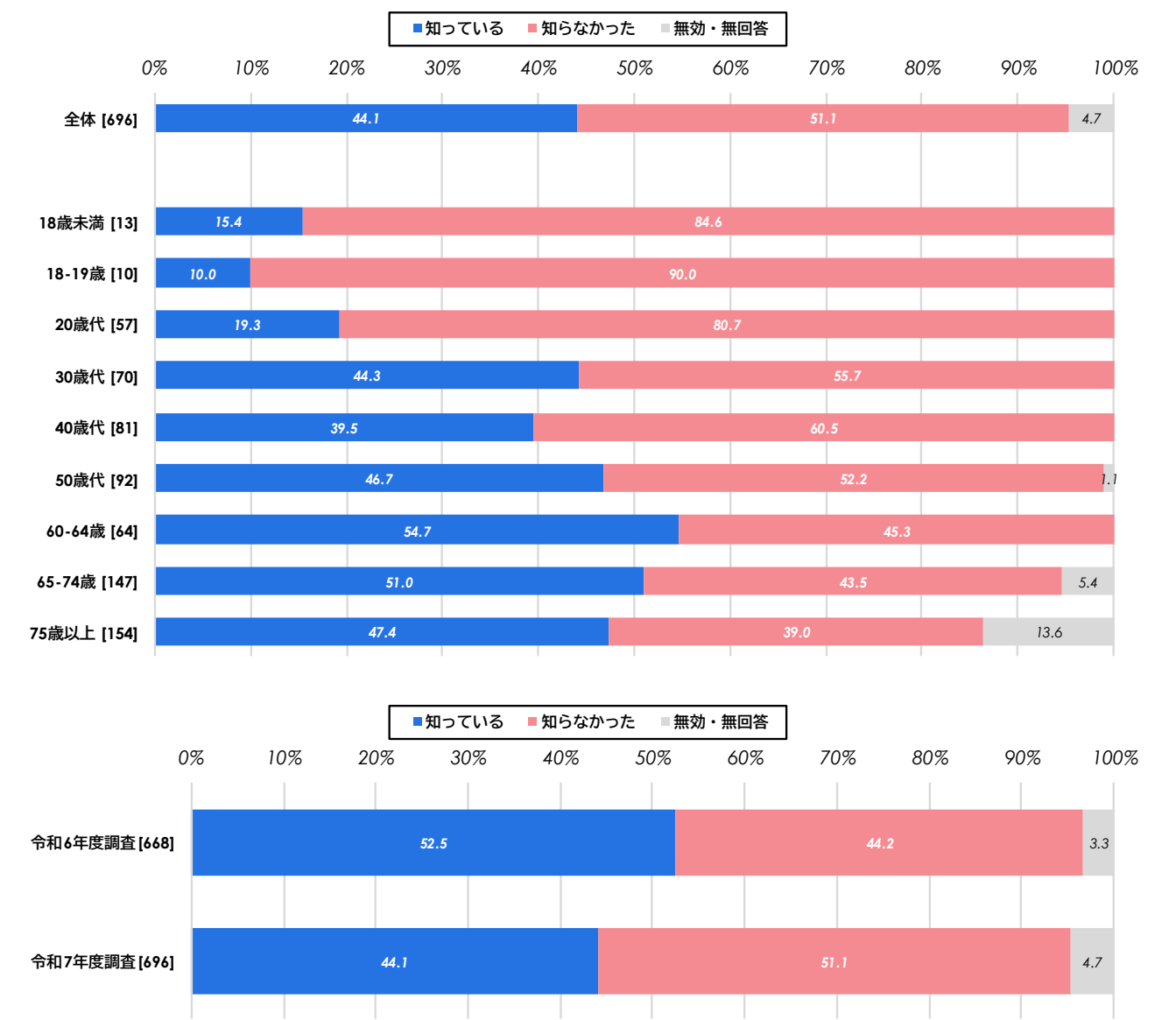
④路線バス「落石線（落石地区～根室市内）」の実証試験運行（落石地区の通院・通学の利便性向上のため実証試験）

- 全体では「知っていた」割合は26.3%となった。
- 年齢別にみると、10代と、50歳代以上で認知度が比較的高い。
- 経年変化をみると、認知度は横ばい傾向にある。



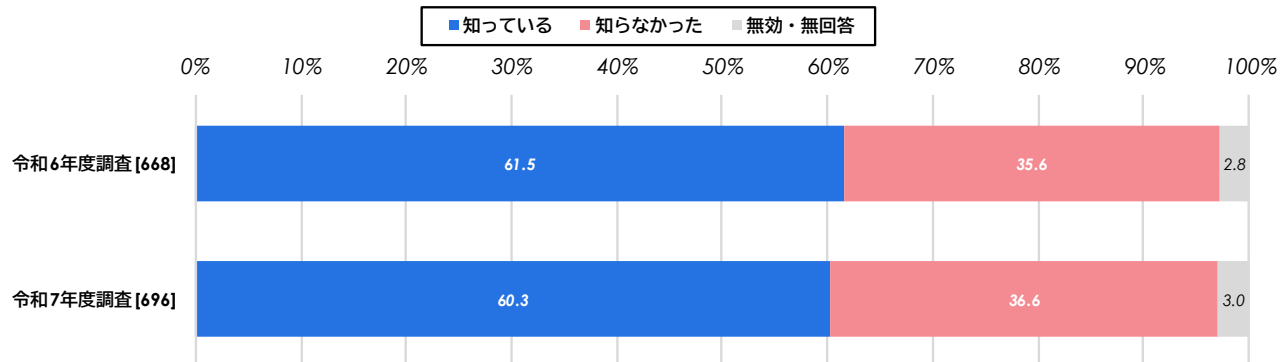
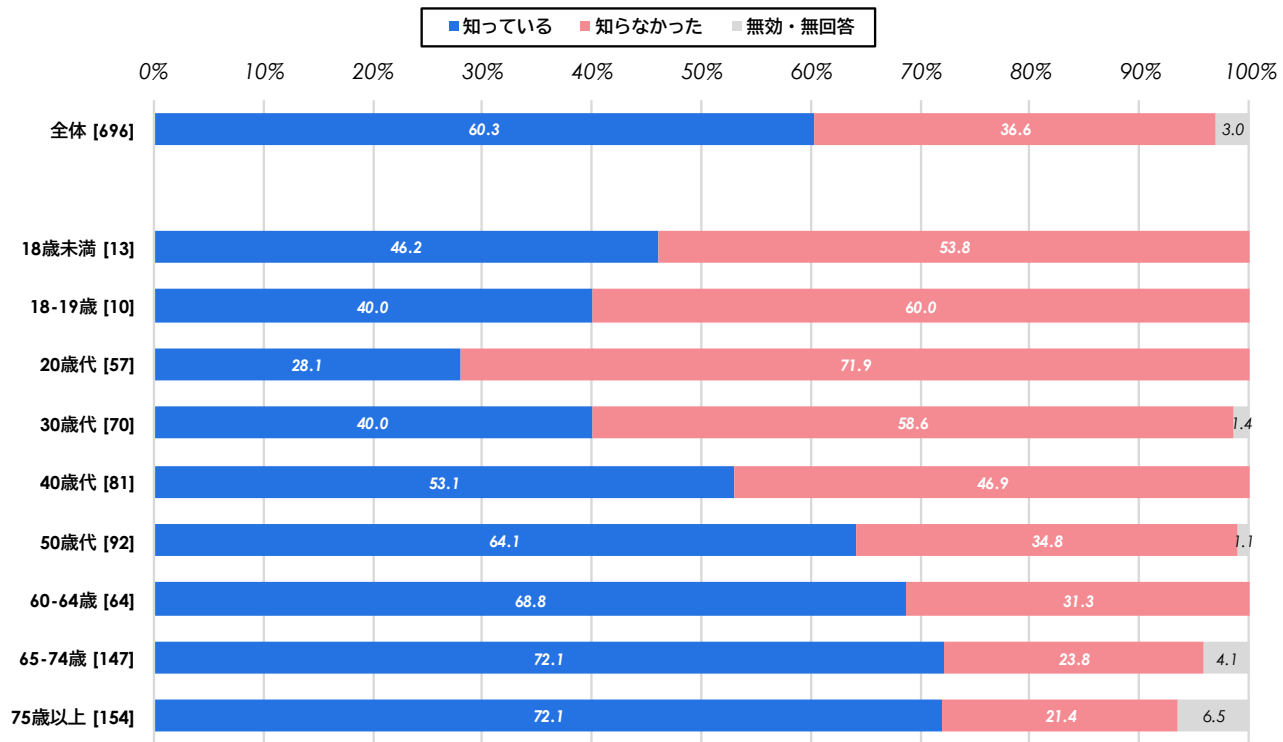
⑤予約運行型乗合交通の実証試験運行（公共交通不便地域の新たな交通手段としての実証試験）

- 全体では「知っていた」割合は44.1%となった。
- 年齢別にみると、20歳代以下の若年層の認知度が低くなっている。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を下回っている。



⑥70歳以上の市民に対する優待バス券若しくはJR券の交付（高齢者の外出機会の促進）

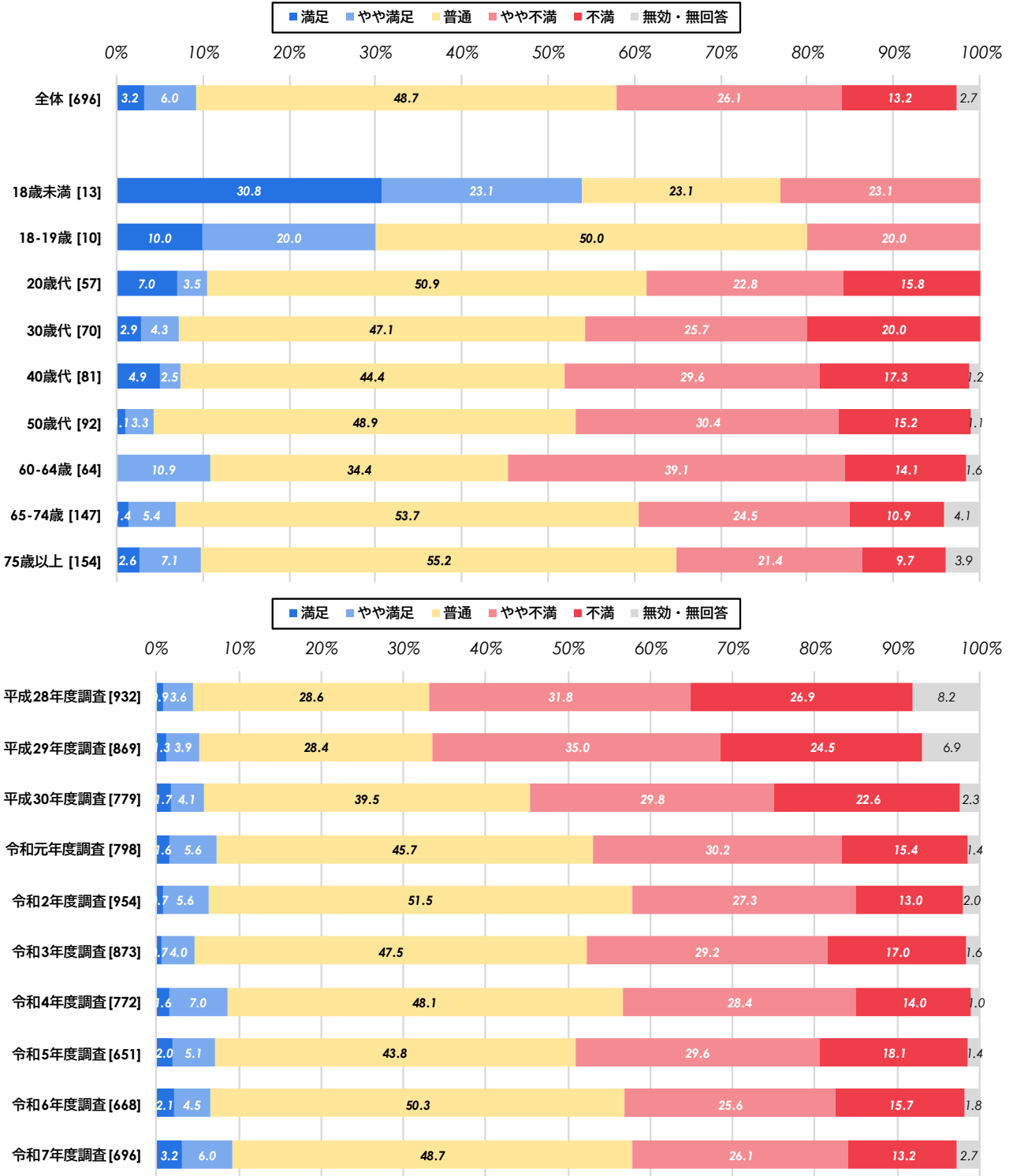
- 全体では「知っていた」割合は60.3%となった。
- 年齢別にみると、対象者を含む65-74歳、75歳以上では認知度が70%を超えている。
- 経年変化をみると、認知度は横ばい傾向にある。



(4) 交通に対する満足度

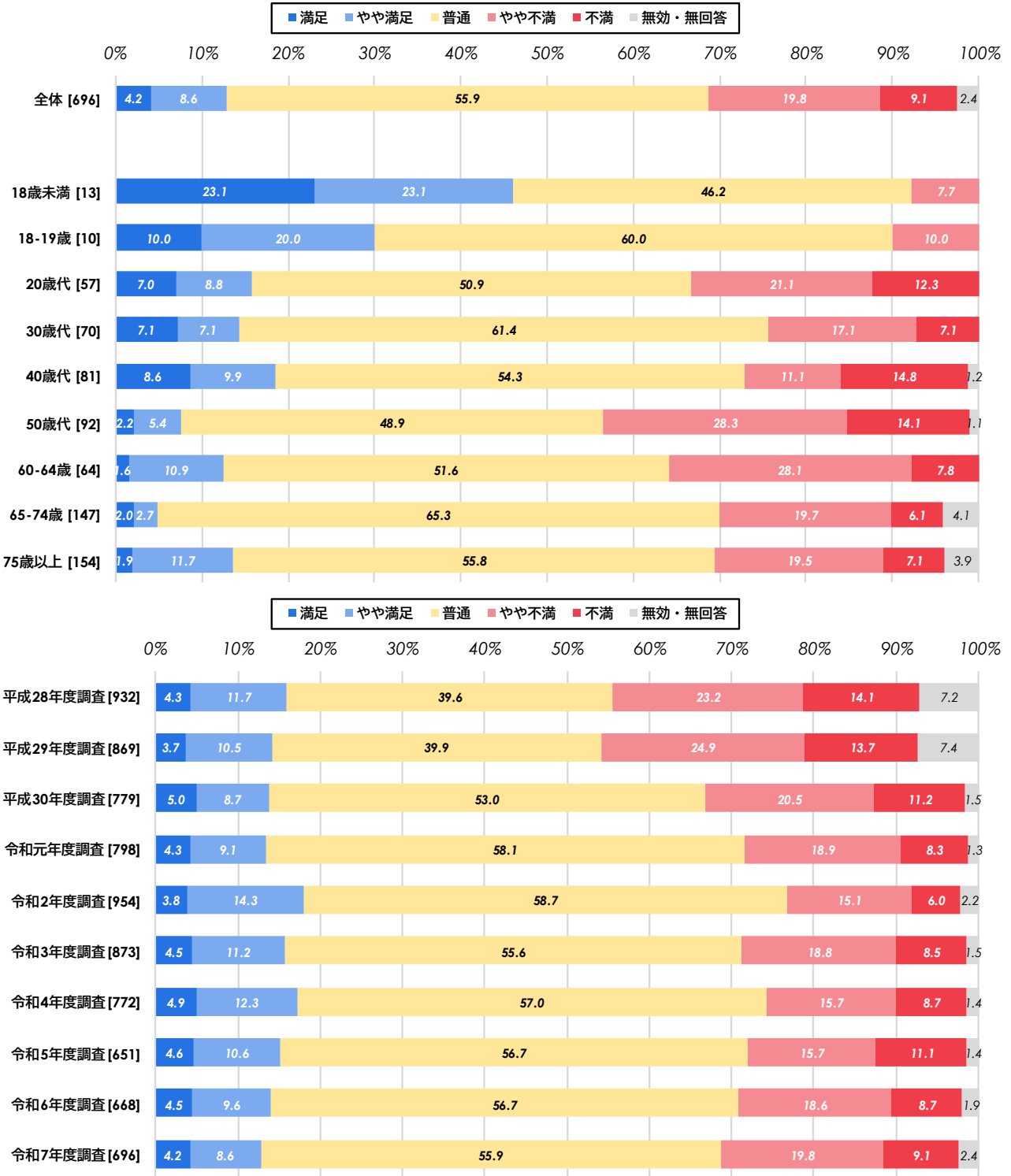
①公共交通機関の利便性に対する満足度

- 公共交通機関の利便性に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、9.2%となっている。
- 年齢別にみると、10代の満足度は比較的高いが、30歳代～64歳の満足度が低くなっている。
- 経年変化をみると、調査開始当初と比較すると満足度は改善傾向がみられるものの、直近数年間は横ばいになっている。



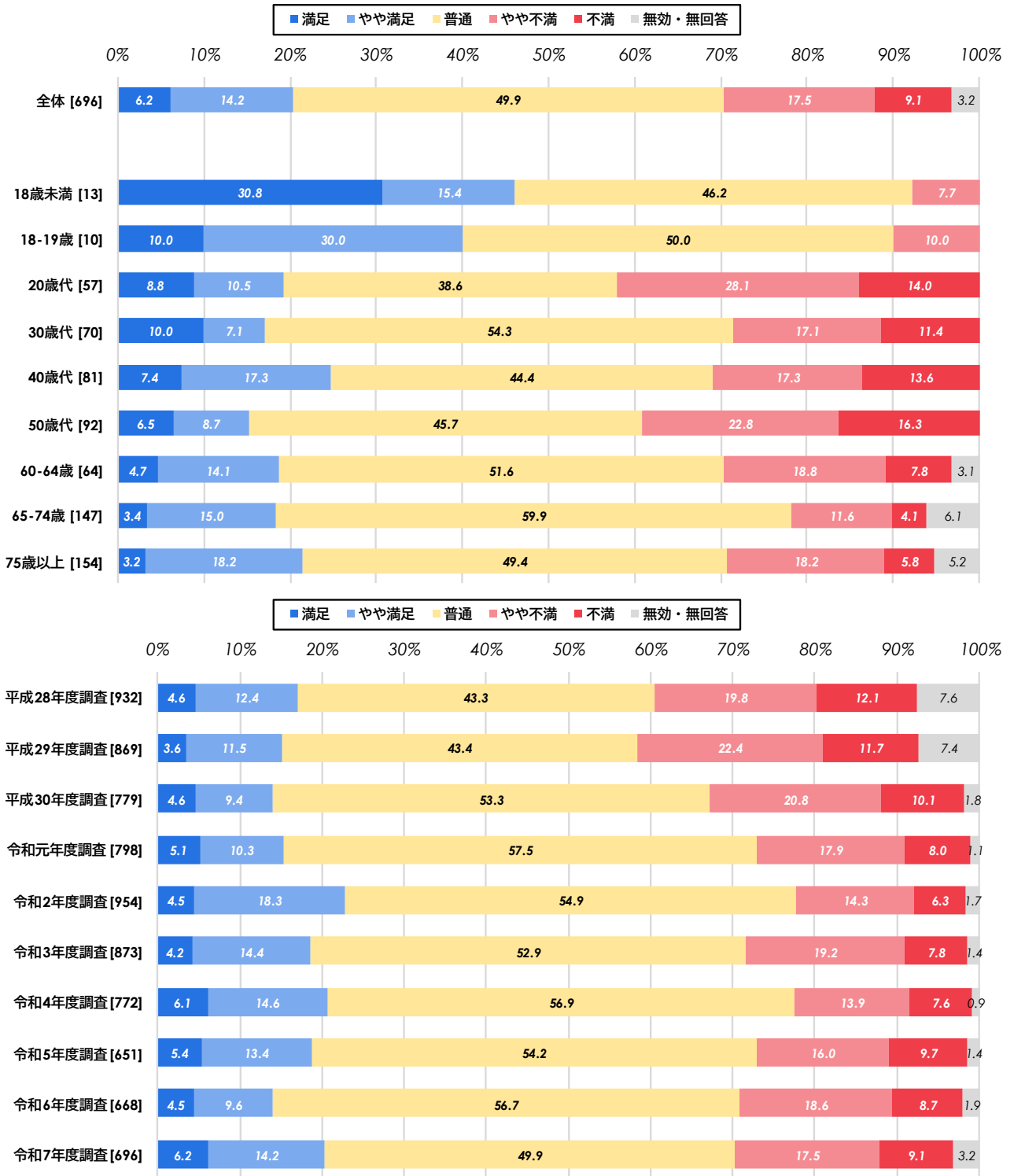
②市内の幹線道路の整備状況に対する満足度

- 市内の幹線道路の整備状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、12.8%となっている。
- 年齢別にみると、50歳代～64歳の満足度が低くなっている。
- 経年変化をみると、満足度はやや低下傾向にある。



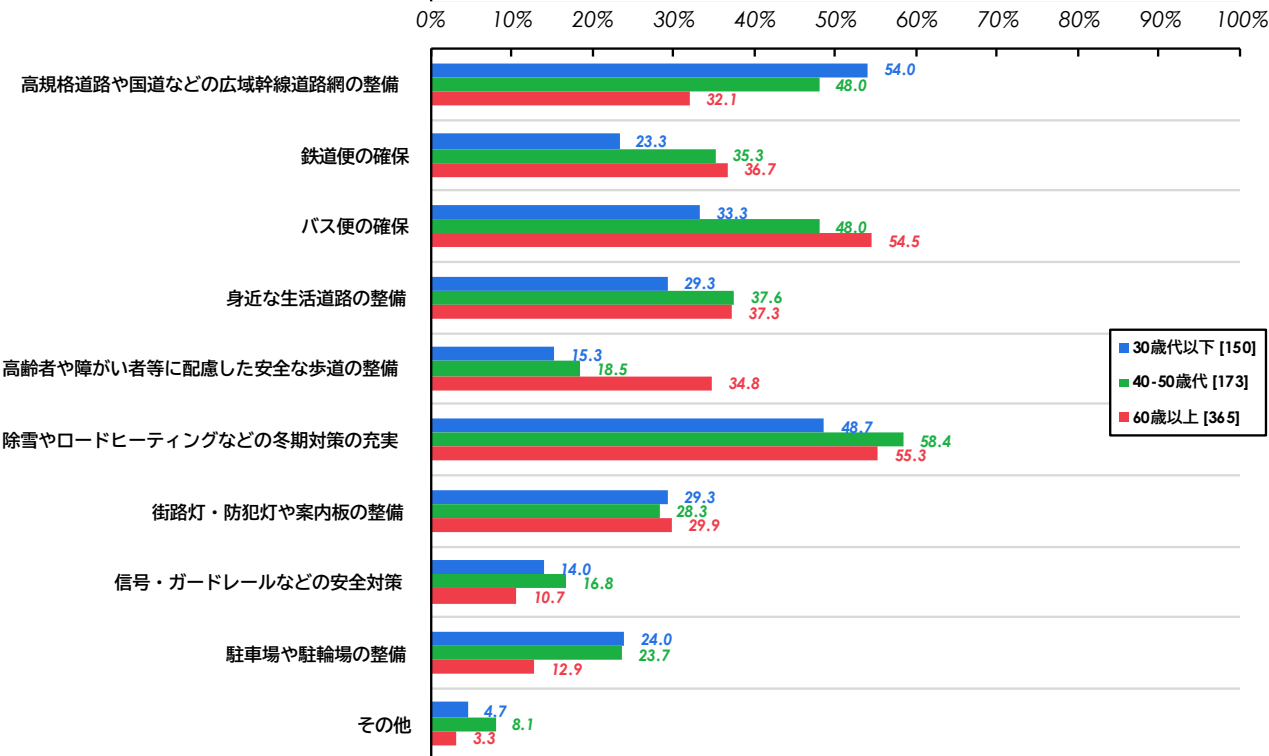
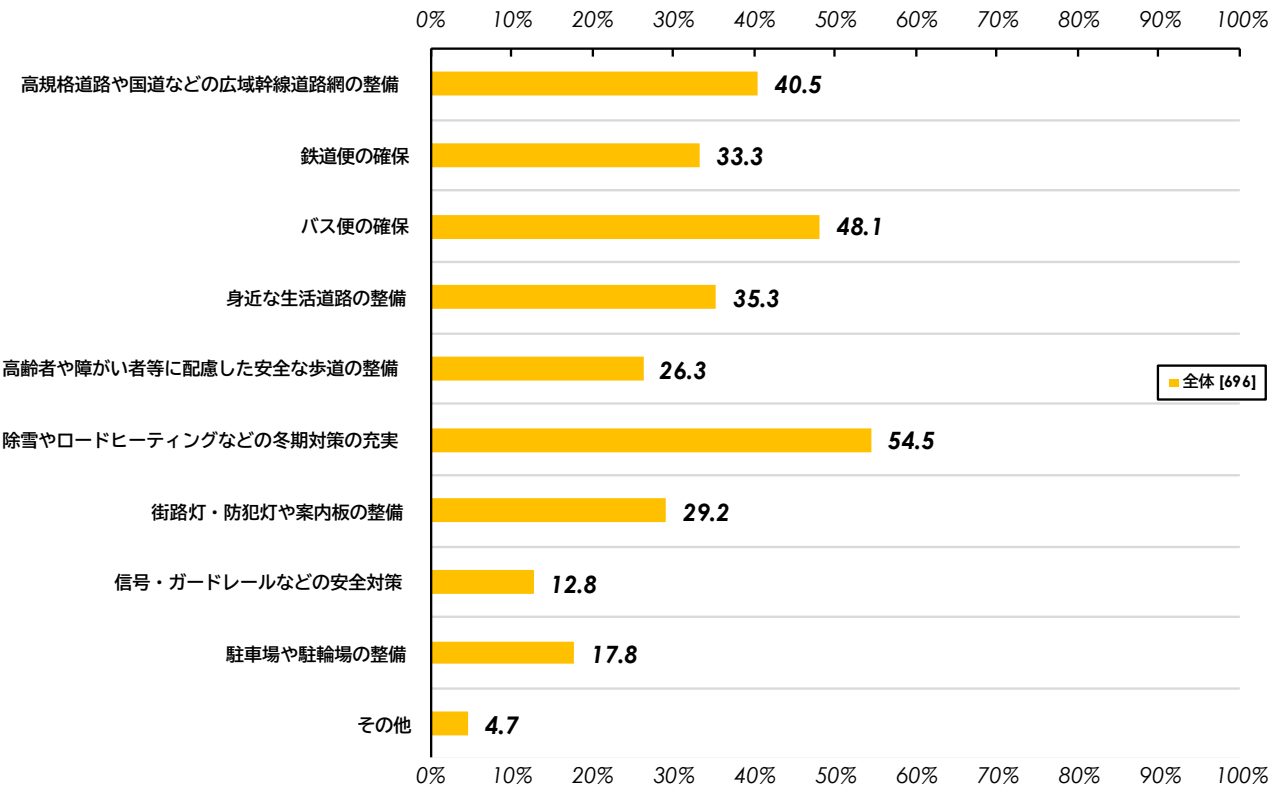
③市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度

- 市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、20.4%となっている。
- 年齢別にみると、20歳代、50歳代の満足度が低くなっている。
- 経年変化をみると、満足度は横ばい傾向にある。



(5) 交通に関する施策について

- 交通施策として、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が54.5%で最も高く、「バス便の確保」「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」と続いた。
- 年齢別にみると、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」は若年層で高く、「バス便の確保」は高齢層で高い。

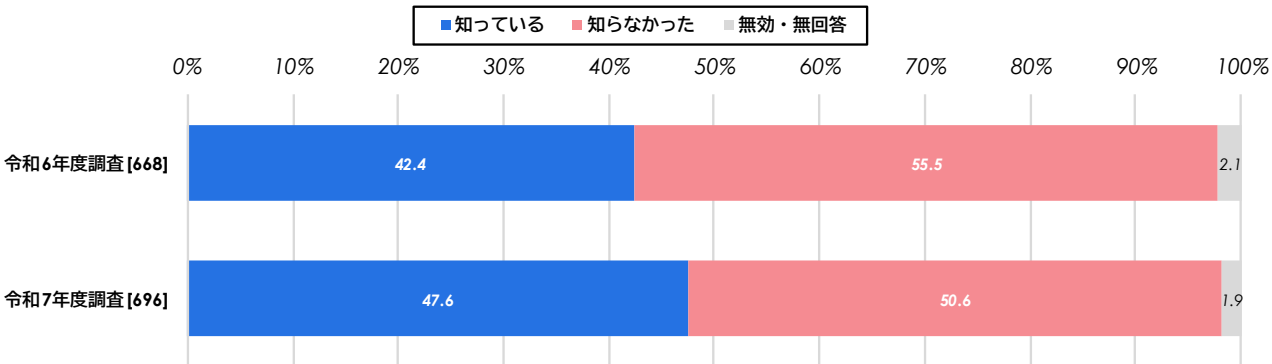
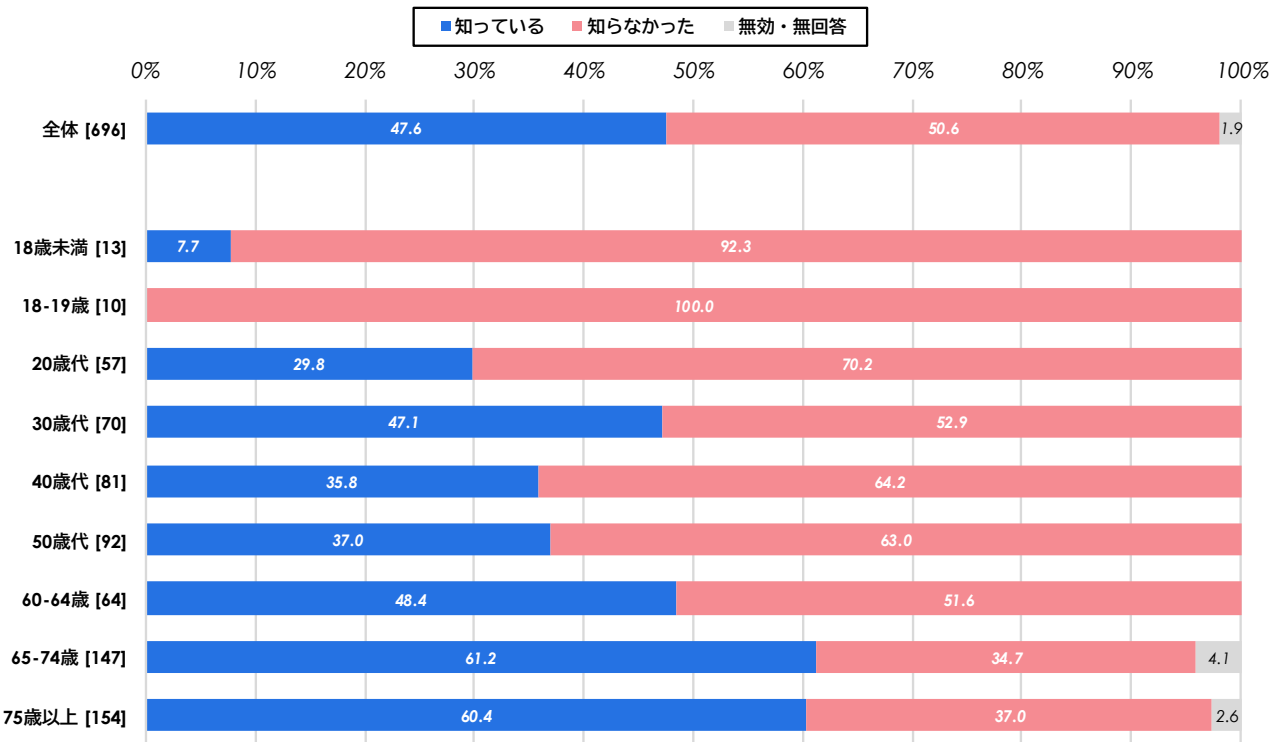


3.10 生活環境について

(1) 施策に対する認知度

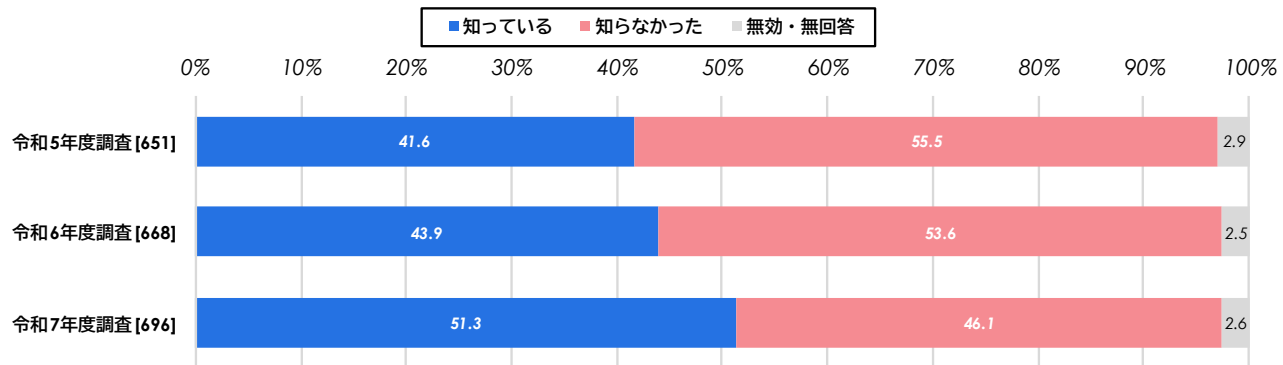
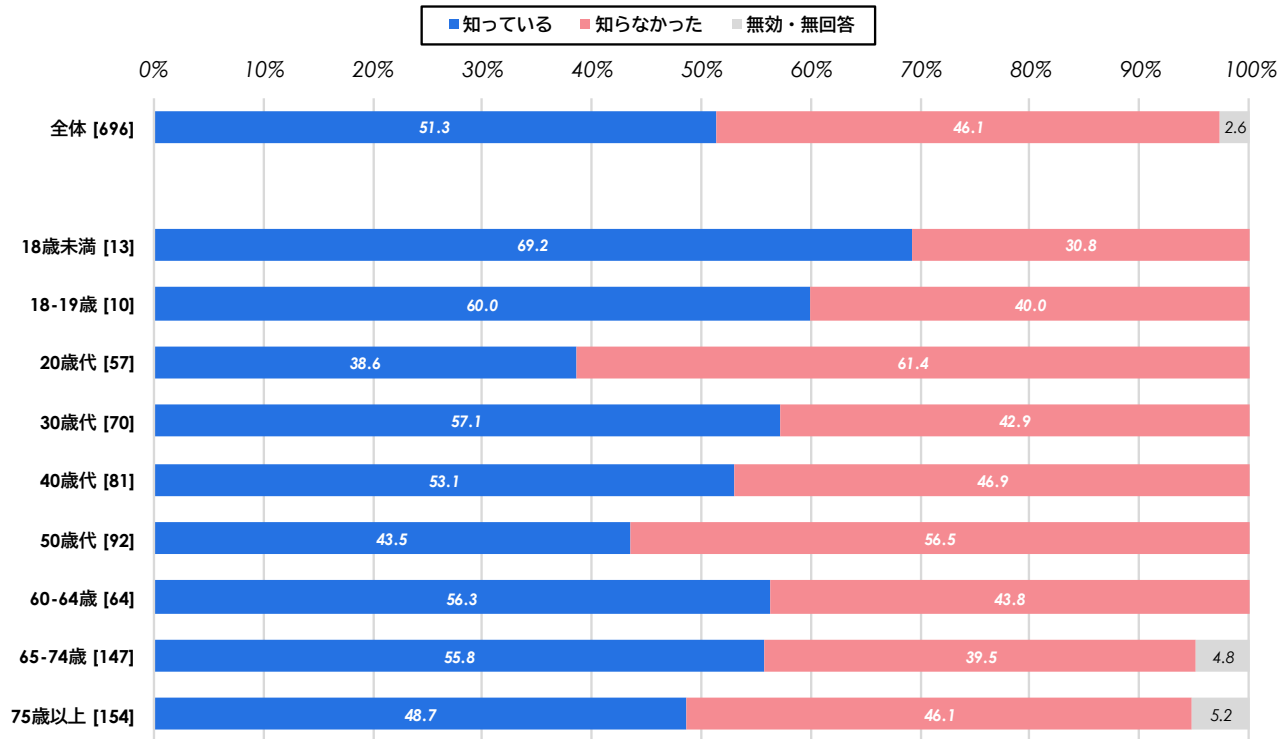
①廃棄物処理施設建設事業の推進（経年劣化が進むじん芥焼却場の建設に向けた事業の推進）

- 全体では「知っていた」割合は47.6%となった。
- 年齢別にみると、10代の認知度が極めて低い。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を上回っている。



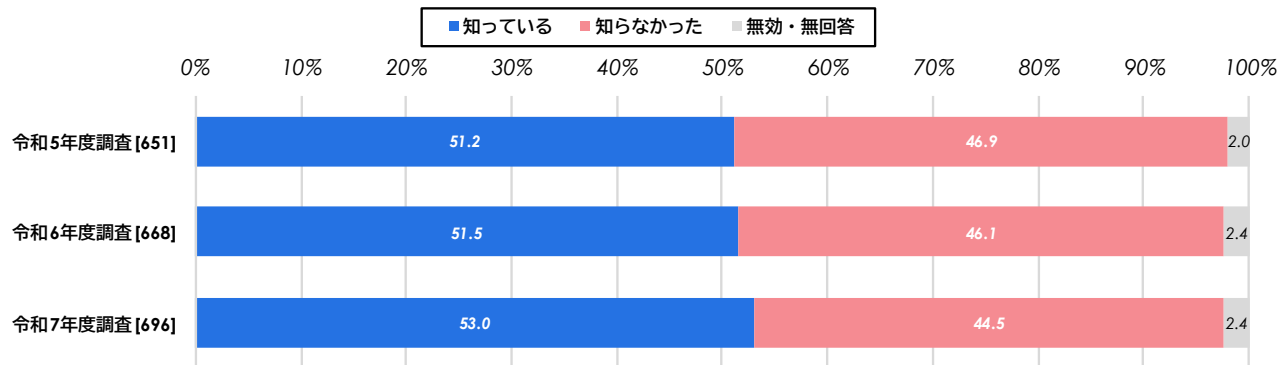
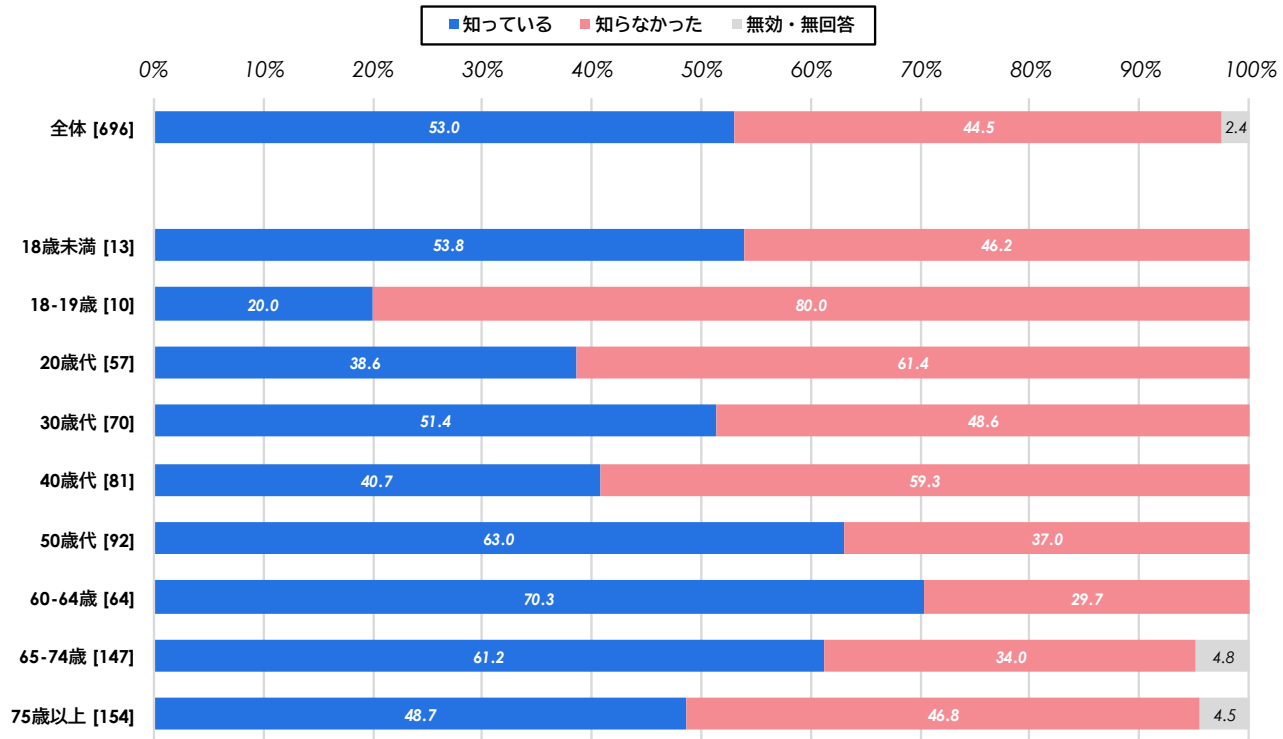
②公園の遊具等更新・整備（既設遊具の定期点検・維持補修等整備）

- 全体では「知っていた」割合は51.3%となった。
- 経年変化をみると、認知度は上昇傾向にある。



③市営住宅整備事業（市営住宅（光洋団地）の建替を実施）

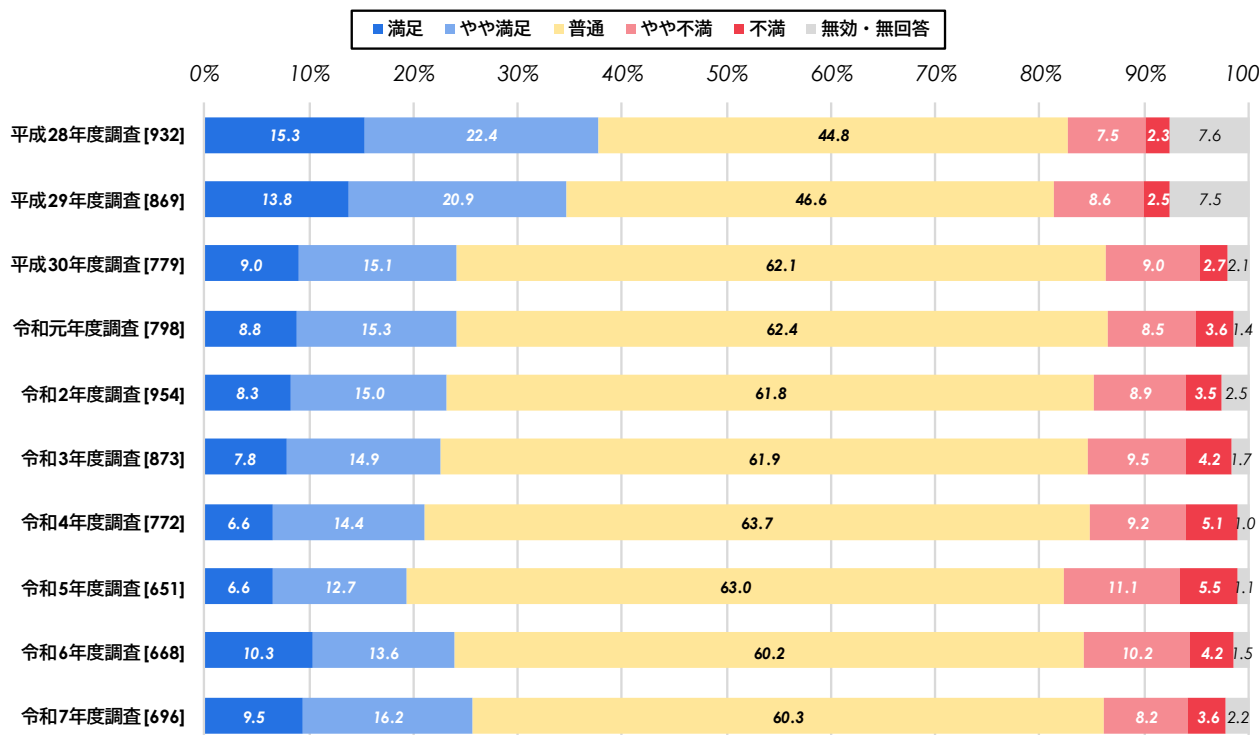
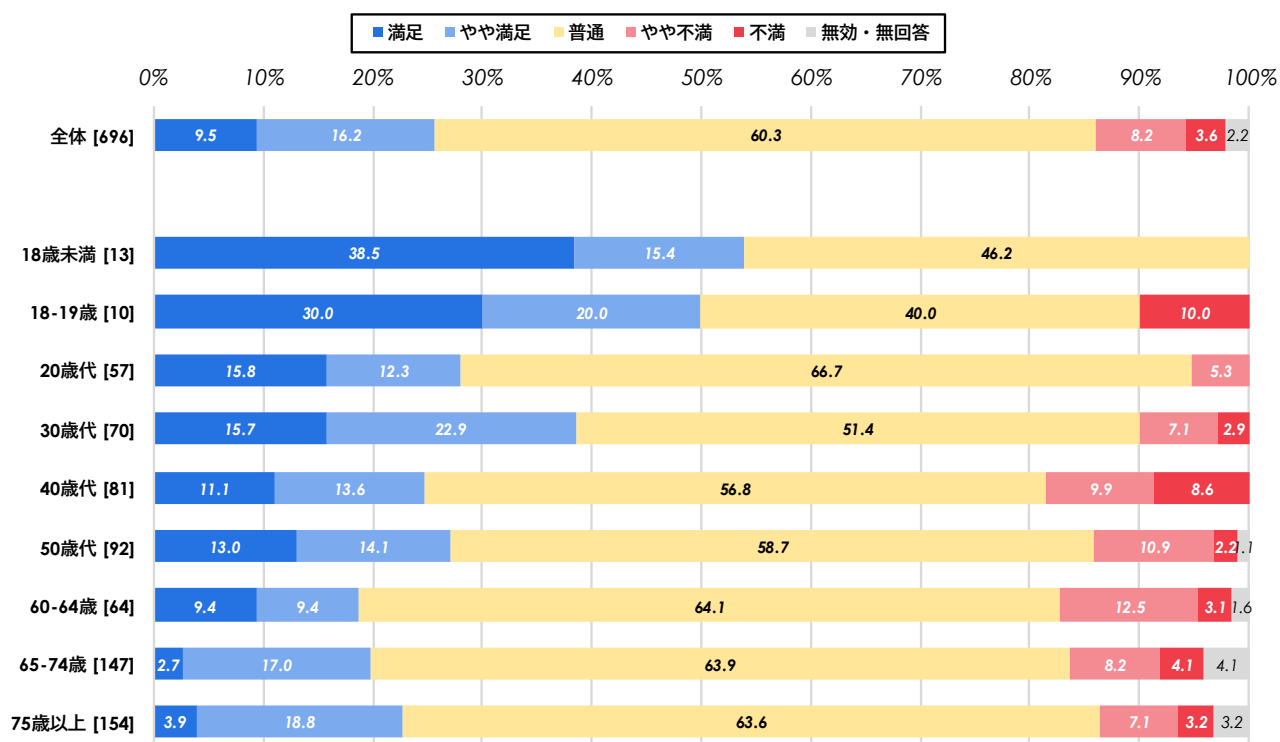
- 全体では「知っていた」割合は53.0%となった。
- 経年変化をみると、認知度はやや上昇傾向にある。



(2) 生活環境に対する満足度

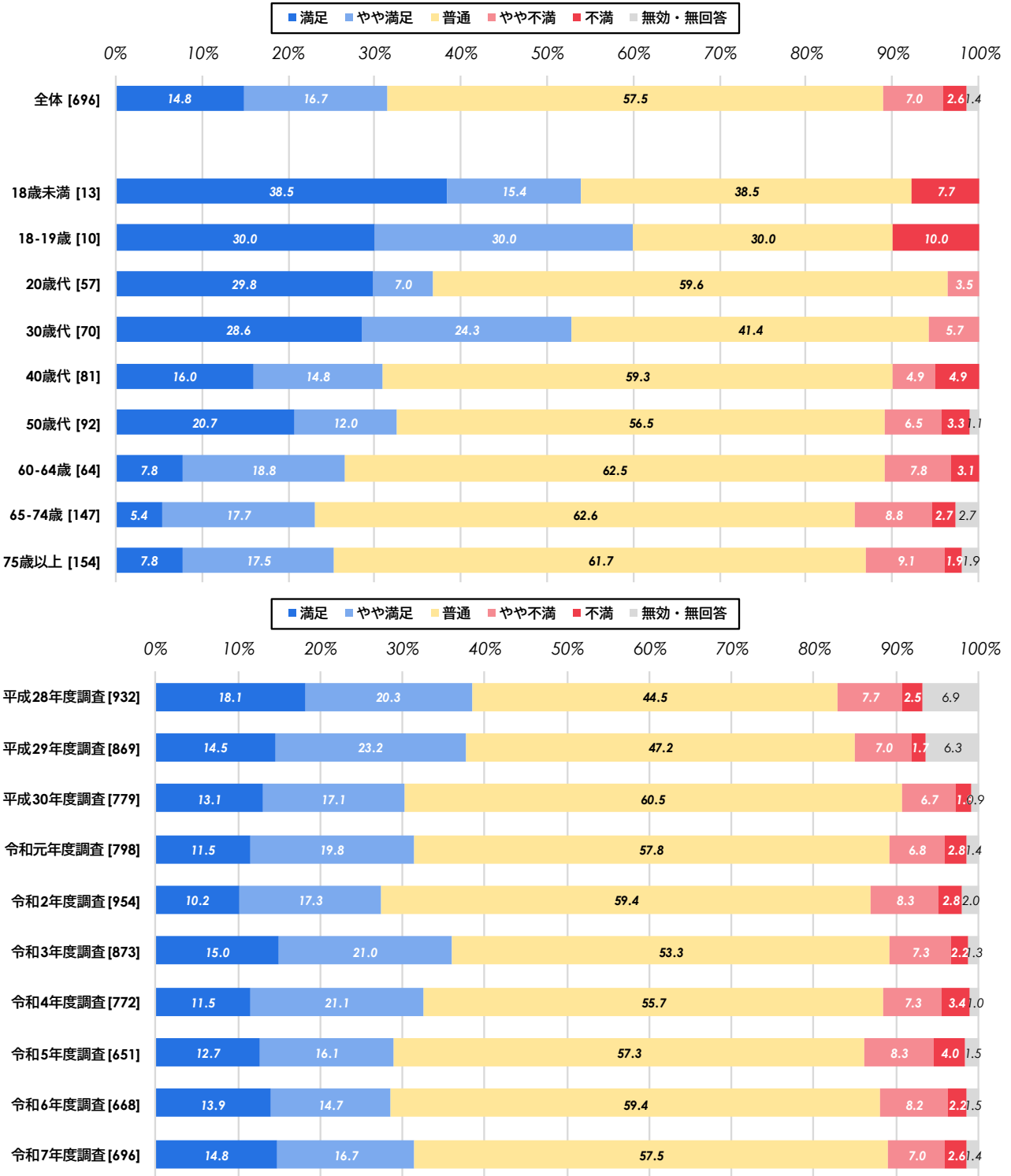
①郊外の森林景観に対する満足度

- 郊外の森林景観に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、25.7%となっている。
- 年齢別にみると、40歳代以上の満足度が比較的低くなっている。
- 経年変化をみると、直近2年間は満足度が改善傾向にある。



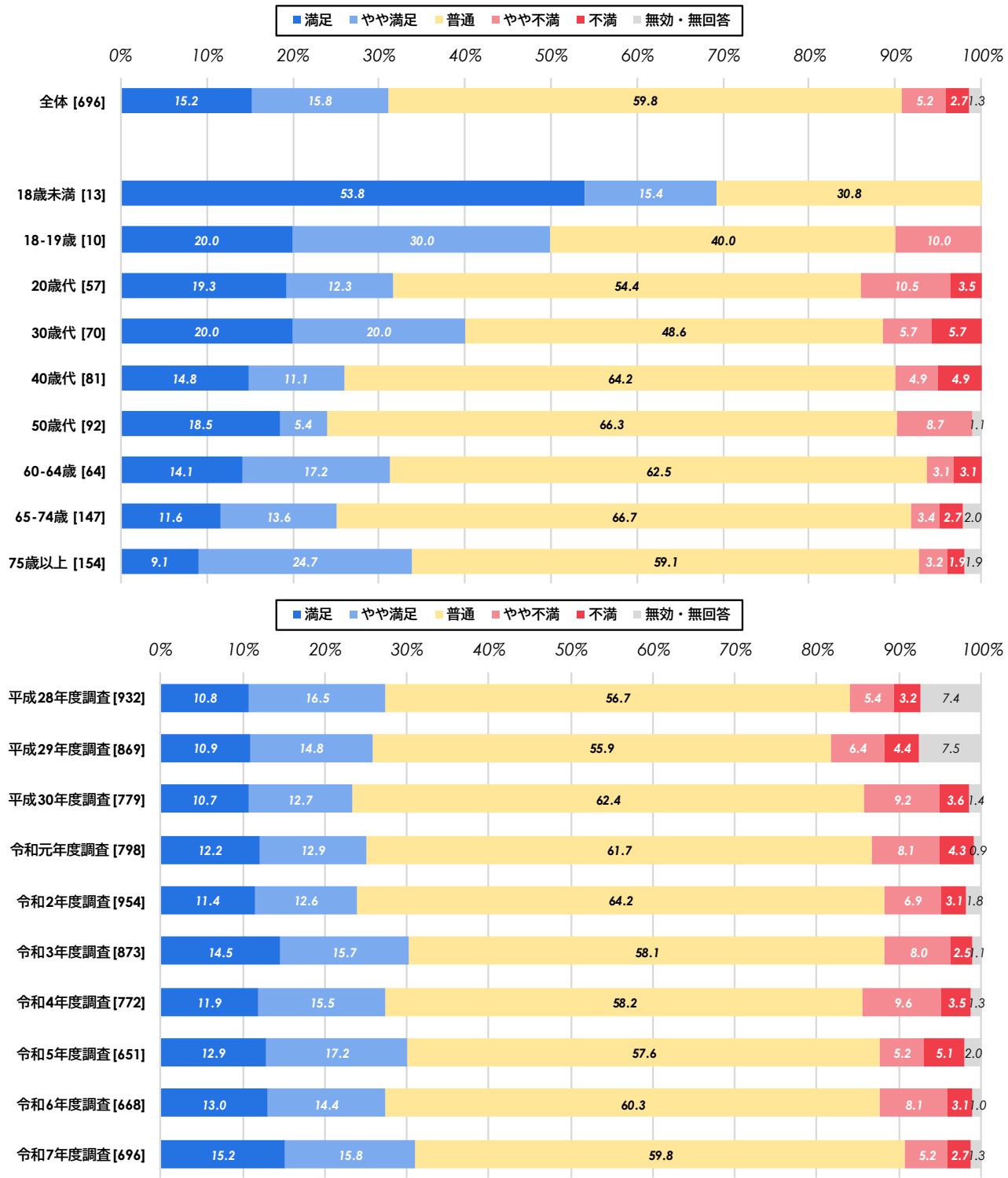
②住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度

- 住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、31.5%となっている。
- 年齢別にみると、40歳代以上の満足度が比較的低くなっている。
- 経年変化をみると、満足度は横ばい傾向にある。



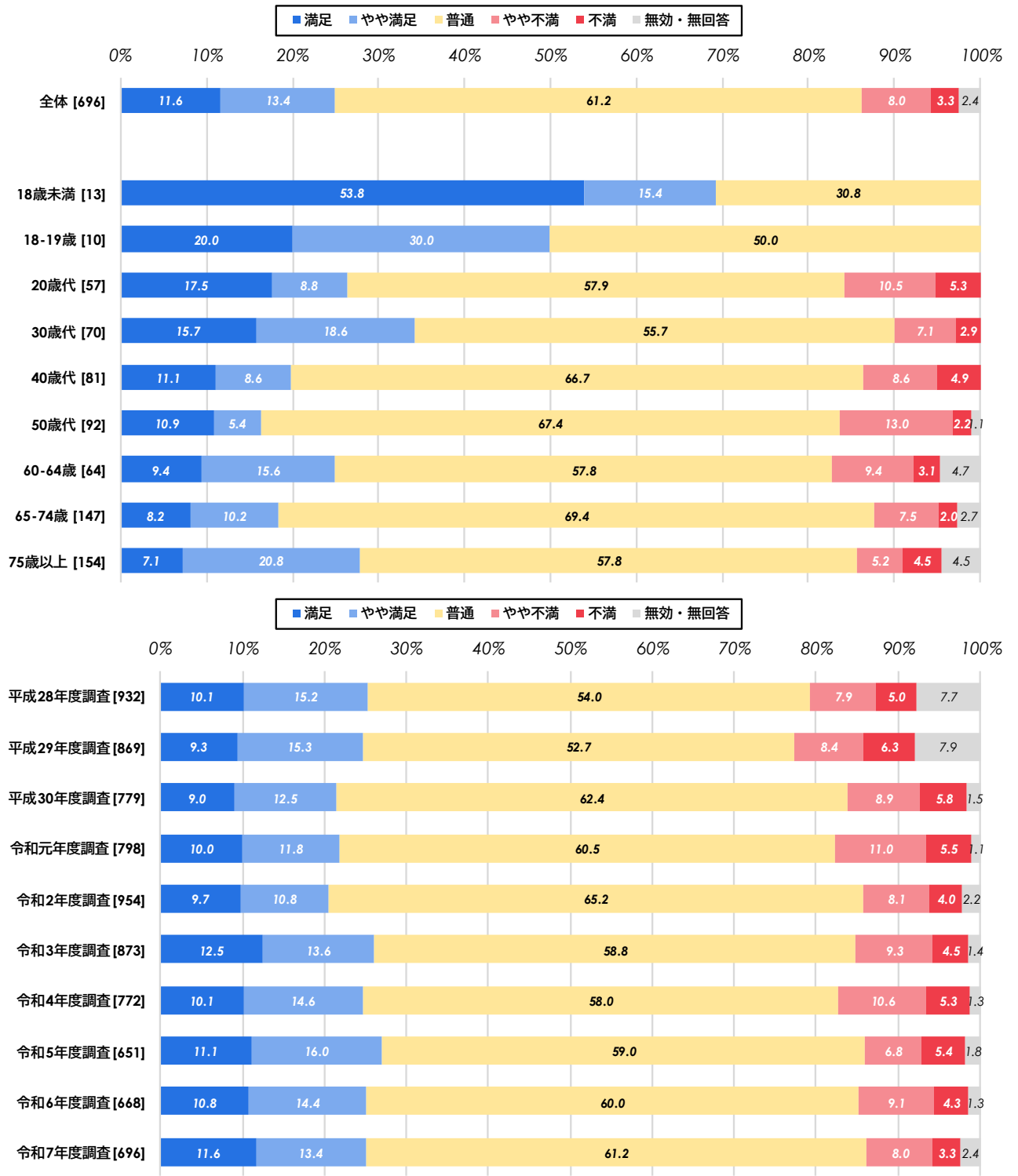
③上水道の整備状況に対する満足度

- 市内の上水道の整備状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、31.0%となっている。
- 経年変化をみると、満足度は横ばい傾向にある。



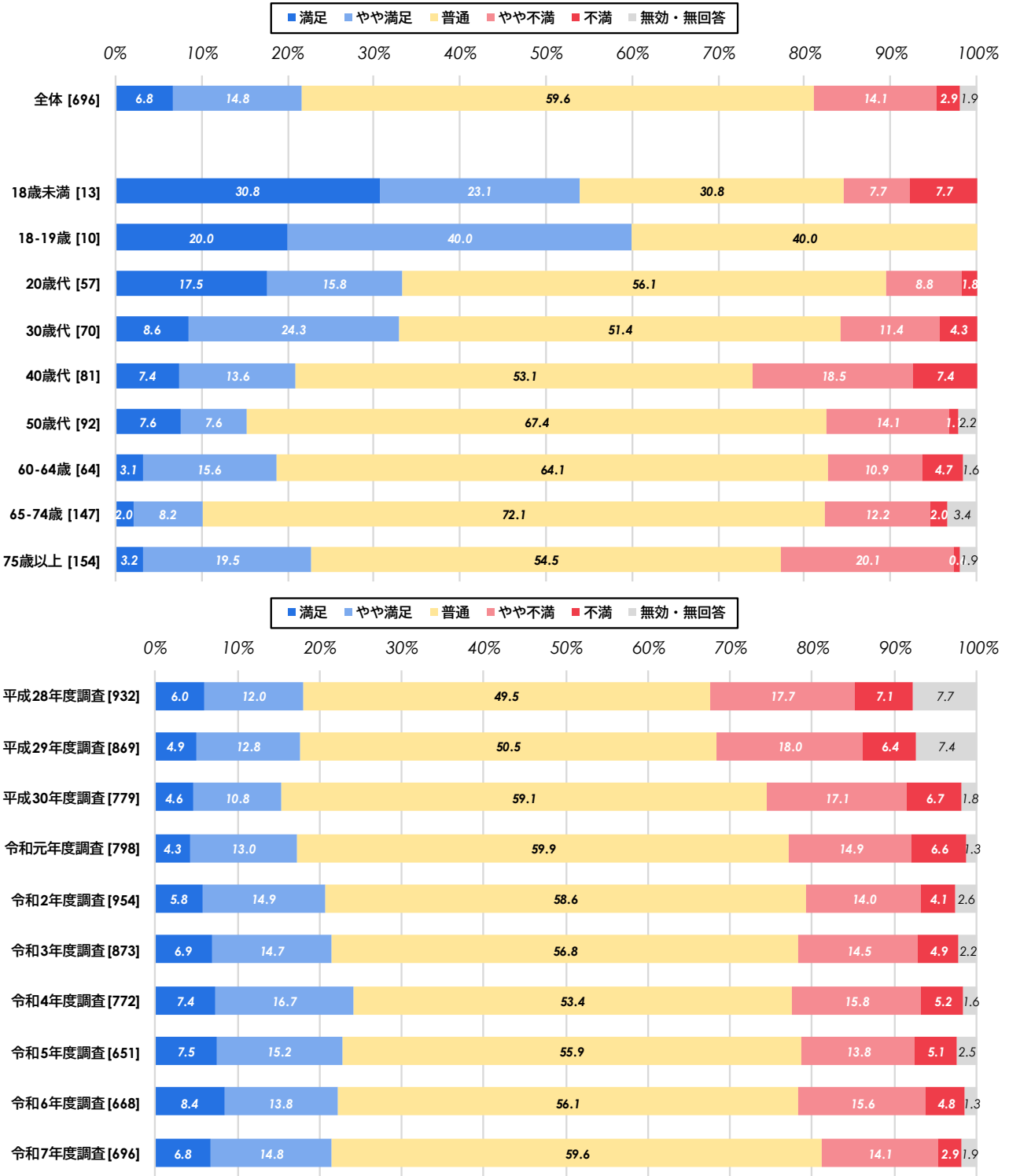
④下水道の整備状況に対する満足度

- 市内の下水道の整備状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、25.0%となっている。
- 経年変化をみると、満足度は横ばい傾向にある。



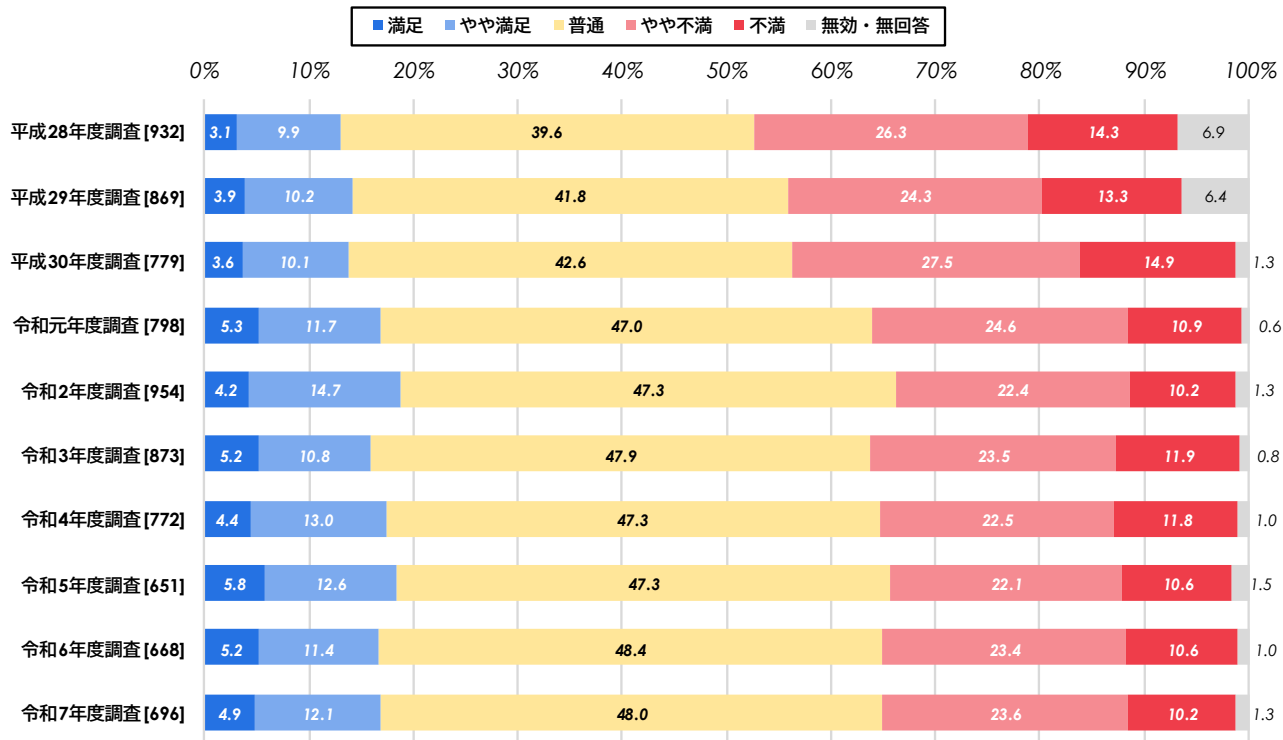
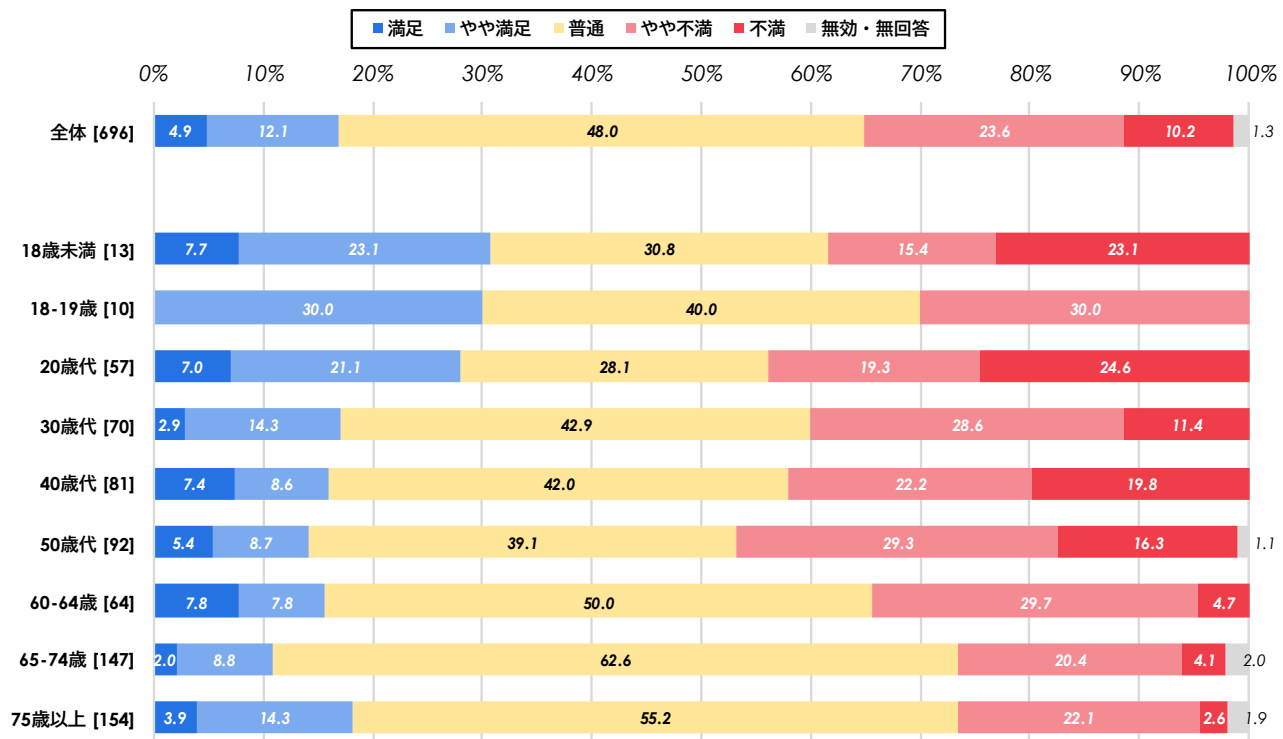
⑤公園や広場の利用しやすさに対する満足度

- 市内の公園や広場の利用しやすさに対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、21.6%となっている。
- 年齢別にみると、40歳代以上の満足度が低くなっている。
- 経年変化をみると、満足度は横ばい傾向にある。



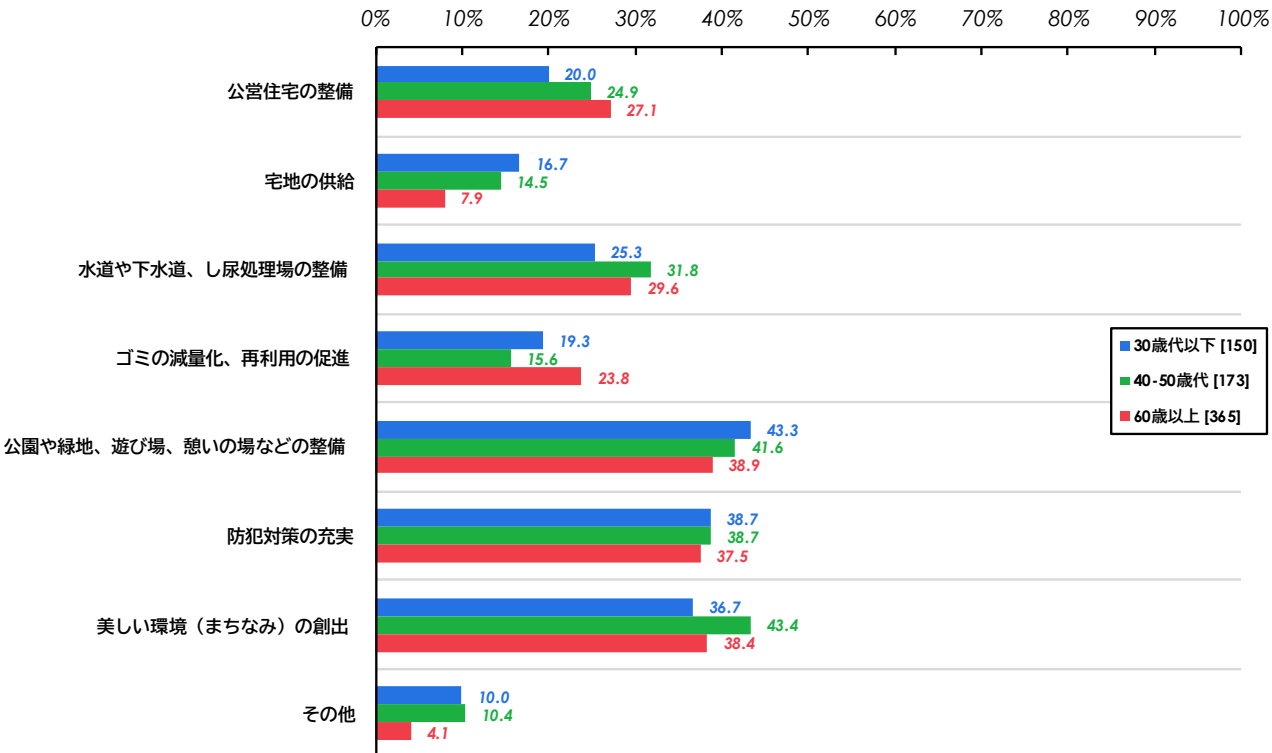
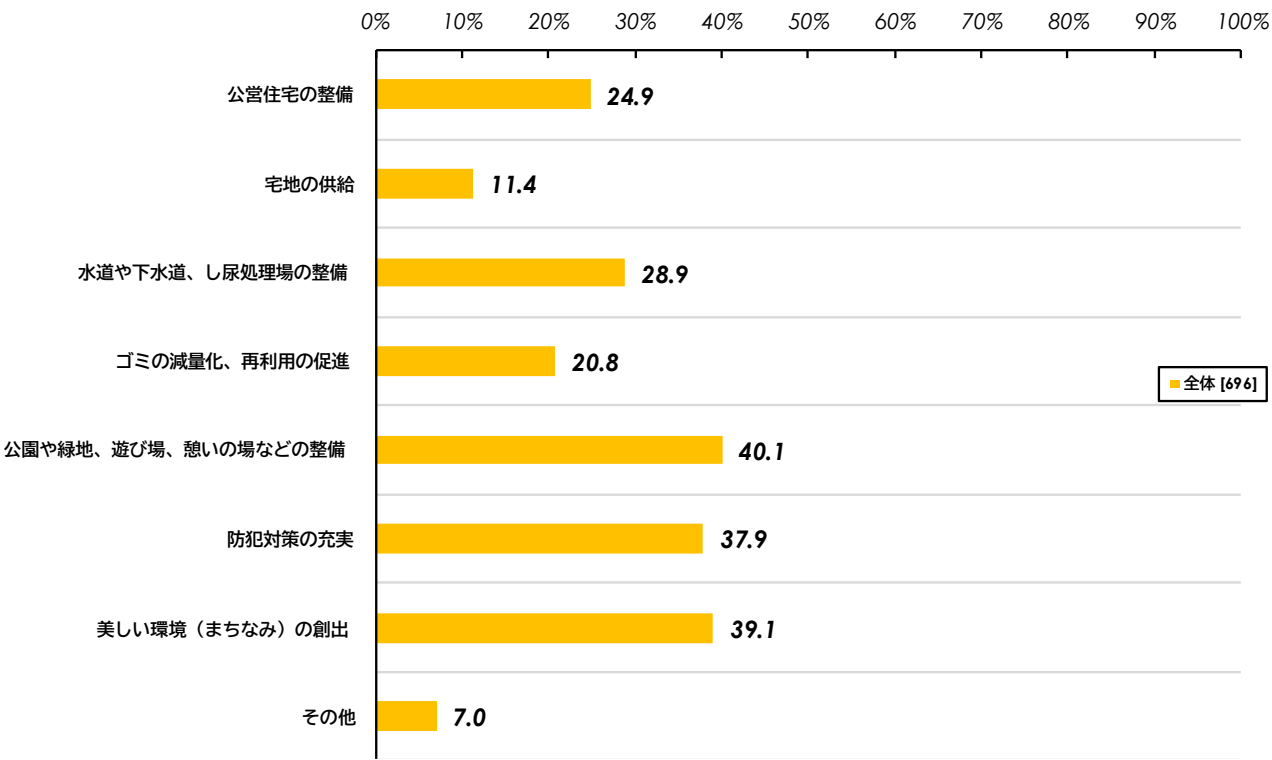
⑥買い物の利便性に対する満足度

- 市内の買い物の利便性に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、17.0%となっている。
- 年齢別にみると、20～50歳代の満足度が低くなっている。
- 経年変化をみると、満足度は横ばい傾向にある。



(3) 生活環境に関する施策について

- 生活環境について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」が40.1%で最も高く、「美しい景観（まちなみ）の創出」「防犯対策の充実」がほぼ同率で続いた。

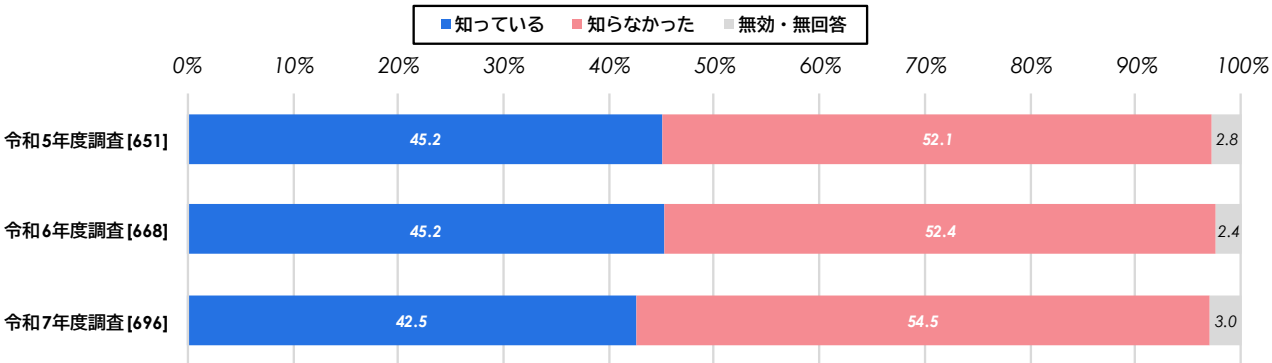
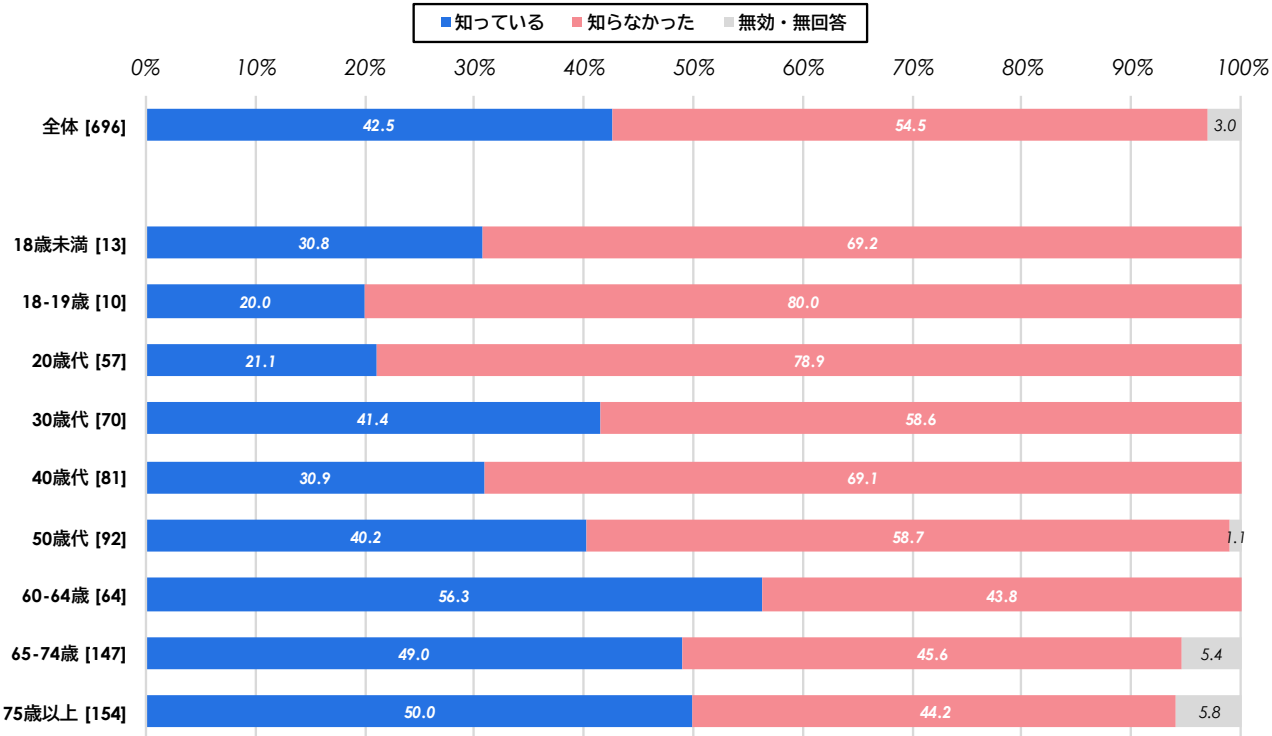


3.11 防災・減災対策について

(1) 施策に対する認知度

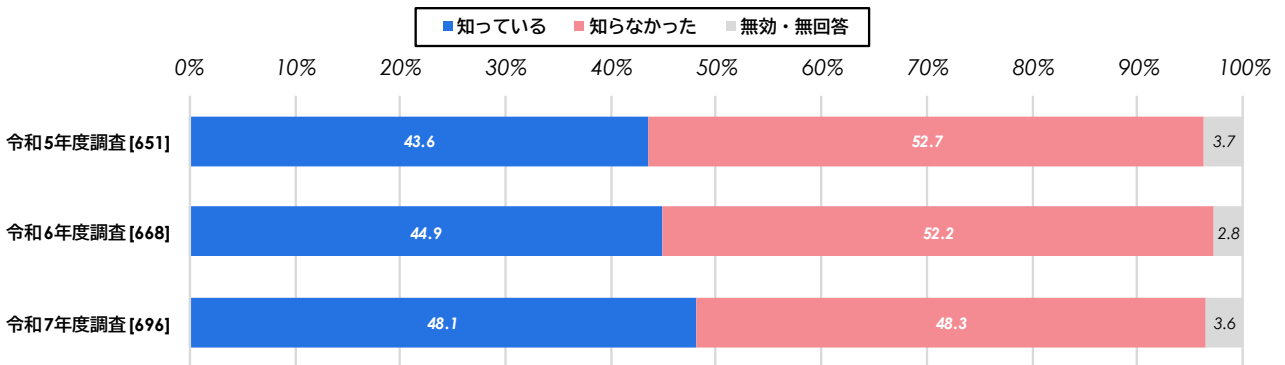
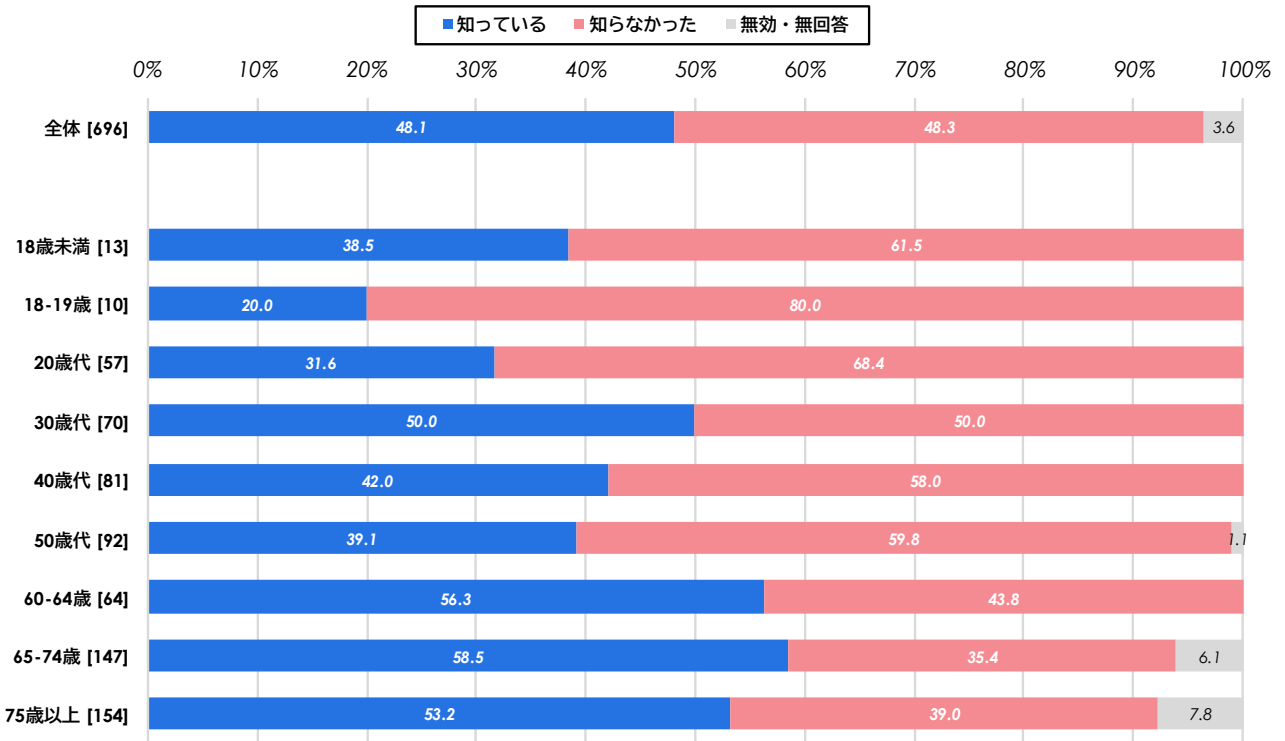
①根室港海岸高潮対策事業（防災・安全）（根室港区岬町地区護岸（延長66m）を整備）

- 全体では「知っていた」割合は42.5%となった。
- 年齢別にみると、20歳代以下の認知度が低い。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を下回っている。



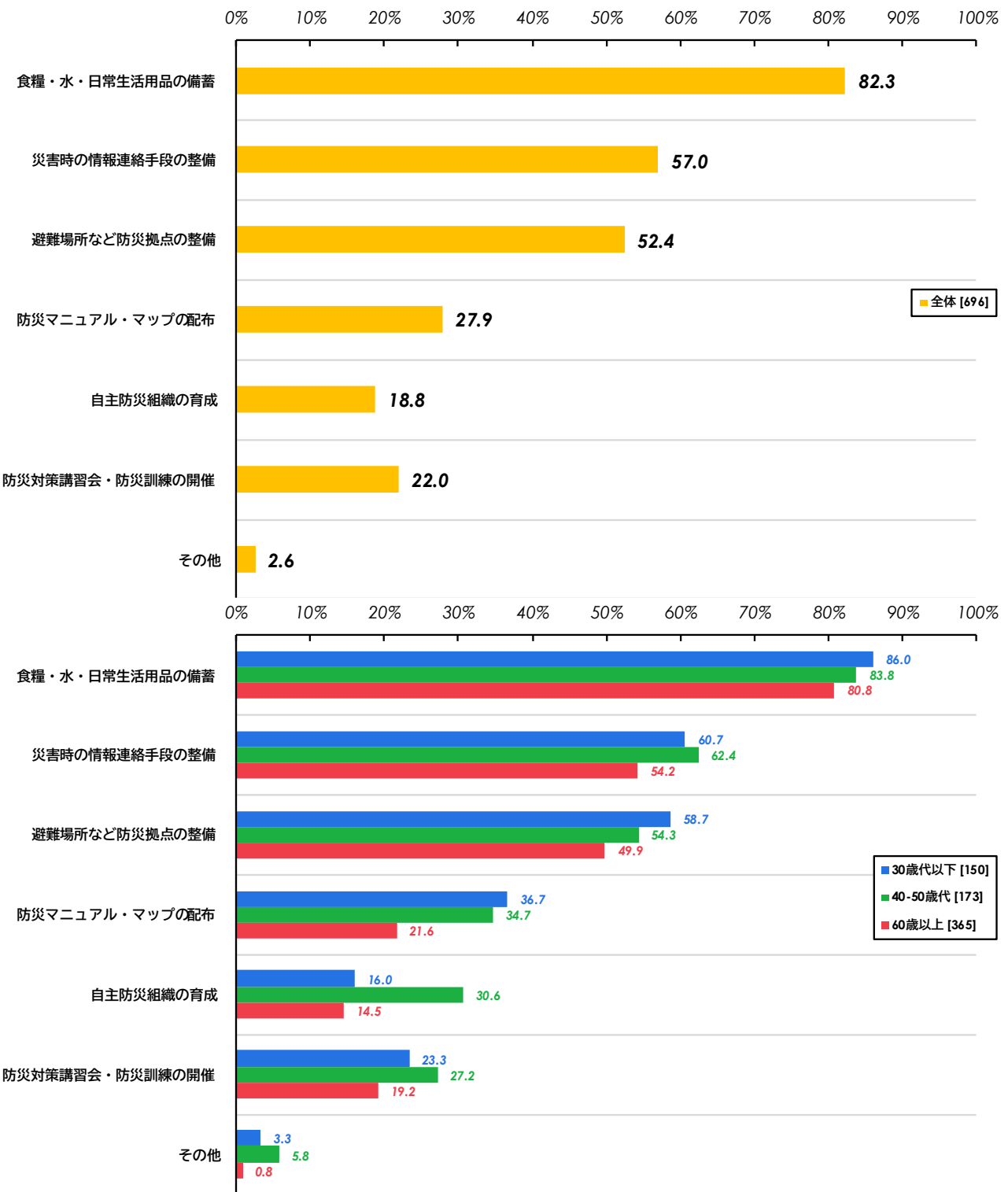
②デジタル防災行政無線整備事業（津波情報や避難情報などの緊急情報を屋外一斉放送する設備の整備）

- 全体では「知っていた」割合は48.1%となった。
- 年齢別にみると、20歳代以下の認知度が低い。
- 経年変化をみると、認知度は上昇傾向にある。



(2) 防災対策に関する施策について

- 防災・減災対策として、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「食糧・水・日常生活用品の備蓄」が82.3%で最も高く、「災害時の情報連絡手段の整備」「避難場所など防災拠点の整備」が続いた。
- 年齢別にみると、「防災マニュアル・マップの配布」は高齢層で低く、差が目立っている。

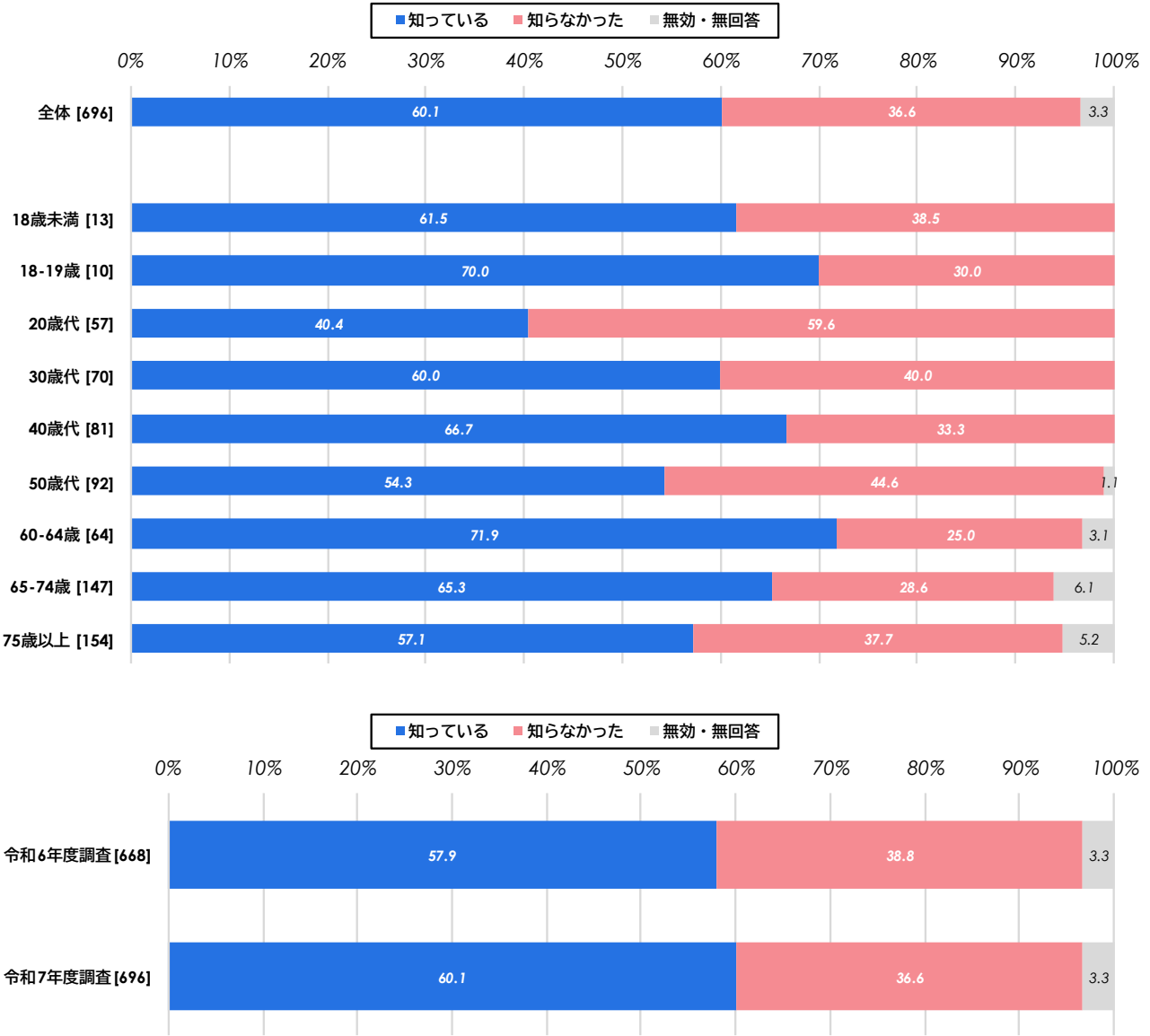


3.12 学校教育・社会教育について

(1) 施策に対する認知度

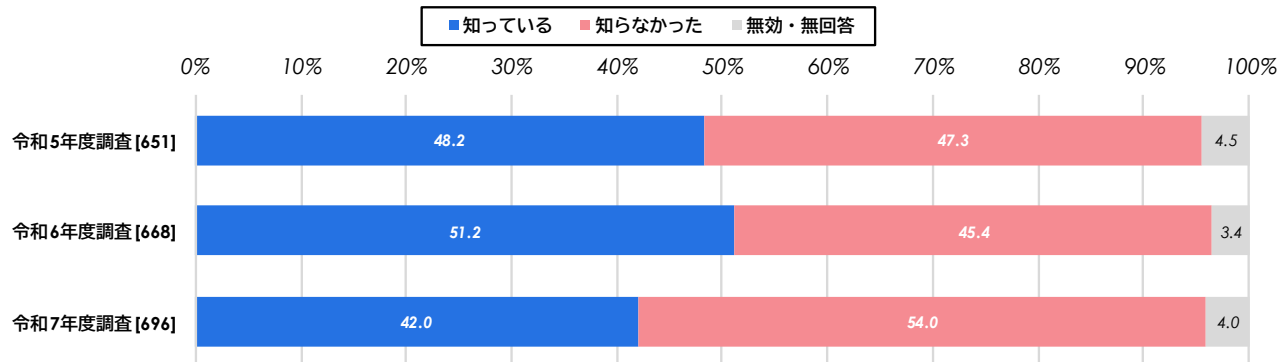
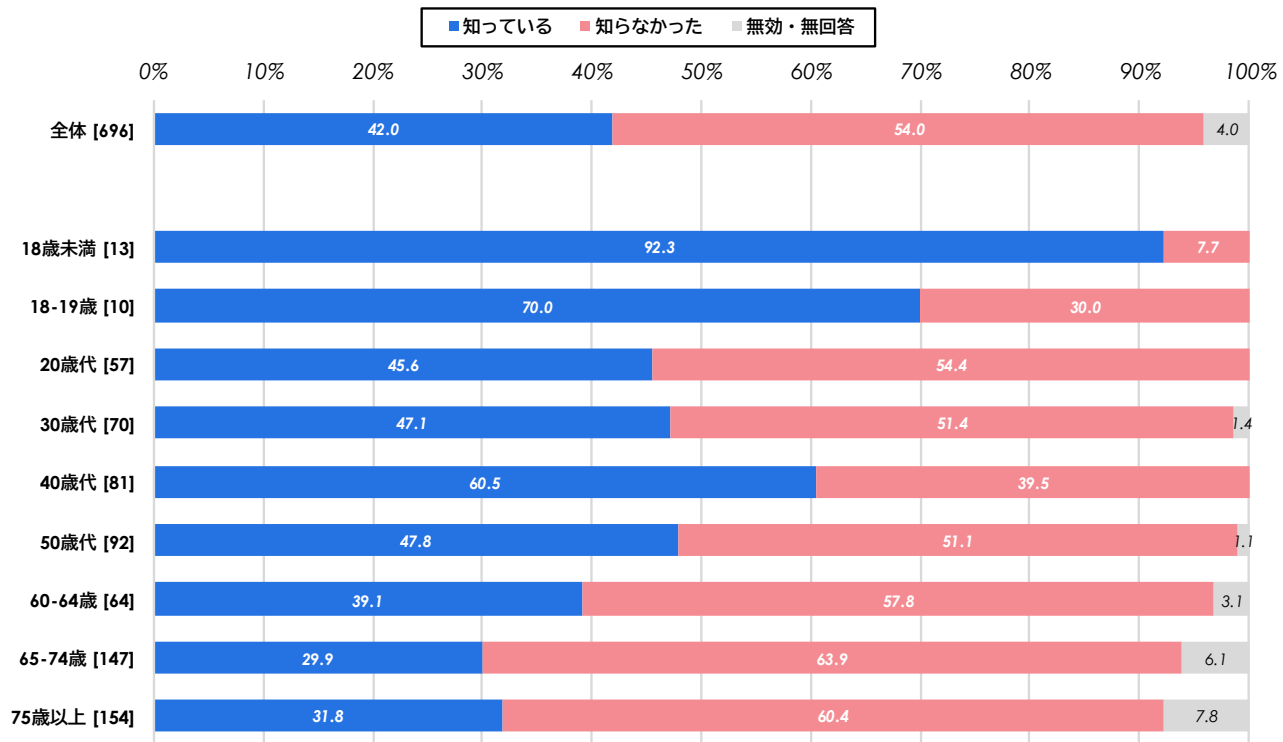
①「市立学校適正配置計画」に基づく小・中学校の移転統合及び義務教育学校化に向けた学校整備事業（北斗小学校校舎の柏陵中学校敷地への移転など）

- 全体では「知っていた」割合は60.1%となった。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を上回っている。



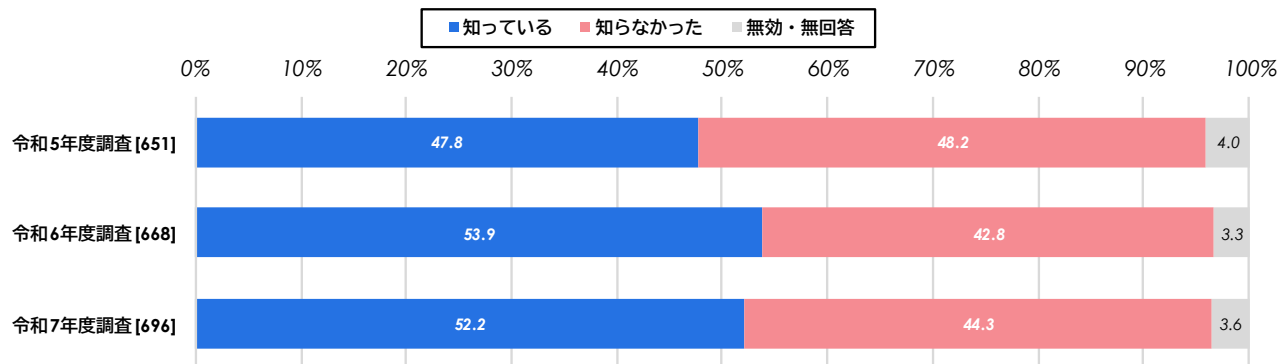
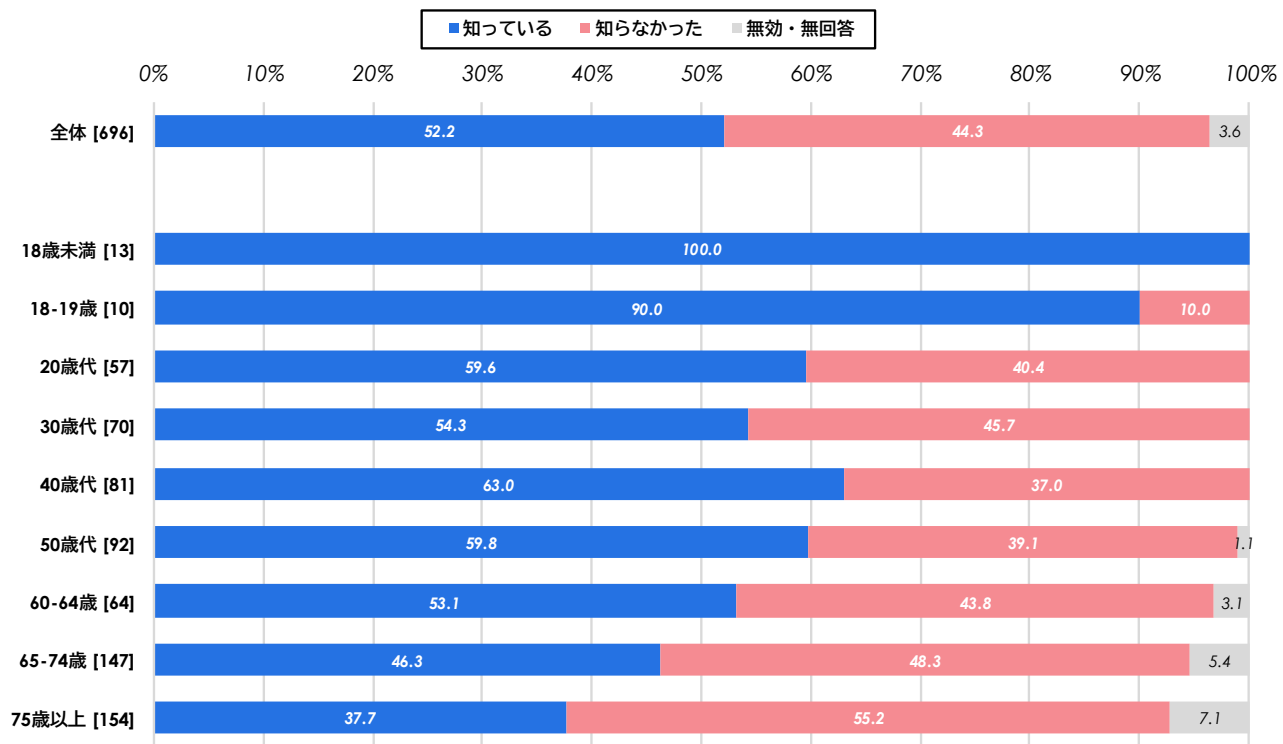
②ふるさと給食事業（ふるさと給食の日を実施し、地産地消による食育を推進）

- 全体では「知っていた」割合は42.0%となった。
- 年齢別にみると、10代と、その保護者世代と考えられる40歳代の認知度が高い。
- 経年変化をみると、認知度は前年度を下回っている。



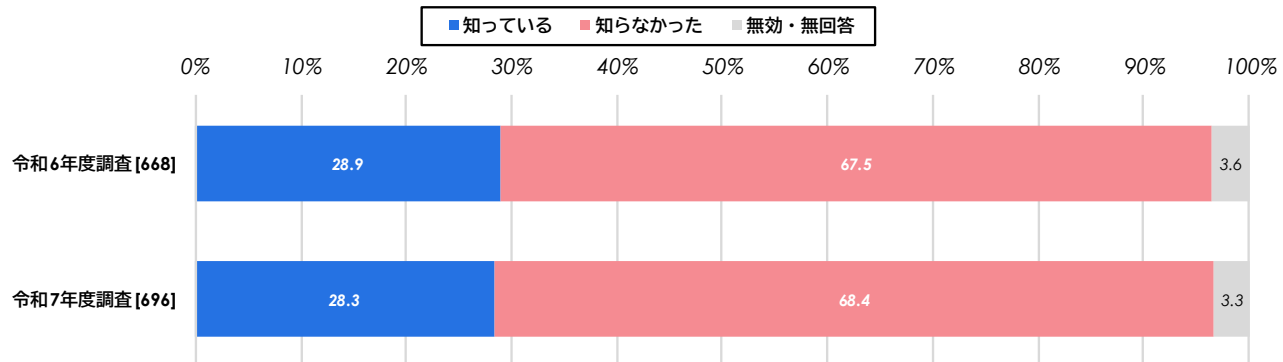
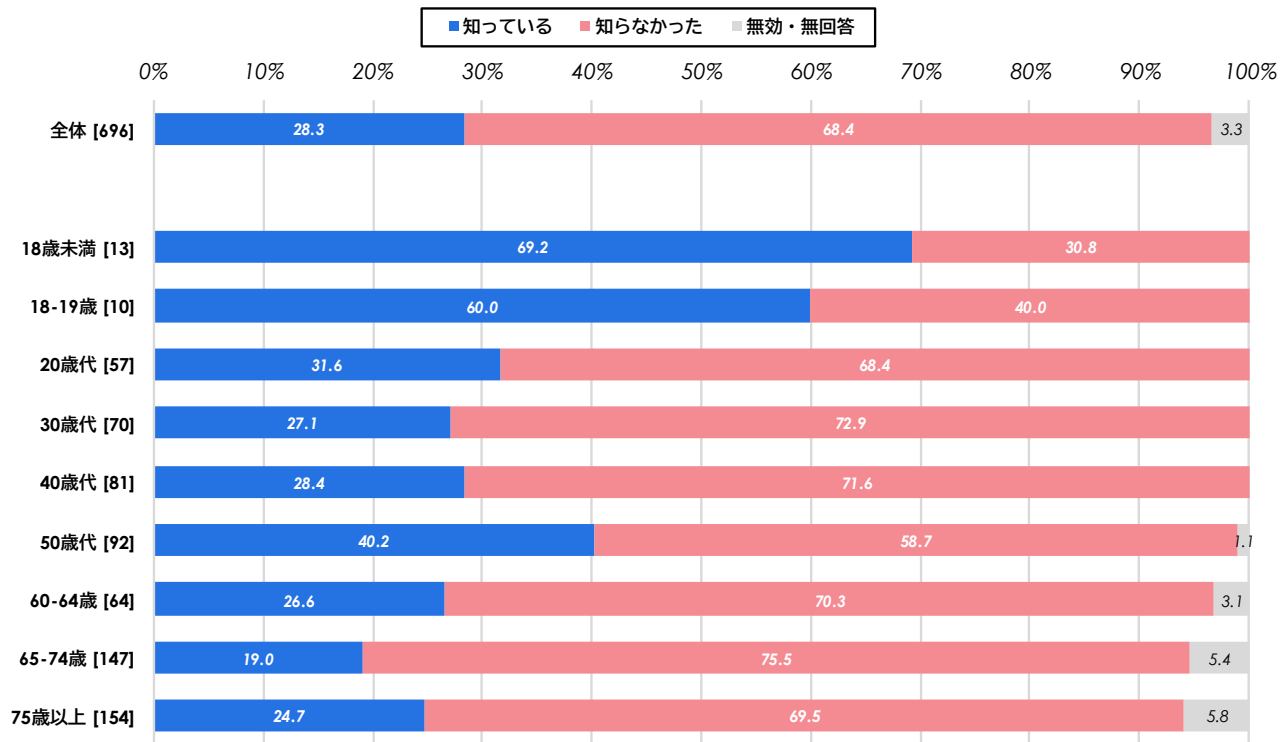
③高校生への1人1台ノートPCの貸与（ICT利活用能力の向上）

- 全体では「知っていた」割合は52.2%となった。
- 年齢別にみると、10代と、その保護者世代と考えられる40～50歳代の認知度が高い。
- 経年変化をみると、認知度は前年度を下回っている。



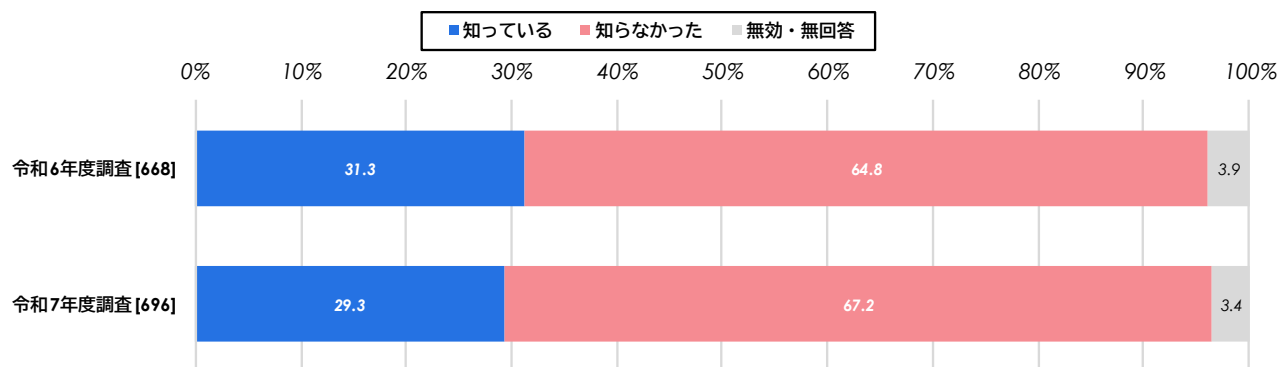
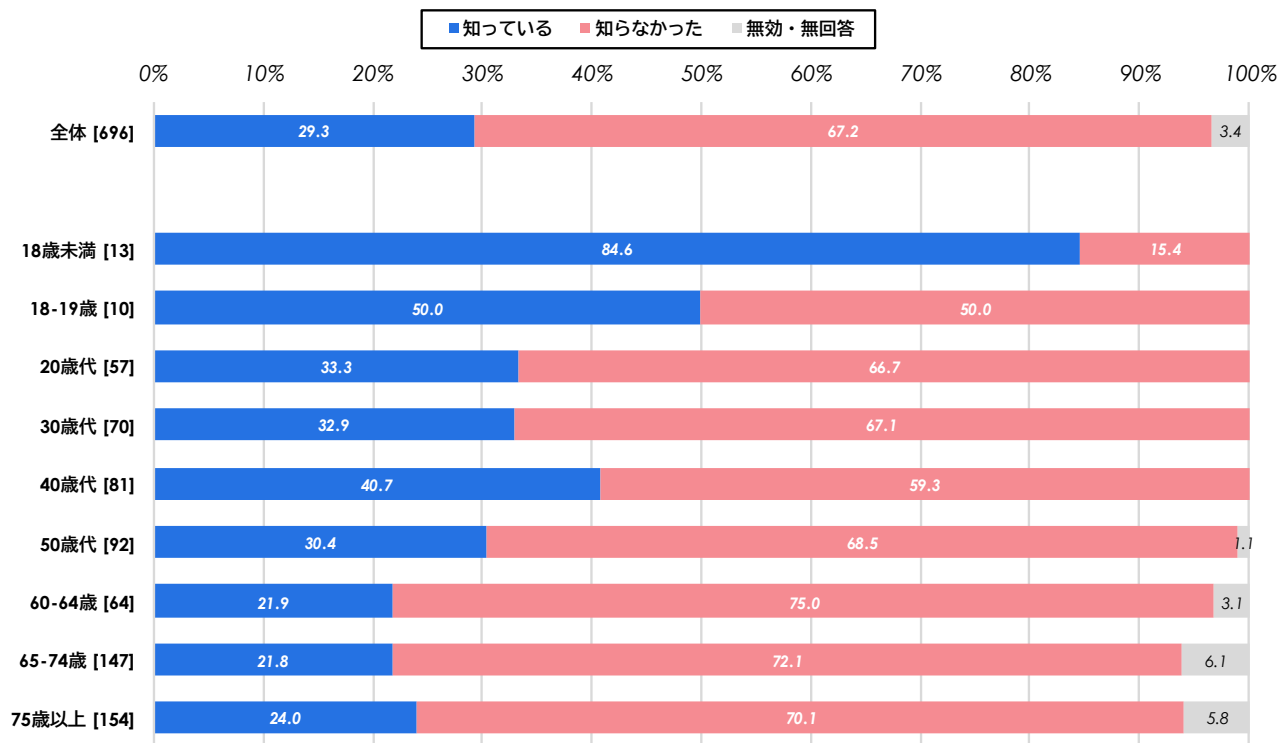
④JR通学をしている高校生への定期券購入費の全額助成（遠距離通学費の助成）

- 全体では「知っていた」割合は28.3%となった。
- 年齢別にみると、10代と、その保護者世代と考えられる50歳代の認知度が高い。
- 経年変化をみると、認知度は横ばい傾向にある。



⑤インクルーシブ教育推進の取組み（人種の別、男女の差、障がいなどの有無に関わらず、多様性を尊重しながら学ぶ教育）

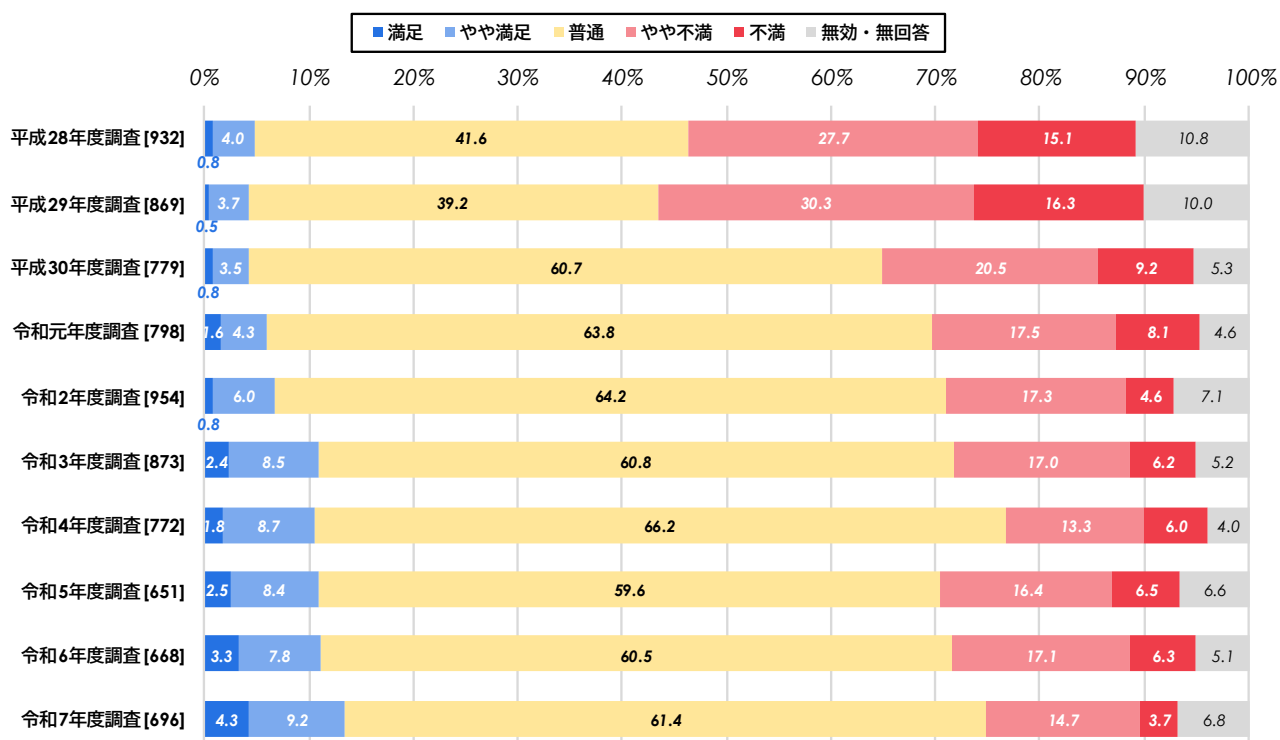
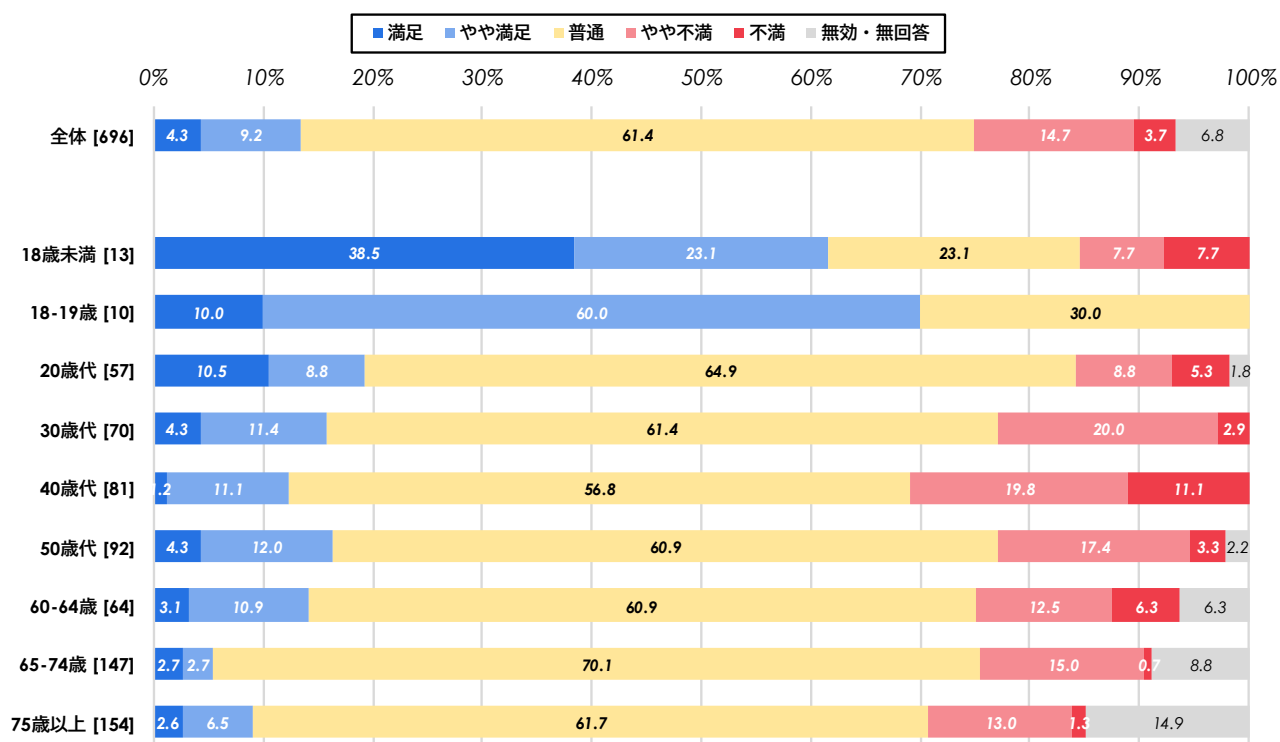
- 全体では「知っていた」割合は29.3%となった。
- 年齢別にみると、10代と、その保護者世代と考えられる40歳代の認知度が高い。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度をやや下回っている。



(2) 教育環境に対する満足度

①子どもの教育施設や教育環境に対する満足度

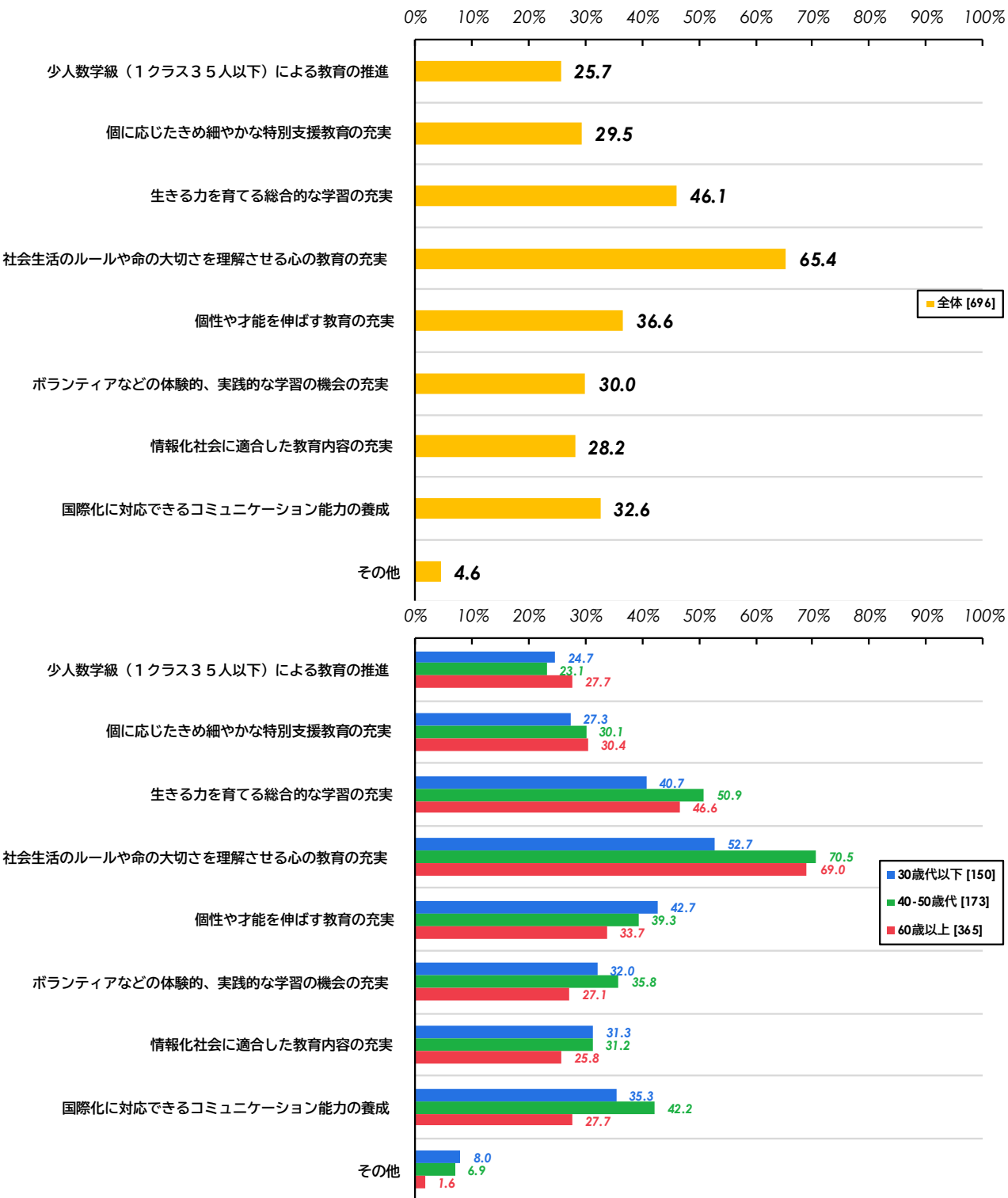
- 子どもの教育施設や教育環境に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、13.5%となっている。
- 年齢別にみると、10代の満足度は高いものの、その保護者世代と考えられる40歳代の満足度は低い。
- 経年変化をみると、満足度は改善傾向にある。



(3) 教育環境に関する施策について

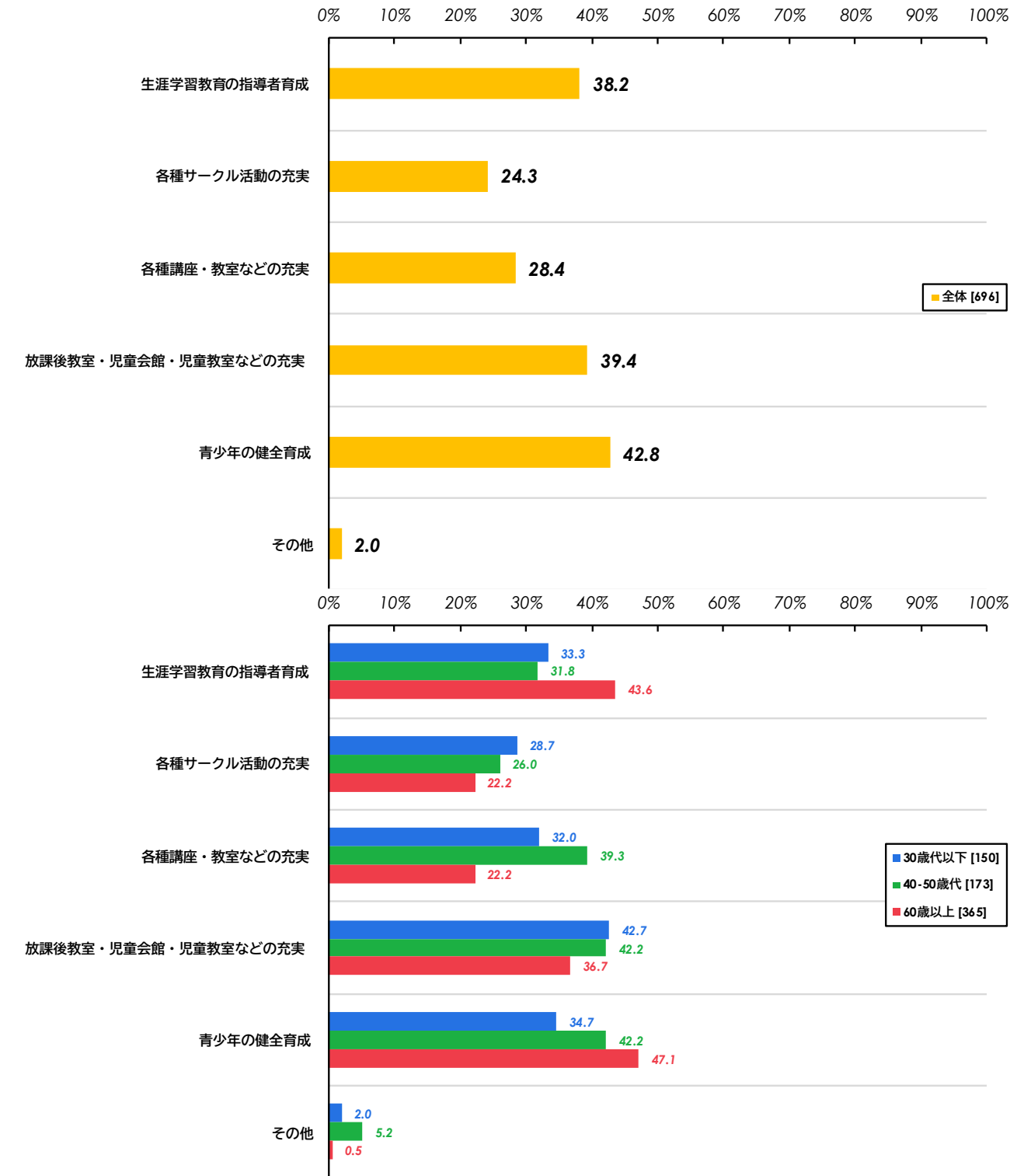
①学校教育に関する施策について

- 学校教育の充実のために、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が65.4%で最も高く、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」「個性や才能を伸ばす教育の充実」が続いた。
- 年齢別にみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」は若年層で低く、差が目立っている。



②社会教育に関する施策について

- 社会教育に関して、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「青少年の健全育成」が42.8%で最も高く、「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」「生涯学習教育の指導者育成」がほぼ同率で続いた。
- 年齢別にみると、「生涯学習教育の指導者育成」は高齢層で高い。

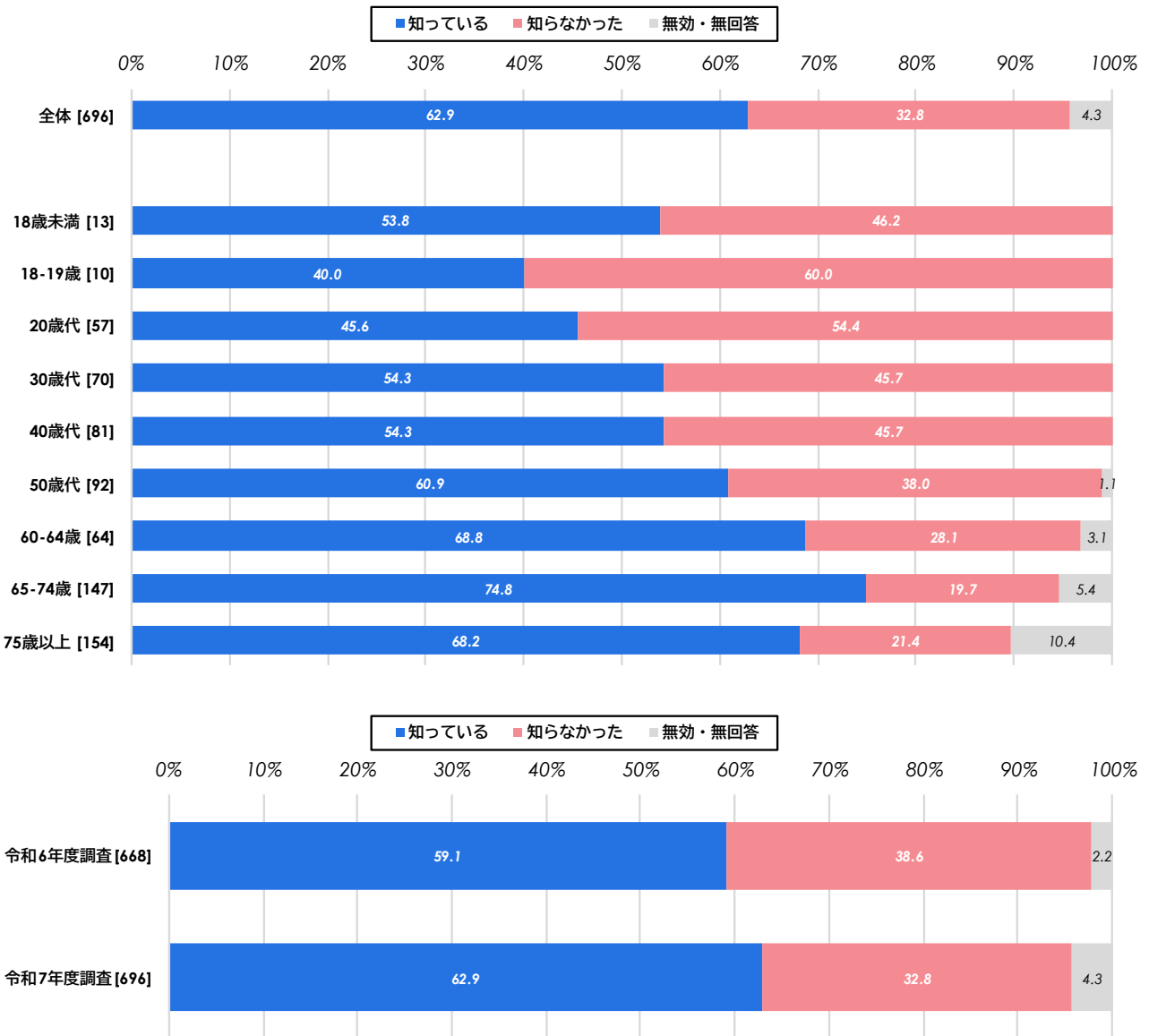


3.13 スポーツ・レクリエーション・文化について

(1) 施策に対する認知度

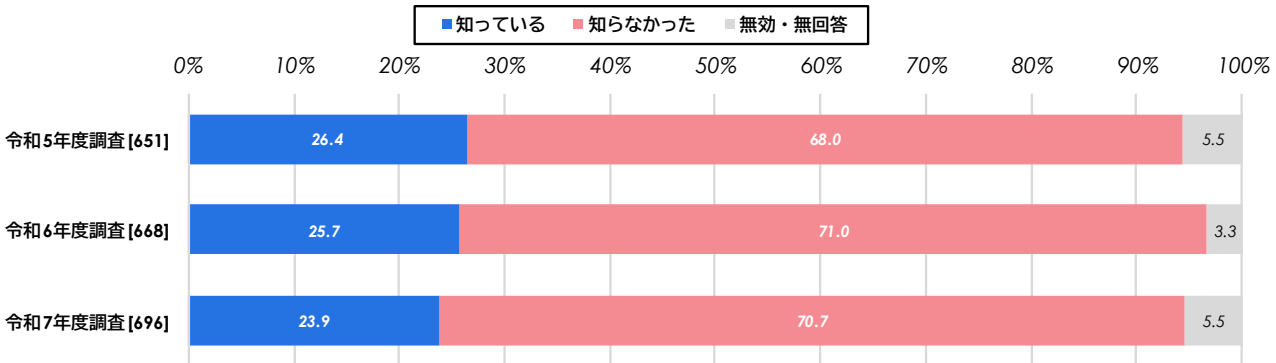
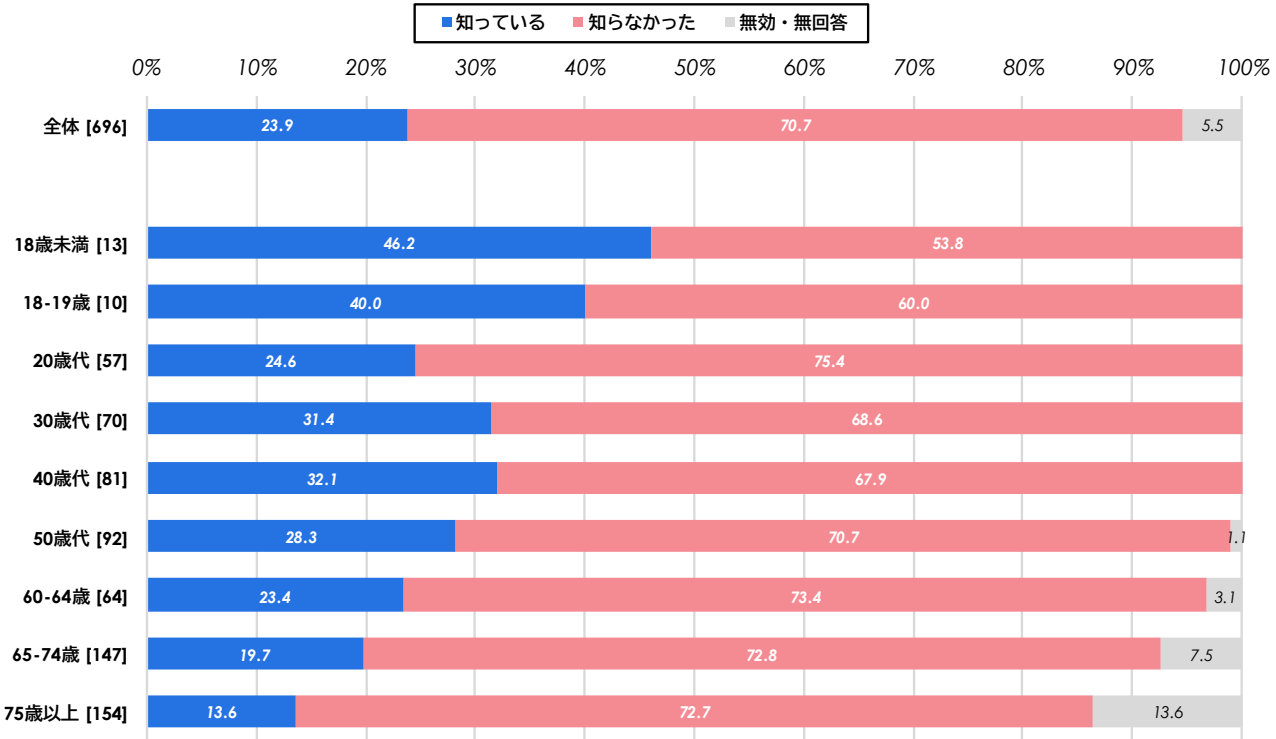
①屋内体育施設の老朽化等に伴う総合体育会館の整備に向けた基本構想策定（4つの屋内体育施設を一つに複合化・集約化し、柏陵中学校跡地を建設予定地とする構想）

- 全体では「知っていた」割合は62.9%となった。
- 年齢別にみると、高齢層ほど認知度が高い傾向がみられる。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を上回っている。



②みらいのアスリート・アーティスト応援事業（高校生までの学校教育活動以外の体育・文化活動遠征費の助成）

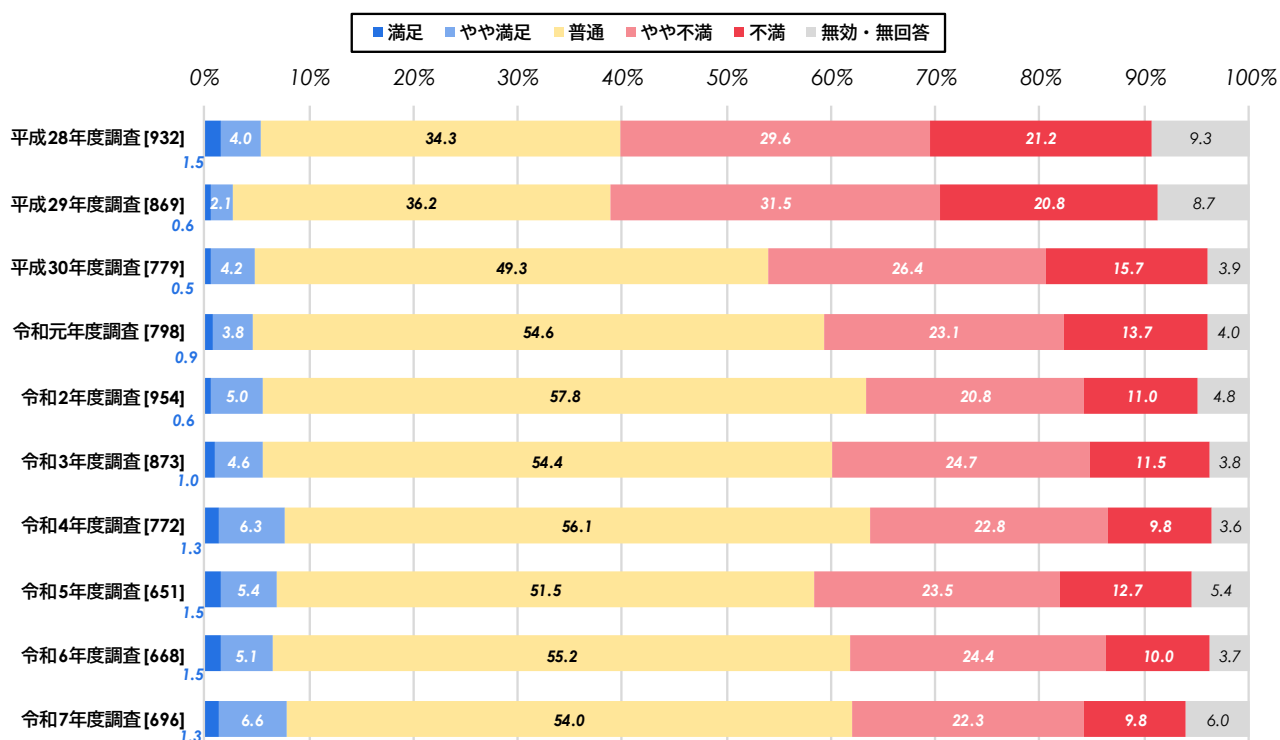
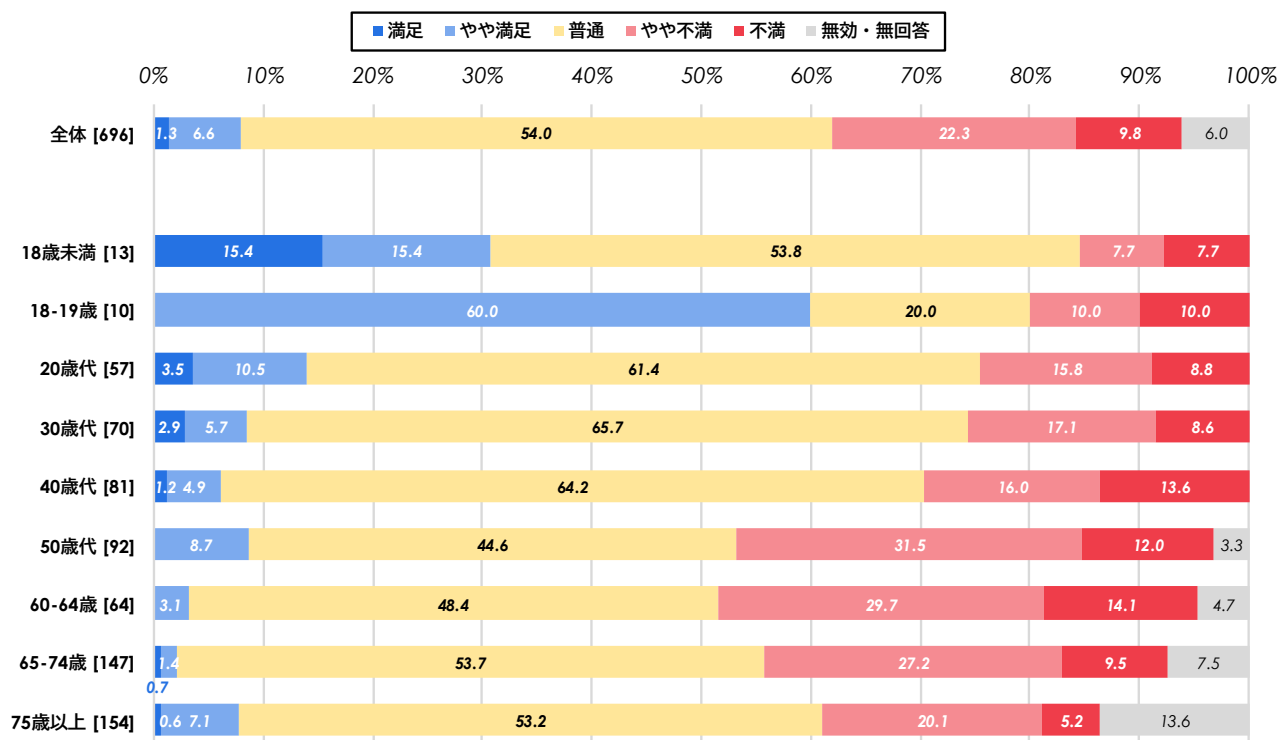
- 全体では「知っていた」割合は23.9%となった。
- 年齢別にみると、若年層ほど認知度が高い傾向がみられる。
- 経年変化をみると、認知度はやや低下傾向にある。



(2) スポーツ・レクリエーション・文化に関する満足度

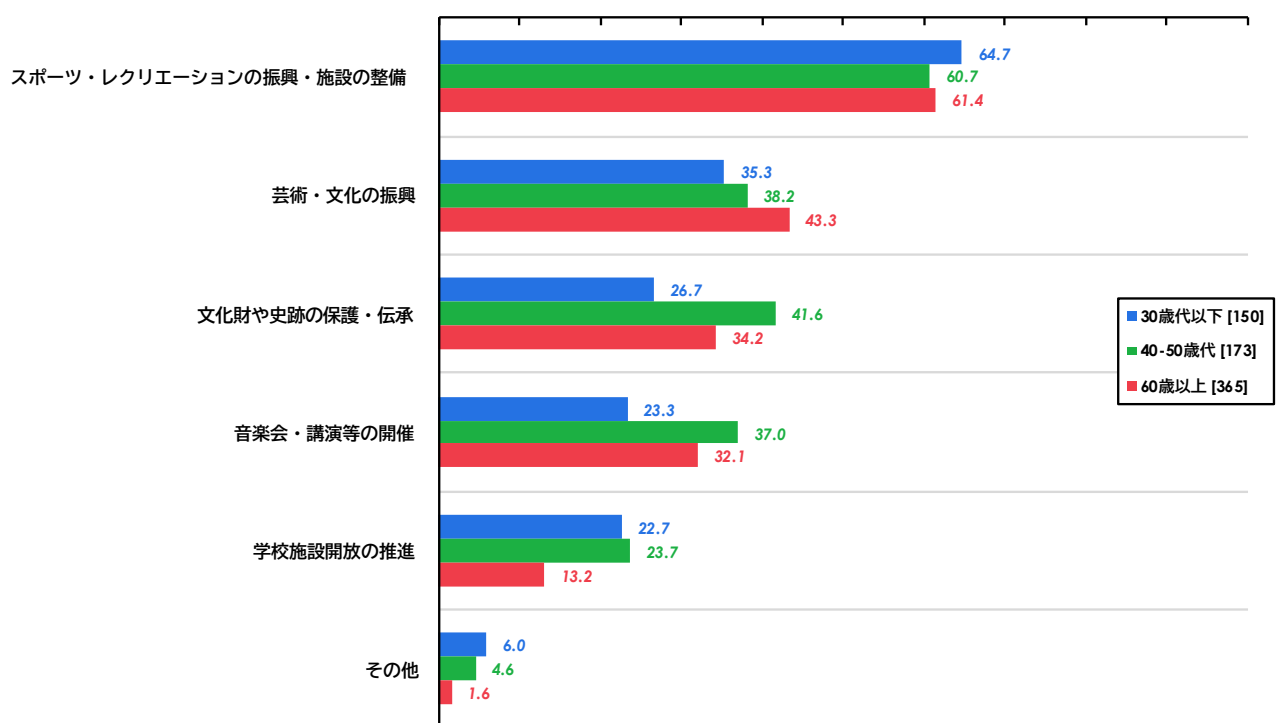
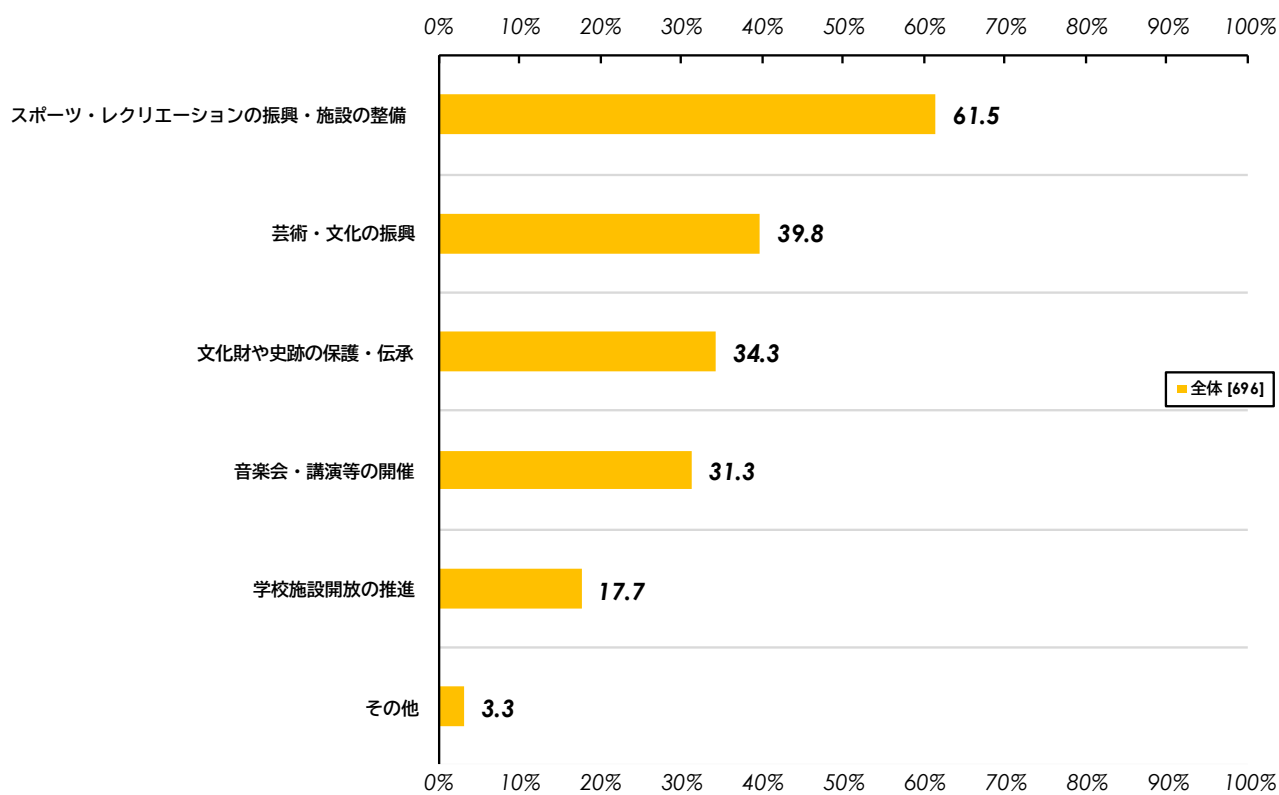
①スポーツ施設の状況に対する満足度

- スポーツ施設の状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、7.9%となっている。
- 年齢別にみると、10代の満足度は高いものの、その保護者世代と考えられる40歳代の満足度は低い。
- 経年変化をみると、満足度は改善傾向にある。



(3) スポーツ・レクリエーション・文化に関する施策について

- スポーツ・レクリエーション・文化について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が61.5%で最も高く、「芸術・文化の振興」「文化財や史跡の保護・伝承」が続いた。
- 年齢別にみると、「芸術・文化の振興」は高齢層で高い。

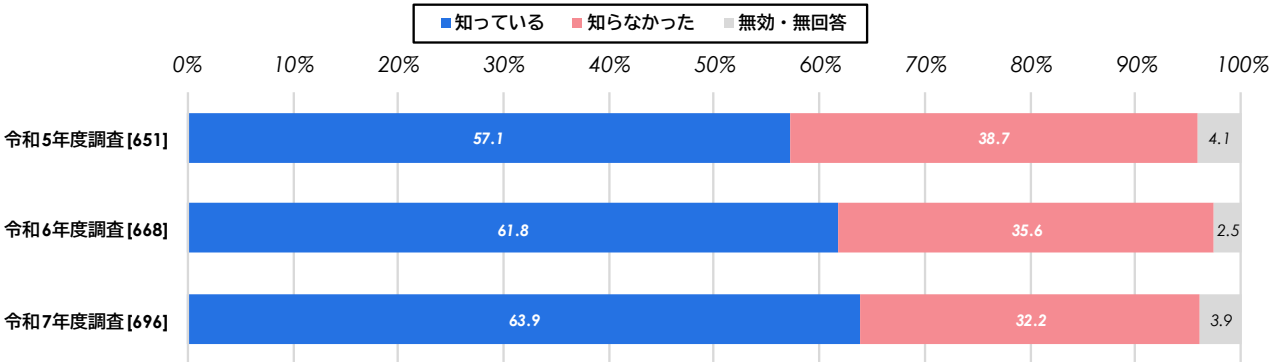
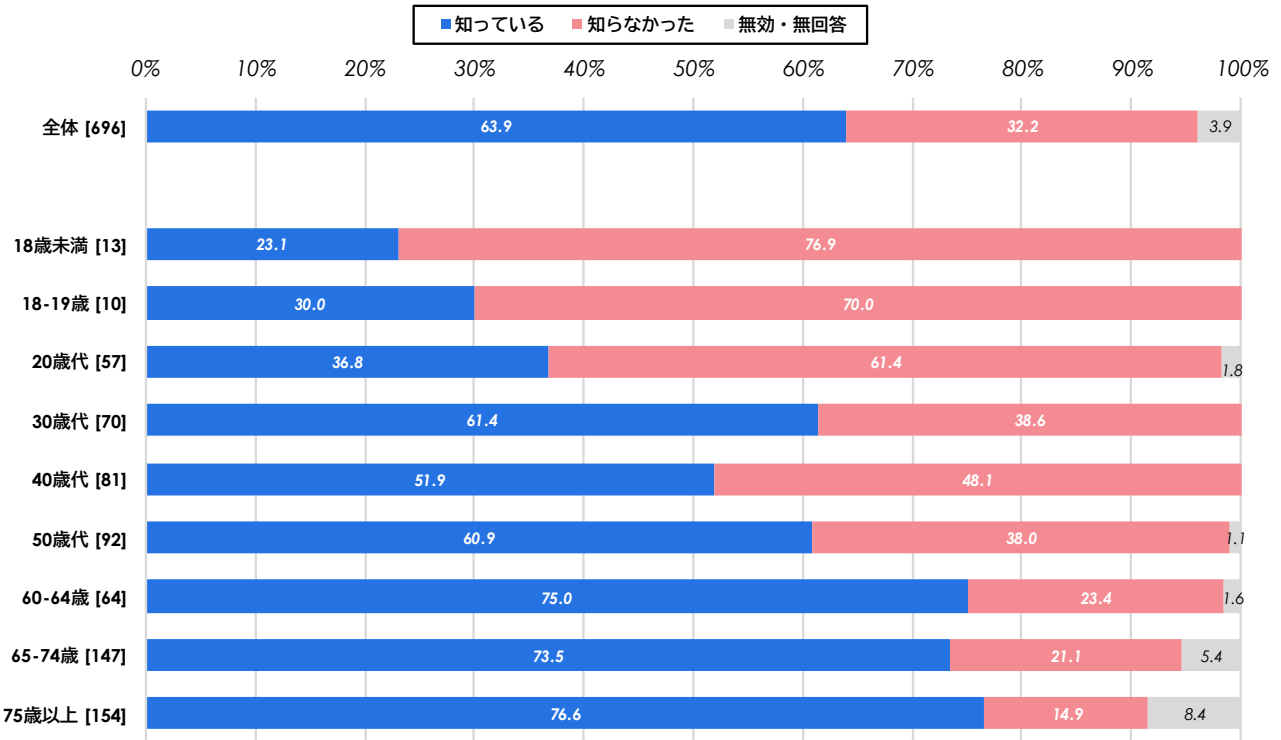


3.14 産業の振興について

(1) 施策に対する認知度

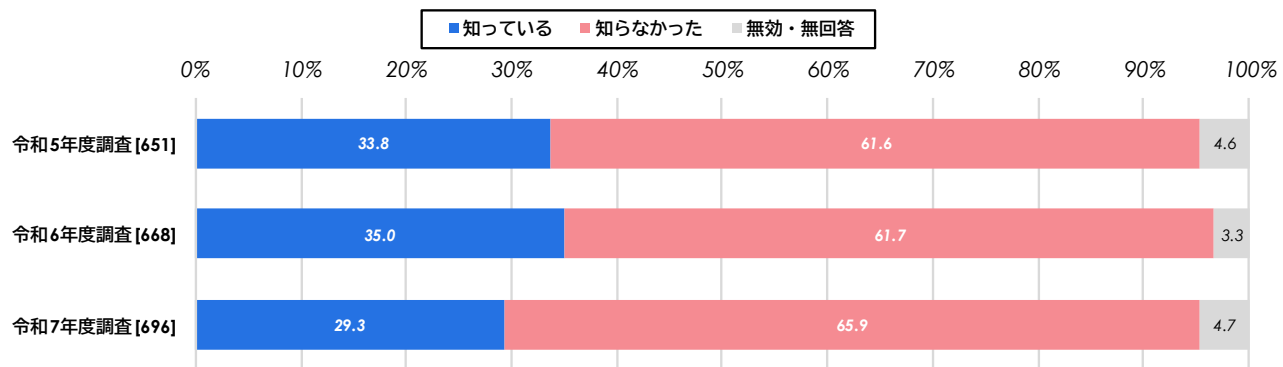
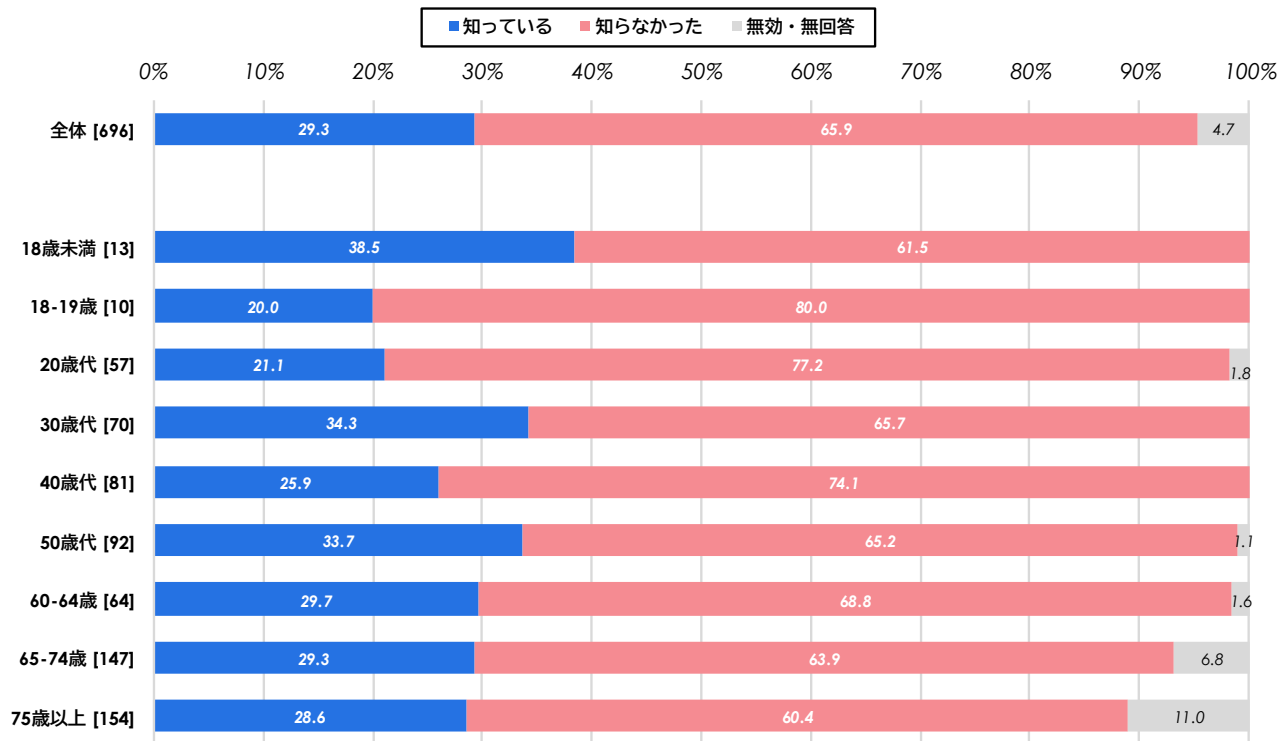
①漁業の振興（ホタテ資源増大、陸上養殖研究促進支援、サーモン養殖実証試験、沿岸漁業資源の高付加価値化、水産品の普及、販路拡大等）

- 全体では「知っていた」割合は63.9%となった。
- 年齢別にみると、高齢層ほど認知度が高い傾向がみられる。
- 経年変化をみると、認知度は上昇傾向にある。



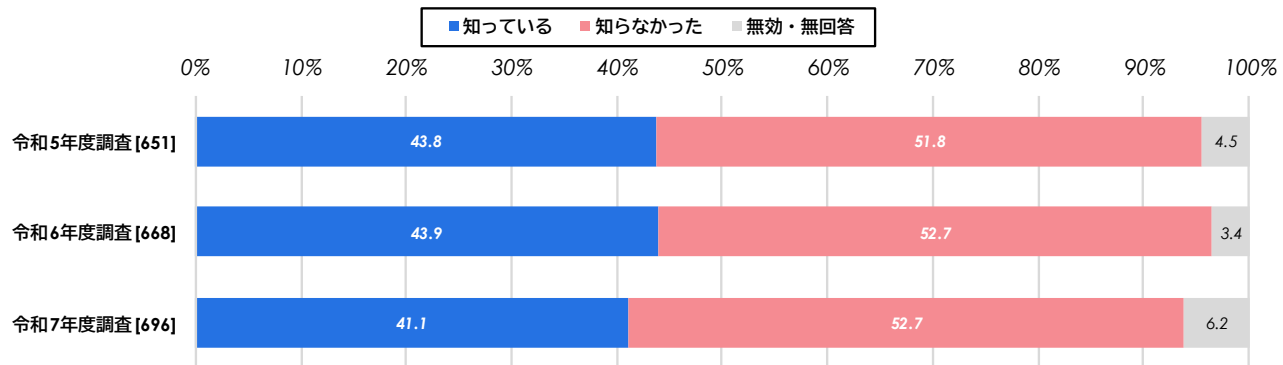
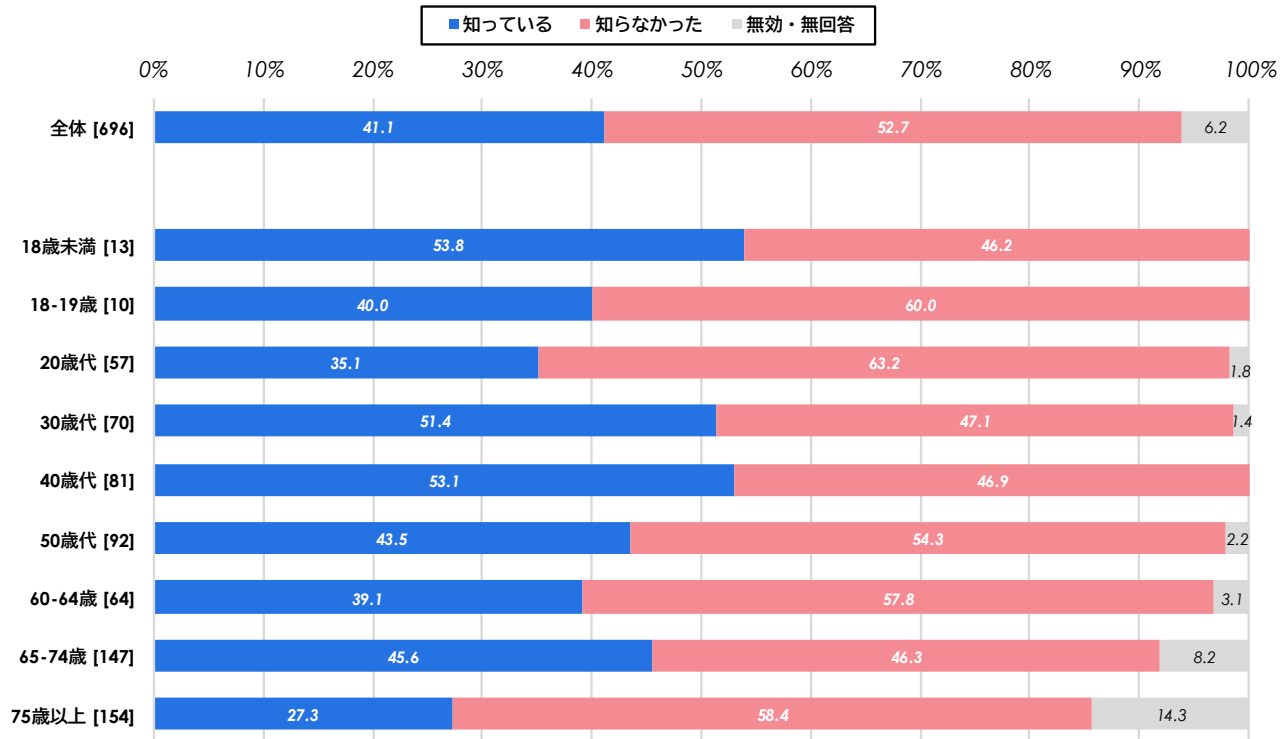
②農業の振興（根室産農畜産物のブランド化、酪農業担い手確保等）

- 全体では「知っていた」割合は29.3%となった。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を下回っている。



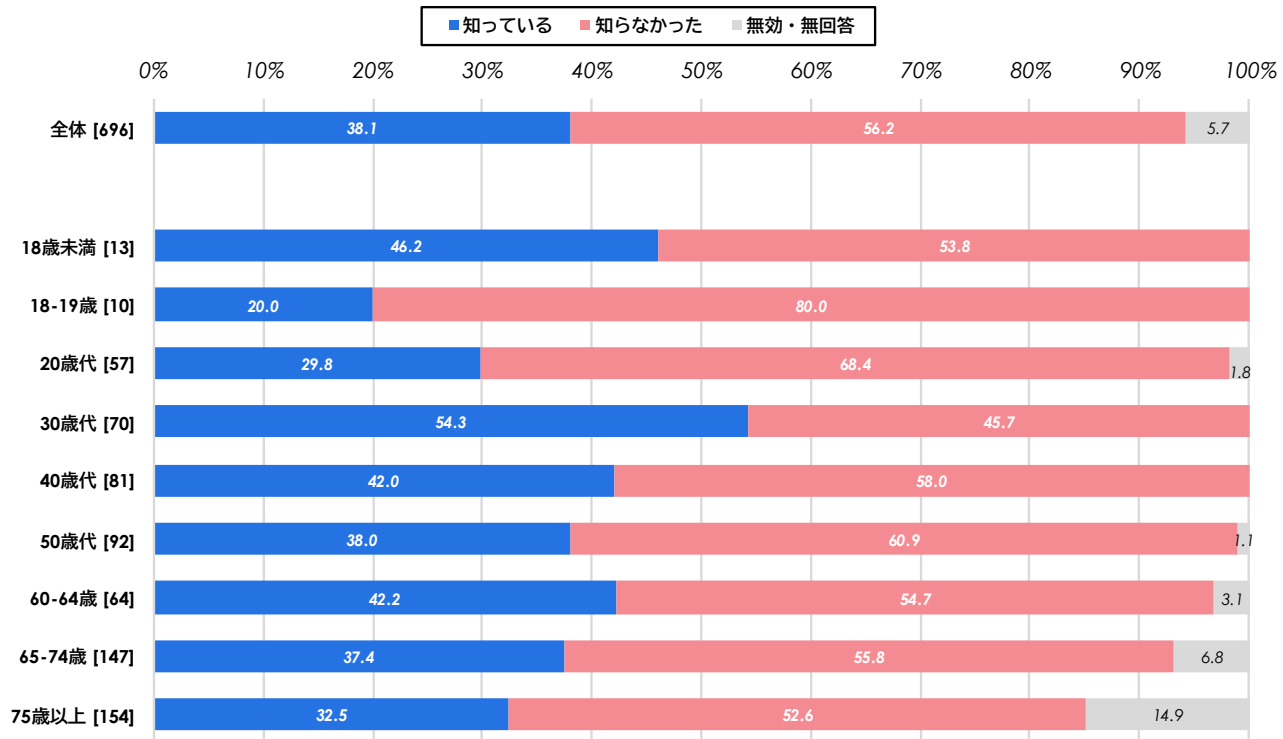
③観光の振興（観光プロモーション動画の作成、各種観光イベントの開催）

- 全体では「知っていた」割合は41.1%となった。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を下回っている。



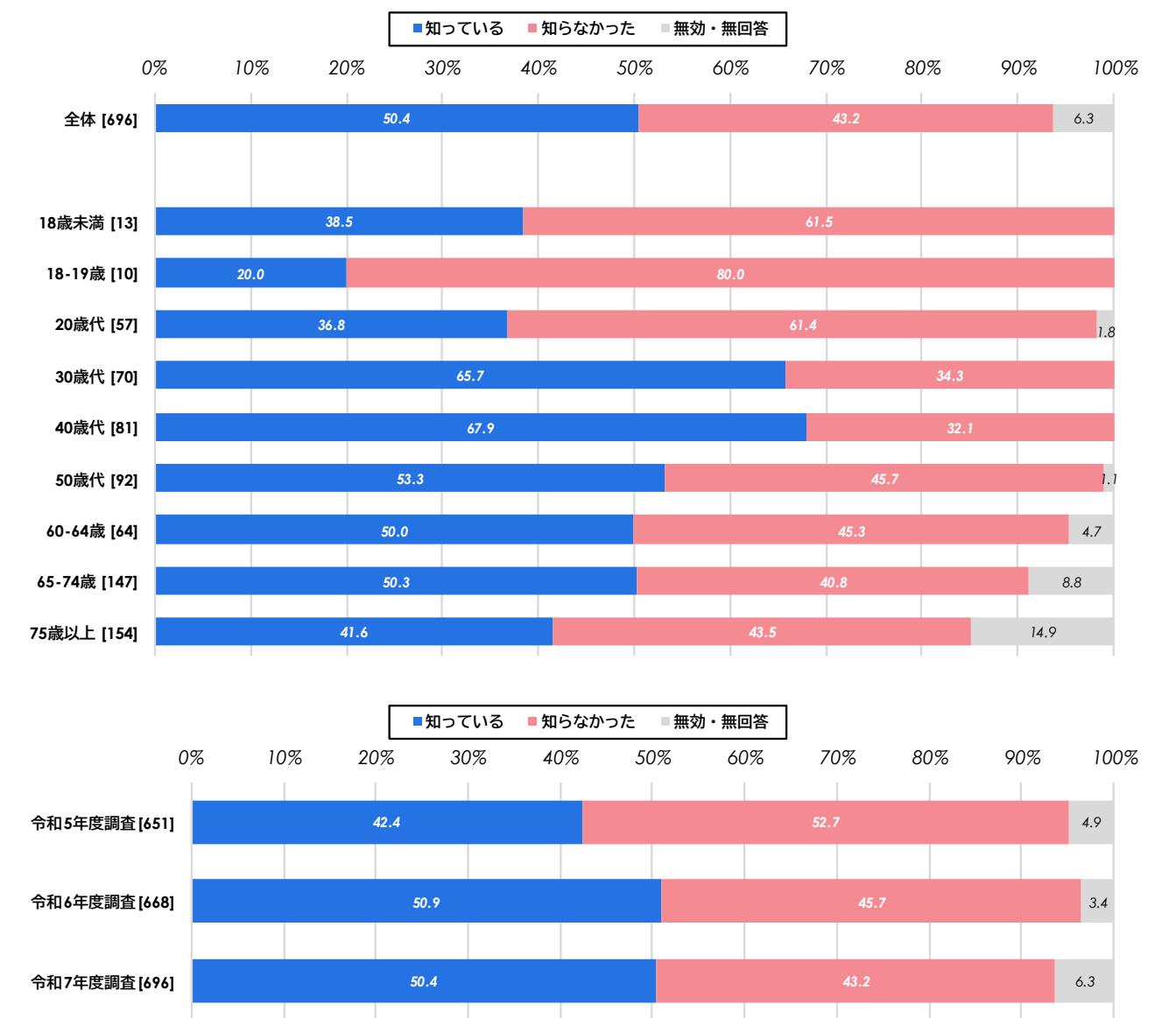
④鳥獣被害防止の対策（ハンターの育成支援や猟銃購入への補助金）

- 今年度より新たに追加された設問である。
- 全体では「知っていた」割合は38.1%となった。



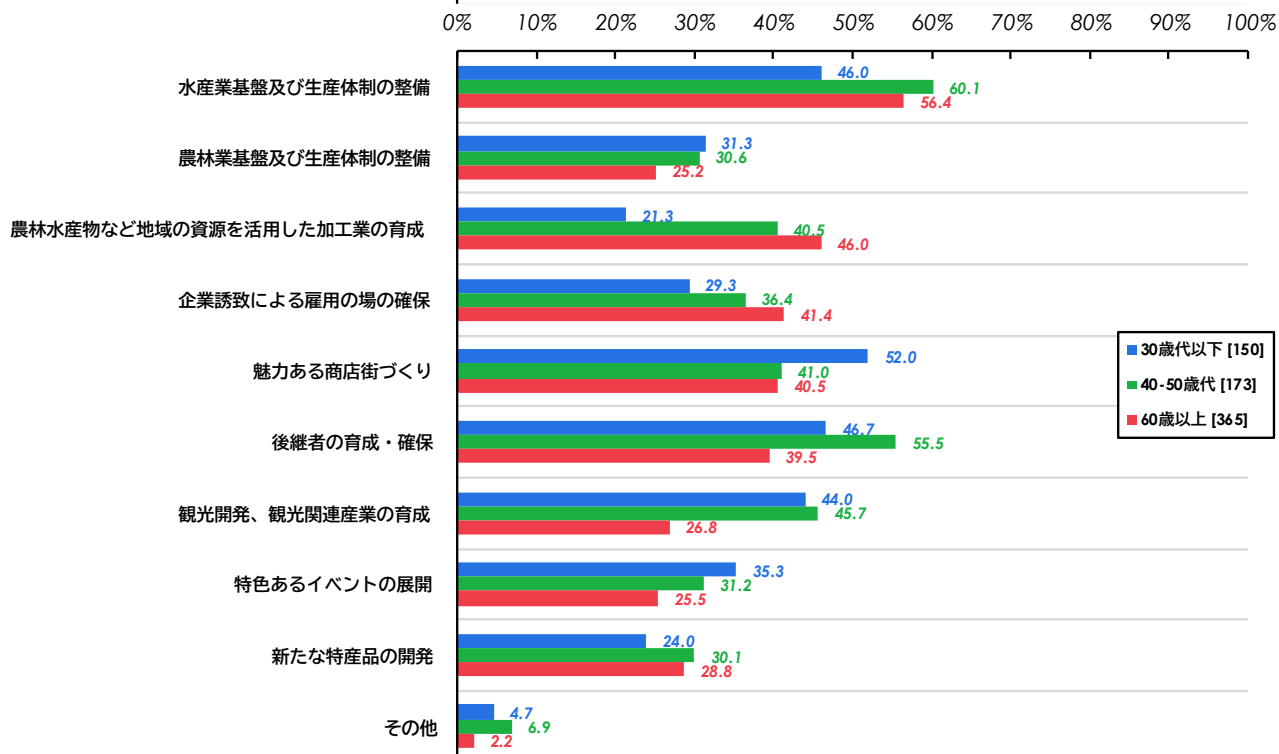
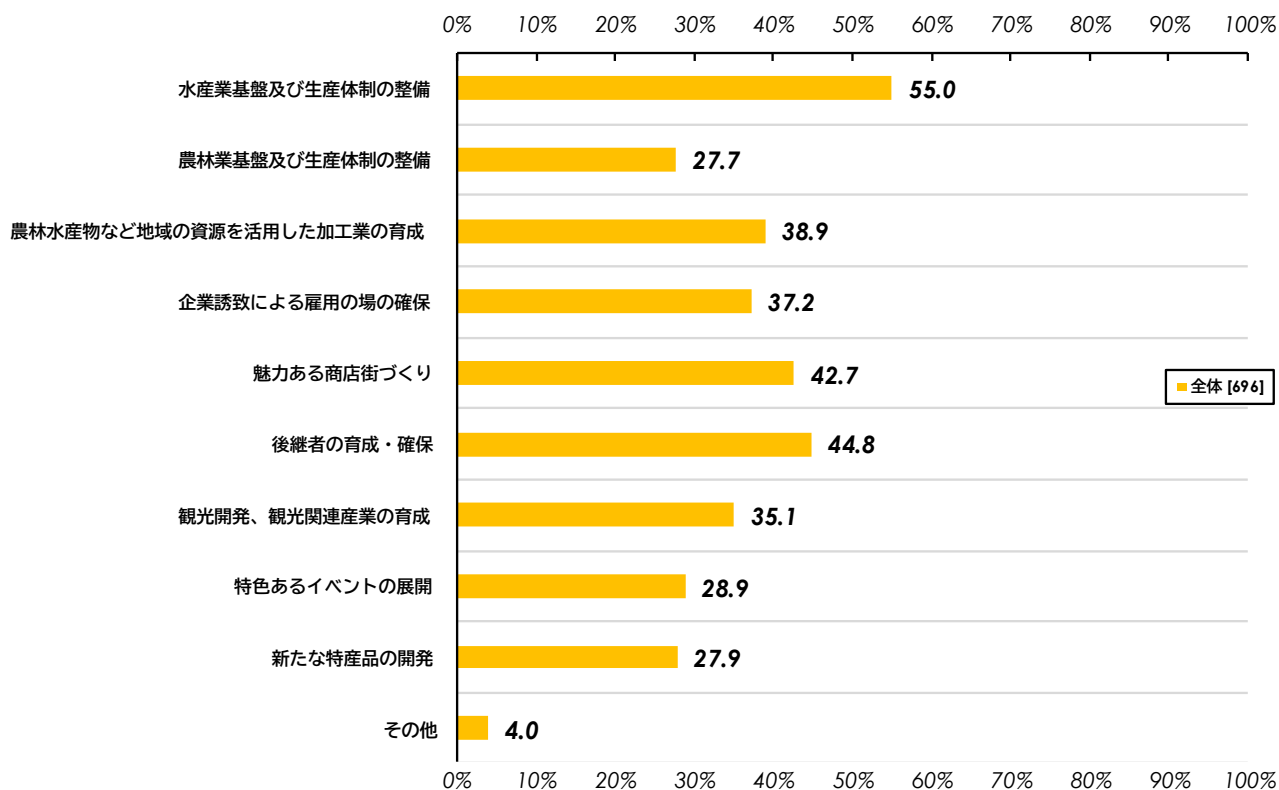
⑤移住交流の促進（地域おこし協力隊の受入れ、移住体験住宅の運営、オンライン移住相談等）

- 全体では「知っていた」割合は50.4%となった。
- 年齢別にみると、20歳代以下の若年層と75歳以上の認知度が低い。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度から横ばいとなっている。



(3) 産業振興施策について

- 根室市の産業振興について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を回答してもらった結果、「水産業基盤及び生産体制の整備」が55.0%で最も高く、「後継者の育成・確保」「魅力ある商店街づくり」が続いた。
- 年齢別にみると、「魅力ある商店街づくり」は若年層で高く、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」は高齢層で高い。

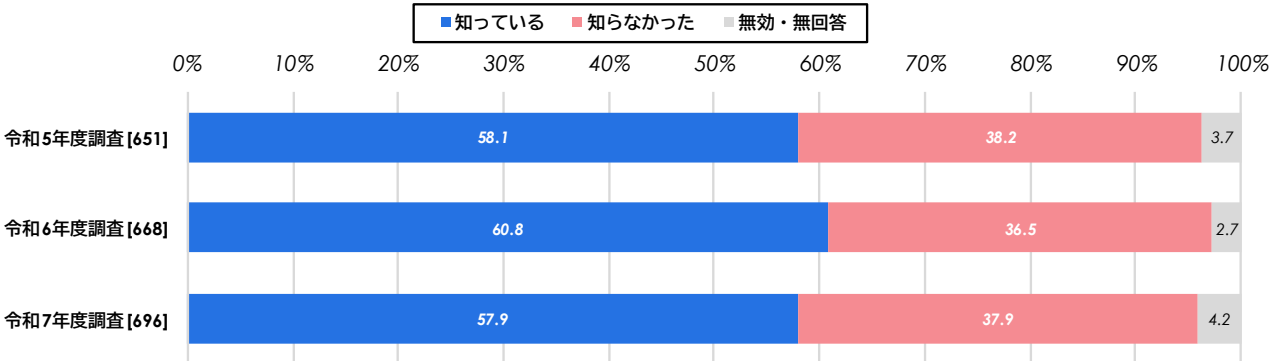
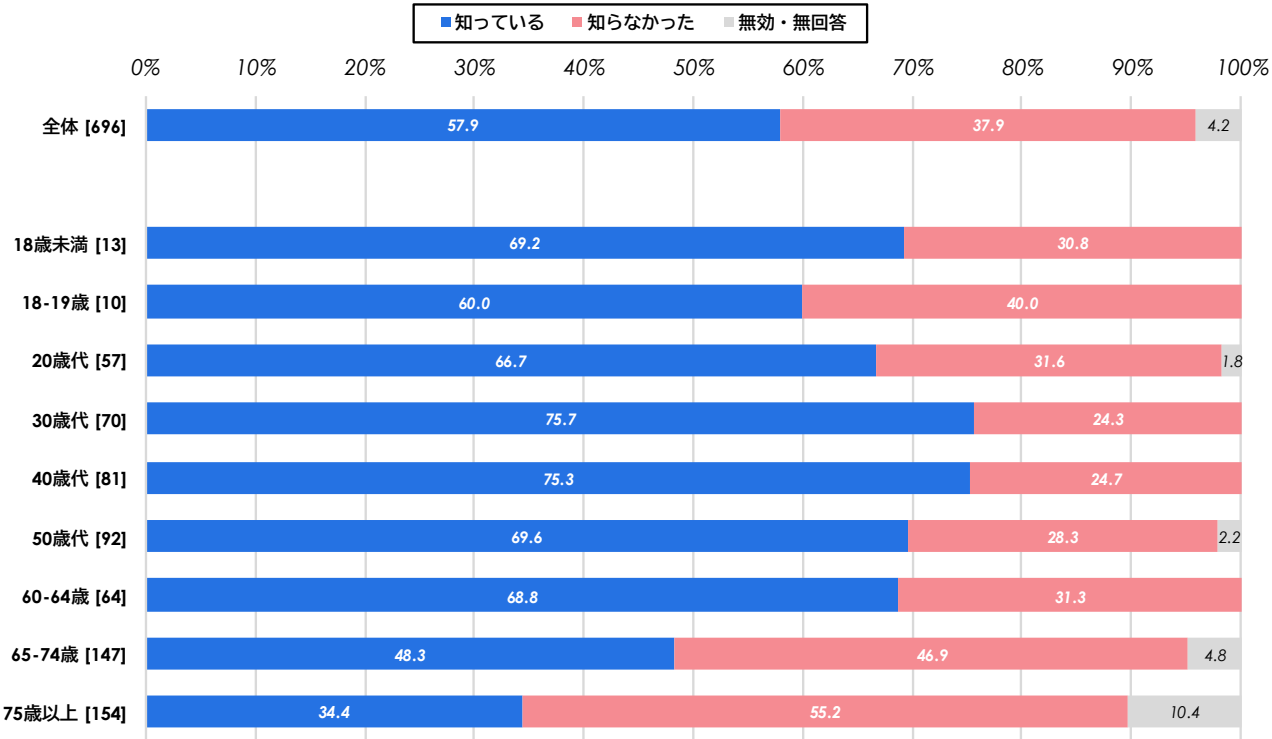


3.15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

（1）施策に対する認知度

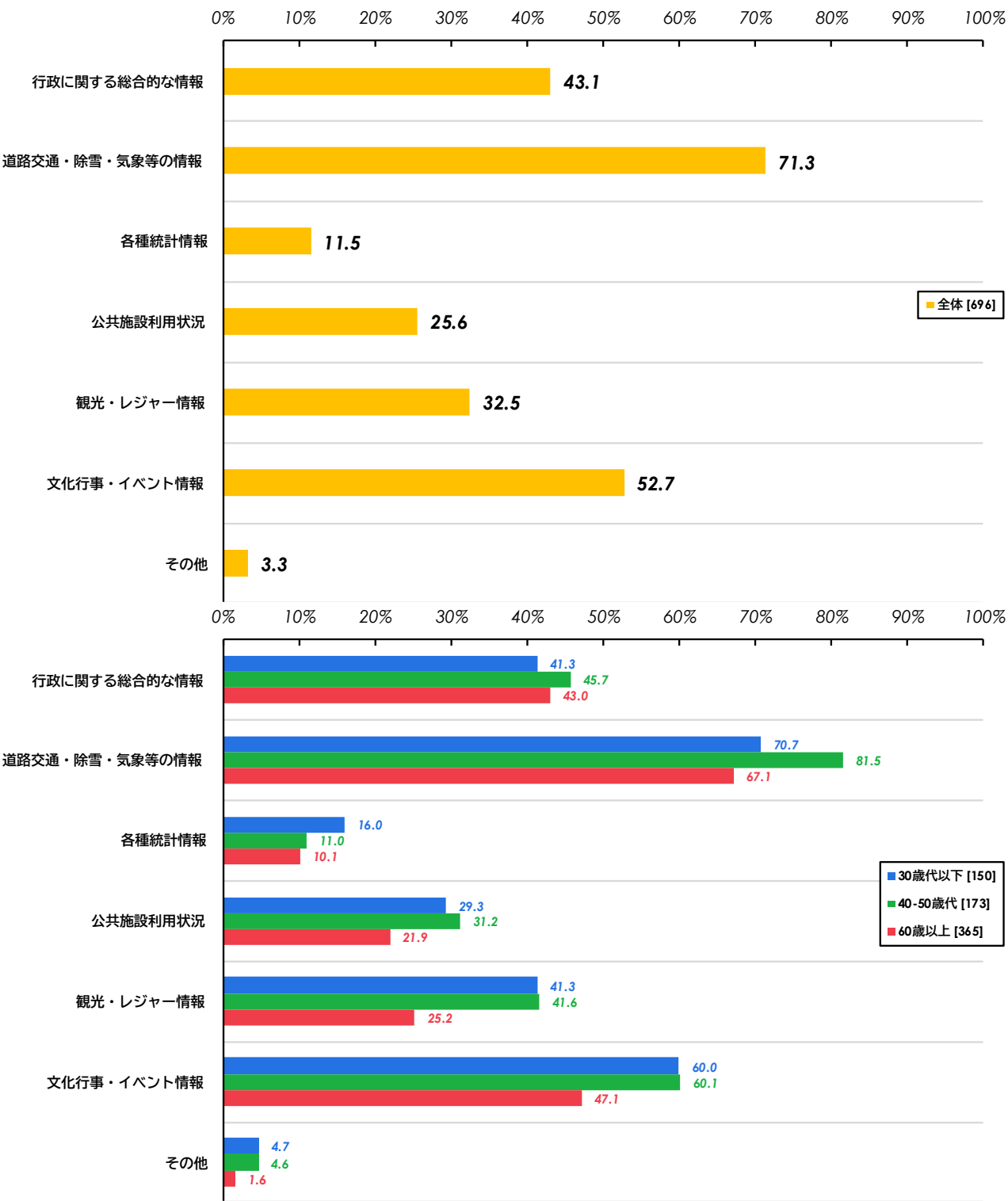
①「ねむろメール」やフェイスブック・X（旧ツイッター）・インスタグラム・市公式LINE、地上デジタル放送を活用した「地デジ広報」等による行政情報の発信（防災・子育て・イベント情報など）

- 全体では「知っていた」割合は57.9%となった。
- 年齢別にみると、65歳以上の高齢層の認知度が低い。
- 経年変化をみると、認知度は横ばい傾向にある。



(2) 情報の共有化に関する施策について

- 行政からの情報提供に対する要望を回答してもらった結果、「道路交通・除雪・気象等の情報」が71.3%で最も高く、「文化行事・イベント情報」「行政に関する総合的な情報」が続いた。
- 年齢別にみると、「公共施設利用状況」「観光・レジャー情報」「文化行事・イベント情報」は高齢層のみ低い。

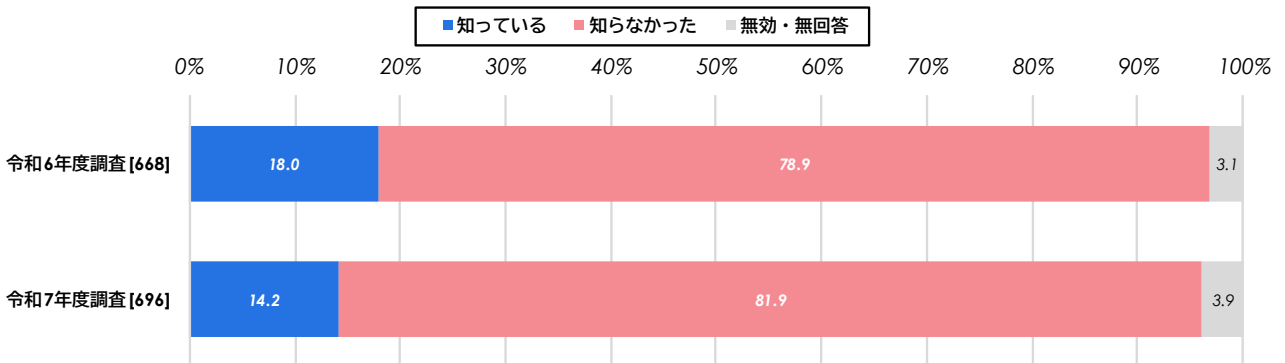
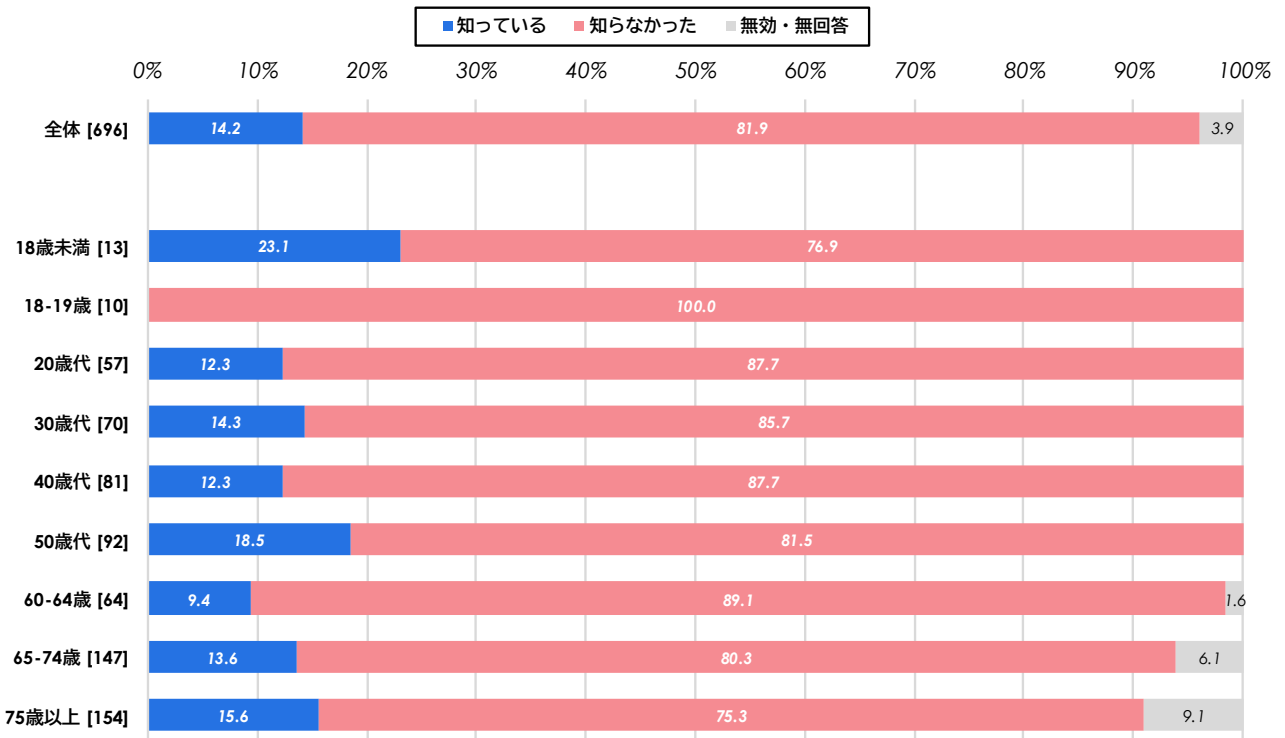


3.16 市民協働について

(1) 施策に対する認知度

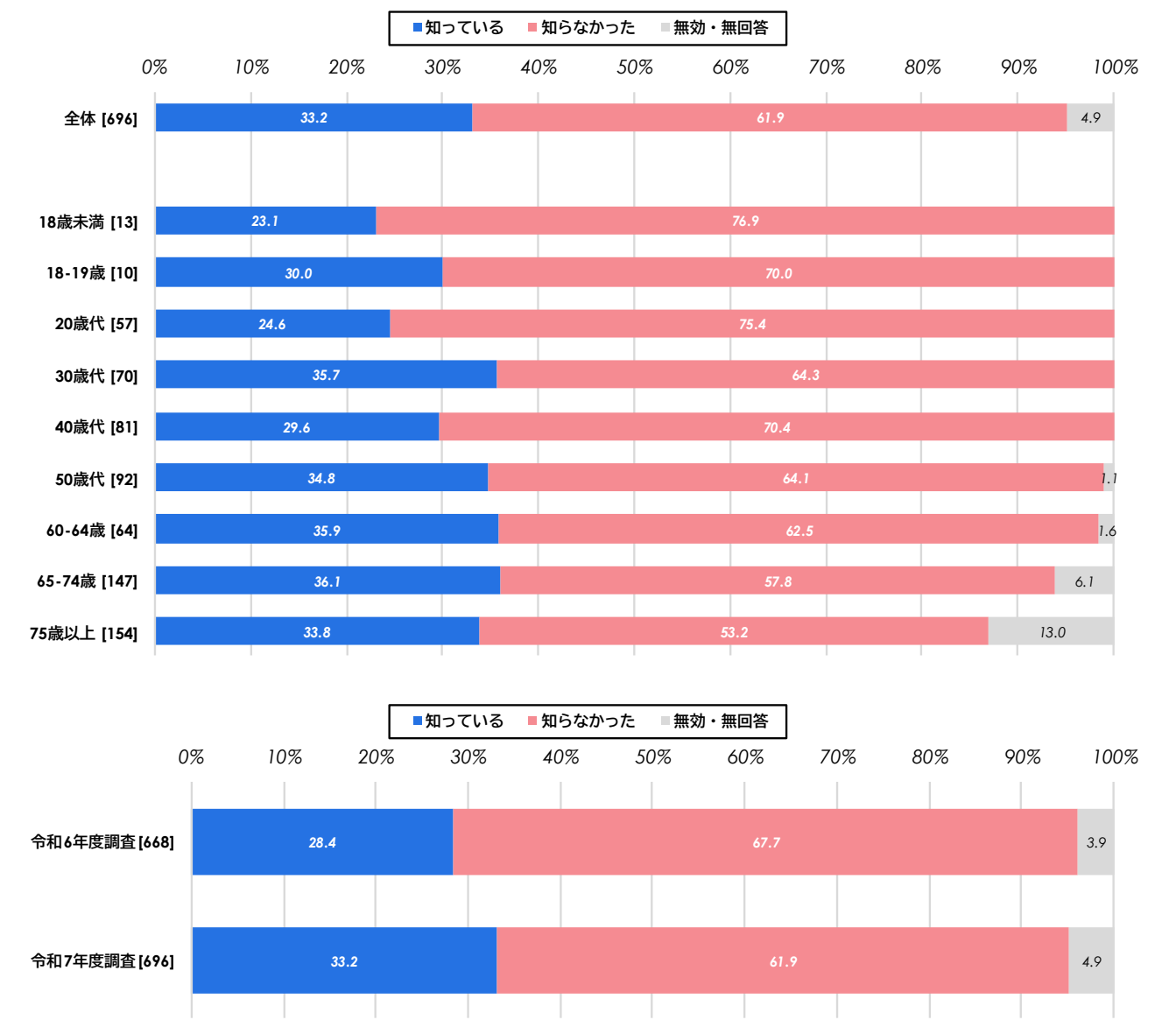
①市民、事業者、市職員で組織する「ねむろ未来塾」による公共施設グランドデザイン構想の策定（30年後を見据えたまちの将来像をデザイン）

- 全体では「知っていた」割合は14.2%となった。これは本調査における各施策の認知度で最も低い数値である。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を下回っている。



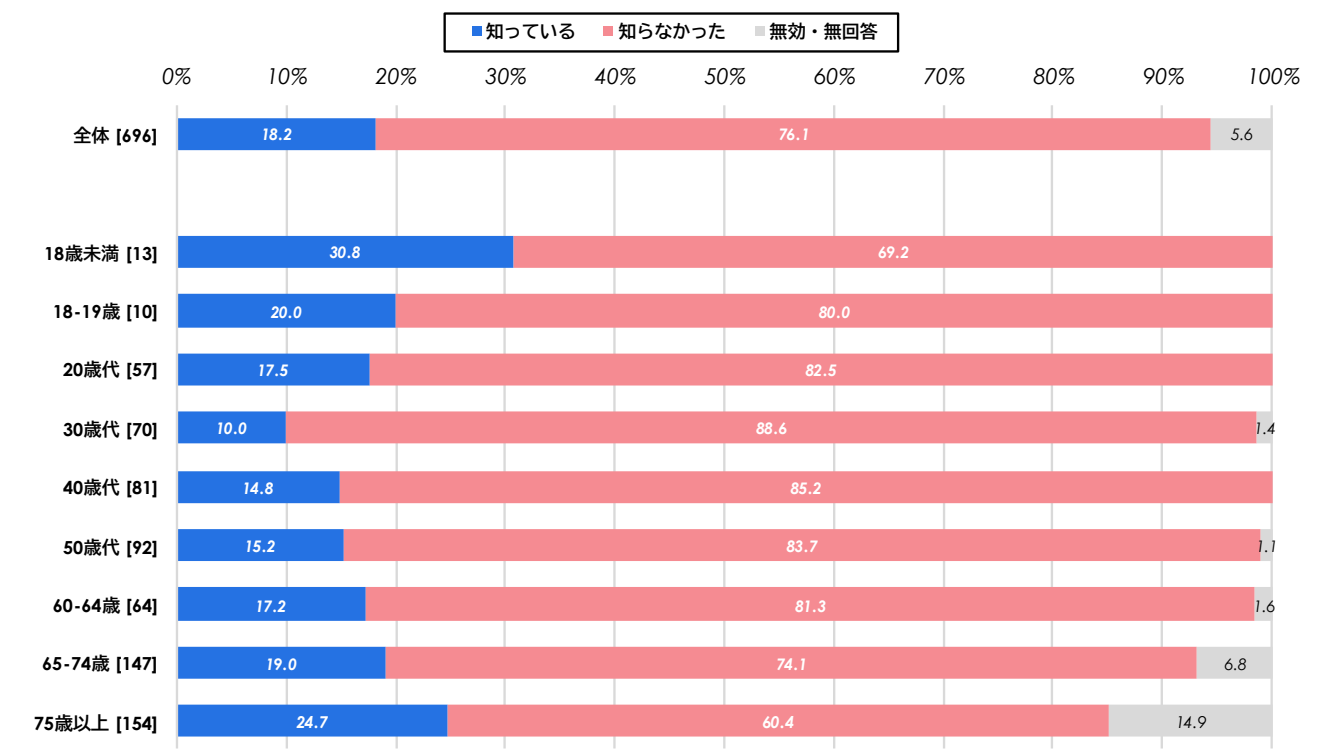
②人づくり・まちづくり補助事業（市民が主体となる団体などが行うイベント・講演会等に対する財政支援）

- 全体では「知っていた」割合は33.2%となった。
- 経年変化をみると、認知度は昨年度を上回っている。



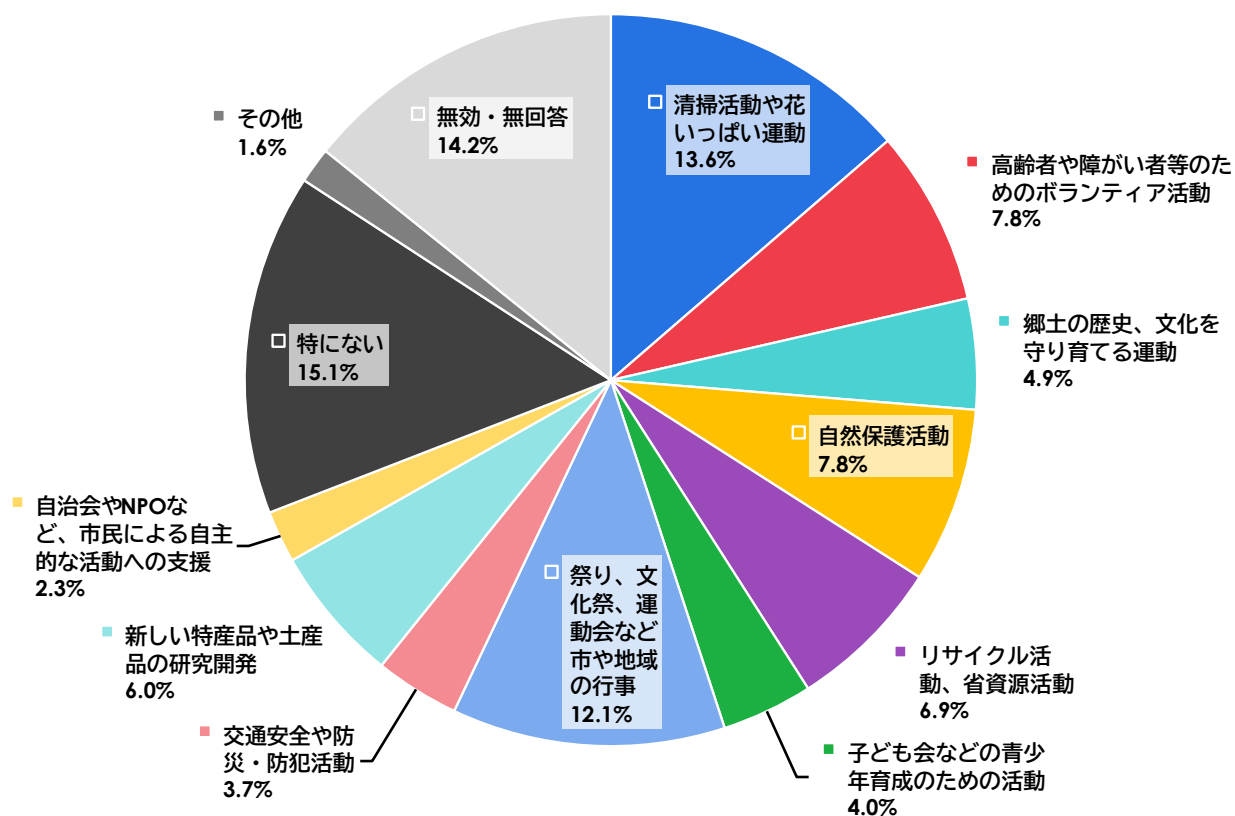
③共創のまちづくり元気ファンドの創設（クラウドファンディング型ふるさと納税制度を活用した、NPO法人や企業等に対する補助制度）

- 今年度より新たに追加された設問である。
- 全体では「知っていた」割合は18.2%となった。

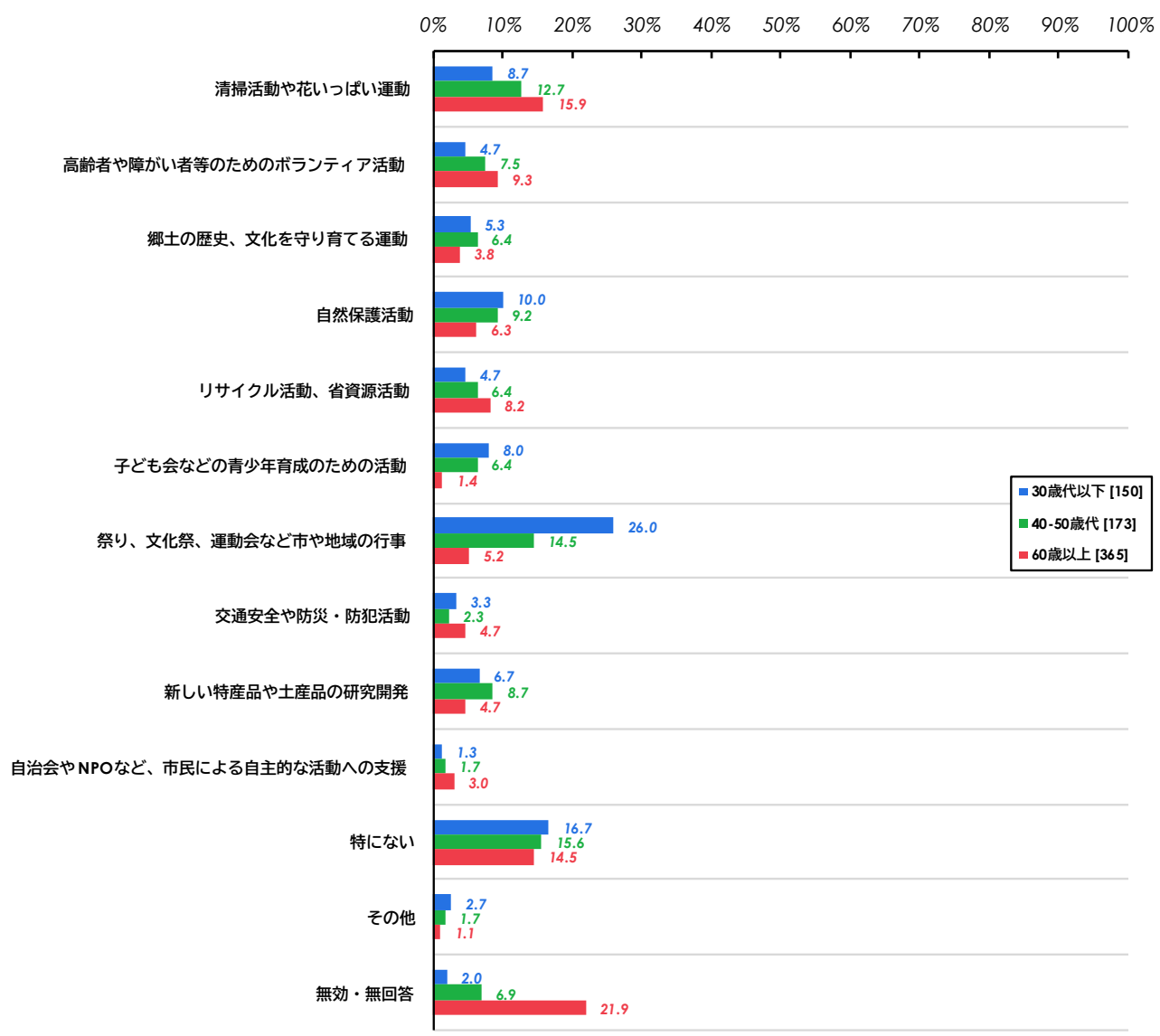


(2) 「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動

- 市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加する活動を1つ回答してもらった結果をみると、各項目に回答が分散しているが、「清掃活動や花いっぱい運動」「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」の回答率が比較的高い。
- ただし、最も回答率が高かったのは「特にない」となった。

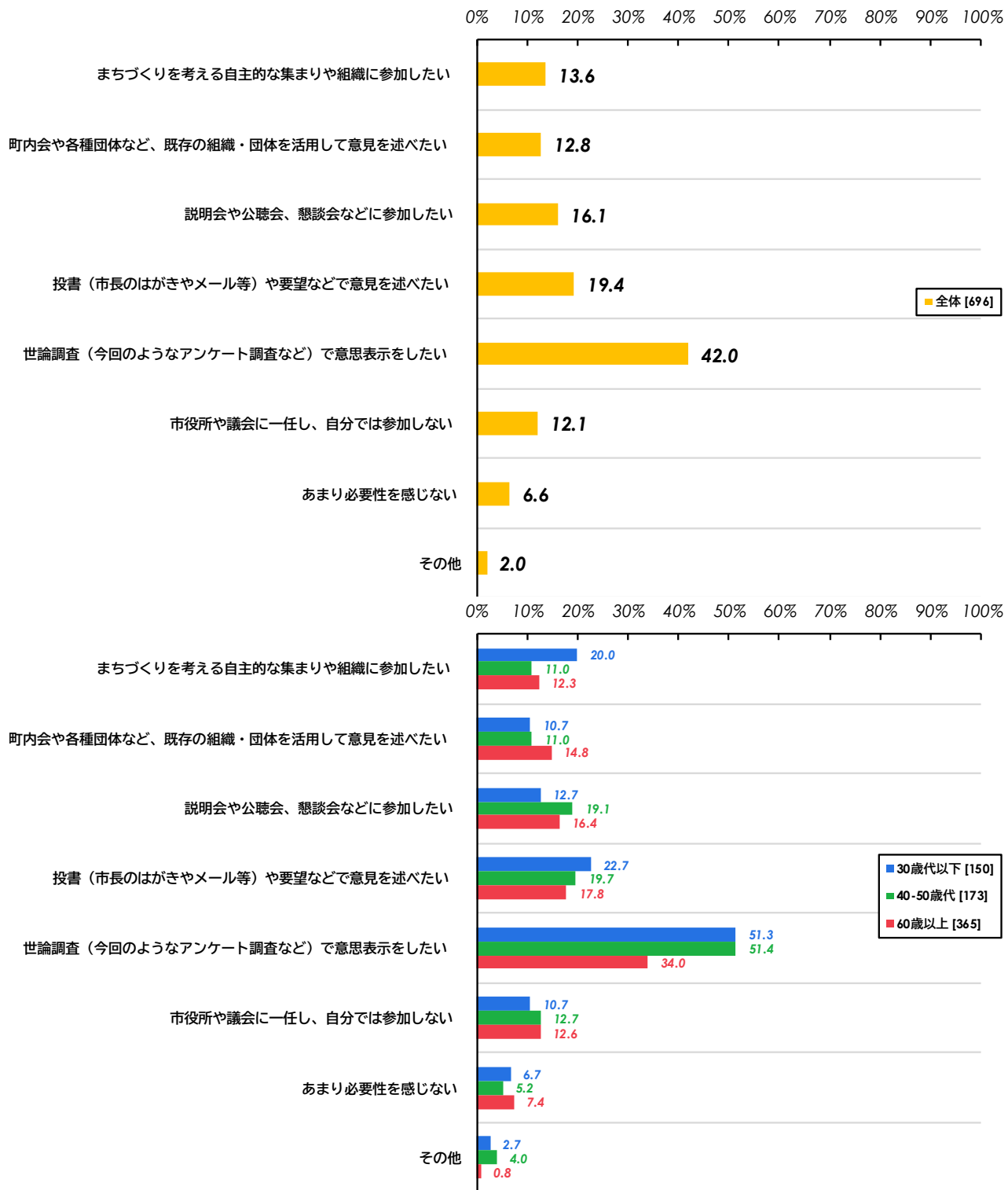


- 年齢別にみると、「清掃活動や花いっぱい活動」は高齢層で高く、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」は若年層で高い。
- 「特にない」はいずれの層でも高く、高齢層では無回答も多かった。



3.17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

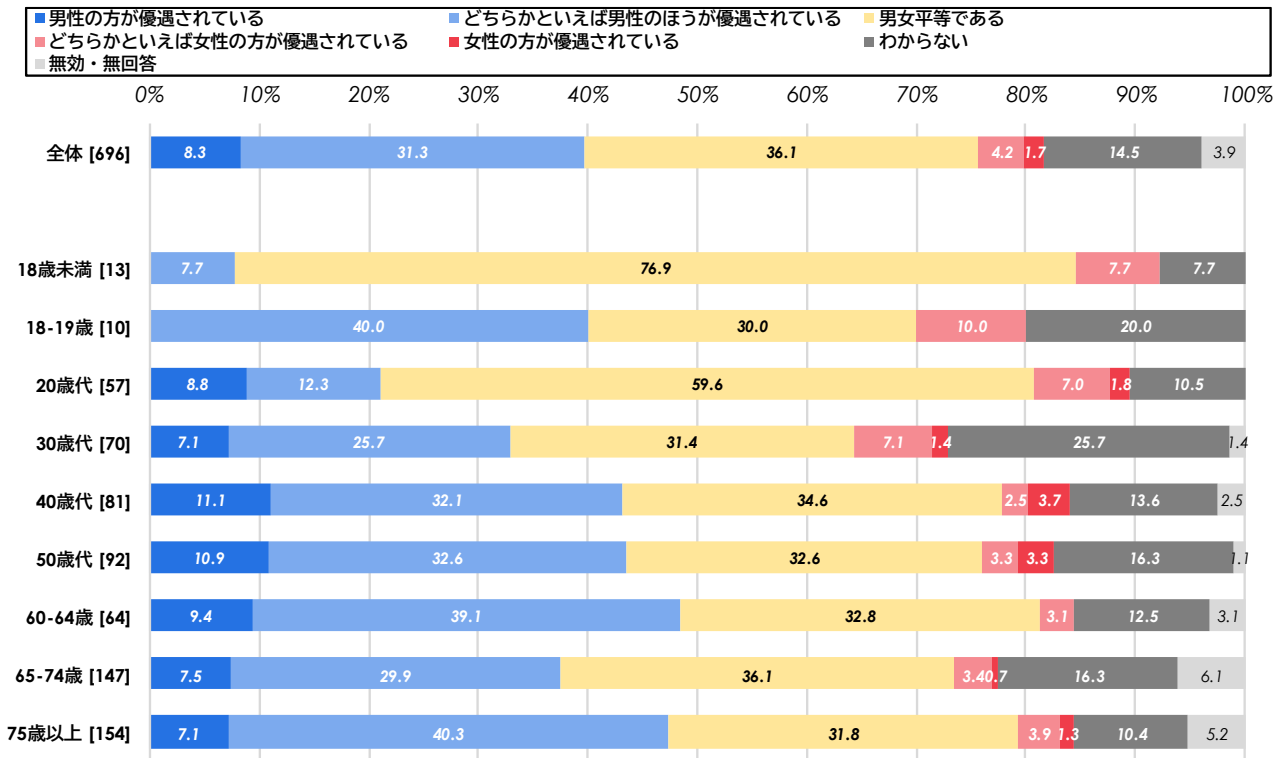
- まちづくりへの参加方法を回答してもらった結果、「世論調査で意思表示をしたい」が42.0%で最も高く、「投書や要望などで意見を述べたい」「説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」が続いた。
- 年齢別にみると、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」が若年層で高い。「世論調査で意思表示をしたい」は高齢層で低くなっており、差が目立っている。



3.18 男女共同参画について

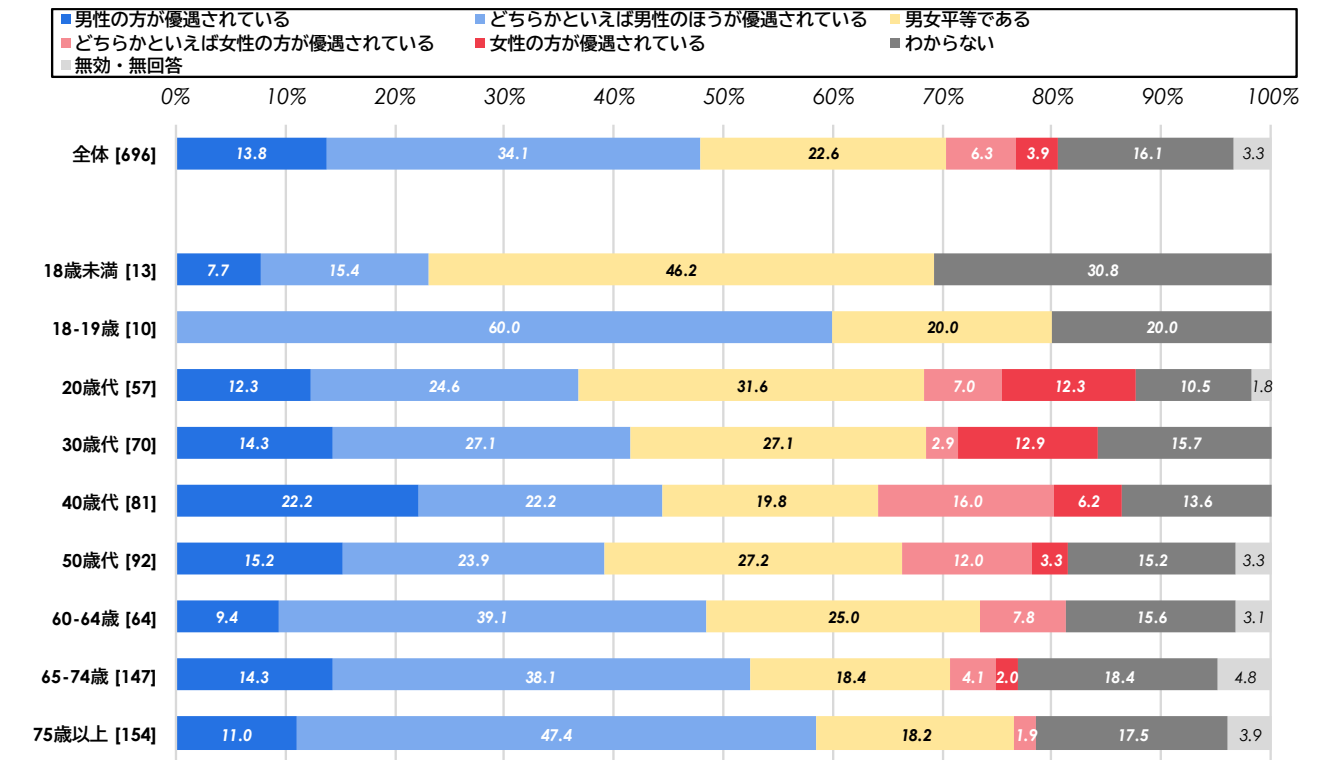
①家庭における男女平等

- 全体では「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて39.6%、「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせて5.9%となった。
- 年齢別にみると、高齢層ほど男性優遇であるとの意識が強い傾向がみられる。サンプル数が少ないものの、18歳未満では76.9%が「男女平等である」と回答している。



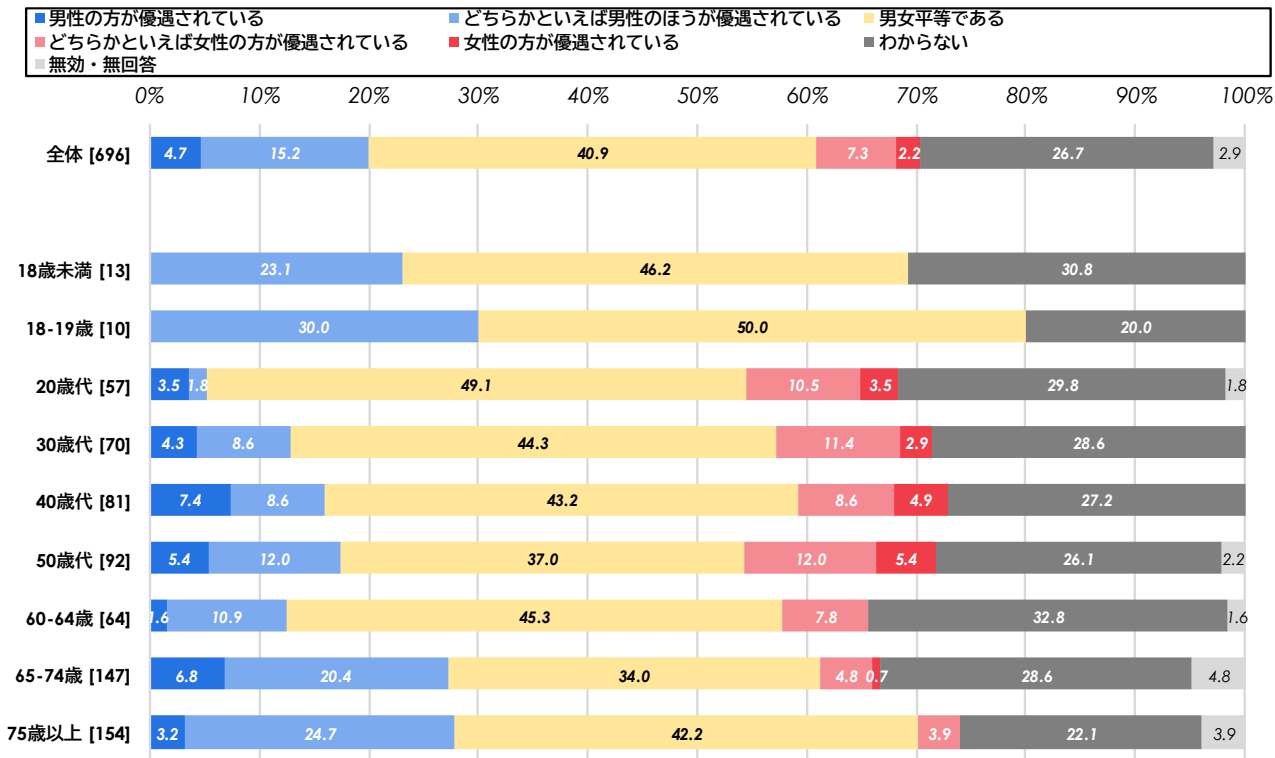
②仕事における男女平等

- 全体では「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて47.9%、「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせて10.2%となった。
- 年齢別にみると、高齢層ほど男性優遇であるとの意識が強い傾向がみられる。
- いずれの年代でも男性優遇であるとの意識が強いが、20～30歳代では「女性の方が優遇されている」との回答も10%を超えており、高齢層とは傾向が異なっている。



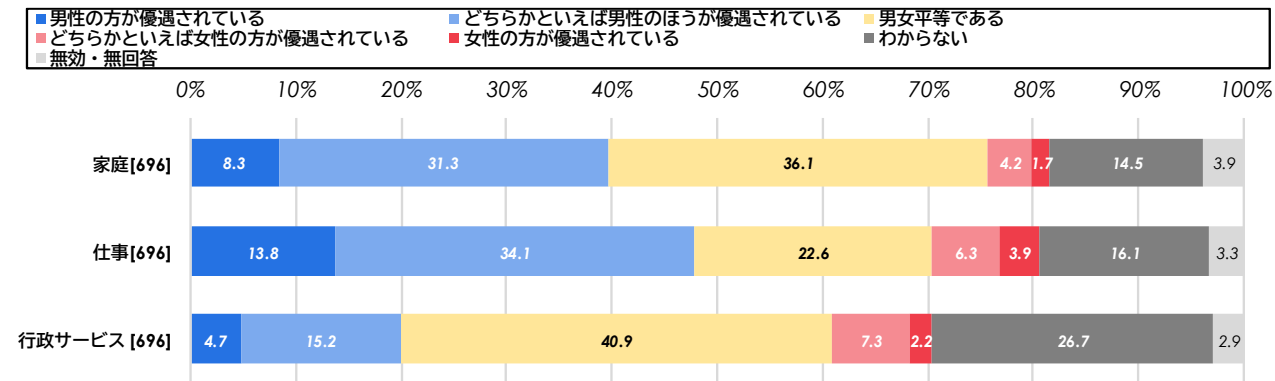
③行政サービスにおける男女平等

- 全体では「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて19.9%、「女性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせて9.5%となった。
- いずれの年代でも男性優遇であるとの意識が強いが、20～50歳代では「女性の方が優遇されている」との回答が一定数みられる。



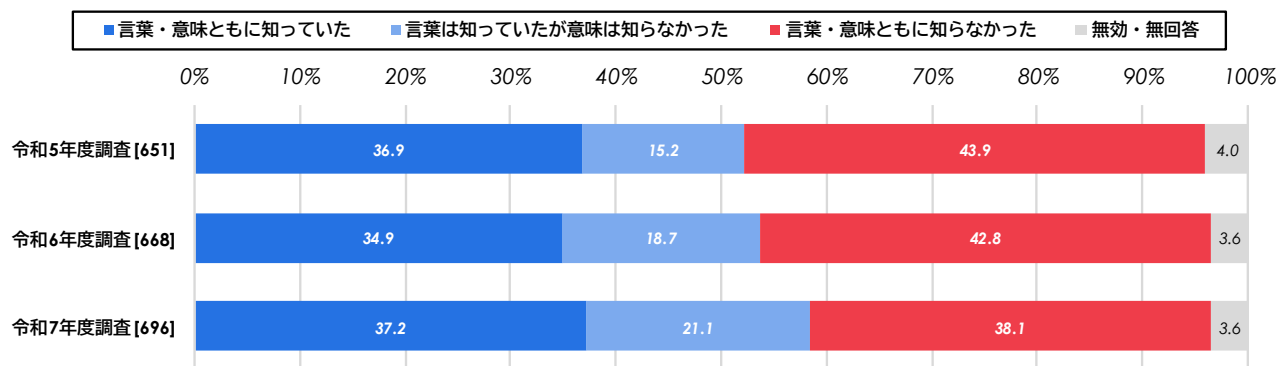
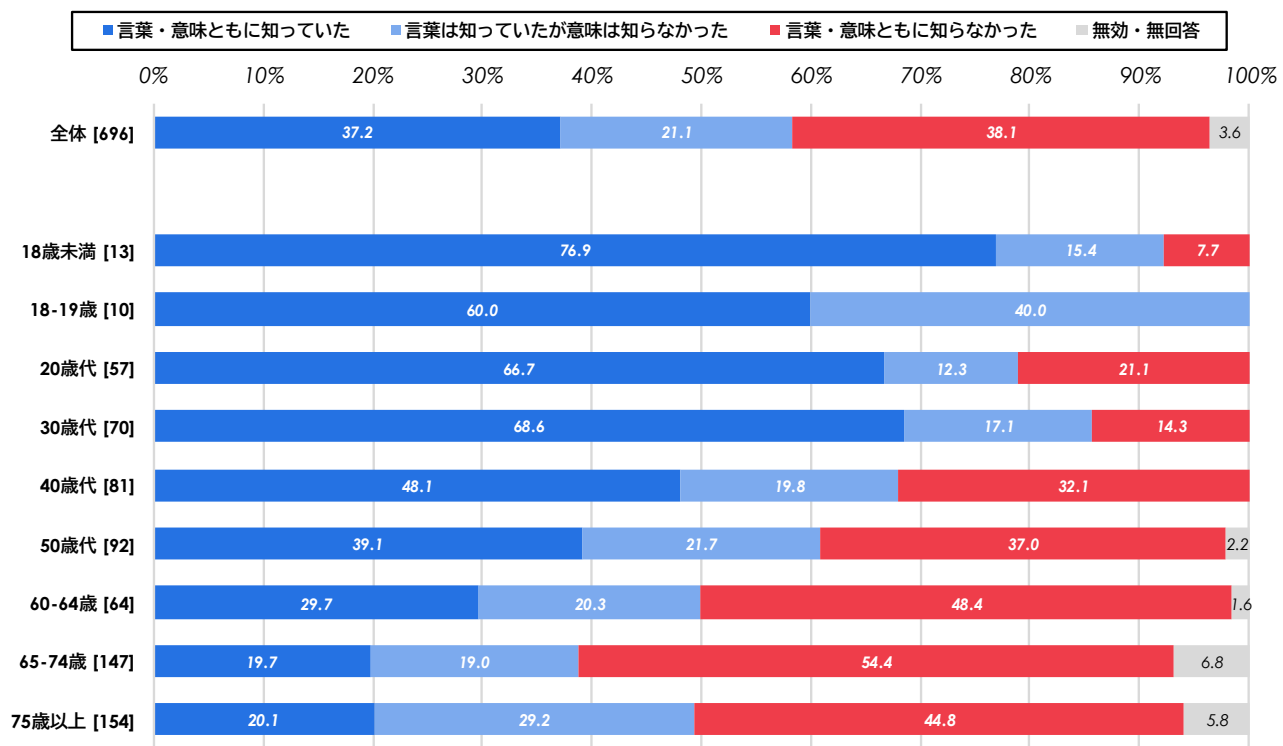
④分野別の男女平等意識の比較

- 分野別に比較すると、仕事において男性が優遇されていると考えられている割合が高い。
- いずれの分野でも男性優遇であるとの意識が強いが、行政サービスにおいては、「わからない」を除くと男女平等であるとの意識が過半数を占めている。



3.19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

- 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度をみると、市民全体では「言葉・意味ともに知っていた」が37.2%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が21.1%となっており、言葉だけでも知っていたとする回答も含めると、認知度は58.3%となっている。
- 経年変化をみると、認知度は上昇傾向にある。

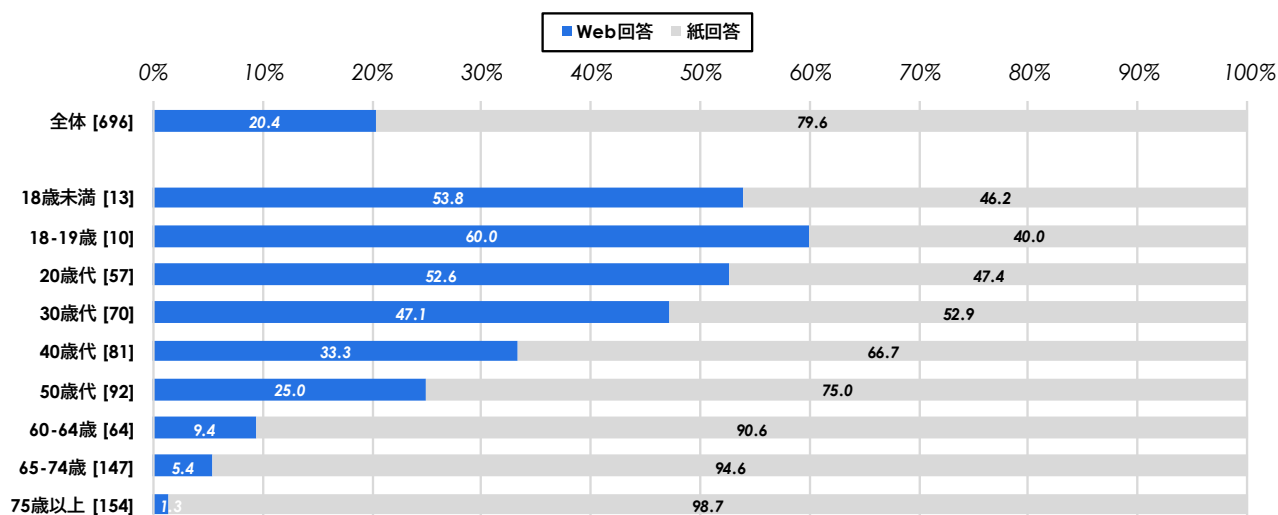


4. 市民意識調査結果のまとめ

- 本調査では、現行の第10期根室市総合計画（令和6年度策定）の実施効果を評価するために設定した将来目標値またはKPIのうち、市民意識に関する指標を中心に、平成25年度に実施した市民意識調査との整合性を確保した項目を平成28年度以降の毎年調査において設定している。
- また、平成30年度調査からは市政に対する認知度の項目を新たに設けている。これは、市政に対する認知度を把握するだけでなく、市政の周知も兼ねている。今回は8回目の調査となり、各種市政の周知効果の浸透度合いの増減評価が可能となっている。
- 本調査は、平成25年度に実施した市民意識調査実施時から12年経過時点の市民意識の結果であるが、その間にロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止やサンマの不漁、令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響、さらには令和4年2月からのロシアによるウクライナ侵攻の影響等により、経済環境は大きく変化しており、市民の不安意識も増長されている状況が生じている。
- そのような背景を踏まえ、令和7年度の市民意識調査の結果を整理すると、概ね以下のとおりとなった。

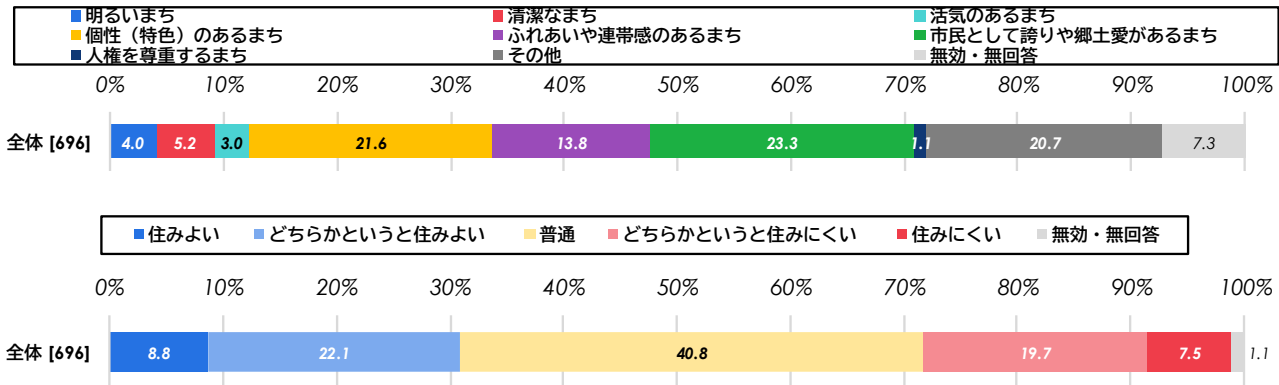
回収率

- 本調査の有効回収率は23.2%となり、2年連続での上昇となった。
- 本調査は、完全無作為抽出のもと、3,000名の市民を対象として調査を行っているが、今回で10回目の調査となることから、ほとんどの市民が少なくとも一度は調査対象になっていると考えられ、幅広い市民から意見をいただく貴重な機会につながっている。
- また、これまでの調査結果でも明らかなように、市民の市政への参加方法として本調査のようなアンケート調査で意思を表示したいとの意向が高いことや、本調査への回答を若い世代を含めた幅広い年齢層から回答いただけていることから、市民の市政に対する関心度合いは引き続き高い水準にあることがうかがえる。
- 令和7年度調査より、インターネット上のアンケートフォームを活用したWeb回答の受付を開始した。初年度となる本調査では全体の20.4%がWeb調査での回答となっている。特に30歳代以下では約半数がWeb回答を利用しており、若い世代を中心に、今後の回収率の維持・向上に寄与することが期待される。



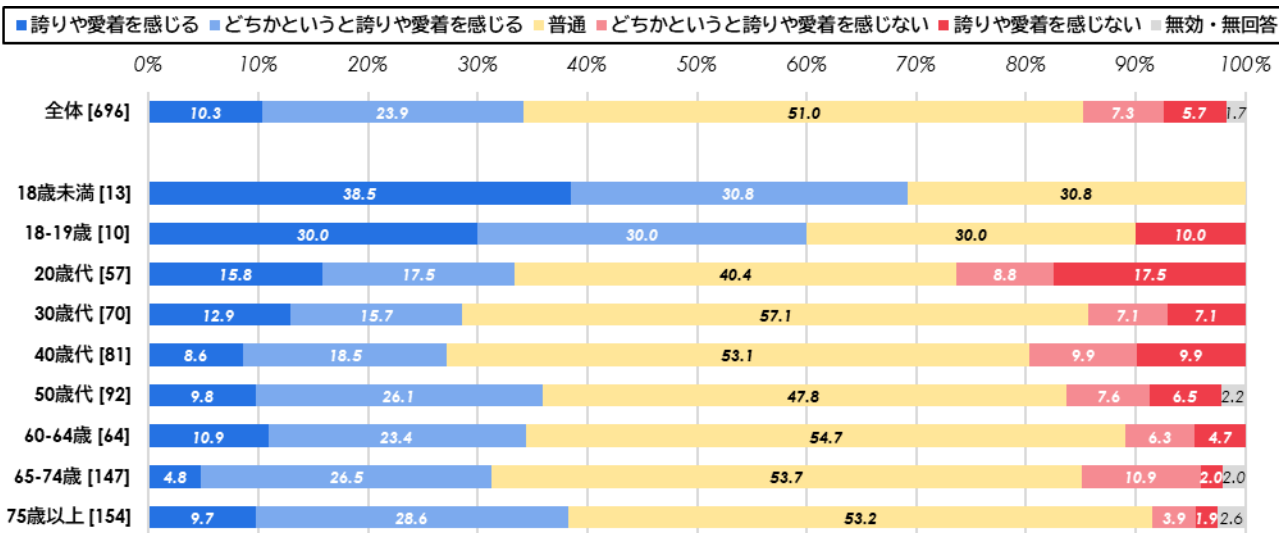
根室市のイメージについて

- 物価の高騰や近年の海水温上昇、日本の対ロシア関係の悪化などの影響もあり、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業を取り巻く経済環境はますます深刻な状況となっている。道内経済は新型コロナウイルス感染症の影響から持ち直しが進む中で、なおも根室市の否定的なイメージは改善されていない状況にある。
- 根室市のイメージとしては、これまでの結果と同様に「市民として誇りや郷土愛があるまち」や「個性（特色）のあるまち」をあげる住民が多くみられる一方で、「その他」の回答も多い。
- この「その他」の内容をみると、過去の調査結果と同様、「活気がない」「何もない」「寂しい」「暗い」といったマイナスイメージを挙げる回答が多かった。一方、数は少ないものの、「自然が豊か」「漁業が有名」「歴史がある」といったプラスイメージを挙げる回答もみられた。
- 一方で、根室市での居住の満足度についてみると、「住みよい」「どちらかという住みよい」という肯定的な回答は、「住みにくい」「どちらかという住みにくい」という否定的な回答を上回る結果となっている。



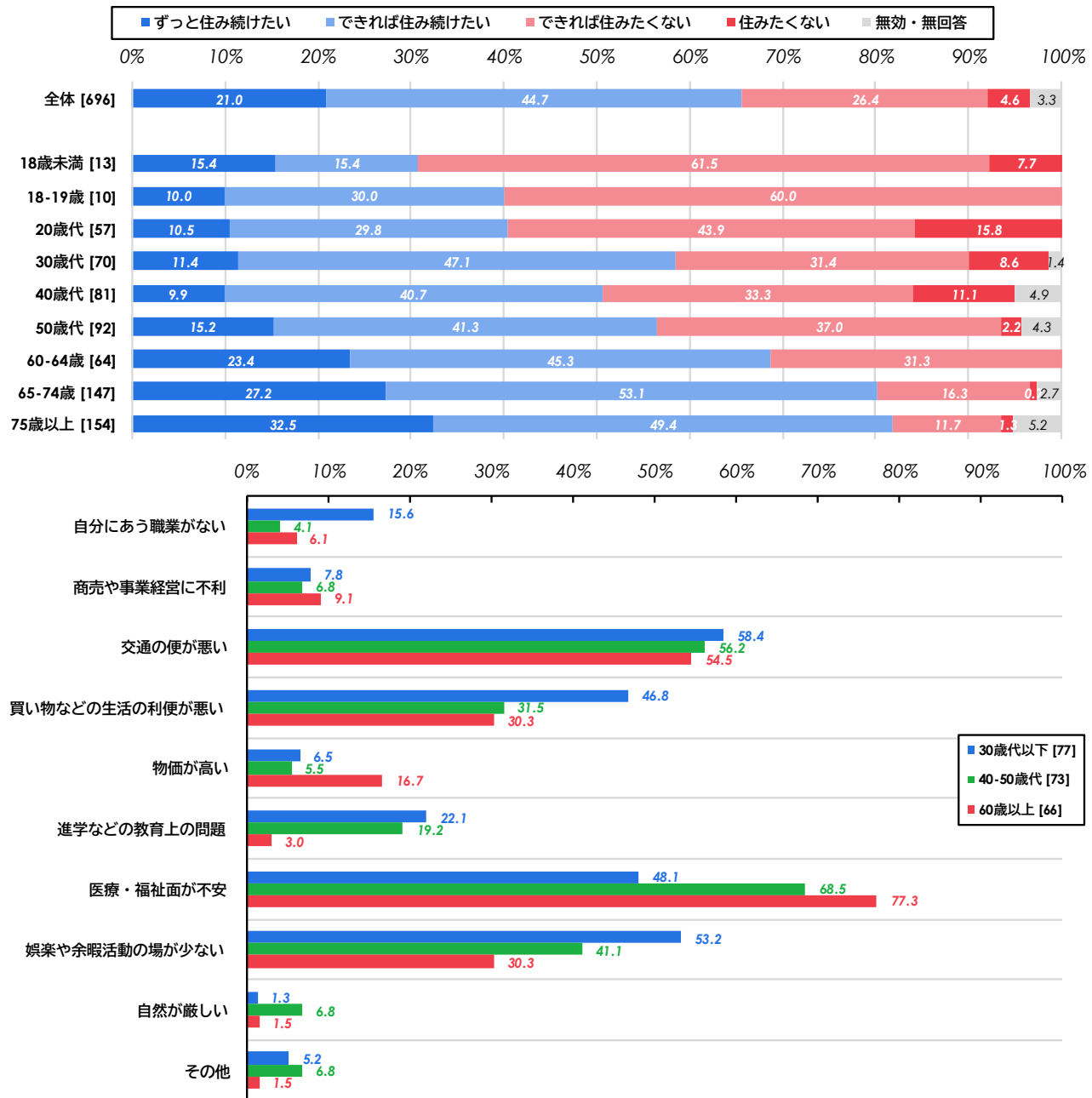
根室市に対する誇りや愛着について

- 根室市民であることに誇りや愛着を感じているかについてみると、「誇りや愛着を感じる」「どちらかという誇りや愛着を感じる」を合わせた割合は34.2%となった。
- 特に10代の若年層では「誇りや愛着を感じる」割合が高い。



定住意識

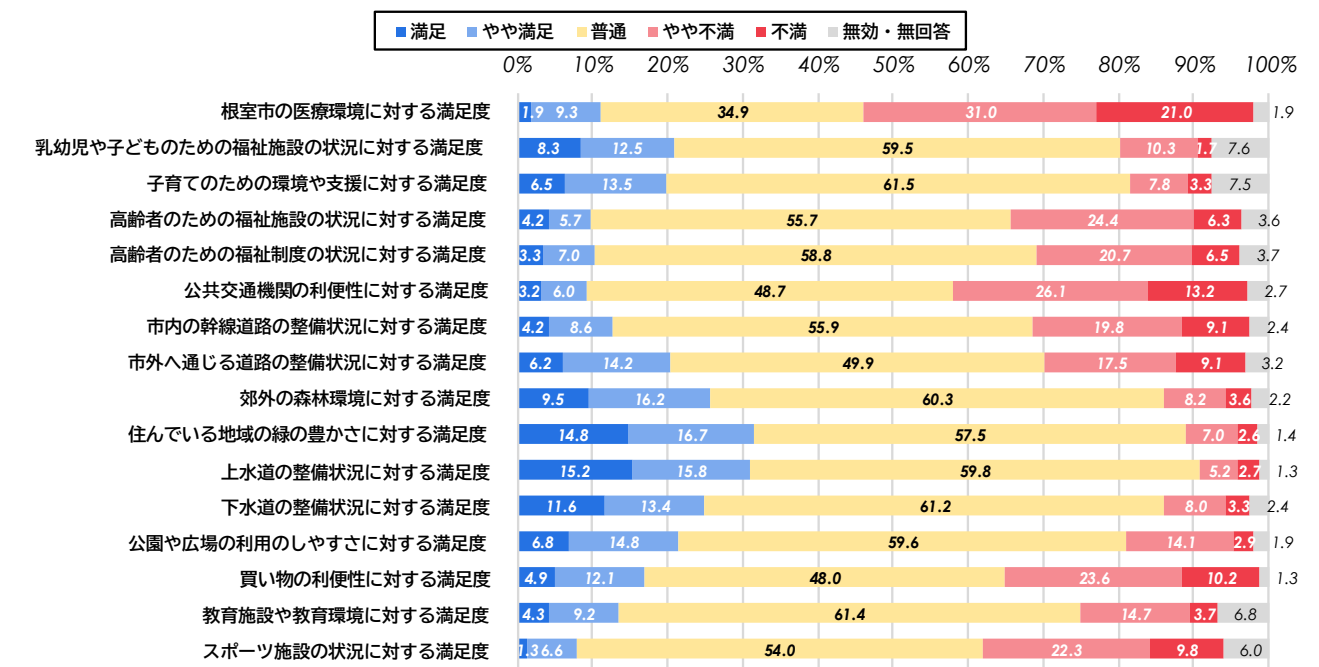
- 市民の居住満足度及び定住意向についてみると、普通以上の住み良さと思っている市民の割合は、71.7%となっており、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」という定住意向は65.7%となっている。例年同程度の割合で推移している。
- 「住み続けたい」と考える市民は、高齢層ほど割合が高くなる一方で、20歳代以下の若年層ではその割合が半数を下回っている。
- 「住みたくない」とする市民の理由をみると、医療・福祉、交通の便、娯楽や余暇活動の場、買い物等の利便性に対する不満があげられている。これは、これまでの調査結果とほぼ同じ状況であり、市民の定住意識の促進に向けて、引き続き重要な課題であるといえる。



分野別の市民意識

市民満足度（分野横断）

- 根室市の生活全般における市民満足度の概況をみると、緑の豊かさや上水道については満足度が比較的高くなっている一方で、医療環境や幹線道路については不満とする回答も目立っている。
- 経年変化をみると、多くの分野で満足度は横ばいないし改善傾向にあるが、幹線道路に関する満足度については低下がみられる。

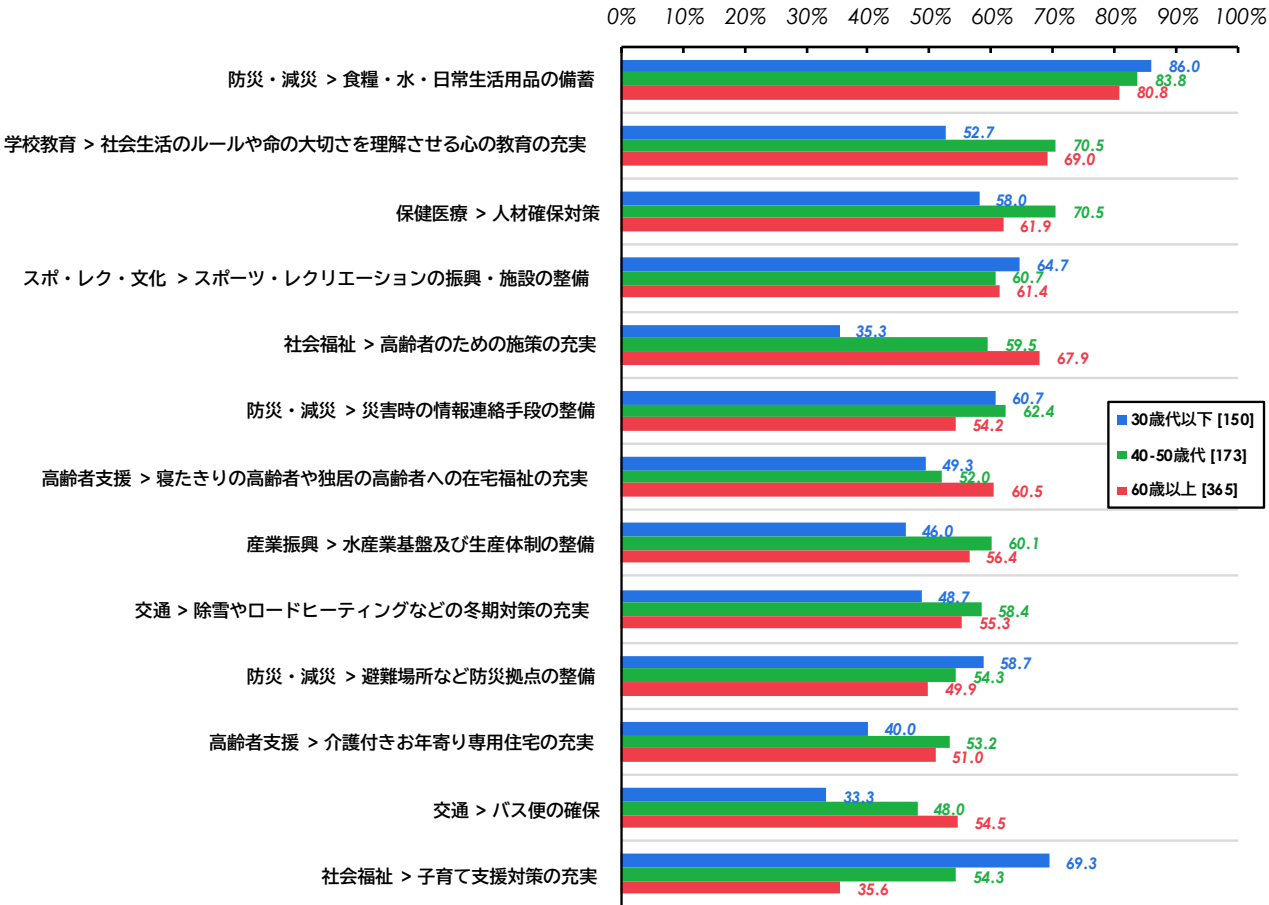
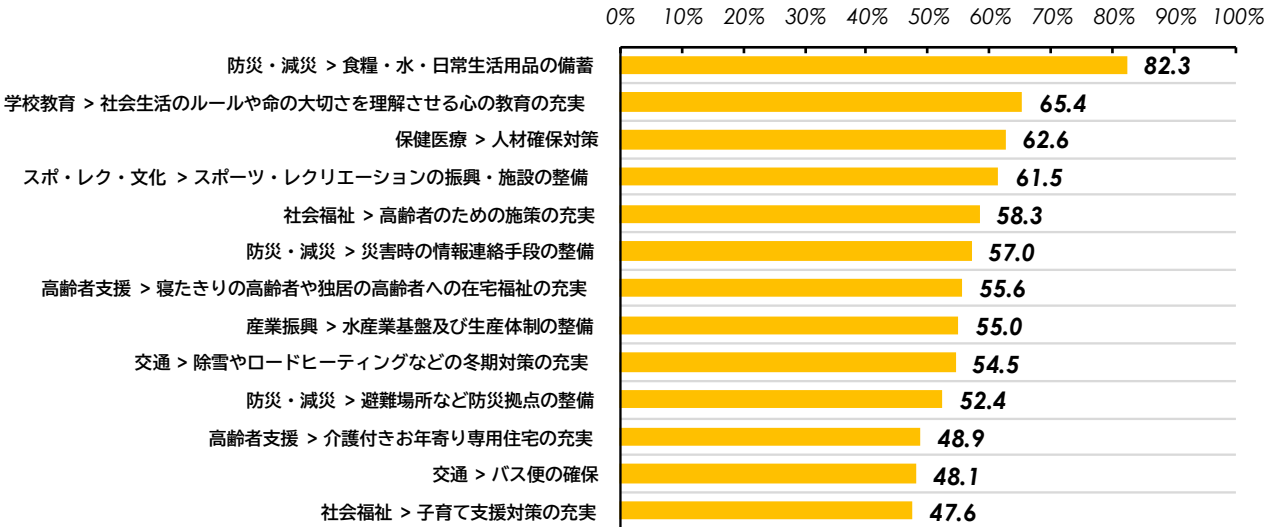


（「満足」＋「やや満足」の割合の経年変化）

分野	2016年度	増減	2020年度	増減	2025年度
根室市の医療環境に対する満足度	6.0%	△	10.6%	△	11.2%
乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度	4.0%	△	10.3%	△	20.8%
子育てのための環境や支援に対する満足度	5.2%	△	9.0%	△	20.0%
高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度	7.2%	▼	6.1%	△	9.9%
高齢者のための福祉制度の状況に対する満足度	6.8%	△	8.6%	△	10.3%
公共交通機関の利便性に対する満足度	4.5%	△	6.3%	△	9.2%
市内の幹線道路の整備状況に対する満足度	16.0%	△	18.0%	▼	12.8%
市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度	17.1%	△	22.9%	▼	20.4%
郊外の森林環境に対する満足度	37.8%	▼	23.3%	△	25.7%
住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度	38.4%	▼	27.5%	△	31.5%
上水道の整備状況に対する満足度	27.4%	▼	24.0%	△	31.0%
下水道の整備状況に対する満足度	25.3%	▼	20.5%	△	25.0%
公園や広場の利用のしやすさに対する満足度	18.0%	△	20.6%	△	21.6%
買い物の利便性に対する満足度	13.0%	△	18.9%	▼	17.0%
教育施設や教育環境に対する満足度	4.7%	△	6.8%	△	13.5%
スポーツ施設の状況に対する満足度	5.5%	△	5.7%	△	7.9%

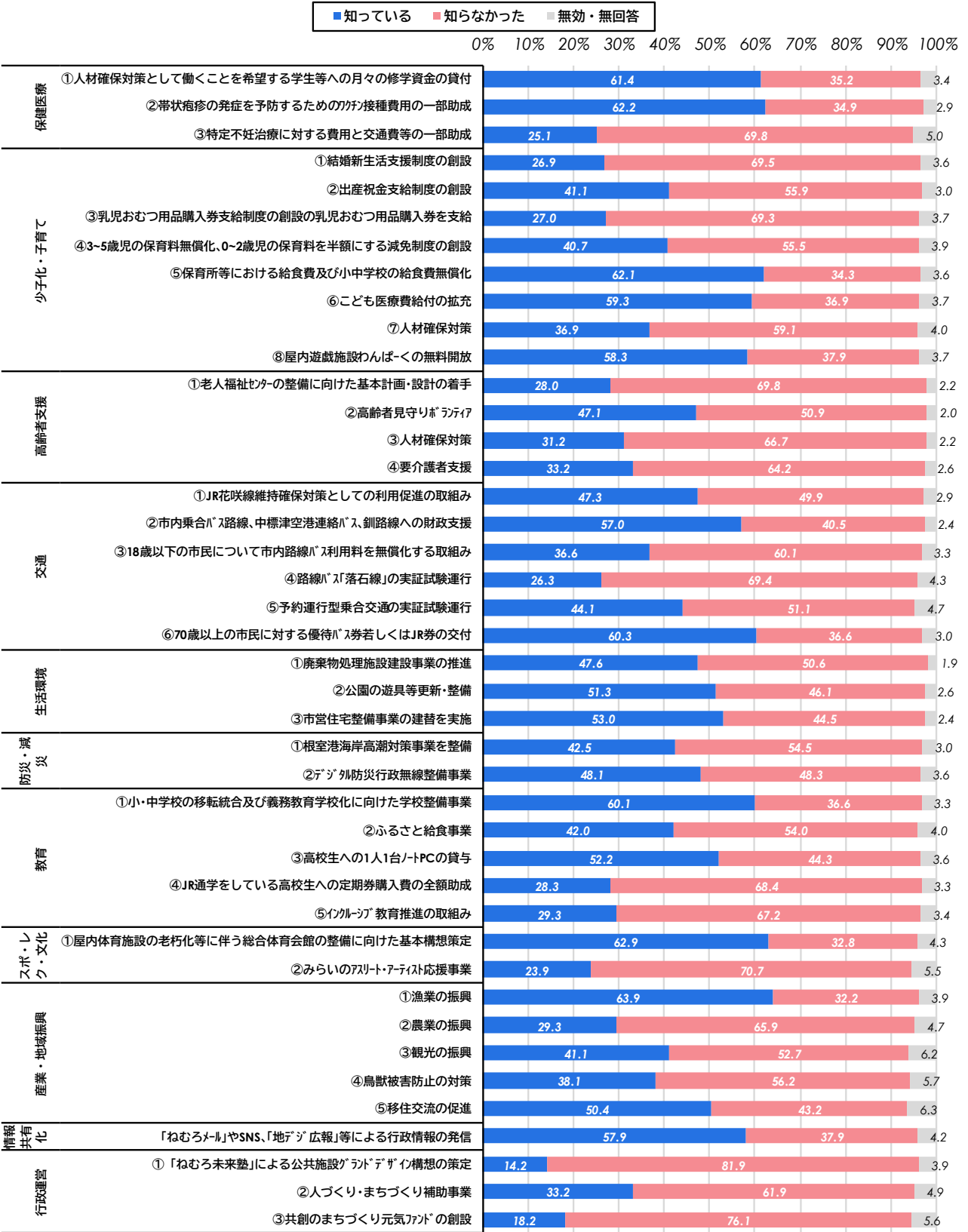
重点的に取り組むべき施策（分野横断）

- 根室市が今後重点的に取り組むべきと思う施策について、分野横断的にみると、「食糧・水・日常生活用品の備蓄」が82.3%で最も高く、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる教育の充実」「（保健医療分野の）人材確保対策」と続いた。
- 年齢別にみると、「（社会福祉の）高齢者のための施策の充実」は高齢層（60歳以上）が若年層（30歳代以下）より32.6ポイント高く、一方で「子育て支援対策の充実」は若年層が高齢層より33.7ポイント高いなど、回答者の年齢層によって重視する項目は大きく異なっている。
- 上位項目を抽出すると、以下のとおりである。



施策認知度（分野横断）

- 根室市の各施策に対する市民の認知度を分野横断的にみると、基幹産業に関連する「漁業の振興」が63.9%で最も高く、「総合体育会館の整備に向けた基本構想策定」「带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成」が続いた。
- 行政運営に係る施策の認知度は、他と比較して低位に留まっている。



保健医療

- 市民の健康管理意識は調査開始当初から安定して高く、市民の70%以上が健康管理に努めていると回答している。
- 運動意識もこれまでの調査結果とほぼ同様で、30分以上の運動を週に1度以上行っているとする市民の割合は50%を超えている。こうした健康管理意識や運動実施状況は、65歳以上の住民でさらに高くなっている。
- 今年度で再開から9年目を迎える市立根室病院での分娩再開（平成29年4月）については、認知度の水準が低下傾向にあるものの、依然として半数以上の市民から認知されている。特に30歳代では68.6%、40歳代では76.5%の市民に認知されており、施策の直接的な対象者層には概ね認知されているものと考えられる。
- ただし、医療環境全般でみると、総じて市民の評価は低く、「満足」「やや満足」とする市民は10%程度で、過半数は「不満」「やや不満」と回答している。これは、これまでと同様に、市内で受診できる診療科目が少ないこと、市立病院での分娩が経産婦のみ対象で初産への対応ができておらず、出産のために釧路や中標津に出向く必要があることなどへの不安・不便さが反映されたものと考えられる。

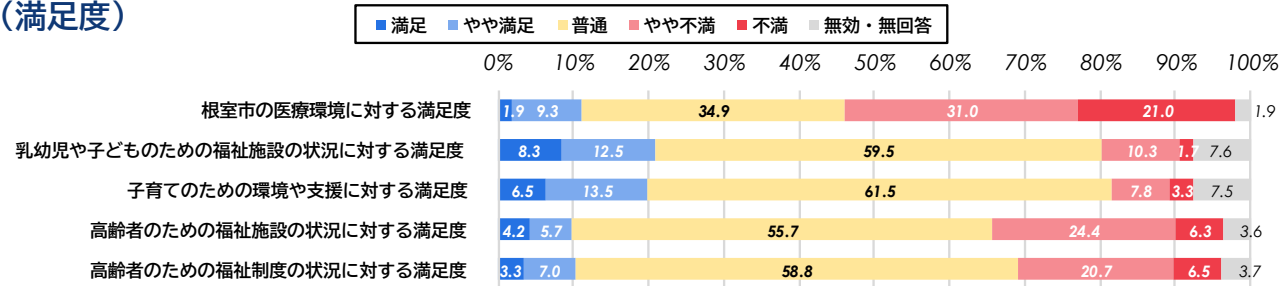
子育て支援

- 少子化・子育て支援に関する市の施策に対する認知度は、「こども医療費給付の高校生以下までの拡充」「保育所等における給食費及び第3子目以降の保育料及び小中学校の給食費の無償化」といった経済的支援に関しては認知度が比較的高くなっている一方で、「結婚新生活支援制度」「乳児おむつ用品購入券支給制度」の認知度は3割未満にとどまっている。
- 今年度より調査項目に加わった「屋内遊戯施設わんぱーくの無料開放」の認知度は58.3%と、半数を上回った。
- 20～40歳代の子育て世代では、「人材確保対策」を除く7項目で認知度が市民全体を上回っており、周知PRの成果がうかがえる。
- 今後の子育てに関する支援策については、引き続き経済的負担の軽減を望む意見が多くなっている。

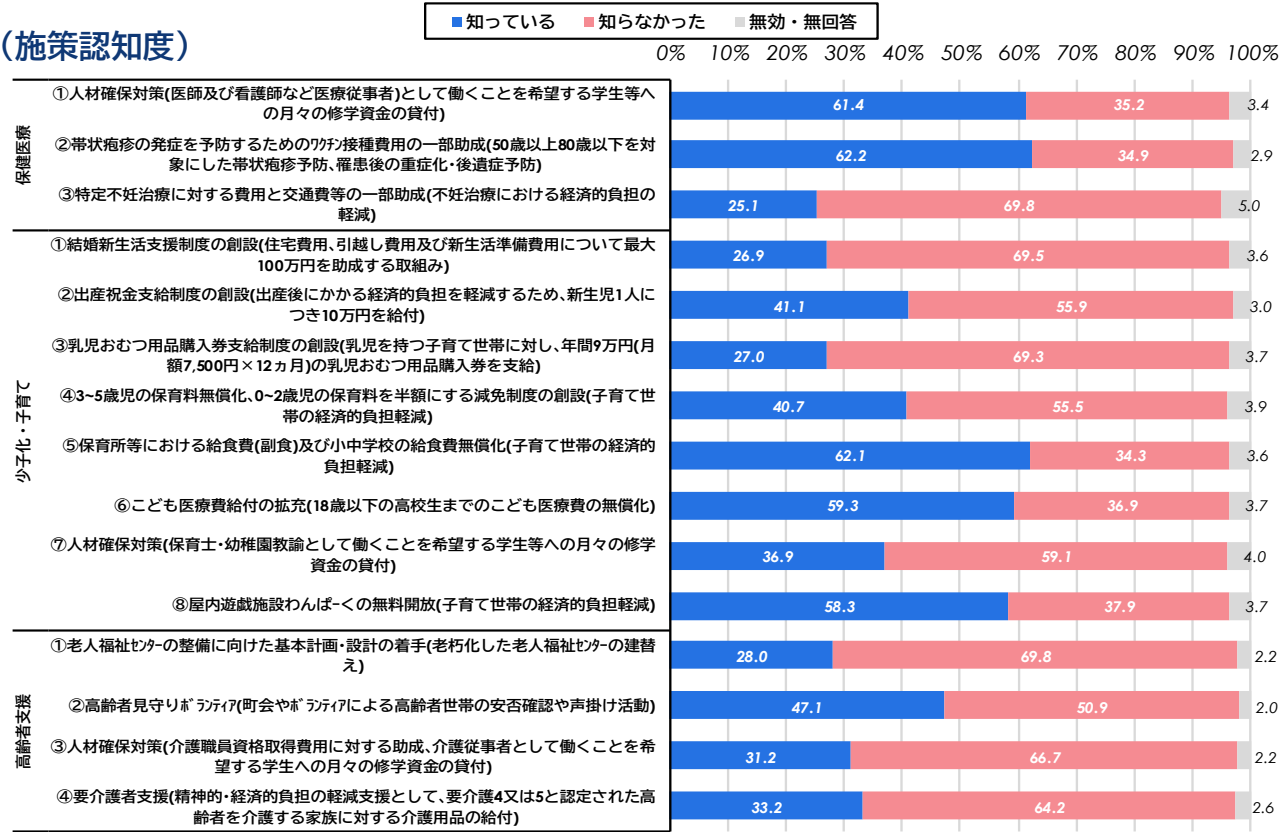
高齢者支援

- 高齢者のための施設や支援制度に対する満足度は、いずれも例年と同様に、「満足」「やや満足」とする回答が10%未満にとどまっており、「やや不満」「不満」とする回答（25～30%程度）を大きく下回っている。特に、60-64歳では「やや不満」「不満」の合計が50%を超えている。
- 市が実施している高齢者支援策の認知度について、高齢者見守りボランティア事業の認知度が比較的高い一方で、人材育成事業の認知度が低いという状況は、昨年度までの調査の結果とほぼ同様である。
- 高齢者支援策としては、昨年度までの調査結果と同様、寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実、介護付き高齢者専用住宅の充実、高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくりを望む意見が多い。

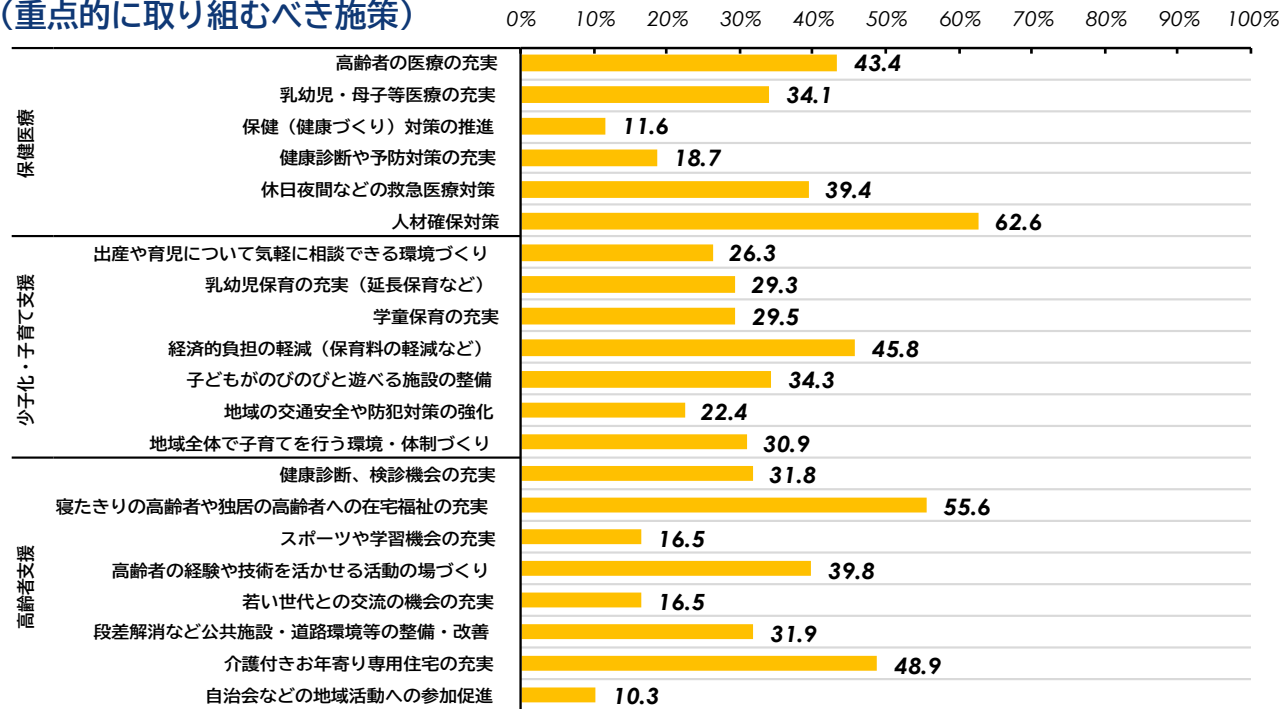
(満足度)



(施策認知度)



(重点的に取り組むべき施策)



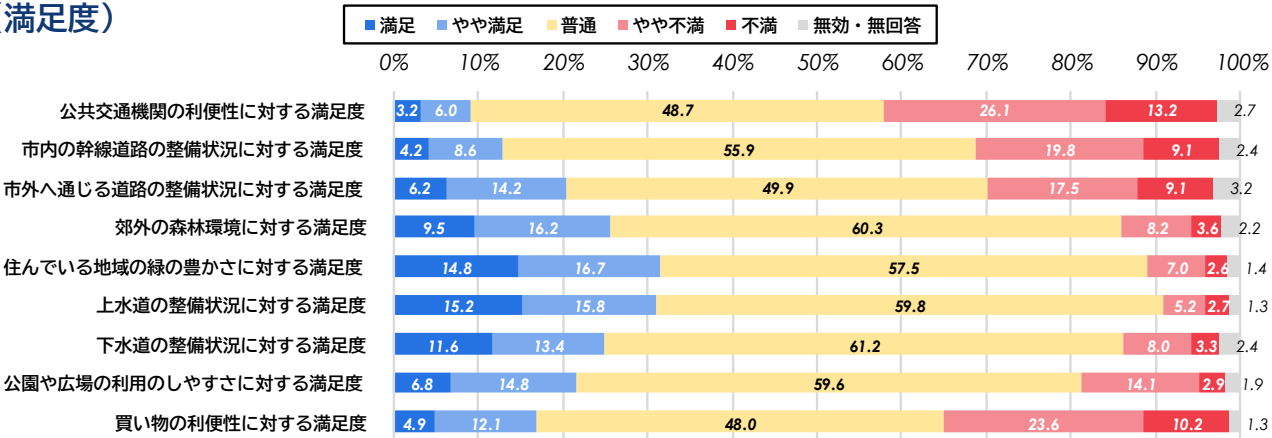
交通

- 市民の交通インフラに対する満足度は低く、「不満」「やや不満」を合わせた割合は公共交通で約40%、道路交通で約30%に及ぶ。
- 交通に関する施策に対する市民の認知度は、高齢化の影響もあって、70歳以上の市民に対する優待バス券もしくはJR券の交付への認知度は6割を超えている。市内乗合バスや中標津空港連絡バス等への財政支援については、令和5年10月にJR標津線代替バスの運行が終了し、根室市と中標津空港とを結ぶ公共交通網に大きな影響が出たこともあって、関連する当施策への認知度が高まっている。
- 交通施策に対する要望としては、昨年度までの調査の結果と同様に、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」に対する要望が最も多く、「バス便の確保」、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」、「身近な生活道路の整備」に対する要望も引き続き多くみられている。

生活環境・防災・減災

- 生活環境に対する市民の満足度は、身近な自然、上下水道、公園や広場とも、8～9割の市民が普通以上と回答しており、これまでの調査と同様の結果となっている。
- しかしながら、買い物の利便性に関しては、「不満」「やや不満」を合わせた割合が約3割と、満足度が低い。
- 今後の生活環境に関する施策については、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」「美しい景観（まちなみ）の創出」「防犯対策の充実」を挙げる割合が高い。
- 防災・減災に関する施策については、「食料・水・日常生活用品の備蓄」を重視する声が8割を超えており、次いで、「指定避難場所など防災拠点の整備」、「災害時の情報連絡手段の整備」が重要施策として挙げられている。

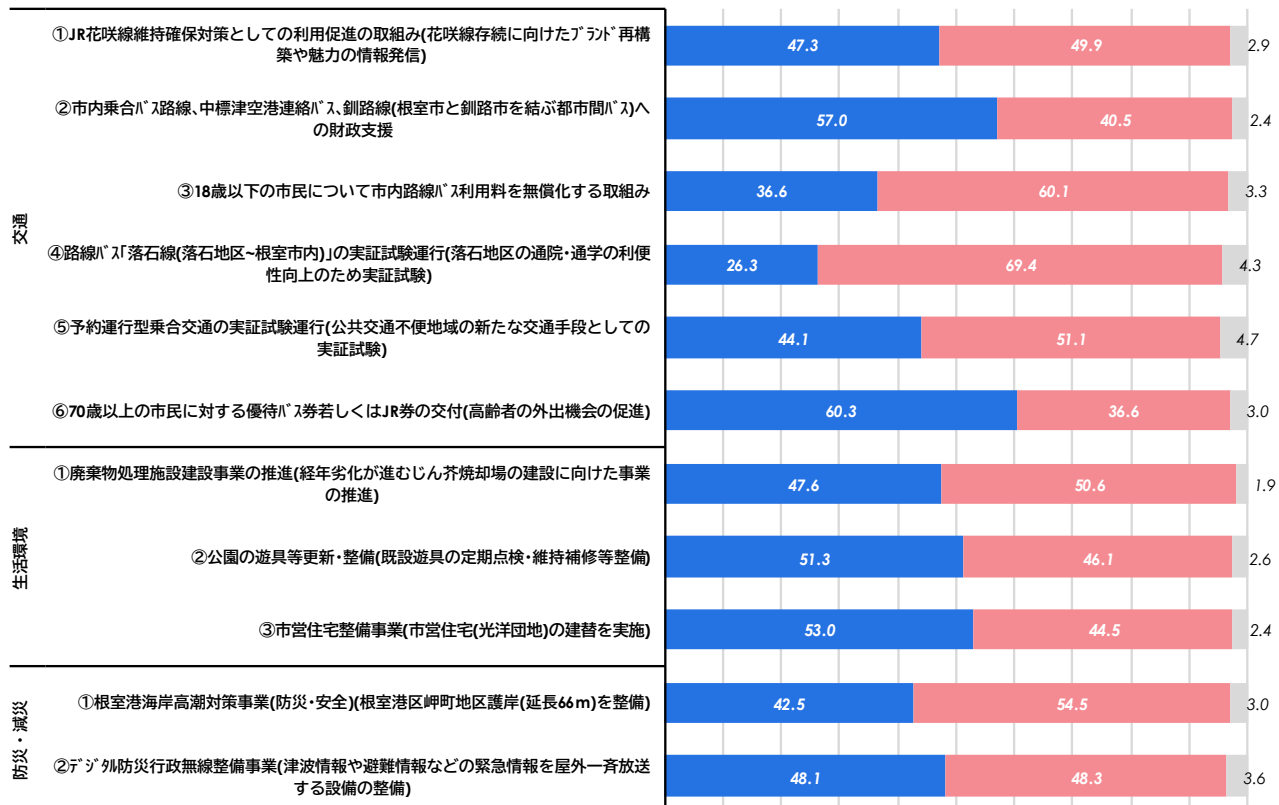
(満足度)



(施策認知度)

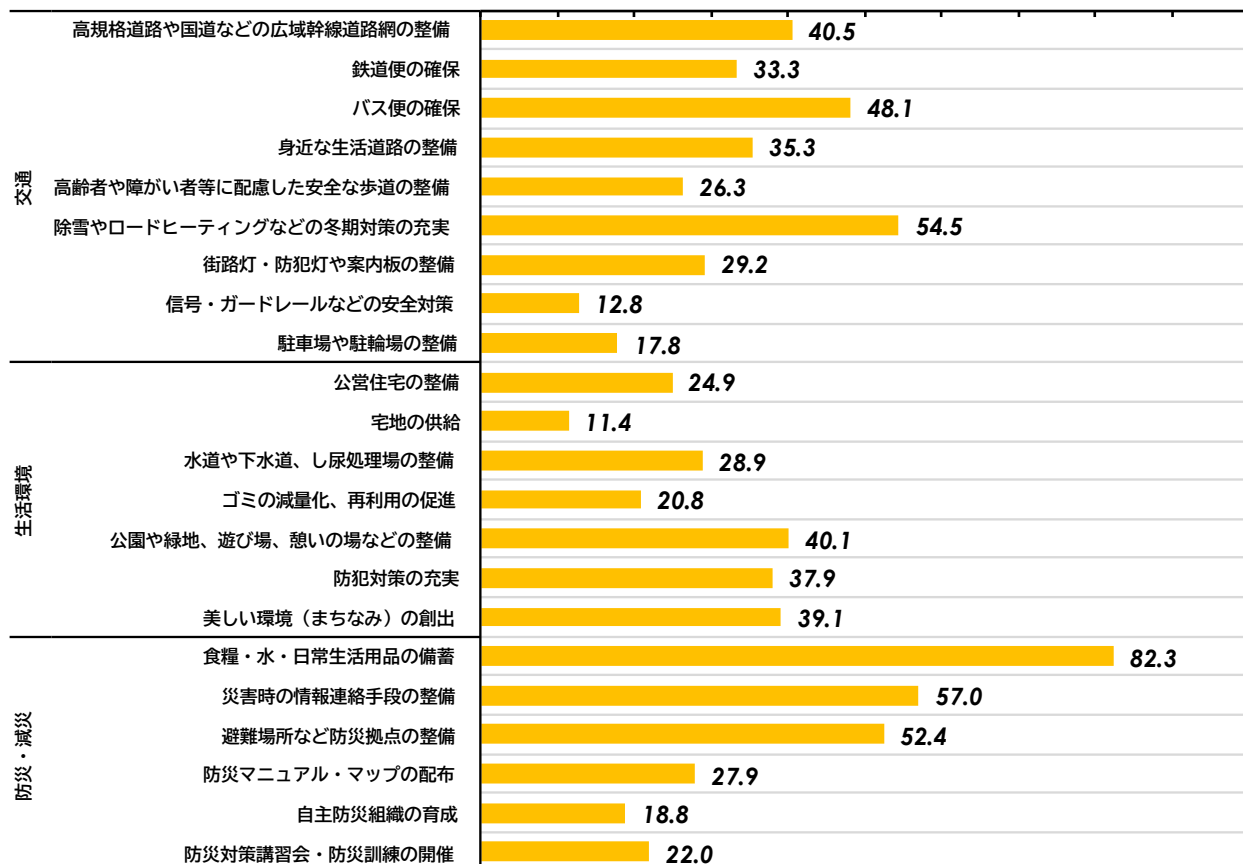
■知っている ■知らなかった ■無効・無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(重点的に取り組むべき施策)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



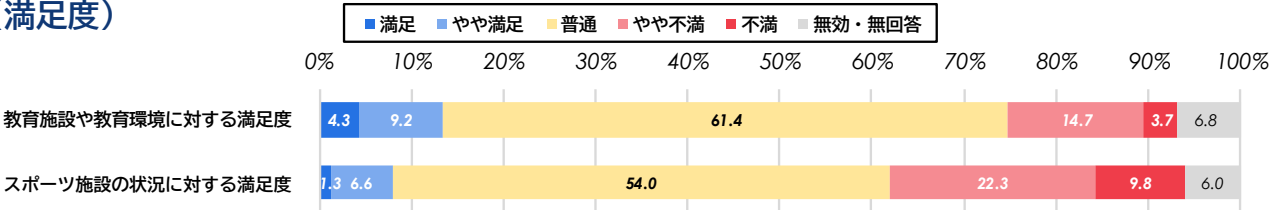
教育

- 教育施設や教育環境に対する満足度は、これまでの調査結果と同様、「不満」「やや不満」とする割合が「満足」「やや満足」とする割合を上回っているが、近年では満足度に改善傾向がみられる。
- 学校教育に関する施策に対する市民の認知度は、「『市立学校適正配置計画』に基づく小・中学校の移転統合及び義務教育学校化に向けた学校整備事業」「ふるさと給食事業」「高校生への1人1台ノートPCの貸与」に対する認知度が高い。
- 学校教育の充実に向けて、今後に望む施策としては、これまでの調査結果とほぼ同様に、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」「生きる力を育てる総合的な学習の充実」が上位に挙げられている。
- 社会教育に関して今後に望む施策としては、「青少年の健全育成」「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」「生涯学習教育の指導者育成」が上位に挙げられている。

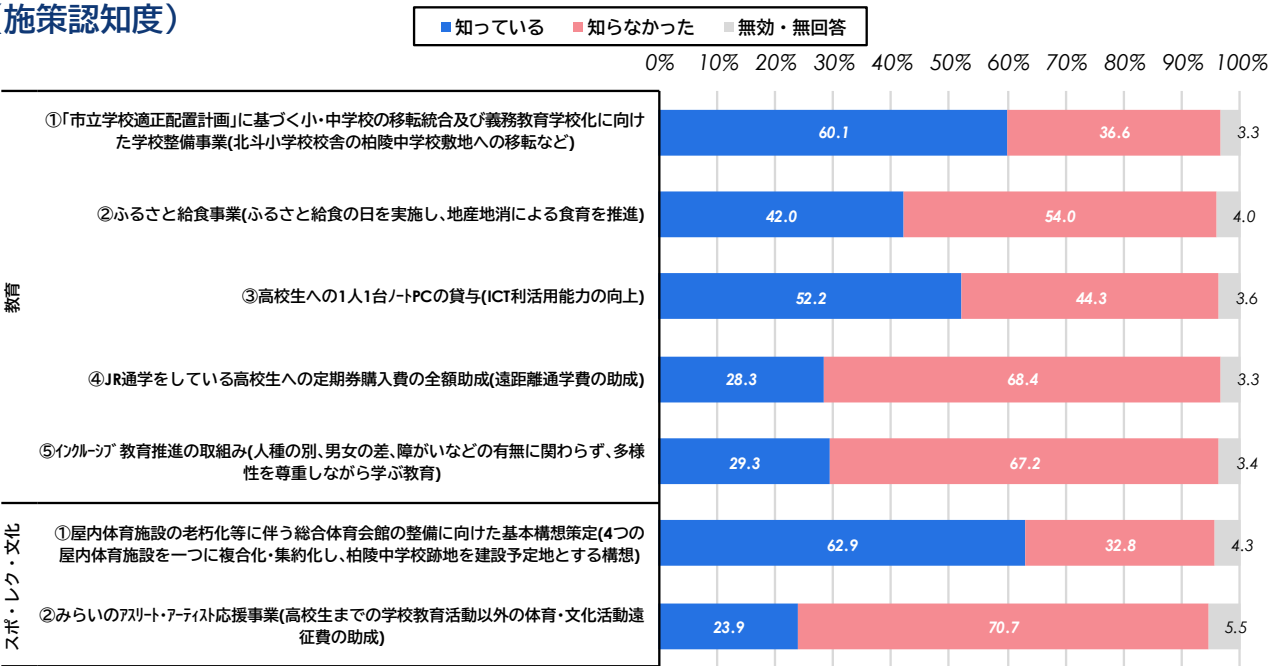
スポーツ・文化

- スポーツ施設の状況に対する市民の満足度は、「満足」「やや満足」を合わせても10%未満にとどまっており、「不満」「やや不満」とする割合を大幅に下回っている。
- スポーツ・文化に関して望む施策は、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」「芸術・文化の振興・文化施設の整備」が上位に挙げられている。

(満足度)

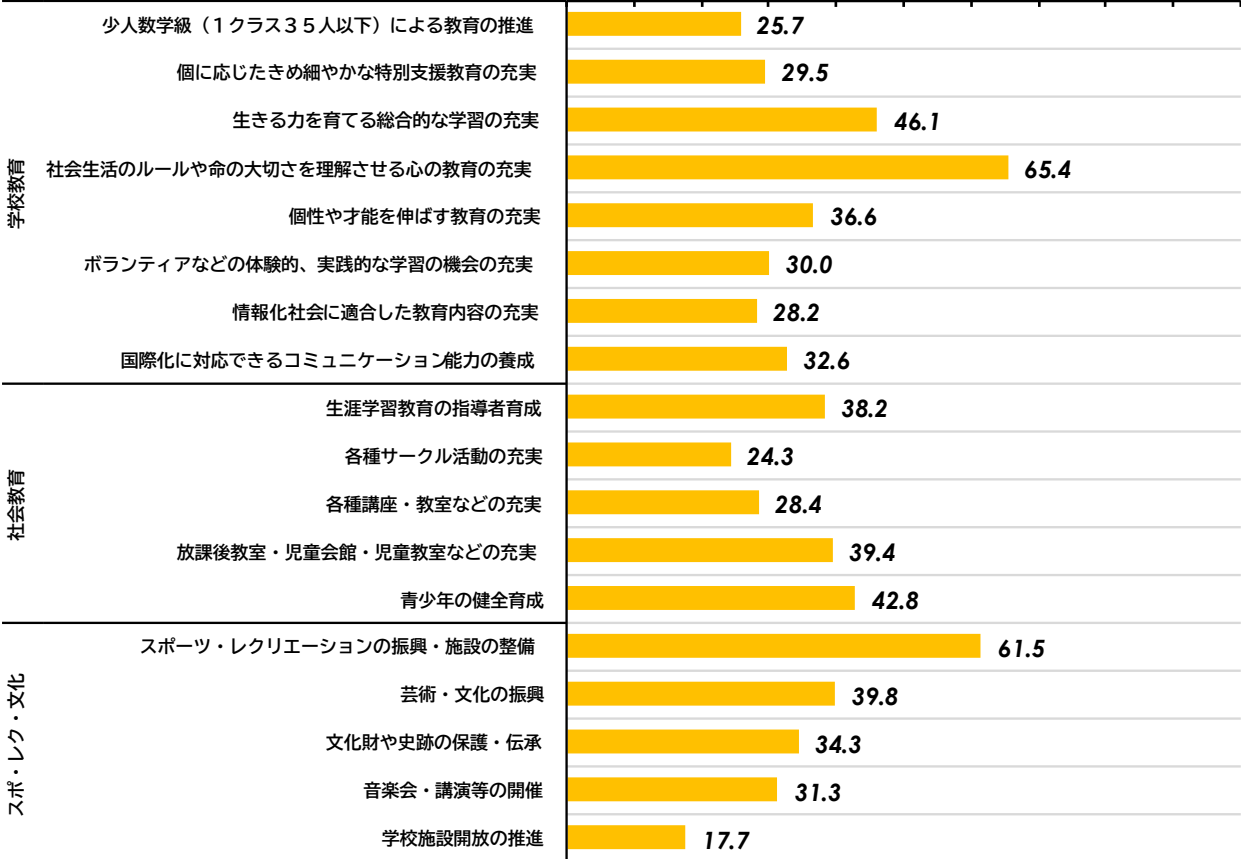


(施策認知度)



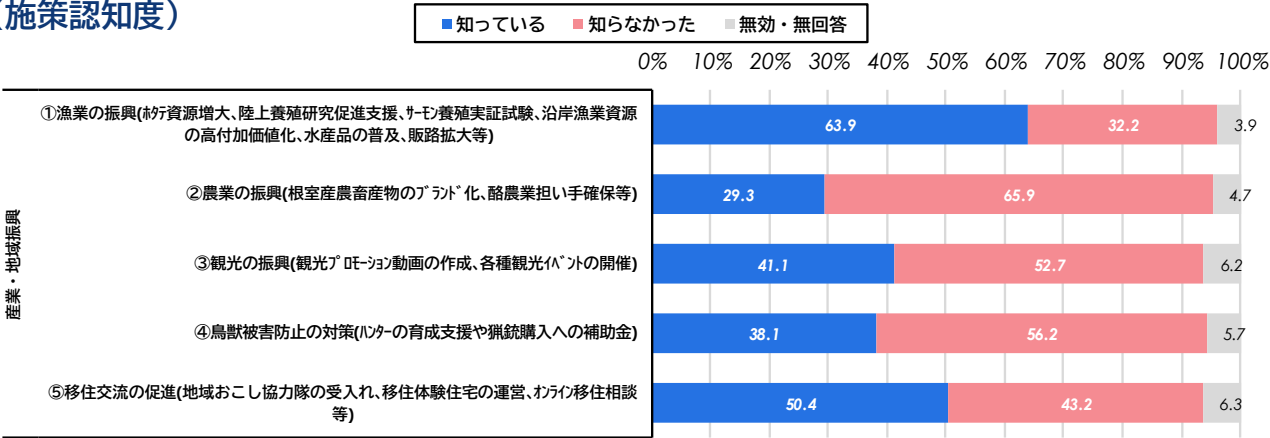
(重点的に取り組むべき施策)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

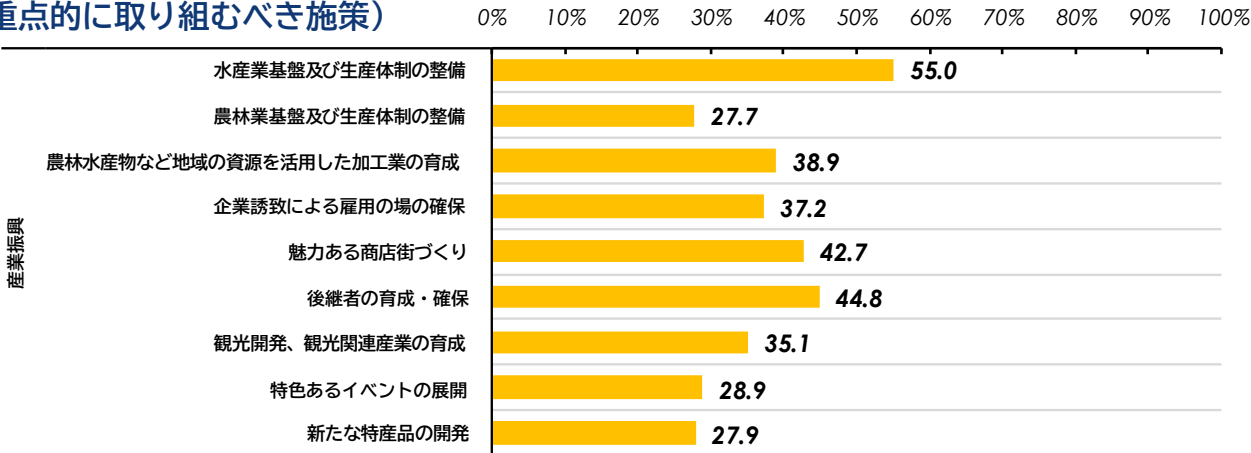


- 近年の根室市の産業経済は、人口の減少や高齢化に伴って、依然として厳しい状況下にある。
- 基幹産業である漁業においては、昨年度・今年度とサンマの水揚げが復調傾向にあるものの、根室市の漁業環境に大きな影響を及ぼしているロシアとの漁業協力関係については、令和4年2月のウクライナ侵攻以降冷え切った状況が続いている。
- こうした経済状況下において、市民の漁業に対する関心は他の施策と比較しても高い傾向にある。施策認知度をみても、「漁業の振興」に関する認知度は63.9%で、今回調査した施策の中では最も認知度の高い施策となっている。
- 今後に望む産業施策としては、これまでの調査と同様に「水産業基盤及び生産体制の整備」が最も高くなっているほか、「後継者の育成・確保」「魅力ある商店街づくり」が上位にあげられている。

(施策認知度)

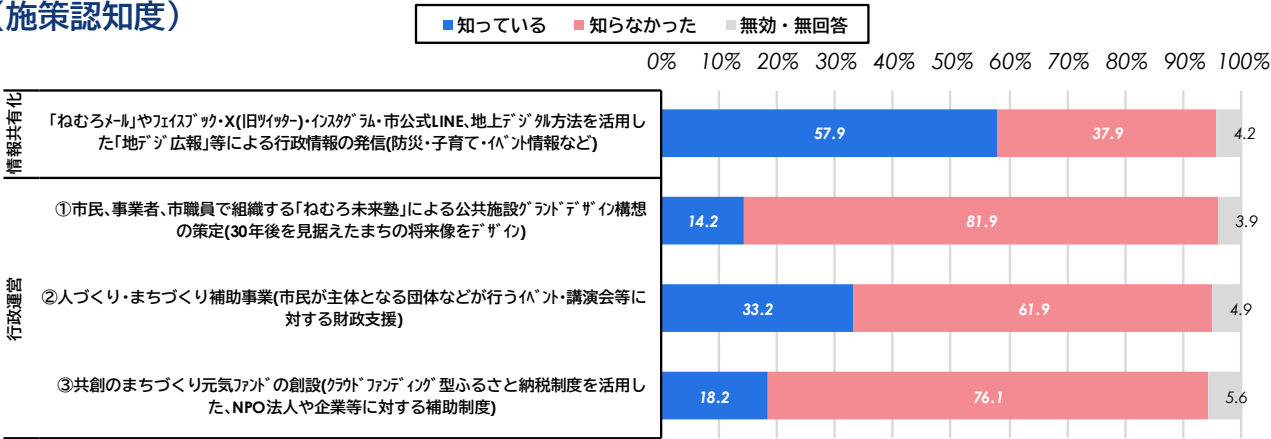


(重点的に取り組むべき施策)

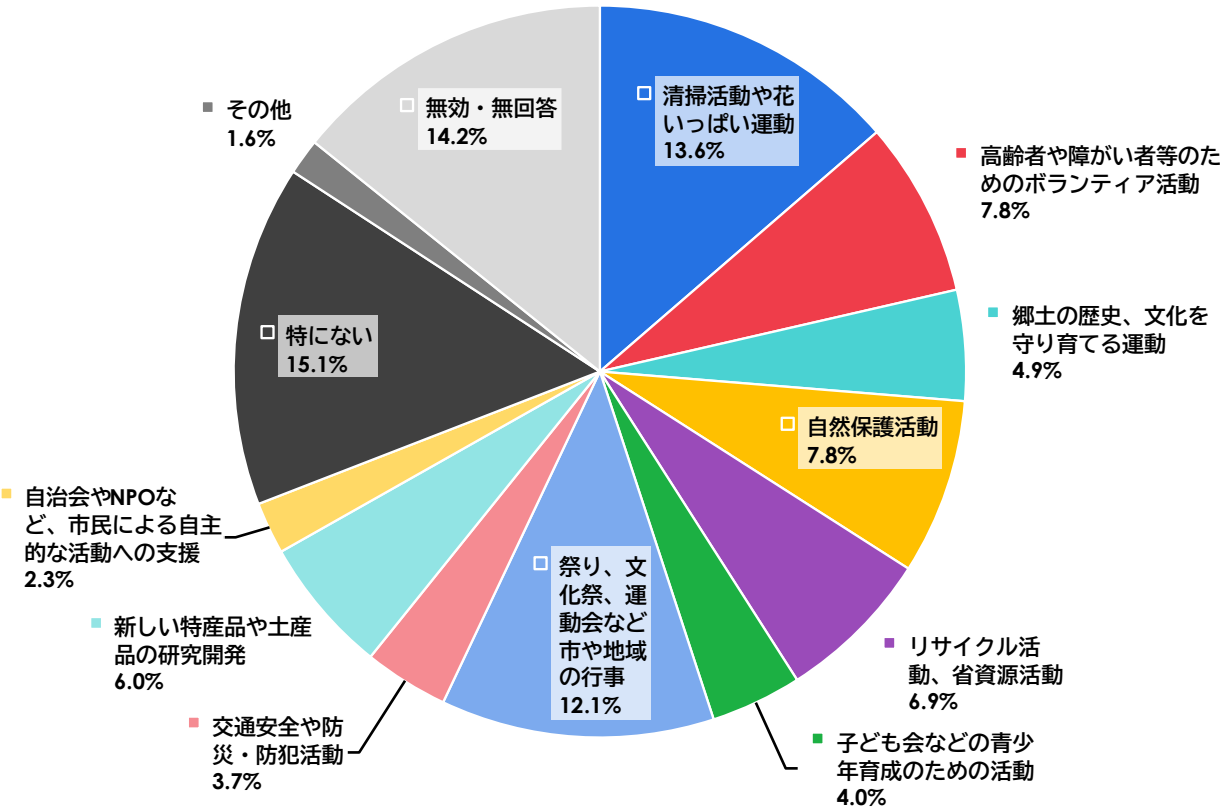


- 市で実施している行政情報に関する施策として、「『ねむろメール』やフェイスブック、X（旧ツイッター）、市公式LINE、地上デジタル放送を活用した「地デジ広報」等による行政情報の発信」の認知度をみると、昨年度調査と同様、約6割の認知度となっている。高齢層からの認知度は低いものの、75歳以上の市民についても3割には認知されている。
- 「ねむろ未来塾」の認知度は14.2%と、本調査における施策認知度で最も低く、市民からの関心の低さが浮き彫りになっている。
- 市民が行政からの提供を望む情報としては、これまでの調査結果と同様に、「道路交通・除雪・気象等の情報」「文化行事・イベント情報」「行政に関する総合的な情報」を望む意見が多くなっている。
- 市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に参加する活動を訪ねた設問については、「清掃活動や花いっぱい運動」「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」が上位となっているが、最も回答率が高かったのは「特になし」となっている。
- まちづくりへの参加方法については、「世論調査で意思表示をしたい」が最も多く、「投書や要望などで意見を述べたい」「説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」が続いた。
- 男女平等に関する意識については、行政サービスにおいては、「わからない」を除くと男女平等であるとの意識が過半数を占めているが、特に仕事においては男性優遇であるとの意識が強い。
- ワーク・ライフ・バランスの認知度については、言葉だけでも知っていたとする回答も含めると、認知度は58.3%となっており、認知度の上昇傾向がみられる。

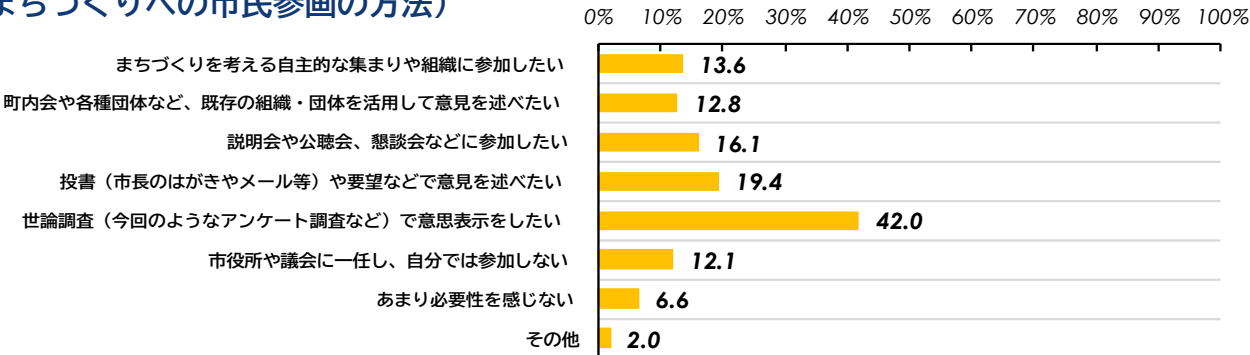
(施策認知度)



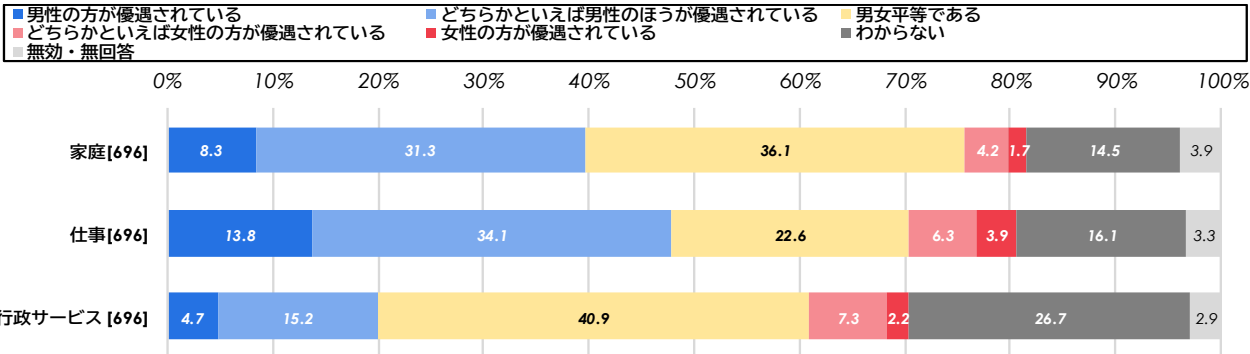
(まちづくりの役割を担う場合に参加する活動)



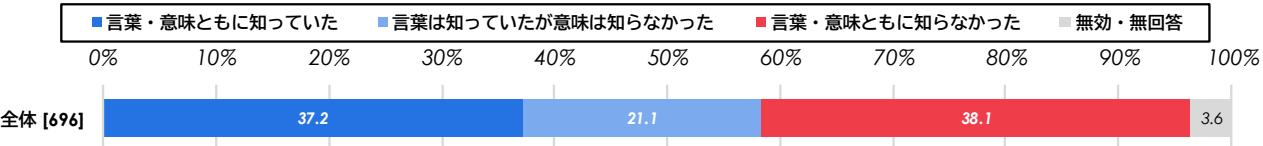
(まちづくりへの市民参画の方法)



(男女平等の意識)



(ワーク・ライフ・バランスの認知度)



5. 総合計画における成果指標の動向

- 現行の第10期根室市総合計画の成果指標のうち、市民意識に関する指標について、その動向を以下に整理する。
- 第10期根室市総合計画における「現状値」は、前期計画の最終年度である令和6年度の市民意識調査の結果を置いた。この現状値を基準として、中間年度である令和11年度と、計画終了年度である令和16年度の目標値を設定している。
- 現行計画では1年目となる本調査では、11の指標のうち3つの指標で、令和16年度の目標値をすでに上回る結果となった。ただし、総合計画は10年間の計画であり、今回の結果をもって目標達成とするのではなく、令和16年度までこの水準を維持していくことが最も重要であるという点に留意する必要がある。
- また、3つの指標では、令和6年度と比較して低下している。いずれも1～3ポイントとわずかな低下ではあるものの、目標達成に向けて、関連施策へのより一層の注力や、市民への広報、意識啓発等を進めていく必要がある。

成果指標		現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)	R7調査	現状値から 増減
1	子育てがしやすいまちと感じている市民の割合	16.3%	20.0%	25.0%	25.5%	△
2	健康状態が良好と感じている市民の割合	35.4%	44.0%	52.0%	34.9%	▼
3	病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	45.0%	55.0%	65.0%	46.1%	△
4	公園等の利用しやすさにおおむね満足している市民の割合	78.8%	79.8%	80.8%	81.2%	△
5	住んでいる地域の緑の豊かさにおおむね満足している市民の割合	86.3%	87.3%	88.3%	88.9%	△
6	市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合	71.9%	76.9%	81.9%	68.7%	▼
7	公共交通機関の便利さに満足している市民の割合	7.1%	10.0%	15.0%	9.2%	△
8	日常の買い物の便利さに満足している市民の割合	18.4%	20.0%	22.0%	17.0%	▼
9	北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合	18.7%	23.0%	26.0%	20.4%	△
10	家庭において男女が平等であると思う人の割合	15.1%	30.0%	50.0%	36.1%	△
11	職場において男女が平等であると思う人の割合	15.1%	30.0%	50.0%	22.6%	△

注：網掛けは、令和7年度の数値が令和16年度の目標値をすでに上回っていることを示す。

6. 根室市創生総合戦略の評価

- 平成27年度に策定された根室市創生総合戦略及び令和3年度に策定された第2期根室市創生総合戦略は、客観的效果検証を行うとともに、社会経済の情勢、市民意向の変化等に対応し、逐次改善していくためのPDCAサイクルを構築している。関連事業の経過に伴って随時改訂を進めている。
- 第2期根室市創生総合戦略では、第1期根室市創生総合戦略の総括及び今後の社会経済の潮流を踏まえ、人口減少問題や雇用情勢の変化、新型コロナウイルス感染症による地域社会の変容、医療、福祉、教育など社会全体への未来技術の活用に向けたデジタル・トランスフォーメーションの推進、技術革新（Society5.0の実現に向けた技術活用）や持続可能な開発目標SDGs、今後の段階的回復に向けたインバウンド対策などの新たな視点に着目した施策が立案されている。

6.1 基本目標別の施策実施効果の評価検討

- 令和3年6月に策定された第2期根室市創生総合戦略は、戦略理念、基本目標は、第1期根室市創生総合戦略の基本目標を原則引き継ぐとともに、国や北海道の長期ビジョンを踏まえて、新たな施策を追加している。
- このため、今回は、第2回根室市創生総合戦略の施策体系に基づく評価検討を行うこととし、第1期根室市創生総合戦略を踏襲している施策に関しては、昨年度までの評価を踏まえ市民意識の観点からの施策実施効果についての評価検討を行う。
- 評価検討の方法は、主として市民意識調査結果から、総合戦略に対する意識に関連する項目や自由意見を抜粋し、市民意識を整理した。
- 第2期根室市創生総合戦略においては、第1期根室市創生総合戦略と同じく「子どもたちに誇れるまち、ひと、しごと」を戦略理念として、若い女性をはじめ、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことのできる地域を目指すとともに、段階的に移住・定住から関係人口、交流人口の受入れまで、人の流れを更に生み出すことを目標として、以下3つの基本目標が引き継がれている。

基本目標（1） 雇用対策

「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

基本目標（2） 子育て支援

住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

基本目標（3） 人材育成

みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

- ここでは、これらの基本目標別に市民の評価の動向を整理する。

基本目標（1） 雇用対策

「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

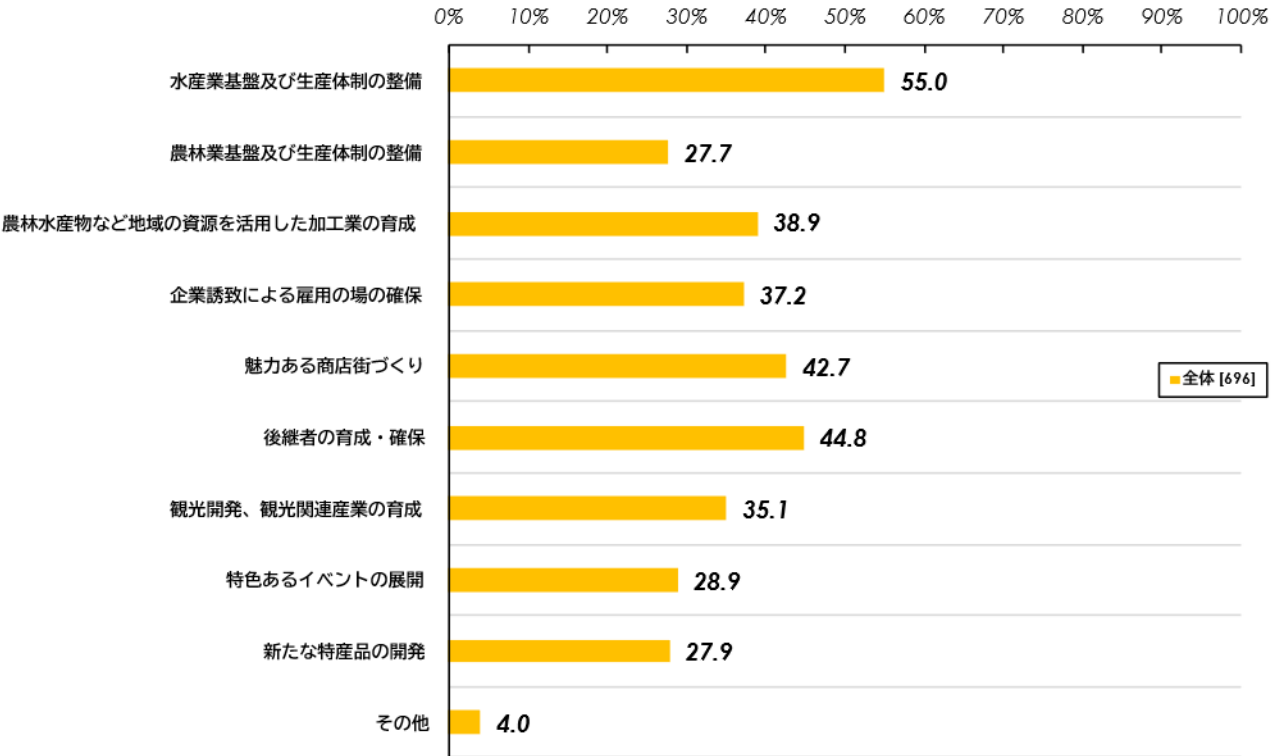
(1) 経済・雇用対策の推進

- 根室市では、基本目標達成に向け、第1期根室市創生総合戦略に引き続き、以下の経済・雇用対策が推進されている。

- a) 農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
- b) 労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
- c) 商工業後継者の不足に伴う事業承継のための支援等の充実
- d) UIターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
- e) 産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

①産業振興について重要だと思う施策

- 根室市の産業振興について、今回の市民意識調査から今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高くなっている。また、これに次ぐ施策には「後継者の育成・確保」「魅力ある商店街づくり」が挙げられている。
- 平成28年のロシア200海里内サケ・マス流し網漁の禁止、近年の不漁、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済的影響に加えて、令和4年2月以降のロシアのウクライナ侵攻による様々な経済への影響、令和5年8月からの中国による日本産水産物輸入停止（令和7年6月より一部再開）などの要因も加わり、根室の基幹産業である漁業に対する不安感が増している状況が一層強くなっていることから、中長期を見据えた産業振興だけでなく、より短期的な経済対策への期待が強くなっている状況がうかがえる。



②経済・雇用対策についての自由意見

- ・ 今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から、経済・雇用対策に関する意見をみると、若年層の流出や雇用の場に関する意見が多くみられた。
- ・ 基幹産業である漁業については、経営環境の厳しさが増す中、すでに市の政策として、育てる漁業への転換が継続的に推進されていることもあって、養殖により構造転換を進めるべきとの意見がみられた。
- ・ 一方、空き地などを活用して、漁業以外の企業誘致を進めるべきとの意見もみられた。
- ・ そのほか、商業施設や娯楽施設等の充実、地場製品のブランド化を望む意見がみられた。

＜経済・雇用対策の推進に関する意見＞

年代	意見・提案の内容
60～64歳	・ 屋内型レジャー施設、宿泊施設（ホテル等）、飲食業の誘致・建設・整備
75歳以上	・ 街中のにぎわいを感じさせる施設の建設。
40歳代	・ 古い建物を片付けてきれいな街づくり。商業施設の充実。観光名所をつくる。
－	・ 空き家、廃校、空き地を利用した企業誘致。例えば、民泊、水産養殖、ドッグランなど。・ 女性にやさしい「まちづくり」。ナプキンの交付、女性の医療費の軽減、女性の住民税の軽減など。女性が住みやすい＝人口増加。なぜなら多くの家庭は女性が財布を握っているから！！
40歳代	・ 若者や家族が集えるファミレスを誘致してほしい。アミューズメントパークも。
65～74歳	・ 現在のところ、ふるさと納税、国からの補助金で収支上の余裕はあるように見えるが、実質収入は大赤字である中で、具体的な資金確保が見えない。ロシアからの輸入で水産加工業の仕事の確保はされているように一見はある。水産物の養殖も規模も取扱いも中途半端な気がする。民間並みに収益性も検討する必要があるのでは。
75歳以上	・ 根室に空港があれば、中標津に負けることはなかったのかと思ってみたい、根室に買物できるところが少ないから、人が集まらないのか、何かを誘致できないのでしょうか。自然の豊かさは誇りに思う。花・草・木・鳥、素晴らしい。
75歳以上	・ 長年根室に住んでいる者として、町も寂しくなっている気がします。漁業の町として、もう少し景気の良い町にと思っております。アイデアあればと思って現在は良い考えもわかりません。今後も何かこの根室市に景気の良い明るい町になってほしいです。活気の市になってほしいです。
75歳以上	・ 若い人が戻ってきて楽しめる町にしたい。
60～64歳	・ 市長さんをはじめとして、職員の方々も大変頑張っておられると思います。根室は人口もどんどん減り、何をしても大変かと思いますが、この根室の「暑すぎない・寒すぎない気候」とほどほどの田舎が良いです。飲食店（家族で行けるような）や衣料品店が少ないのが残念ですが、宿泊施設も少ないそうですね。簡単に改善できないでしょうが、少しでも良い街になるといいですね。
30歳代	・ 資格を持っても、その資格を生かせる職場が少なく、選択肢が少ない（医療職でも）。高齢者人口も減っていて、高齢者施設の給料が低い。そのため、退職者も多く、働き続けるメリットがない。人材確保できる政策＋介護職やそれに携わる職種の給与や待遇を手厚くしてほしい。
65～74歳	・ 令和3年度から年月が経ち、人口も減り、これからの根室のまちがどのように変わっていくのか、想像がつきません。強いて言わせていただけるのなら、毎日見る景色がきれいなまちづくりを提案したいです。中学生ともなれば、今の時代、受験という大きな課題を初めて経験し、高校生となれば、今度は社会とのつながりを持つ年齢になります。私は大いに若者の考え方や意見を尊重したいと思っています。これから担う若者ほど、参加型の未来を創り上げてそれに協力できればと思います。
65～74歳	・ 若者の働く場がないと人口減につながっている。 ・ 不漁続きの産業からの転換が必要（養殖等）。 ・ こんな小さな町で誰か一人で困っている人はいないのか、困っている人に対応してくれているのか心配です。死ぬ前に根室に生まれて良かったと思います。
60～64歳	・ 根室市は人口が減少しています。若者が働ける場所ができれば良いと思います。進学して根室を離れると若者は帰ってきません。給料も安いし、買物も不便、この町に住みたくない、我が家の子ども地方に出て働いています。男の人の働ける所は、土木、船乗り、水産加工場、力仕事だけです。今の若い人は根性もないので働けません。女の子は、スーパーの店員が水産加工に限られています。人口も中標津町の方が多く、中標津の活気の良さには驚かされます。私たちが死ぬ前に、若者が戻ってこれる、働ける、住みよい市になってほしいです。
60～64歳	・ これからも良いアイデアがあれば積極的にチャレンジしてほしい。失敗してもチャレンジする姿がわかれば嬉しく思います。
65～74歳	・ 明るいまちづくりを望むが、長い間住んでいて、一歩進んで二歩下がるような感覚しかない。希少価値のある地場産品も、他のまちでは積極的にブランド化を進めているが、根室市では感じられない。市民が、何がブランド化されているかも良くわからないのでは。

<経済・雇用対策の推進に関する意見>

年代	意見・提案の内容
75歳以上	・漁業生産の減少により、産業の活動の減退、人口の減少等のある中で、根室市政は持ち堪えてよく運営していると感じている。
50歳代	・まちに人、物、お金が流入してくるまちづくりをお願いしたい。
65～74歳	・活気がない街だといつも思う。外部からの企業誘致も積極的に対応していないし、新しい物を受け入れる努力もしていない。市議会は古い考えで何を議論しているのか。まずは外食できる所を作ってほしい。市長は街並みを見ていない。もう少し市民にかかわってほしい。一度民家に一泊して、生活を体験したら！
40歳代	・涼しさが充分売りになる。舟を移動手段にできないものか。これができたらかなり市が栄えると思うが。知床半島まで行くとか。釧路港まで行くとか。
40歳代	・人口減少をとめなければ全てがまわらない。自然豊かなところは誇りで居続けたいが、衣料品を買うにも満足できず、ガソリン代かけても地方へと出向く始末。また、どこの職場も昔ながらの考えを持ち、賃金も最低レベル（経営者＝根室を創る人と思う）。根室の未来が見えないので、人口も減少するのも当然です。
75歳以上	・根室市は水産物のおかげで、ふるさと納税が全国上位に属しているので、有難いと思っていますが、人口の減少、高齢化（自分もそうですが）、一番に若者が専門学校や大学に進学すると戻ってこない。まちづくりには人口の増加と活力にみえざる若い若年層の減少がネックになっていると思います。
40歳代	・就職したくても、賃金が安いので根室に若者が残らないと思います。モラハラ、パワハラ対策として経営者や昔から働いている従業員の方々へ、アンガーマネジメントなどの講習をやってもらえるとありがたいです。生まれ育ったまちを失わせないという思いもあるので、本当に複雑な思いです。あと、外国人の人口が増えており、外国人労働者に手厚くするのは良いですが、根室にいる日本人の労働者にも、こころ穏やかに働ける環境を整備してほしいです。
75歳以上	・これから人口が減少していくことを考えると、コンパクトなまちづくりを考えて欲しい。新しい施設は大規模な物でなくて良いので複合施設にして利用しやすいようにして欲しい。例えば、図書館、児童館、高齢者のサロン、福祉や障害者のサロン等で大勢が交流できれば良いのではないのでしょうか。
30歳代	・美味しいものがたくさんあるので、もっとアピールしたら良いと思う。老後は不安しかないけれど、自然とか食べ物とかはずっとずっと大事にしてほしいです。少しでも明るい根室市になってほしい。私は根室市民として応援します。皆で頑張って生きましょう。
18歳未満	・根室市は若い人の流出が進んでいるように感じます。そこで、「若者が将来根室に戻ってきたい」と感じるような街に少しでも近づけるために、次のような点が大切だと思います。まず一つ目は、若者（特に中高生）には、根室の地域の方々と交流をとる機会（一からそのような機会をつくるのが難しければ、文化会館などで行われるイベントやサークルなどで中高生を積極的に参加させ、大人や高齢者と交流をとる機会などでも良いと思います）をつくることです。二つ目は、根室高校の生徒会がやっていた、「若い世代が地域活性化を目的に活動する場を作る」という活動をもっと行うことです。主に高校生が、小中学生と交流をとることで、未来の根室が過ごしやすく少しでも楽しい街になるかを自覚を持って考えることができると思います。三つ目は、フリースペースや遊び場がもう少しあったら良いです。フリースペースや学生の勉強スペースなどの設置が進んでいてとてもありがたいですが、中高生や大人も屋外で遊ぶことができ、自然の中で遊べる場所があったら良いなと個人的に感じます。屋内の遊び場は、個人的には十分です。
75歳以上	・映画館等様々な文化・娯楽に接する機会を設ける ・緑町商店街の復活 ※農漁業が生きていける町であって欲しい、ふるさと納税に助けられてはいるが、本来の姿ではなく税金の奪い合いのように思える。
75歳以上	・根室市の産業基盤は水産・農林と思いますが、漁が豊漁でも運送の道路が低速制限のままです。釧路まで3車線又は4車線にして準高速道路にして、運送経費、時間短縮等考えるべきだと思います。 ・飛行場や温泉がないのが大変残念なことです。 ・気候の大変動は雑草を耕作したら、米や大豆ができるかもしれない、高価な米作ができれば根室にも畑作の大チャンスになり得るかもしれないが、日本の現政権下の農政政策ではノーかも？いずれにしても、食糧難の時代は来るものと思わなければならないが…。
20歳代	・高齢者に対しての支援、子どもに対しての支援が手厚く感じるが、若者の都会進出の対策をしない限り廃れていくだろう。 ・商業施設、娯楽施設の充実にも取り組んでほしい。 ・市議の顔ぶれが変わらないのが、市の衰退につながっているのではないか。年配層の自分たちの今が良ければいいと思う考えが、市が変わらない原因なのでは。 ・近くに釧路市という例があるので見習ってほしい。近々、私もこの市を出ていくことになるだろう。
75歳以上	・明確なビジョンが欲しいです。管内で中心地である根室市が、中標津町に追い越されつつ、北方領土の返還が絶望的であり、根室市としてどのような街にしていくのか、20年、30年後の長期ビジョンが必要です。半島の街での地域的な不利益であり、経済的、観光面でも将来が不安で短期での投資も必要ですが、毎年魚の水揚げ量ばかり期待するのではなく、企業誘致も大変ですが、新しい街に向かって市民にも変革の夢があればと思います。

<経済・雇用対策の推進に関する意見>

年代	意見・提案の内容
60～64歳	・人口減少社会にあってコンパクトシティを目指しているにもかかわらず、市街地がどんどんドーナツ化していくような政策をとっているのが残念です。根室市公共施設グランドデザイン構想で健康スポーツ機能エリアとしている運動公園周辺に大規模太陽光発電施設が計画されているのは、好ましくない。この用地の一部は、もともと運動公園構想に含まれていたエリアであり、健康スポーツ機能を最大限発揮するために、周辺地は緩衝地帯として確保しておくべきと考えます。特に、スケートリンクに面した斜面は、大雨でたびたび崩落を起こしており、その隣接部まで太陽光発電施設によって開発されることは、土地の保水力を低減させ、運動公園の災害リスクを高めるものと推量されます。グランドデザイン構想は公共施設の配置の指針となるものですが、民間による開発行為や施設建設等もエリアにふさわしいものであるべきです。こうした構想を策定するのであれば、各エリアの機能を最大限発揮されるよう行政としての指導力、調整力を発揮されることを期待します。
65～74歳	・根室では物価が高いです。年金では生活はできません。働きたくても年齢で決められたら働くこともできません。社会の活力の低下や少子化、人口減少という現象にまでつながっているとと言えます。仕事と生活の調和を考えてください。
50歳代	・人口減少を食い止めてほしいが、やはり北方領土問題が何かがしかの解決がないと難しいと思う（最果ての町なので）。北方領土の島に行き来ができれば根室が拠点となるので人や仕事も増えるかもしれないがやはり難しい問題かと。
60～64歳	・明るく、楽しいまちづくり。
50歳代	・市内中心部をコンパクトシティ化になるように整備して欲しい。 ・太陽光発電等、環境に配慮した規制を策定して欲しい。
18歳未満	・高校生が遊べる場所が欲しい。 ・高校生が上京しなくても良いように働ける場所を増やして欲しい。 ・札幌などから行き来しやすいようにして欲しい。 ・もう少しお店を増やして欲しい。 ・ファミレスがほしい。 ・都会には売っててこっちには売ってないものが多いから、もう少し物を増やして欲しい（お店）。 ・動物が遊べる施設がほしい（ドッグラン）。 ・高速道路ほしい。 ・キャリアケースとかリュックを売る店を増やして欲しい。
30歳代	・北方領土エリカちゃんがSNSで人気を博しているので、根室だけで手に入るエリカちゃんのぬいぐるみやグッズ、着ぐるみでの露出が増えると話題になると思います。今Xで行っているエリカちゃんぬいぐるみプレゼントキャンペーンをリポストしている友人も多いです。私自身もエリカちゃん（およびエリマルくん）が推しキャラなので、グッズが販売されたら欲しいので買います。ただ、人気が高いことで転売などが起こる可能性があるので、転売対策は行う必要があるように思います。
40歳代	・海産物などの水産系にしか力を入れていない印象。これでは若者はずっと根室に住みたいと思うわけがない。中標津がなぜ人口を増やしているか考えるべき。また、根室の店はSNS系をほとんどやっていない。もしくはあるものの全く更新していない。
65～74歳	・人口減少を防ぐための方策が必要。
40歳代	・地の利を活かし、ラスベガスのような非日常な空間（カジノではない）。
18歳未満	・もっと娯楽を増やしたほうがいいと思う。今の根室には娯楽が少なく、娯楽を満喫するためには中標津や釧路など遠いところに行かなければならない。そのため費用がかかり、面倒くさい。

(2) 交流人口の拡大

- 根室市における交流人口の拡大に向けた施策は以下に示すとおりであり、誘客強化と観光プロモーションの強化となっており、特に、自然環境を活かした国際観光地に向けた取り組みが進められている。
- また、新型コロナウイルス感染拡大を契機としたテレワーク等の新たな就労形態に対応したワーケーション受入れ、根室市の医療が抱える課題解消に向けた医療従事者、介護人材の移住促進に向けた取り組みが進められている。

- a) 世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化
- b) 長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進

- 今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から交流人口の拡大に関する意見についてみると、これまでの調査の結果と同様に、観光振興に関する意見が多く、今後の根室市の産業振興として観光に対する期待が大きい状況が把握される。
- 具体的な内容としては、宿泊施設の充実、道の駅等の観光客向け施設の機能充実、自然等の根室市が有する資源の有効活用など、これまでと同様の意見が多くを占めていたほか、観光客向けの情報発信の強化、景観対策に関する意見もみられた。
- そのほか、水産加工会社等で外国人労働者が増加している状況を受けて、外国人との文化交流を進めると良いとの意見もみられた。

<交流人口の拡大に関する意見>

年代	意見・提案の内容
65～74歳	・ここ数年7月～9月頃まで明治公園駐車場に本州や道内からキャンピングカーが駐車し何日間滞在しています。両駐車場にトイレはありますが、もう少し水回り環境を見直す必要があるのではないのでしょうか。キャンプ場ではないけど明治公園の使い方の再確認（期間限定でキャンプ場に近い利用方法等）。根室の涼しい夏の観光（避暑）に役立ててはどうでしょうか。
30歳代	・根室に観光で来る人が宿泊する所がないから、日帰りする人が多いと聞いた。もう少しホテルなど必要だと思う。 ・くずれそうな空き家をどうにかしてほしい。
40歳代	・せっかく観光客が来ていても、見たり楽しむ場所がなく、家族連れ（子連れ）で来て下さる方が楽しめる場所があると良いと思う。海のそば、養殖等も行っているのだから、水族館的なもの、海のものに触れる、エサやり等の施設があると楽しめそう。
75歳以上	・観光振興のためにホテルの建設。
40歳代	・根室の道の駅の活性化。希少な野鳥が生息しているので、生かした観光をPRする。
75歳以上	・根室市では千島桜の有名な場所は清隆寺内だけだと思います。そこで、厚床市内に千島桜の苗木を植えて数年度に日本で一番遅い桜祭りとして売り出したらどうかと思っています。厚床は気候的にも霧も少なく暖かいと思いますので...
65～74歳	・外国人労働者が増していますが、若いこれらの人々が日本文化を楽しめる機会を作り、理解し更に良い思い出がつかることができるように、回数を多く（体験型講習会etc.）したら良いと思います。
50歳代	・根室といったら、これ！という人や物などの魅力を感じない。仕事もなく、若者の根室離れを何とかならないものかと案じています。増えている外国人の方々と市民が交流するのはどうだろう（お祭り以外）と思ったりもします。一番訴えたいのは、私立病院やスーパーなど、車イスマークのところへの迷惑駐車です。若者や元気な健康者が使用し、本当に利用したい時、使用したい方が使えない場面を何度も見かけ、ものすごく腹が立ちます。
50歳代	・以前、新聞や広報であったが、サウナ事業に注力していることを知ったが、サウナ発祥の地ということだから、他の地域から来てもらえるようなサウナ温浴施設の設置が必要に思う。ましてや温泉のない根室であるので、既存の銭湯では不十分である。ふるさと納税額の上位に根室が入っているとのことなので、他地域から人の集まるサウナ温浴施設を希望する。是非ご一考願いたい。
60～64歳	・観光に来てくれた方が、また根室に来たいと思えるように、飲食店にも支援してほしい。
40歳代	・個人的には今更どうでも良いですが、会社の外国人が、根室はつまらないと言っているの、そうなのだと思います。市内に遊ぶ所や名所がないのかな。外国人がつまらないと言っているくらいなので、根室の若者もそう思っていると思う。地元民なので、何も思わないけど、お客さんをノサップに連れていくととても喜ばれるなどの魅力はあると思う。スワンのレストランの夜間営業（たまにで良い）、ライトアップが何かして景観を眺めながら酒を飲みたい。
60～64歳	・ホテル等を増す。タクシーの夜の時間延長、人員増員。
75歳以上	・水産加工場で働く外国の方々も楽しめるイベントがもっとあるといいと思う。根室まで来てくれているのだから、その方々の料理をふるまって根室市民と交流など。
50歳代	・JRに乗りして釧路に向かう森林の景観が感動できず、整備か、景色が美しいと観光につながると思う。最近は太陽光パネル、風車が目立ち、ふるさとの感動が薄い。
20歳代	・全国的にみても、こんなにお祭りが盛んな地域はそう多くないです。このエネルギーがもっと外に伝わればいいですね。
40歳代	・年間通して魚介類を食すイベントを行う。観光船ツアー。地方から人を流入させ、定着させる（移住）。
40歳代	・ソーラーパネル建設を禁止してほしい。観光資源のひとつなのに、景観が損なわれる。 ・外国人の人口が増えているのも気になります。スパイ防止法が無いので少し不安です。外国人労働者に手厚くするのは良いですが、根室にいる日本人の労働者にも、こころ穏やかに働ける環境を整備してほしいです。
50歳代	・廃校になった学校や教員住宅の活用、観光客に使ってもらえるようにするとか。牧草地だけど、写真を撮っている観光客をよく見かけるのでそのための写真スポット用のいすを置くとか（友知近くの新茶屋あたり）。
60～64歳	・1市4町において温泉施設がないのは根室だけです。オホーツク側に良いロケーションがあるのにもったいないです。じん芥焼却場の排熱を使用した浴場施設あっても良いのでは。また、現在はキャンプ場もなく、子供たち、バックパッカーにも大変不便ではないですか？今はオートキャンプ場が主流です。1日キャンプ場みたいな不便な作り方ではなく、平坦な場所に作ってほしいものです。
65～74歳	・根室市の顔となる駅前が整備されていない。根室駅の裏側は雑草でおおわれているために、花咲線で電車で来た観光客もがっかりする駅だと思います。

＜交流人口の拡大に関する意見＞

年代	意見・提案の内容
50歳代	・今年夏に、富良野・美瑛方面に旅行に行きました。根室にはない、「観光と農業をリンクさせ発展させている」様子を見て、良い取り組みだと感じました。気候も生産物も違うので同じようにしてほしいとは思いますが、 ①大勢の客を受け入れられるトイレの完備 ②手軽なお土産品の開発 ③手軽に味わえるメニューの開発 （②③コンテストを実施するのも良いかもしれません。） ④景観＋気候を活かした長期滞在の推進。（インターネット完備、安価な宿、体験やアルバイトを通して小遣いを稼げたり、地元の方と交流できる方法の確立） これらのことから、花咲街道あたりに「スワン44」くらいの規模の道の駅のようなものの建設や、キャンピングカーの方が町の公園を占領せずとも利用できるキャンプサイト（有料で）を建設してはどうでしょうか。 ※②手軽なお土産については、根室のお土産で、300円～500円（1人1人に渡すタイプのお土産）、うすい形状（スーツケースに沢山しまえる）、常温保管できる（カバンに入れて旅行できる）、このようなものが少ないと感じています。
60～64歳	・道の駅は、自然を眺めながらの食事などとても良いが、売店を改善して欲しい。1年半かけて北海道の道の駅を全制覇して、125駅を見てきました。根室の道の駅にもキャンピングカー用のRVパークを作ったり、ドッグランもあって良いかも。
40歳代	・納沙布岬の観光地客の方々の滞在時間を多くして沢山の思い出を残して欲しい。納沙布岬周辺には、沢山の「はまなす」が綺麗に咲いていたりするので、それを加工して、ジャムやお菓子、色々な特産物に加工したら喜ばれると思います。 ・根室で有名なお店の方とコラボして根室限定（根室でしか食べられない物）を作してほしいです。 ・色々考えると楽しみでしかありません。もっともっと根室を人気観光地へ。頑張ってください。全国の方々が興味を持っていると思いますので。
40歳代	・釧路～根室、中標津～根室の距離があるので、観光客にはハードル高いかなと思う。仮に根室に来たとしても、観光スポットまでは結構離れているので、1～2か所見るだけでも時間はかかる。つい最近、納沙布に行って思ったが、なにか古くさい感じだし、展示している物も何年も変わってない感じで、私からしたら面白くはなかった。少し工夫とかは必要なのかもしれないと思う。もう1回根室に来たいと思える何かが足りない。温泉とかもないので、娯楽施設あっても良いかもと思う。観光客に何のために来たのか聞いてみるのはどうですか。
30歳代	・ペットを飼っている人が多いのでペットと遊べる施設があれば良いと思う。近郊のペットの飼い主も遊びに来たくなるような施設があれば観光客増加にもつながると思います。まず運動公園のドッグランを直して欲しいです。
65～74歳	・街の景観づくり。観光名所への道路脇の景観、草刈り等美化維持。明るくきれいな街
65～74歳	・地場産業に欠かせない、若い外国人労働者が心安らかに市民と共生できる町にしてほしい。対立や諍いが無く、理解し合い、平和に暮らしたいから。外国人労働者の存在無くして製造業が成り立たない現実がある以上必須だと思う。
30歳代	・観光の拠点となるような施設を街の中心部に欲しい。 ・キャンプ場の新設。
30歳代	・まずは人口を増やす。観光に力を入れて魅力を知ってもらい、移住者を増やして子供を産んでもらう。
30歳代	・外国人受け入れのルール作り
18～19歳	・進学で市外に出た人も、そのまま残る人も、働く場所と若い人の健全な交流の場があれば住み続けたいと思う気がします。釧路や札幌に行きやすい（釧路や札幌から来やすい）環境が整うと、ここに住むハードルが下がります。
50歳代	・美瑛駅と駅周辺商店街のように統一的デザインで再開発を行うことにより、街の魅力がアップして観光客も増えると思う。納沙布岬にある廃タワーは早く何とかした方が良い。このままでは倒壊して大きな被害が出る。市役所食堂の日替わりランチをネットで事前確認できるようにしてほしい。
65～74歳	・今回の意識調査とは関係ないのですが、公衆トイレが、少なくなったような気がします。観光客の方達にも不便をかけているのではと思います。

基本目標（2）子育て支援

住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・
出産・子育ての希望をかなえる。

(1) Society5.0（ソサエティ5.0）時代に向けた人材育成

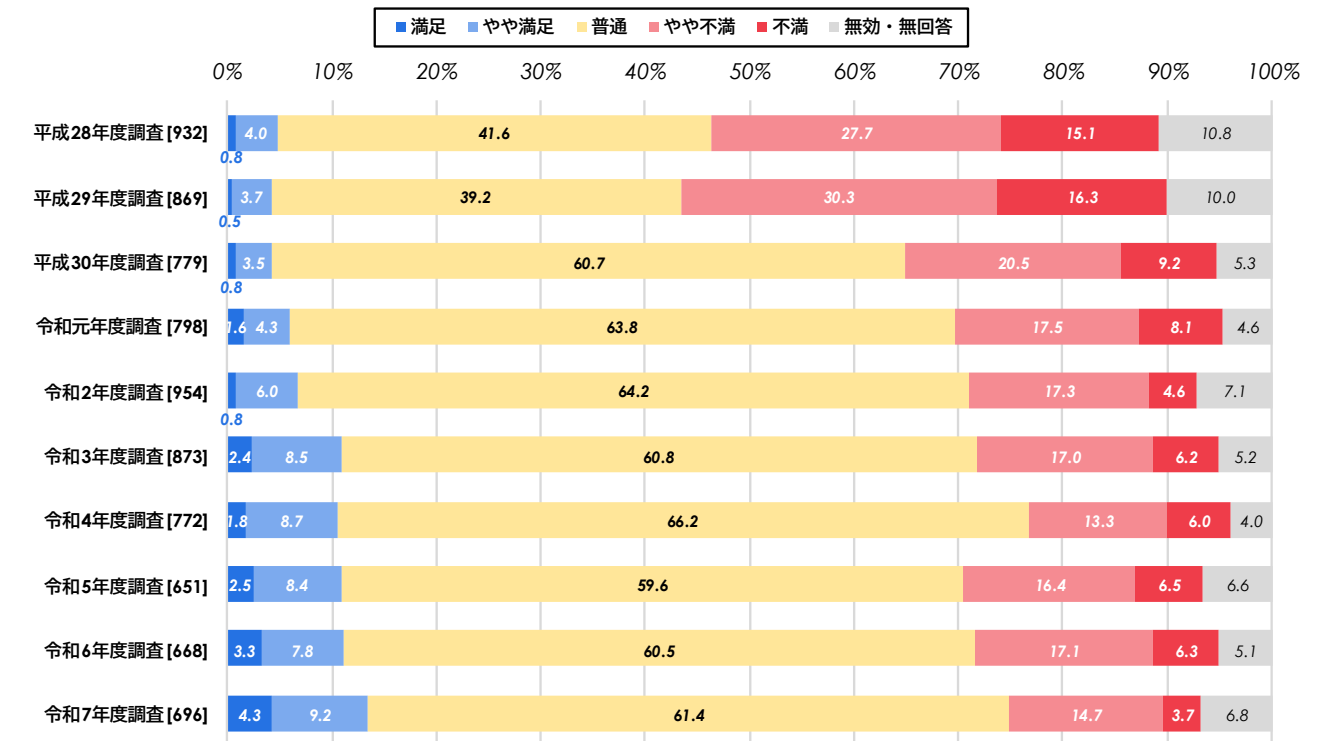
- 第2期根室市創生総合戦略で追加された施策であり、次代を担う子どもたちの確かな学力向上に向けた取組みが推進されている。

a) 良好な教育環境の整備と義務教育の充実

①教育環境に対する満足度意識

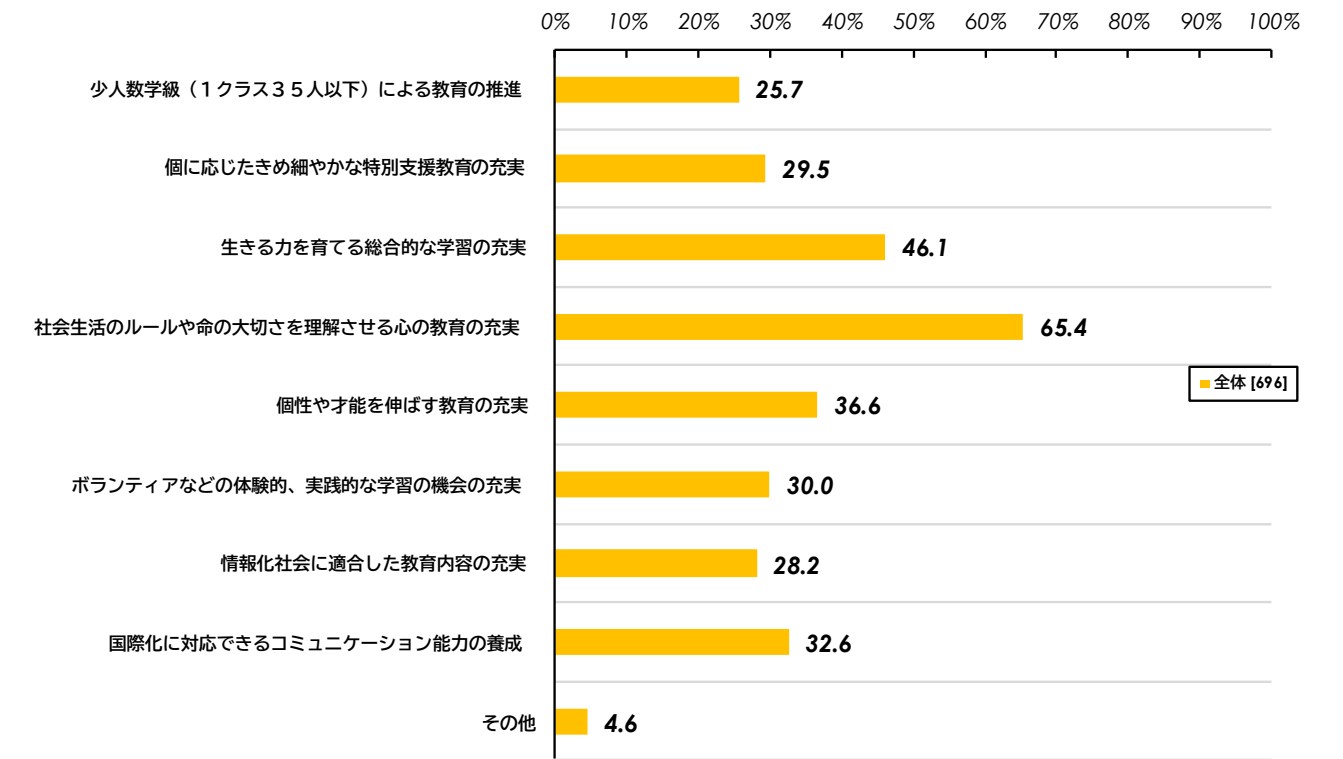
- 今回の市民意識調査における関連項目から、根室市の教育環境に対する市民意識についてみる。
- 市民の根室市の教育環境に対する満足度意識について、昨年度までの市民意識調査の結果と比較してみると、令和3年度以降横ばい傾向にあったものの、令和7年度には改善傾向がみられている。
- ただし、依然として「不満」「やや不満」の割合が「満足」「やや満足」の割合を上回っている。

<子どもの教育施設や教育環境に対する満足度>



②教育環境について重要だと思う施策

- 根室市の教育環境について重要だと思う施策についてみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」「個性や才能を伸ばす教育の充実」が上位にあがっている。



③教育環境についての自由意見

- 今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、大学や専門学校などの進学先の立地、教員の資質向上などに関する意見がみられたほか、通学時のスクールバスの充実を望む意見がみられた。

＜教育環境に関する意見＞

年代	意見・提案の内容
50歳代	・ 高校卒業後の進学先（大学・専門学校など）が根室にあると良いと思う。
40歳代	・ 公共施設を新たに造るのは良いですが、何か、いつも中途半端なものになっている気がします（病院とわんぱーくです。小6までしか利用できないのも残念です）。 ・ 専門学校や大学が欲しいです。
75歳以上	・ これから益々進行していく人口の高齢化、少子化にあって子どもを産み育てる年齢層の大都市への流失が根室の大きな課題と考える。いくら子育て支援政策に財源をあてても、大学進学、専門学校等に進学してしまうと地元に戻らない。私は花咲港に住んでいるが、このところ国際的漁獲の取り決めで、漁業の衰退が著しく地盤の沈下が著しい。これからの街づくりを考えていくとき、私の家の周りにロシア人、ベトナム人、インドネシア人、ミャンマー人、それと元々の住民の日本人と、合わせて5か国の人種が狭い地域で生活をしている。これらの人々と共生しているから、防災訓練、祭り、地元小学校の運動会、文化祭等地域行事に参加してもらい、地域の人達と交流を図り、「いざ」という時の連携、協力関係の構築に地元として取り組んでいる。彼らの多くは技能実習生、特定技能者で在住期限があるが、この先家族も帯同できる熟練技能者が増えることが予想される。その際、一番大事なものは住むところ「住宅」である。今、花咲港小学校はインクルーシブ教育に力を注いでいるが、やはり広域から児童を就学させる（集める）には親の住居環境である。地元としては早くから、機会あるごとに公設住宅の建設要望を訴えているが、中々実現の気配がない。技能実習生等の就労は、これからは彼らから「選ばれる地域」にならないと地元に来てくれないと地元水産関係者は危機感を募らせている。長期滞在の外国人就労者が増えてくると外国人の子どもも増える。しいては、今、児童が少ない花咲港小学校での児童数の増加や多国語の外国人による授業が可能と考えられ、目的に添った真のインクルーシブ教育学校となる。花咲港に公設の住宅の建設を！花咲港の賑わいを取り戻すために。
65～74歳	・ 野球少年育成のためのバッティングセンター開設。 ・ 音楽活動の練習のための無料活動スタジオルーム。
75歳以上	・ 学力競争にとらわれない、地域に根ざした教育 ・ 本当に一人一人を大切にさせる行き届いた学校教育を期待（少子化をチャンスに、小規模校の利点を生かす）
40歳代	・ 中学校へのスクールバス希望。18歳未満歳以下は無料でバスに乗れるとのことですが、登下校時間に乗れるバスがなく、本当に意味がないです。
40歳代	・ 以前の報道等で消滅都市として上がっている根室市が先を見据えて、ふるさと納税を活用し、この先の根室を支えていく子ども達の医療や、教育に力を入れいろいろな支援策を講じているのは大変素晴らしいことだと思います。子育て世代としてありがたいです。この支援策が今後どのような形で現れるのか期待したいです。他地域から来て現在根室で生活していますが、ふるさと根室を支える人材は教育に尽きると思っています。圧倒的に教育に対する意識が都市圏と比べて低いと感じています。この点に関してはほとんど差が開いていくと個人的に感じています。
40歳代	・ 市長はじめ、職員の皆さんのおかげで楽しく生活ができています。わんぱーくも昼休み以外は自由に出入りできてだいぶ利用しやすくなりました。小学校の先生は、地域柄なのか若い先生が多いですね。経験の浅い先生も大切ですが、もう少し子供のことを考えてくれる熱い先生が増えたらなと思います。また、運転に慣れておらず、中標津や釧路に子供を連れて出かけられないご家庭もあるようですので、子育て世代向けのバスツアー（こども遊学館やゆめの森公園など）をしてみてもどうでしょうか。
18歳未満	・ 中高生の参画を視野に入れたイベントや中高生が主体となった取り組みが増えたと実感しています。
18歳未満	・ 光洋団地から根室高校までバス通学ができるといいなと思う。

(2) 子育て・少子化対策の推進

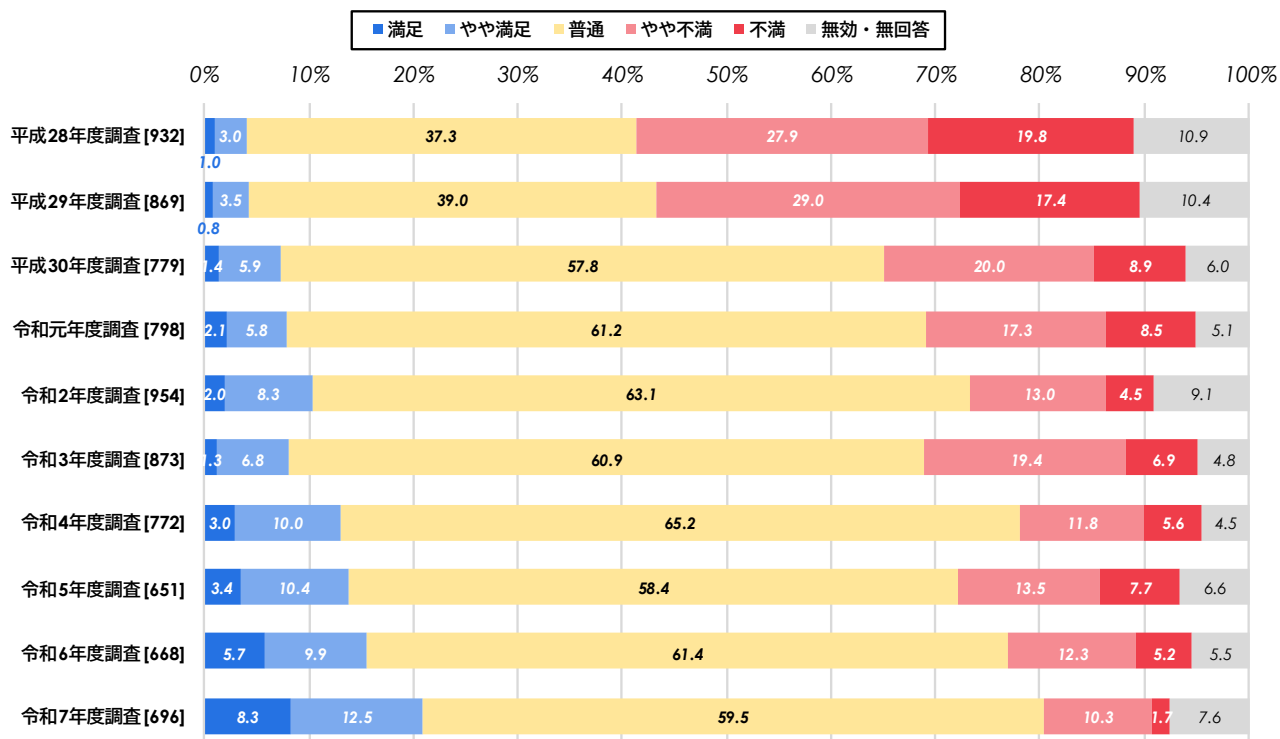
- 根室市では、基本目標の達成に向け以下の政策に関する各種の施策が推進されている。

- a) 出会い、結婚、妊娠、出産、育児に関する機会や相談、支援体制の強化
- b) 子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担軽減の推進
- c) 保育施設の整備と多様な子育て支援サービスの充実

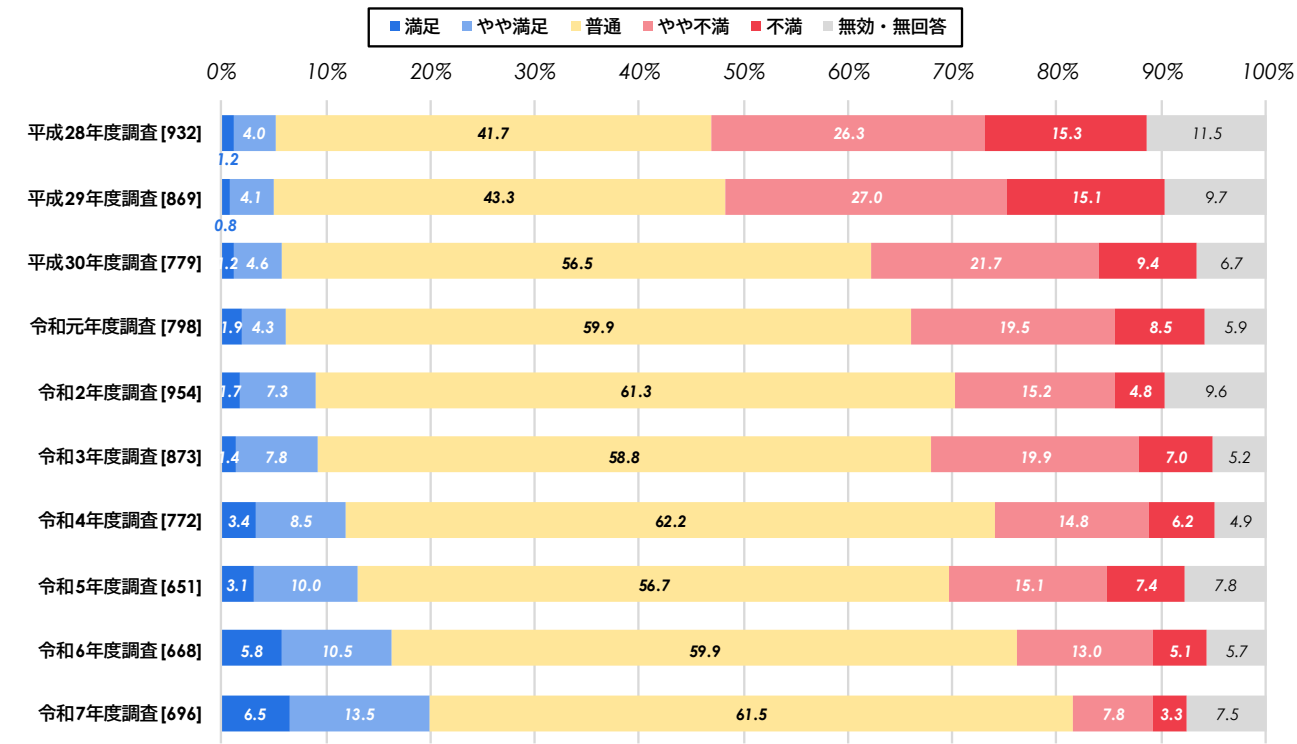
①子育て・少子化対策に対する満足度意識

- 今回の市民意識調査における関連項目から、これらの子育て・少子化対策に対する市民意識についてみる。
- 市民の子育て・少子化対策に関連する項目の満足度意識について、昨年度までの調査結果と比較してみると、平成30年度以降は、給食費の無償化、保育料無償化、医療費の無償化など、年々充実した経済対策の実施により、満足と感じている市民の割合が増加傾向にあり、不満意識を感じている市民の割合も概ね減少傾向にある。

<乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度>

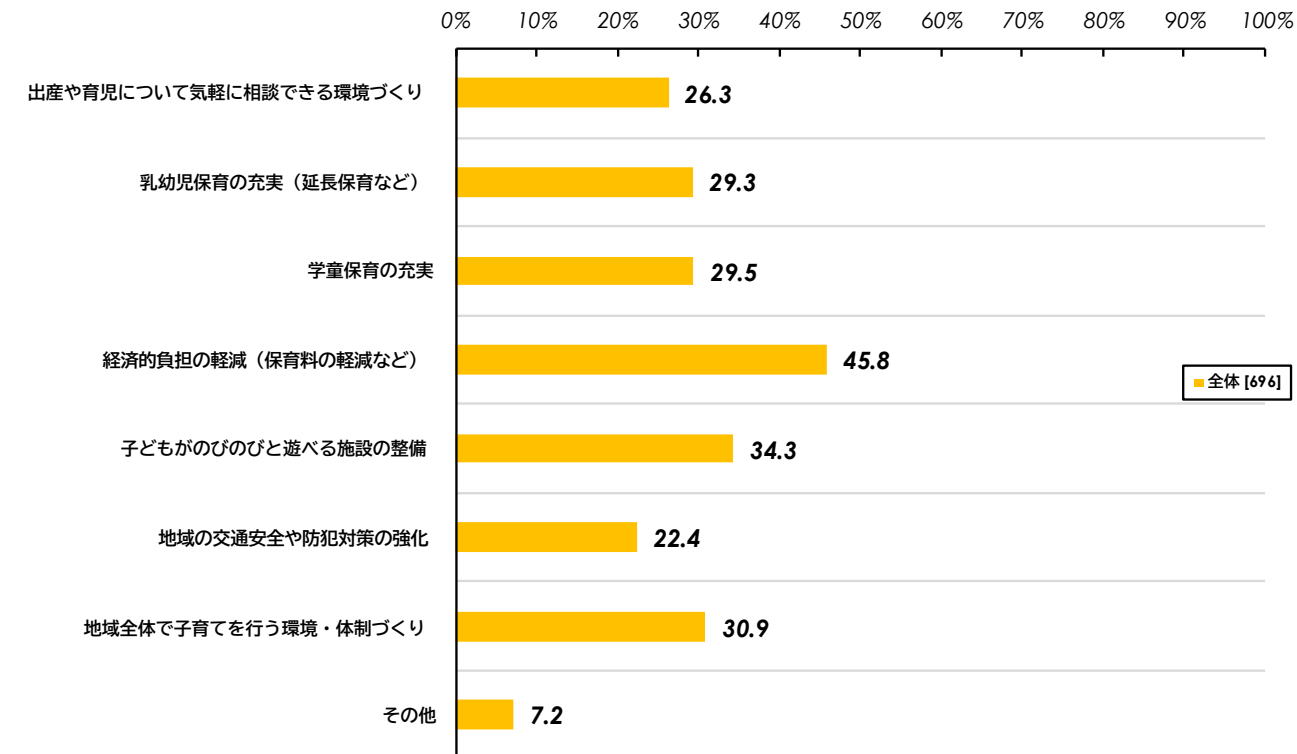


<子育ての環境や支援制度の状況に対する満足度>



②子育て・少子化対策について重要だと思う施策

- 次に、子育て・少子化対策について重要だと思う施策についてみると、「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」が多い。
- なお、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」に関しては、令和3年12月に子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）が竣工したことで、令和4年度以降の回答割合は大きく改善し、それまでよりも低くなっている。



③子育て・少子化対策についての自由意見

- 今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、近年の給食費、医療費、保育料等に関する支援策の実施、子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）の整備などにより、子育て対策についての評価が高いことがうかがえる。
- そのほかの意見としては、中高生の遊べる場所の充実、公園等での野生動物対策、街灯の設置などの安全・安心面の充実を望む意見がみられた。

<子育て・少子化対策に関する意見>

年代	意見・提案の内容
50歳代	・子どもたちの活動。例えば全道・全国での補助は全額補助にしている市町村がある。移住する時は、例えばそのような手厚い補助を子育て世代が参考にするのはと思う。
—	・市営団地に住まわせていただいているのですが、学校が熱中症対策で臨時休校になっても、クーラーもなく、付けられもせず、心配で子どもだけで留守番させるのが心配です。光洋団地付近は熊が出たり、森や人目に付かない場所が多いので、街灯をもっと設置してほしいのですが。安全面、安心面でも根室市は課題があると思います。子どもの進学を機に、市外へ転居する家庭が多くなってきているのですが、私も近い将来そうしたいと考えています。
30歳代	・少子化対策をしてほしい。有効求人倍率が高すぎる。
65～74歳	・私の息子が30代で独身です。根室市で婚活をやっていただきたい。私の友人が宇都宮に住んでいますが、年に10回ほど婚活をやっていて人口増加につながっているそうです。婚活の仕方も市民からアイデアを募集し、成功しているみたいです。お願いいたします。
30歳代	・子どもが産まれて、子育て支援に力を入れているのがよくわかりました。感謝しています。
30歳代	・小さな子供達の遊び場をもう少し増やした方が良いと思うが、中高生が遊べる場所を作ってほしい。屋内、屋外両方。
20歳代	・市で婚活事業あれば良いなと思っていました。
40歳代	・私は、保育所で働く者として思うことがあります。年々、支援が必要ではないかと思う子どもが増えているように感じます。発達の面で3歳児検診の前2歳児検診があったら良いと思います。人材の確保が大変だと思いますがよろしくお願いします。保育所、幼稚園で働くパートの賃金が最低賃金だったり、低すぎるのは考えて頂きたい。パートの有給休暇、福利厚生、事業所で正しく行われているのか調査して頂きたい。人手不足で有給がもらえない、言いづらい環境です。このような問題で保育所、幼稚園で働く人が不足していると思います。子育てに力を入れるを公約にする市議会議員、子どもを育てる親ばかりに目を向けなくて子どもに携わる人達のことも考えると良い町になると思います。
40歳代	・公園の野生動物の糞が季節によっては多く、子供を遊ばせられないことがあるので、運動公園や明治公園の芝生エリアだけでも動物が入ってこられない柵など工夫があれば嬉しいです。
50歳代	・根室市はコンパクトシティで道路も混雑なく、スムーズに買物や用足しができ、快適に生活できる。子育てをしていて困ることは、スポーツ用品店と靴屋が無いこと、中高生の息抜きの場所が無いこと。フードコートなどの小銭で気兼ねなく過ごせるカフェ的な所があると良い。市役所1Fや4Fのフリースペースは好評。文化会館も、誰もが気軽に休憩できるイートインスペースであってほしい（勉強したり、話したり、本読んだり、おやつたべたり）。高齢者の休憩用に、明治公園のベンチを増やしてほしい。簡単な体力作りやりりハビリが自主的にできる、指導員がいる所があると良い。
30歳代	・子供向けのイベントが多くなってきたように感じているし、バスも無料の券が発行できたりと、子育て支援に力を入れている感じはします。

(3) 周産期医療と小児医療体制の整備

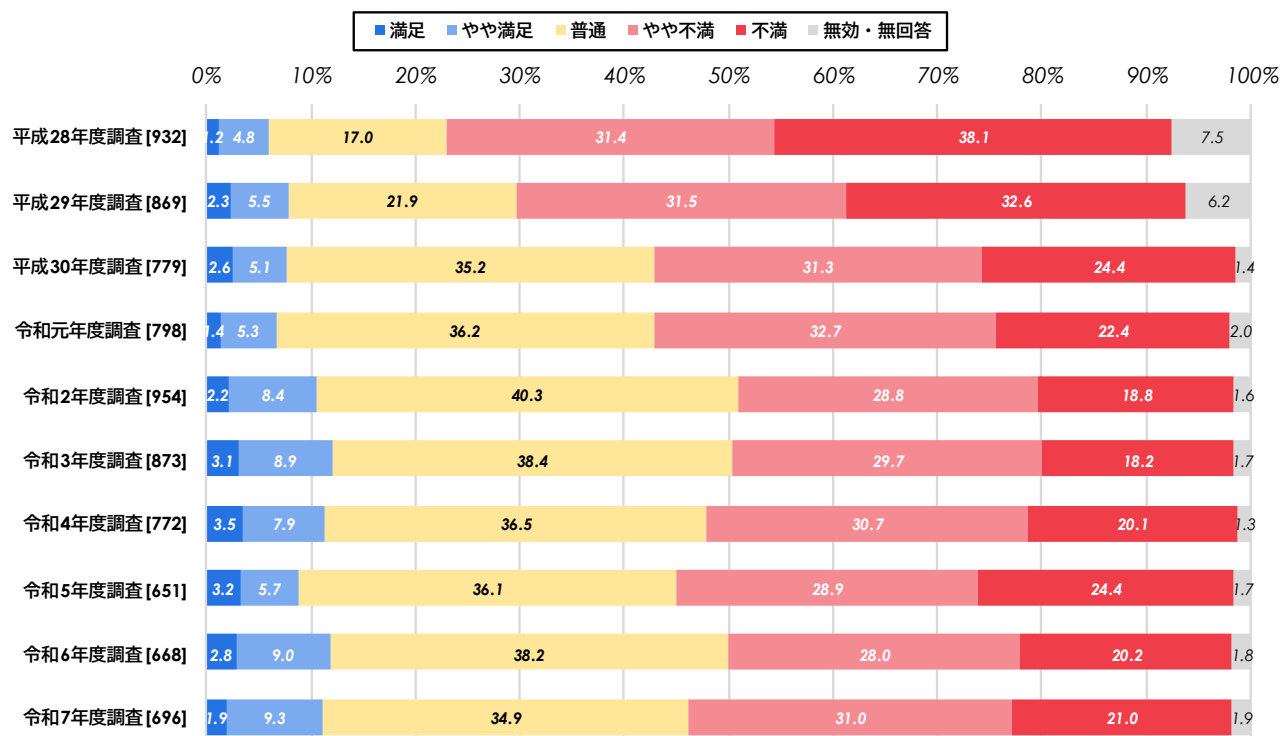
- 根室市では、市立根室病院の充実を図るため、分娩の早期再開をはじめ、医師、看護師等の確保、充実に向けた周産期医療及び小児医療体制の整備に向けた対応を図っているところである。
- 分娩に関しては、平成29年4月に市立根室病院で11年ぶりに経産婦を対象に分娩が再開されている。

a) 安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

①周産期医療と小児医療体制に対する満足度意識

- 今回の市民意識調査における関連項目から、これらの周産期医療と小児医療体制に対する市民意識についてみると、不満と感じている市民の割合は調査開始当初から大きく減少した。
- 一方で、市内の小児科医院が令和3年末に閉鎖され、小児科医療が市立根室病院のみとなったこと、市立根室病院の病床数が看護師不足の影響で令和5年4月にそれまでの3病棟135床から、2病棟107床に縮小されたことなど、市の小児医療体制は縮小傾向が続いている。
- 小児医療体制に関する満足度は、このところ横ばい傾向にあるものの、上記のような背景から予断を許さない状況にある。

<乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度>



②医療環境についての自由意見

- ・今回調査における医療環境に対する自由意見をみると、市民の医療環境に対する不安意識が幅広い分野にわたっていることがうかがえる。
- ・従前からの市立病院の診療体制などへの不満、市内の医療機関の数に対する不満の多い状況が引き続きみられるほか、駐車場も含めた施設のバリアフリー化、バス等の通院手段の不足などを望む意見もみられた。

＜周産期医療と小児医療体制ほか、医療環境に関する意見＞

年代	意見・提案の内容
30歳代	・病院のレビューが悪くて不安になります。
75歳以上	・市立根室病院の玄関前の駐車場、段差があって、身体の不自由な者にとっては非常に不便、残念。
75歳以上	・市立病院の内容を充実してください。とにかく釧路へ行くとか札幌へ行くことは老人にはできません。「がまん」して重症化になってしまう、特に眼科はどうなるのでしょうか。
65～74歳	・带状疱疹のワクチン制度はありがたいと思うが、対象年齢を50歳以下にも下げた方がいいと思う。かかったが、後々に体に響き、生活が上手にならない。
50歳代	・釧路の病院までの往復バスの増便
75歳以上	・市立病院の医師不足。
75歳以上	・私は根室の自然、静かな街が好きです。できれば、長く住み続けたいと思います。老いを感じる時、一番不安なのは医療と介護です。必要な時、安心して病院に行ける、どうしても生活が成り立たなくなった時、自分らしく生活できる施設に入所できることが、根室で実現できたら幸せに思います。
75歳以上	・市外の病院へ通院する機会がありますが、窓口等含めて対応もう少しやわらかに。病院に行く方は、不安等もあり、心が弱っているかと。忙しいとは思いますが、笑顔の言葉がけがあればと。
30歳代	・若い人でも気軽に健康診断できるようにしてほしい。
75歳以上	・市立病院の信頼回復・・・市民との連携
50歳代	・市立病院のブロック受付、NSの対応の悪さ、時間のかかりすぎ。
75歳以上	・この町づくりに本当に取り組んでいる皆様方は大変な仕事をしてくれていることは、あまり考えずにのほほんと暮していました。具合が悪ければ、病院のお世話になって、3度の食事をして、ただ根室の市長さん達は、よく私達のために努力してくれて、いつもありがたいと思って過ごしてきました。ただ、病院に分娩がないことだけが気になっていました。何かと御苦労なさっている方に感謝して、仕事にかかわっている方達に、本当にありがとうございました。（筆不精ですみません）
65～74歳	・市立病院の信頼のできる医者を確保してほしいです。
75歳以上	・社会の急激な変化についていけない高齢者は置き去りにならざるを得ませんが、根室が大好きです。特に良き医療制度を望んでいます。また、自然を守り、市民の着実な生活基盤を大切に豊かな人間性と発想が育つ人材作りをしていて欲しいです。
18歳未満	・病院の看護師さんの対応をもっと良くして欲しい。
50歳代	・病院の開業時間が学校と重なっているため、通院が必要な子どもは学校を遅刻しなくては行けなくなる。学校が授業をしている時間ではない時間帯で小児科などが開いていると学力が保証されると思う。夕方4時から7時くらいだとありがたい。
30歳代	・医療体制に問題があるのはいかかなものかと思います。以前は個人の小児科もあったと聞きました。難しいことなのかもしれませんが、早急に小児科病院をつくるべきです。

基本目標（3） 人材育成

みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

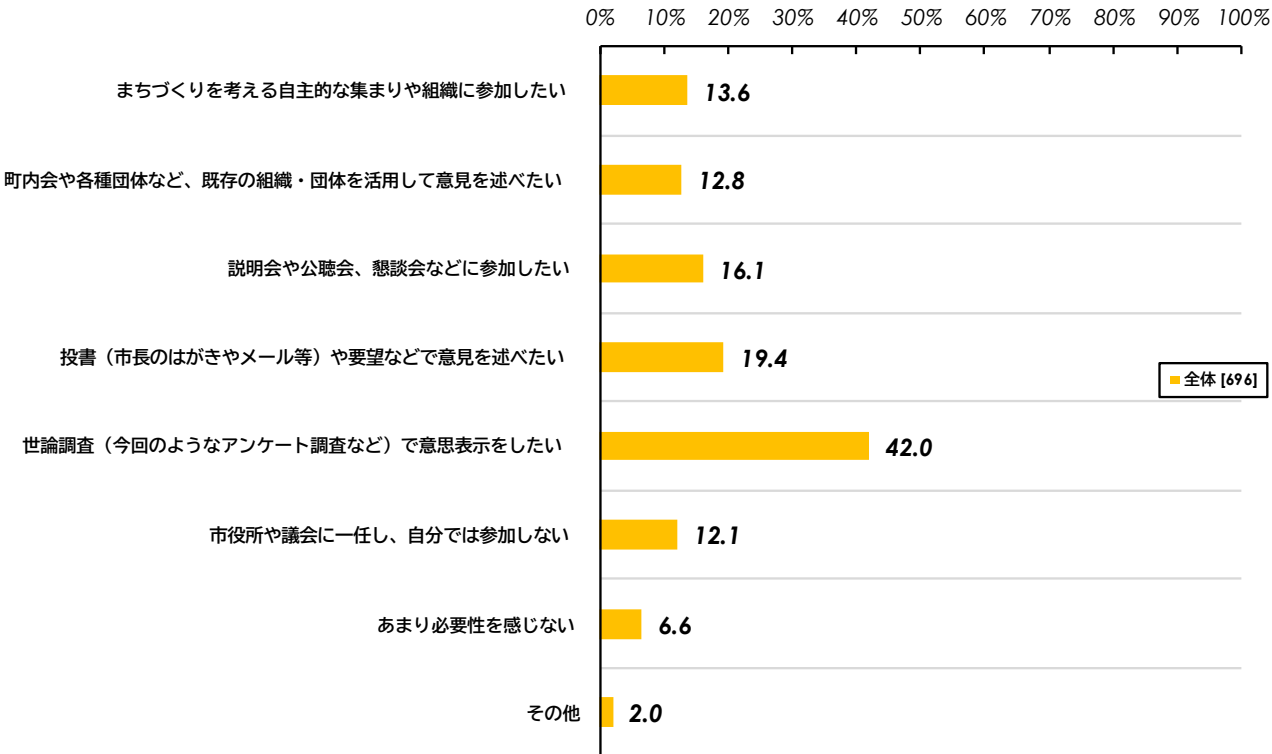
(1) コミュニティの維持・活性化

- 根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下のコミュニティの維持・活性化が推進されている。

- a) 市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援並びにシビックプライドの醸成
 - b) 多様な主体がまちづくりに関わる市民協働・市民参画の推進
 - c) 地域と多様な関わりを持つ関係人口の創出・拡大

①市民のまちづくりへの参加意識に関する市民意識

- 今回実施した市民意識調査の結果からまちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、「世論調査で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、まちづくりに対して積極的な回答の中では、「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」や「説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」といった要望も多かった。
- また、自主的にまちづくりに参加したいとする市民の割合は72.8%となっている。



注：「自主的にまちづくりに参加したい」とは、肯定的な回答（「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」「説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」「投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」）のいずれかを1つ以上選択していて、かつ否定的な回答（「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」「あまり必要性を感じない」）をいずれも選択していない回答を指す。

②コミュニティの維持・活性化に関する自由意見

- 今回の市民意識調査における自由意見の中からコミュニティの維持・活性化に関する内容をみると、生活環境や公共施設・商業施設に関する要望への意見が多くみられた。
- 生活環境に関しては、街灯や防犯カメラの設置、道路整備など、安心して暮らすことのできる環境を望む意見がみられたほか、街中のごみの処理など、公衆衛生の改善を求める意見もみられた。また、熊や鹿などの野生動物が街中に出没することを危惧する声もみられた。
- 公共施設・商業施設に関しては、コミュニティセンターなど住民の交流できる場所を望む意見や古くなった公共施設の設備更新を望む意見がみられた。商業施設については、買物環境の改善、娯楽施設の充実を望む意見がみられた。

<コミュニティの維持・活性化に関する意見>

年代	意見・提案の内容
30歳代	・いつも興味のあるイベントがあっても、知るタイミングが2週間前などで、仕事の都合がつかず、参加できない（2/16の講演会の告知を見たのがXでの1/30の投稿だったり、などなど）。もう少し早い段階で知る術があると嬉しい。詳細やポスターが後日になってもいいので…。
75歳以上	・フリーマーケット、写真展などのイベントができるスペースが商店街にあったら良いと思う。総合文化会館は遠くて大きすぎる。利用料の安い屋内のスペースがあれば活用者（市民）の可能性が広がる。
40歳代	・ワンパークや明治公園等の子供が遊べる場所にシカやクマが出てくることがあり、よくフンを見かけます。月に1度程度で掃除ボランティアなど募集して回収しても良いと思います。あと、ゴミを捨ててしまう方も多々あり（友知地域あたりから双沖）、気になります。車から見える景観も悪いですし、投げたら罰金など、取り締まりを強くしても良いかと。パトロールしているパトカーさんもあるけど、そういうの気にならないのかなと思います。
50歳代	・一部の多額の予算投資がみられ、生活者のことを市は考えていない！戦略的にやられていると思うが、市職員の方々の話を聞くと、職場は近年まったくダメで、皆辞めており、本人もタイミングをみて根室市を離れると言っており、そのような方が多いと聞く。行政職員からそのような声を聞くと、市はもたないと感じたところであり、市長や上部職員がまちの今後をどのように考えているのか、地域との懇談会等で話すべきであり、下の者にやらせるのは疑問。今の市街は、本当の未来が見えない！！
40歳代	・根室の魚やグルメを使った料理教室を定期的に開いてほしいです。 ・夏に涼める憩いの場がほしいです。 ・市内道路のアスファルトが劣化していて、ガタガタしているため、走行しづらいので改善してほしいです。
60～64歳	・町内会に入っていないければ、何も届かない（広報やごみ袋）というのは何か違うと思う。若い人達が何か言っても長老たちにつぶされる。
75歳以上	・広報根室等でたくさんの方の事柄が紹介されています。その時は非常に興味を持って読んだり見たりしますが、時間がたつと皆忘れて自分がいます。こざいにするこゝです。町並みを。あまりお金をかけても回収されない時代に入りますから。大事に使う。直して使う。きれいに使うです。
20歳代	・ますます活気が無くなってしまう根室市、仕事が終わっても寄り道する場所が無い。若者が地方に住むのがわかります。各自にアンケートなどはいかがですか。ストレス発散場所も無いですね。
75歳以上	・高齢者です。買物も大変。バス停も遠いし不便です。
65～74歳	・青少年センターの廊下、不安でたまりません。温水プールも古くなって不安です。柏陵中学校のあと、建てた方が良いでしょう。
65～74歳	・根室に映画館がないので、休みごとに地方に出掛ける家族が多いです。映画館は無理でも、文化会館で上映会を多く開催すると良いです。学校単位でも良い。 ・最近、町内会に入会する家庭が減り、会長など役員になりたがらず、町内会自体が消滅の危機に落ち入っていると聞きます。その原因として会費は発生してもメリットがない（過去は葬儀手伝いは町内会が主に取り仕切っていたが、現在は必要性がない）ことがあげられます。今、手を打たないと手遅れになると感じています。
60～64歳	・シカが家の前や道路、通学路を歩いている。ウォーキングできない。とてもおそろしい（クマもこわい）。何か対策してほしい。減らしてほしい。
65～74歳	・市広報とかを町内会に回させて、市役所職員が町内会に入っていないのはおかしいのではないかと。
20歳代	・全道路の横断歩道等の白線表示がすべてなく、道路なのか、歩くところなのかの区別がなく、道路整備がだらしない。併せて、昭和町1丁目付近の歩道から、フキなどの雑草がぼうぼうと生い茂っていてだらしない。 ・市役所での呼び出しサービス等が前よりすごく改善された。待ち時間が少なくなった。 ・蒼香苑の犬猫等の墓の管理がなくなって、シカのフン等がついていて、誰も片付けなくだらしない。

<コミュニティの維持・活性化に関する意見>

年代	意見・提案の内容
65～74歳	・ 空き家から歩道に伸びる木の枝やバラの枝が危ない。車道と歩道の間の草刈りがとても雑でした。
40歳代	・ 根室の火葬場の隣にあるペット（動物）のお墓に花を供えたりできる容器を備え付けてほしい。その周りの草刈りもしてほしい。
50歳代	・ 熊の問題 ・ 古い上下水道
30歳代	・ 街中だけではなく、郡部の方も街灯を増やしてほしい。 ・ ロードヒーティングの充実。
18～19歳	・ 市役所を勉強の場として使っているが、マナーの悪い中学生が多すぎるのでなんとかしてほしい。
75歳以上	・ 70～80以上高齢なので、除雪車のあとの雪投げがとてもできなくなってきました。がんばって休み休みやっても腰が悪くやれません。なんとか、1回じゃなく、2回家の前だけ取っていただきたいです。
50歳代	・ 高齢者や若年層への様々な施策を実行しているのは素晴らしいが、青・壮年層へも魅力的なものがないと、医療等の不安もあるし、ずっと住んでもらえないと思う。
75歳以上	・ 保育所～高校、老人入居施設、病院にエアコンを全施設設置してもらいたい。
65～74歳	・ 高齢者に近づくとともに、地方に住む子供達の所へ行かなければならなくなり、という人が多くいらっしやいます。根室から離れたくない人は多いと思います。どんな形が良いか考えはつきませんが、高齢者の住宅等があっても良いかと思います。あと、お墓問題も、合同墓地に入る方も増えています。樹木墓地等も希望します。
75歳以上	・ 根室市の広報、カラーの部分が少なく残念です。釧路市のは字も大きく、写真も多く、見たいという気にさせます。予算のことかもしれませんが、毎月手にとって見てもらわなければ意味がありません。ただ詰め込むだけが広報とは思いません。もっと身近な行事や話題が載っていて親しみあるものにしてほしいです。根室のことを知ってもらう一番の物と思います。
75歳以上	・ 市の施設は市の中心に集中して、市民、関係する人達が不便を感じないように（移動などの交通の便など）計画的にやってほしいです。
60～64歳	・ 路地の道がでこぼこなので直してほしい。昭和町。
65～74歳	・ 花咲小学校の空き地を有効活用してほしい。例えばコミュニティセンター。地域の人が利用できる場所、災害時の避難とか町内会の集まりなどイベントで使える部屋とか。まだ花咲小学校はあるものの、歴史の長いあの花咲小学校の跡地には、何があったのかの記憶の残る物を作してほしい。自分達が卒業したあの場所を草地にしてほしくない。
75歳以上	・ 市文化会館前の歩道で、つまずき、ころが方、時々いるようです。歩道の整備（他の歩道も含め）お願いします。循環バスのことを知らない方、多いようです。わかりやすい方法等で報せて下さい。
65～74歳	・ シカが多く困る。作物や花などを食べていくので困る。キツネもどうにかしてほしい。市に電話しても？
30歳代	・ 道路の整備（国道以外の道）してほしい。車で走りづらい。 ・ 道路にポイ捨てする人が許せない。キレイな根室市が良い。
50歳代	・ 水道代が高い。 ・ コンビニ以外のスーパー（24時間）があったら良い。
75歳以上	・ あちこちに空き地が増えてきましたが、必要とする若い世代に提供できる制度があれば良いと思います。
50歳代	・ 市道から家までの砂利道を舗装して欲しい。
30歳代	・ 根室市内だけでなく、郡部にも目を向けるべきだと思う。東厚床に住んでいるのですが、家の前の砂利道が雨や雪解けの水で道路が削られ、凸凹になったり、砂利が無くなり道路が刺さりそうになっているので、予算が無いで片付けないでちゃんとして欲しい。
75歳以上	・ 高齢者が安心して住み続けられる町づくり、交流の場と介護体制の充実 ・ 様々な公共施設については、市民へ意見を聞き、市財政と相談し過度な負担が後々にまわされないように。
40歳代	・ 家の周辺は街灯が少なく真っ暗です。日中も人通りが少なく、物騒で、子どもを一人歩きさせられません。街灯を増やす、防犯カメラの設置など、安心できるまちづくりをお願いします。
30歳代	・ 緑町の駐車場を増やしてほしい。夜出かけた時に、空き地に停めて良いのかもわからない。柵やチェーンがない所は停めてよいのか。1時間いくらかにきて、止められるようにしたら使いやすいのでは。月額や〇〇専用と書いてある所でも、夜間〇時～〇時はOKなど。 ・ 恋問跡地は何か建つのですか？お祭の休憩場所がなく、雨の時などに休める場所がほしい。前と同じくイベント会場ができればうれしいです。 ・ 文化会館で個人でのフリマやイベントができるようになりますか？以前にトラブルがあり、禁止になったと聞きましたが、年数が経っているようです。イベント関係者はみなさん、文化会館でできたらいいと言っています。 ・ 根室を盛り上げたくても、駐車場や広さの問題で会場探しに困っています。

<コミュニティの維持・活性化に関する意見>

年代	意見・提案の内容
75歳以上	・古いことを聞いてみたい。人生の経験を積んだ方の話を聞く機会を作って欲しい。行政も若い方の話を聞いてあげること大切であるが、逆境の時こそ古い方の話は大切となってくると考える。根室はその時ではないのかと考える。先達の話からどのようにしてその逆境をこえてきたのか知りたい。
40歳代	・市道553 ・トラック等の交通量が多いので道路幅の拡幅
60～64歳	・野生動物が人を恐れなくなっていて近づいてきて怖い。人口減っているから動物が目立つのか。
40歳代	・私は東京から移住してきましたが、田舎だからでしょうか、家庭でも仕事でも男性は指示はするけれど、実際に動いているのは女性という風習を強く感じます。女性側も、それが当たり前だと思っているのではないのでしょうか。移住して15年になりますが、ずっと違和感を感じています。きつい言い方ですが、男女平等にはほど遠いまちだと思っています。これを読んでいる男性の方、心あたりが無いと言えますか。根室市はやさしい人たちばかりで住みやすいのに、もったいないです。
18歳未満	・前にあったように根室のことが書いている新聞がほしい。 ・公園の清掃をして欲しい（公園に落ちているゴミが飛んでくる）。
18歳～19歳	・持病や子育て・在宅介護によって災害時の対応が難しい市民に向けて、細かな注意点や避難所の設備についてSNSや広報などを通じて知らせていただきたいです。
65～74歳	・健康のためにウォーキングを趣味にしていますが、歩道の状況が非常に悪いです。安心して歩けません。長年にわたり放置されているような印象を受けます。部分補修でも結構ですので、計画的に整備していただきたいと切に希望します。よろしくお願いします。
30歳代	・鹿対策、くま対策
20歳代	・総合体育館建設の際、広いジムと広いキッズスペースを併設してほしい。
30歳代	・金比羅さんのお祭りの時の集金はどうにかならないのでしょうか。お祭りのために納めたい人だけ納められるような方法を取ってもらえたら良いと思います。
18歳未満	・インスタグラムでは役割を切り替えて地域の魅力発信のみをすると良いと思う。
18歳未満	・光洋団地の歩道を綺麗にしてほしい。歩きづらく、道路に降りてしまう。街灯が少ない。学校帰りやバイト帰りがとてもこわい。

(2) 地方創生の計画的な推進

- 第2期根室市創生総合戦略においては、基本目標3の達成に向け、以下の地方創生の計画的推進が図られている。

a) ふるさと納税制度の推進と寄附金を活用した地方創生

- 根室市では、根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の着実な推進のため、ふるさと納税制度を推進し、地方創生関連基金への計画的な積み増しと積極的活用することとしている。
- 根室市のふるさと納税額は、毎年、全国上位に位置する規模となっており、地方創生の計画的推進に大きく寄与している。
- また、企業版ふるさと納税制度を活用することで、企業との協働による着実な創生総合戦略が推進されている。

(3) 広域連携の推進

- 第2期根室市創生総合戦略においては、基本目標3の達成に向け、広域連携が推進されている。

a) 広域ネットワークの構築

- 根室市では、人口減少下においても一定の圏域人口の確保、市民サービスの維持向上、社会経済活動の利便性向上のため、近隣の自治体や企業、大学等の多くの分野での連携強化が推進されている。
- また、高等教育機関がない状況を踏まえ、市内小・中学校等の義務教育学校、高等学校と、根室市が連携協定を締結している大学（東海大学海洋学部（2010年相互協力協定）、北海道科学大学（2019年包括連携協定）、北海道教育大学釧路校）との教育活動が推進されている。
- さらに、こうした大学等との連携による水産資源や観光資源の活用促進や根室管内の自治体による連携に向けた取組みが行われている。
- 今回の市民意識調査における自由意見の中から広域連携や他地域の大学や企業、自治体等の連携に関する内容をみると、地元企業等との連携を挙げる意見、先進的な他地域事例を参考にしてほしいとの意見がみられた。

<地方創生、広域連携、大学、企業、自治体等との連携に関する意見>

年代	意見・提案の内容
40歳代	・多くの祭りやイベントに参加させていただいています。イベントが身近に行われているのが、根室の良さだと思います。参加者も多いと思います。特に子ども向けのイベントは人気があると思います。一方、日々の商店街等には勢いがないので、日々の町に活気が出る取組があると根室の団結が強まる気がしています。
65～74歳	・計画の要となる事務局は市の職員が担うこととなるが、今は職員が不足しているように思うので、市役所内をもっとそれ相応の体制としてもらいたい。どの計画においても専門職が必要である。特に近々ではスポーツに関する専門の職員が必要である。
40歳代	・これからも、根室に住み続けていきます。そのためにも、ぜひぜひ住みやすい、根室がスキと思えるまちでいてほしいです。移住者（地域おこし隊とか）を受け入れて、新しい風（考え方、イベントなど）を入れる、そして、継続できる、する。
50歳代	・根室を盛り上げようとする団体にもっと支援してほしい。
75歳以上	・前にも書いてある空き家問題。室蘭市の場合、空き家になっていると、市から今の家に住むのか、貸すのか、壊すのか、質問状がきます。壊すとなれば、壊す業者選定4社くらい。見積もり送ってきます。その中から選びます。そして壊します。かなり進んでいますね。市から補助出ます。根室市はさっぱりダメですね。室蘭から根室に住んでいます。今5年遅れてるんじゃないかな。10年遅れてたからね。
65～74歳	・漁協や農協などと連携し、親子・高齢者が参加できて、業者、参加者にメリットがある企画はどうでしょう。
30歳代	・市議会議員だけでなく、地元の会社経営者の方々の意見やアイデアを取り入れてみたら、昔からの古い考え以外にも選択肢が増えるのではと思いました。経験はもちろん、常に新しい情報を仕入れ、挑戦している方々なので。そして、これからの時代を担う子ども達に、要望、意見を聞いてみるのも良いのではないのでしょうか。
65～74歳	（再掲） ・私の息子が30代で独身です。根室市で婚活をやっていただきたい。私の友人が宇都宮に住んでいます。年に10回ほど婚活をやっている人口増加につながっているそうです。婚活の仕方も市民からアイデアを募集し、成功しているみたいですね。お願いいたします。
50歳代	（再掲） ・今年夏に、富良野・美瑛方面に旅行に行きました。根室にはない、「観光と農業をリンクさせ発展させている」様子を見て、良い取り組みだと感じました。気候も生産物も違うので同じようにしてほしいとは思いますが、 ①大勢の客を受け入れられるトイレの完備 ②手軽なお土産品の開発 ③手軽に味わえるメニューの開発 （②③コンテストを実施するのも良いかもしれません。） ④景観＋気候を活かした長期滞在の推進。（インターネット完備、安価な宿、体験やアルバイトを通して小遣いを稼げたり、地元の方と交流できる方法の確立） これらのことから、花咲街道あたりに道の駅のようなものの建設や、キャンピングカーの方が町の公園を占領せずとも利用できるキャンプサイト（有料で）を建設してはどうでしょうか。 ※②手軽なお土産については、根室のお土産で、300円～500円（1人1人に渡すタイプのお土産）、うすい形状（スーツケースに沢山しまえる）、常温保管できる（カバンに入れて旅行できる）、このようなものが少ないと感じています。
75歳以上	・大学研究機関での漁業の今後についての調査・研究及び水産研究所の一層の充実
50歳代	・図書館で道立図書館の本を借りられるようにしてほしい。近場の図書館の本を借りられるようにしてほしい。
50歳代	・将来の根室市の状況を考察すると、少子化や自然減、市外流出などの要因により、人口が1万人を割り込むことが予想されます。行政が率先して、企業や団体に協力を仰ぎ、若者のUターン促進や高校卒業生が地元に残りたいと思える街づくり、人づくり、地域の活性化が非常に重要だと思います。

6.2 まとめ

- ・平成27年度に策定された第1期根室市創生総合戦略は、少子高齢化・人口減少への対策として、出産・子育て支援、産業の活性化・雇用の創出、交流人口の創出、コミュニティの確保など、根室市総合計画から一部の重点項目を抜粋し、戦略として位置付けたものである。
- ・令和3年6月に策定された第2期根室市創生総合戦略は、第1期根室市創生総合戦略における「雇用対策」「子育て支援」「人材育成」という柱を引き継ぎつつも、従来の定住人口・交流人口とは異なる「関係人口」の定義の下で、国の掲げる「まち・ひと・しごと創生」の理念に取り組むこととしている。
- ・その上で、今後の展開方向として、人口減少・雇用情勢の変化に加え、新型コロナウイルス感染症を契機とした地域社会の変容、さらには、医療、福祉、教育分野を含めた新たな社会システムの形成に向けたデジタル・トランスフォーメーション（DX）技術の推進、Society5.0の実現、持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献、脱炭素社会の実現に向けたグリーン・トランスフォーメーション（GX）の推進などの新たな視点に着目した施策展開が立案されている。
- ・加えて、令和7年度には、第10期根室市総合計画が策定された。この計画では、これまでの計画と同様、将来のまちづくりの目標や将来像を定めるとともに、「未来志向」の根室市の実現を図るための施策を推進しているところである。
- ・本調査は、創生総合戦略と総合戦略に基づいて実施されている各種事業や施策効果に対する市民の評価やニーズを、満足度や認知度、自由記述によって把握することを目的として、平成28年度から毎年実施しているものである。
- ・調査の結果、根室市で生活に対する満足度は、総じてみれば「肯定的な回答が否定的な回答を上回る結果となった」ものの、「医療、買い物環境、交通網に対する市民の不満」意識は、恒常的に高い状況が把握されている。
- ・一方、市民の生活環境の改善に向けては、交通網の地球探索鉄道花咲線のPR事業を始め、延長工事が続く根室釧路間の高速道路の建設や新規事業化に向けた活動が着実に行われており、市民理解を得ながら一丸となって取り組むことが重要と考えられる。
- ・総合戦略に基づく子育て支援施策の実施に対しては市民から一定の評価が得られており、メリハリのある政策展開がなされた結果、ほぼ目的を達成しているとも言える。今後は、持続的かつ継続性が求められていることから、その視点に立った政策立案が不可欠となっている。
- ・施策認知度については、基幹産業である漁業振興に関する施策の認知度は高く、子育て支援、高齢者福祉についても、その対象者層からの認知度は比較的高い。一方で、各分野における人材確保対策や、行政運営に関する認知度は低く、施策効果の把握のため、こうした施策の周知を図ることが重要と考えられる。
- ・特に、近年の根室市の基幹産業である漁業を取り巻く目まぐるしい環境変化は、生活・経済基盤に対する根室市民の不安意識を助長しており、安定した育てる漁業の早期実現や、根室市の特徴を活かした観光展開等の産業振興への期待がより一層大きくなっていると考えられる。
- ・また、自由回答からは10代も含めた幅広い世代において街への強い愛着心がうかがえるものの、日常生活の不便さを訴える声も多い。好調なふるさと納税の活用やサウナ伝来の地といった地域の特性・強みを活かしたまちづくりも期待されているところであり、先に策定した公共施設等グランドデザイン構想に基づいた賑わい創出や官民共創型による新しい取り組みを積極的に行うことで、根室に居住する全ての市民の満足度向上を目指す必要がある。

基本目標（1） 雇用対策

「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

- 現在、根室市の課題は、人口減少、少子高齢化、雇用の場の確保などがあげられており、活気のあるまちへの回復が強く望まれている。特に、平成28年からのロシア200海里内サケマス流し網漁禁止や、令和4年からのウクライナ侵攻に伴う対ロシア関係の悪化や、主要魚種の不漁に起因する漁業・水産加工業の低迷は根室市経済に大きな影響を与えており、市民生活の不安を助長している。
- このような状況下にあって、漁業に関しては引き続き育てる漁業（養殖事業）の推進を求める市民からの意見が挙がっている。
- 一方、水産業を取り巻く環境悪化を背景として、より即効性の高い企業誘致に対する期待は高い。企業誘致については、空き家・空き地、廃校などの活用を提案する意見もある。また、観光振興や移住も含めた交流人口の拡大、新たな特産品の開発など、継続して取り組むべき課題に対する声も引き続きみられている。
- 特に、観光振興に対する市民の期待は依然として大きく、特にホテル等の宿泊施設や飲食業の誘致が強く求められている。加えて、家族連れが楽しめる施設や、学生や若年層の遊び場を求める声もみられる。根室市のもつ自然の豊かさを活かした観光や情報発信の強化も提案されている。
- 日常生活の利便性については、買い物できる場所の少なさや、医療体制の不足を不満として挙げる意見が多く寄せられており、関連する施設の充実が強く求められている。

基本目標（2） 子育て支援

住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

- 根室市における児童・生徒の学力の向上は喫緊の課題となっていることから、ICTの活用や外国語指導助手の配置、通級教室の開設等の取組が令和3年度から新規に実施されている。これらの取組の成果検証を適宜行い、児童や生徒の学力向上により効果的な事業へと継続・発展させていくことが重要である。また、学力競争にとらわれない地域に根差した教育や、一人一人を大切にする行き届いた学校教育を期待する声もみられる。
- 引き続き多くの市民から、若年層が地域に残るための雇用の重要性が指摘されており、そのためには能力を活かせる職場づくりや賃金水準の向上といった産業振興政策を進めていくことが重要になる。
- 子育て対策としては、給食費・保育料・医療費の無償化といった経済対策や、子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）の整備など、市の政策に対する一定の評価がみられており、支援の継続を望む意見がみられる。

- 一方、医療環境に対する市民の不安・不満は非常に強く、小児科医院の閉鎖、市立根室病院の病床数縮小によって、病気やケガの治療のために市外に出なければならないことを生活不便として挙げる意見もみられている。引き続き、診療科目や医療スタッフなど、医療体制の充実に向けた対応が求められる。
- ただし、この医療体制の充実は、根室市だけでなくあらゆる地方に課せられた課題であり、周辺地域との連携を図りながら地道な取組を進めていくことが必要である。
- 根室市での居住年数が長いほど、また、高齢者ほど、根室市に住み続けたいとする希望が高いことから、子育て支援だけでなく、働く場の提供や、要介護者とその介護者向け支援の充実など、誰もが健康で安心して住み続けられるまちづくりも求められている。

基本目標（3） 人材育成

みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

- 本調査の自由回答から市民協働、市民参加、地域コミュニティ、地域環境との共生等に関する意見をみると、情報提供のあり方、生活環境や景観への要望、公共施設や娯楽施設などに関する要望に関する内容が多かった。
- このうち情報提供のあり方については、行政情報のみならず地域イベント等の情報発信力の弱さが指摘されており、市の広報やSNSをはじめとする情報提供のあり方が引き続き課題となっている。加えて、防災情報の拡充についても意見が挙がっている。
- また、人手不足が深刻ななか、技能実習生を始めとした外国人労働者は、根室市の基幹産業を支える重要な人材となっており、増加傾向が顕著である。こうしたなか、外国人労働者に根室の街を楽しんでほしいといった声や、地域住民との交流機会を増やすべきといった声も上がっており、多文化共生社会の実現が期待される。
- 根室市においては、人口の減少、産業経済の停滞が続く中で、ふるさと納税額は、引き続き全国有数の規模となっており、地方創生の計画的推進に大きく寄与している。こうした収入については、市内経済や市民生活へのさらなる還元を求める意見がみられている。
- また、市民が期待する観光振興や特産品開発に向け、他地域の大学や企業、自治体と連携することで、観光資源の活用策の検討や新しいアイデアの創出など、アイデアレベルの提案は多数あるものの、その具現化策を具体的に意見している例は少なく、人材育成はますます重要である。

資 料 編

資料 1 市民意識調査自由回答

年代	意見・提案の内容
60～64 歳	・屋内型レジャー施設、宿泊施設（ホテル等）、飲食業の誘致・建設・整備
65～74 歳	・基本、市長及び職員の皆様方は行政のサービスマンです。
65～74 歳	・ここ数年 7 月～9 月頃まで明治公園駐車場に本州や道内からキャンピングカーが駐車し何日間滞在しています。両駐車場にトイレはありますが、もう少し水回り環境を見直す必要があるのではないのでしょうか。キャンプ場ではないけど明治公園の使い方の再確認（期間限定でキャンプ場に近い利用方法等）。根室の涼しい夏の観光（避暑）に役立ててはどうでしょうか。
65～74 歳	・少子化の続く当根室市は親負担の軽減にさまざまな補助金支給や施設の充実をはかってきていますが、絶対人数の多い高齢者に対しては、補助を受けるにも、道・市民税非課税世帯のみとか規制があり、わずかな税金のせいで何の対象ともならないお年寄りもかなりいるようです。多額の年金受給者ならまだしも、子供の世帯にやっかいになっていたり、施設で高額な利用料を支払っている人達が少しの収入等で対象にならないのはおかしいのではないのでしょうか。未来を担う子供達は大切ですが、根室市のために長きにわたり就労し居住してきた老後がもう少し保障される世の中になってほしいと思います。少ない人数より多い人々を救うのが本当にあるべきことだと思います。
30 歳代	・根室に観光で来る人が宿泊する所がないから、日帰りする人が多いと聞いた。もう少しホテルなど必要だと思う。 ・くずれそうな空き家をどうにかしてほしい。
30 歳代	・病院のレビューが悪くて不安になります。
50 歳代	・子どもたちの活動。例えば全道・全国での補助は全額補助にしている市町村がある。移住する時は、例えばそのような手厚い補助を子育て世代が参考にするのではと思う。
75 歳以上	・北海道三県（函館、札幌、根室）と言われた昔を思う時、あまりにも、島返せが根室の経済をダメにした。海だけでも使えたら…。相手はロシアです。
30 歳代	・いつも興味のあるイベントがあっても、知るタイミングが 2 週間前などで、仕事の都合がつかず、参加できない（2/16 の講演会の告知を見たのが X での 1/30 の投稿だったり、などなど）。もう少し早い段階で知る術があると嬉しい。詳細やポスターが後日になってもいいので…
40 歳代	・せっかく観光客が来ても、見たり楽しむ場所がなく、家族連れ（子連れ）で来て下さる方が楽しめる場所があると良いと思う。海のそば、養殖等も行っているのだから、水族館的なもの、海のものに触れる、エサやり等の施設があると楽しめそう。 ・土・日にお金をおろすための場所が限られ、1 部の人から遠いと聞きました。
40 歳代	・多くの祭りやイベントに参加させていただいています。イベントが身近に行われているのが、根室の良さだと思います。参加者も多いと思います。特に子ども向けのイベントは人気があると思います。一方、日々の商店街等には勢いがいないので、日々の町に活気が出る取組があると根室の団結が強まる気がしています。
75 歳以上	・フリーマーケット、写真展などのイベントができるスペースが商店街にあったら良いと思う。総合文化会館は遠くて大きすぎる。利用料の安い屋内のスペースがあれば活用者（市民）の可能性が広がる。
75 歳以上	・観光振興のためにホテルの建設。街中のにぎわいを感じさせる施設の建設です。

50 歳代	・市役所への意見ですが、電話対応が若者だと思いたすが不快です。電話を受ける講習会などをやってみたら良いのでは。LINE やメールの字でのやり取りの時代で、直接話して対応できる能力をつけてください。周りの人たちからもよく聞く不満です。
40 歳代	・ワンパークや明治公園等の子供が遊べる場所にシカやクマが出てくることがあり、よくフンを見かけます。月に 1 度程度で掃除ボランティアなど募集して回収しても良いと思います。あと、ゴミを捨ててしまう方も多々あり（友知地域あたりから双沖）、気になります。車から見える景観も悪いですし、投げたら罰金など、取り締まりを強くしても良いかと。パトロールしているパトカーさんもいるけど、そういう気にならないのかなと思います。
75 歳以上	・人口が毎年減っている。特に根室市はひどい。ふるさと納税のお金はどこに行っているのか分からない。
40 歳代	・生活に困っている人は非課税の人だけじゃない。もう少し考えれば良いと思う。街づくりの前に生活を何とかしてほしい。物価高に対して対策してほしい。
50 歳代	・一部の多額の予算投資がみられ、生活者のことを市は考えていない！戦略的にやられていると思うが、市職員の方々の話を聞くと、職場は近年まったくダメで、皆辞めており、本人もタイミングをみて根室市を離れると言っており、そのような方が多いと聞く。行政職員からそのような声を聞くと、市はもたないと感じたところであり、市長や上部職員がまちの今後をどのように考えているのか、地域との懇談会等で話すべきであり、下の者にやらせるのは疑問。今の市街は、本当の未来が見えない！！
—	・市営団地に住まわせていただいているのですが、学校が熱中症対策で臨時休校になっても、クーラーもなく、付けられもせず、心配で子どもだけで留守番させるのが心配です。光洋団地付近は熊が出たり、森や人目に付かない場所が多いので、街灯をもっと設置してほしいのですが。安全面、安心面でも根室市は課題があると思います。子どもの進学を機に、市外へ転居する家庭が多くなってきているのですが、私も近い将来そうしたいと考えています。
40 歳代	・古い建物を片付けてきれいな街づくり。商業施設の充実。観光名所をつくる。
75 歳以上	・私は歩行困難な独居老人ですが、市で実施している案件は、広報、新聞、テレビ等で知っているつもりです。しかし、今の私は参加したくとも、移動もままならず、あきらめているところです。元気な頃は、町内会の女性部役員としても働きました。千人踊り、盆踊りとも参加していました。その分、今の自分がもどかしいです。私は歩けなくても、デイサービスに週 2 回行っていますが、行った場所で楽しめば良いと考えています。そこでリハビリをしたり、スタッフの指導で工作をしたりと、外に出ることは大切と考えています。そんな私のアンケートは役に立たないかもしれませんが、記入させていただきました。（少しでも介助があれば、こんびら祭りを見に行けたかも）
20 歳代	・市長、市議会議員の定年制度を設ける。天下りポストを作らない。金毘羅神社祭の露店の他にキッチンカー。
—	・空き家、廃校、空き地を利用した企業誘致。例えば、民泊、水産養殖、ドッグランなど。 ・女性にやさしい「まちづくり」。ナプキンの交付、女性の医療費の軽減、女性の住民税の軽減など。 →女性が住みやすい＝人口増加。なぜなら多くの家庭は女性が財布を握っているから！！
40 歳代	・市内道路のアスファルトが劣化していて、ガタガタしているため、走行しづらいので改善してほしいです。 ・若者や家族が集えるファミレスを誘致してほしい。アミューズメントパークも。 ・根室の魚やグルメを使った料理教室を定期的を開いてほしいです。 ・夏に涼める憩いの場がほしいです。

	・根室の道の駅の活性化。希少な野鳥が生息しているので、生かした観光を PR する。 ・ごみ分別表をさらに細かくしてほしいです（項目が少なく、該当しないので困るため）。
60～64 歳	・町内会に入っていないければ、何も届かない（広報やごみ袋）というのは何か違うと思う。若い人達が何か言っても長老たちにつぶされる。
75 歳以上	・根室市では千島桜の有名な場所は清隆寺内だけだと思います。そこで、厚床市内に千島桜の苗木を植えて数年度に日本で一番遅い桜祭りとして売り出したらどうかなと思っています。厚床は気候的にも霧も少なく暖かいと思いますので…。
65～74 歳	・現在のところ、ふるさと納税、国からの補助金で収支上の余裕はあるように見えるが、実質収入は大赤字である中で、具体的な資金確保が見えない。ロシアからの輸入で水産加工業の仕事の確保はされているように一見はある。水産物の養殖も規模も取扱いも中途半端な気がする。民間並みに収益性も検討する必要があるのでは。
75 歳以上	・市立根室病院の玄関前の駐車場、段差があつて、身体の不自由な者にとっては非常に不便、残念。根室に空港があれば、中標津に負けることはなかったのかと思ってみたり、根室に買物できるところが少ないから、人が集まらないのか、何かを誘致できないのでしょうか。自然の豊かさは誇りに思う。花・草・木・鳥、素晴らしい。
75 歳以上	・市立病院の内容を充実してください。とにかく釧路へ行くとか札幌へ行くことは老人にはできません。「がまん」して重症化になってしまう、特に眼科はどうなるのでしょうか。
65～74 歳	・計画の要となる事務局は市の職員が担うこととなるが、今は職員が不足しているように思うので、市役所内をもっとそれ相応の体制としてもらいたい。どの計画においても専門職が必要である。特に近々ではスポーツに関する専門の職員が必要である。
40 歳代	・これからも、根室に住み続けていきます。そのためにも、ぜひぜひ住みやすい、根室がスキと思えるまちでいてほしいです。移住者（地域おこし隊とか）を受け入れて、新しい風（考え方、イベントなど）を入れる、そして、継続できる、する。
50 歳代	・根室を盛り上げようとする団体にもっと支援してほしい。
30 歳代	・市内の無線放送ですが、何を言っているのか全く聞き取れないです。LINE でも流してほしいです。
75 歳以上	・広報根室等でたくさんの事柄が紹介されています。その時は非常に関心を持って読んだり見たりしますが、時間がたつと皆忘れていく自分がいます。こざいにするのですね。町並みを。あまりお金をかけても回収されない時代に入りますから。大事に使う。直して使う。きれいに使うですか。
65～74 歳	・北方領土返還運動について根室市の取組提案があつてほしい。
65～74 歳	・太陽光のソーラーパネルが見苦しい。市民の意見を聞いて集まる会など、いつも同じ方がメンバーになっているが、偏りがあるのではないだろうか。带状疱疹のワクチン制度はありがたいと思うが、対象年齢を 50 歳以下にも下げた方がいいと思う。かかったが、後々に体に響き、生活が上手にならない。
20 歳代	・ますます活気が無くなってしまう根室市、仕事が終わっても寄り道する場所が無いです。若者が地方に住むのがわかります。各自にアンケートなどはいかがですか。ストレス発散場所も無いですね。
75 歳以上	・高齢者でするので買物も大変。バス停も遠いし不便です。
30 歳代	・メガソーラーを作るのをやめてほしいです。町のあちこちでパネルをみます。景観が悪いと感じます。このソーラーで非常時に（前回のブラックアウトなどのような）電気が賄えますよ、となるならまだいいのかなと思うのですが、実際はどのようになっているのでしょうか。自然を破壊してパネル

	を設置するのも本末転倒な気がします。釧路市のようにノーモアメガソーラー宣言してもいいのではないかなと思います。
75 歳以上	・長年根室に住んでいる者として、町も寂しくなっている気がします。漁業の町として、もう少し景気の良い町に思っております。アイデアあれば思っても現在は良い考えもわかりません。今後も何かこの根室市に景気の良い明るい町になってほしいです。活気の市になってほしいです。
75 歳以上	・若い人が戻ってきて楽しめる町にしたい。
60～64 歳	・市長さんをはじめとして、職員の方々も大変頑張っておられると思います。根室は人口もどんどん減り、何をしても大変かと思いますが、この根室の「暑すぎない・寒すぎない気候」とほどほどの田舎が良いです。飲食店（家族で行けるような）や衣料品店が少ないのが残念ですが、宿泊施設も少ないそうですね。簡単に改善できないでしょうが、少しでも良い街になるといいですね。
50 歳代	・高速道路の整備、道東道直結。
30 歳代	・少子化対策をしてほしい。有効求人倍率が高すぎる。
65～74 歳	・青少年センターの廊下、不安でたまりません。温水プールも古くなって不安です。柏陵中学校のあと、建てた方がよい。
65～74 歳	・外国人労働者が増していますが、若いこれらの人々が日本文化を楽しめる機会を作り、理解し更に良い思い出がたつていくことができるように、回数を多く（体験型講習会 etc.）したら良いと思います。
65～74 歳	・市の焼却施設の熱量を何かに利用できないものか！
75 歳以上	・前にも書いてある空き家問題。室蘭市の場合、空き家になっていると、市から今の家に住むのか、貸すのか、壊すのか、質問状がきます。壊すとなれば、壊す業者選定 4 社くらい。見積もり送ってきます。その中から選びます。そして壊します。かなり進んでいますね。市から補助出ます。根室市はさっぱりダメですね。室蘭から根室に住んでいます。今 5 年遅れてるんじゃないかな。10 年遅れてたからね。
65～74 歳	・根室に映画館がないので、休みごとに地方に出掛ける家族が多いです。映画館は無理でも、文化会館で上映会を多く開催すると良いです。学校単位でもよし。漁協や農協などと連携し、親子・高齢者が参加できて、業者、参加者にメリットがある企画はどうでしょう。最近、町内会に入会する家庭が減り、会長など役員になりたがらず、町内会自体が消滅の危機に落ち入っていると聞きます。その原因として会費は発生してもメリットがない（過去は葬儀手伝いは町内会が主に取り仕切っていたが、現在は必要性がない）ことがあげられます。今、手を打たないと手遅れになると感じています。
60～64 歳	・シカが家の前や道路、通学路を歩いている。ウォーキングできない。とてもおそろしい（クマも怖い）。何か対策してほしい。減らしてほしい。
30 歳代	・市議会議員だけでなく、地元の会社経営者の方々の意見やアイデアを取り入れてみたら、昔からの古い考え以外にも選択肢が増えるのではと思いました。経験はもちろん、常に新しい情報を仕入れ、挑戦している方々なので。そして、これからの時代を担う子ども達に、要望、意見を聞いてみるのも良いのではないのでしょうか。
50 歳代	・根室といったら、これ！という人や物などの魅力を感じない。仕事もなく、若者の根室離れを何とかならないものと案じています。増えている外国人の方々と市民が交流するのはどうだろう（お祭り以外）と思ったりもします。一番訴えたいのは、私立病院やスーパーなど、車イスマークのところへの迷惑駐車です。若者や元気な健常者が使用し、本当に利用したい時、使用したい方が使えない場面を何度も見かけ、ものすごく腹が立ちます。

65～74 歳	・ 柏陵中学校跡地に建設予定の総合体育館に、これからできるスポーツとして「ピククルボール」が流行ると思われますので、ピククルボールのコートを是非設置していただきたい。自分も元気であれば、必ず使わせてもらいます。新しいスポーツもどんどん増やして楽しめるようにお願いいたします。
30 歳代	・ 資格を持っていたても、その資格を生かせる職場が少なく、選択肢が少ない（医療職でも）。高齢者人口も減っていて、高齢者施設の給料が低い。そのため、退職者も多く、働き続けるメリットがない。人材確保できる政策＋介護職やそれに携わる職種の給与や待遇を手厚くしてほしい。
30 歳代	・ 選挙の看板が一社しかやっていないので、他の会社にもやらせるべきだと思います。若者がいる会社がありませんので、色々検討してもらいたいです。
65～74 歳	・ 今日まで根室市の発展に尽くしてきた老人にも何らかの特典を与えても良いと思う。子供に対しての対策が多い。銭湯が少ないので何とかしてください。
65～74 歳	・ 市広報とかを町内会に回させて、市役所職員が町内会に入っていないのはおかしいのではないかな。
65～74 歳	・ 令和 3 年度から年月が経ち、人口も減り、これからの根室のまちがどのように変わっていくのか、想像が付きません。強いて言わせていただけるのなら、毎日見る景色がきれいなまちづくりを提案したいです。中学生ともなれば、今の時代、受験という大きな課題を初めて経験し、高校生となれば、今度は社会とのつながりを持つ年齢になります。私は大いに若者の考え方や意見を尊重したいと思っています。これからを担う若者ほど、参加型の未来を創り上げてそれに協力できればと思います。
65～74 歳	・ 若者の働く場がないと人口減につながっている。 ・ 不漁続きの産業からの転換が必要（養殖等）。 ・ こんな小さな町で誰か一人で困っている人はいないのか、困っている人に対応してくれているのか心配です。死ぬ前に根室に生まれて良かったと思いたいです。
20 歳代	・ 全道路の横断歩道等の白線表示がすべてなく、道路なのか、歩くところなのかの区別がなく、道路整備がだらしない。併せて、昭和町 1 丁目付近の歩道から、フキなどの雑草がぼうぼうと生い茂っていてだらしない。 ・ 市役所での呼び出しサービス等が前よりすごく改善された。待ち時間が少なくなった。 ・ 蒼香苑の犬猫等の墓の管理がなくなってなく、シカのフン等がついていて、誰も片付けなくだらしない。 ・ 根室は寒く、魚などの水産物がおいしいだけで閉鎖的なまちである。人間性が育たない。老人、子供の質が大変悪い。 ・ どこに出掛けるのも不便であるため、早急に釧路根室間の高速道路の設置をしてほしい。 ・ 銭湯の数が少ない。市内に 2 つしかない。 ・ ふるさと納税のお金が一般市民（20 代～60 代）に還元されていない。老人と子供に使いまくっており、これはいけない。
65～74 歳	・ 空き家から歩道に伸びる木の枝やバラの枝が危ない。車道と歩道の間の草刈りがとても雑でした。
60～64 歳	・ この「市民意識調査」の集計結果はどこかで公表され、閲覧可能ですか。
65～74 歳	・ 私の息子が 30 代で独身です。根室市で婚活をやっていただきたい。私の友人が宇都宮に住んでいますが、年に 10 回ほど婚活をやっていて人口増加につながっているそうです。婚活の仕方でも市民からアイデアを募集し、成功しているみたいです。お願いいたします。
30 歳代	・ 子どもが産まれて、子育て支援に力を入れているのがよくわかりました。感謝しています。
40 歳代	・ 今回、自分がわからなかったことも知れたので良かったと思います。ありがとうございました。
60～64 歳	・ 根室市は人口が減少しています。若者が働ける場所ができれば良いと思います。進学して根室を離れると若者は帰ってきません。給料も安いし、買物も不便、この町に住みたくなないと、我が家の子ども

	地方に出て働いています。男の人の働ける所は、土木、船乗り、水産加工場、力仕事だけです。今の若い人は根性もないので働けません。女の子は、スーパーの店員か水産加工に限られています。人口も中標津町の方が多く、中標津の活気の良さには驚かされます。私たちが死ぬ前に、若者が戻ってこれる、働ける、住みよい市になってほしいです。
50 歳代	・以前、新聞や広報であったが、サウナ事業に注力していることを知ったが、サウナ発祥の地ということだから、他の地域から来てもらえるようなサウナ温浴施設の設置が必要に思う。ましてや温泉のない根室であるので、既存の銭湯では不十分である。ふるさと納税額の上位に根室が入っているとのことなので、他地域から人の集まるサウナ温浴施設を希望する。是非ご一考願いたい。
60～64 歳	・これからも良いアイデアがあれば積極的にチャレンジしてほしい。失敗してもチャレンジする姿がわかれば嬉しく思います。観光に来てくれた方が、また根室に來たいと思えるように、飲食店にも支援してほしい。
40 歳代	・根室の火葬場の隣にあるペット（動物）のお墓に花を供えたりできる容器を備え付けてほしい。その周りの草刈りもしてほしい。 ・住民税の支払方法は、日払いでも可能にしてほしい。（理由がないと分割にできないのはなぜですか。きちんと支払いすれば問題ないのでは。）
50 歳代	・熊の問題 ・古い上下水道 ・バスを全部やめて小型の車にする（常に 2～3 人しか乗っていないから） ・釧路の病院までの往復バスの増便
30 歳代	・子供の将来を考えると、中学から外の学校に出させたいと今は思うくらい根室での将来を考えられない。自分は仕事上、根室から出られないが、老後は外に出るため、物件購入している。
65～74 歳	・リハビリステーション創設
40 歳代	・個人的には今更どうでも良いですが、会社の外国人が、根室はつまらないと言っているの、そうなのだと思います。市内に遊ぶ所や名所がないのかな。外国人がつまらないと言っているくらいなので、根室の若者もそう思っていると思う。地元民なので、何も思わないけど、お客さんをノサップに連れていくととても喜ばれるなどの魅力はあると思う。スワンのレストランの夜間営業（たまにで良い）、ライトアップが何かして景観を眺めながら酒を飲みたい。
50 歳代	・高校卒業後の進学先（大学・専門学校など）が根室にあると良いと思う。
20 歳代	・おみやげで買やすい今どきのお菓子があれば、親戚に送ることができるのになと思います。
30 歳代	・小さな子供達の遊び場をもう少し増やした方が良いと思うが、中高生が遊べる場所を作ってほしい。屋内、屋外両方。 ・街中だけではなく、郡部の方も街灯を増やしてほしい。 ・ロードヒーティングの充実。
60～64 歳	・乳児おむつ用品等は支援があるのに対し、高齢者の要介護者 4～5 に対するおむつ等の支援金が雲泥の差があると思う。介護には、私達にしかわからない出費が多く、それを見直して欲しいです。
60～64 歳	・ホテル等を増す。タクシーの夜の時間延長、人員増員。
65～74 歳	・議員が多い割には...と思う。
65～74 歳	・質問内容が年齢によって回答しづらい。明るいまちづくりを望むが、長い間住んでいて、一歩進んで二歩下がるような感覚しかない。希少価値のある地場産品も、他のまちでは積極的にブランド化を進

	めているが、根室市では感じられない。市民が、何がブランド化されているかも良くわからないのでは。
18～19 歳	・市役所を勉強の場として使っているが、マナーの悪い中学生が多すぎるのでなんとかしてほしい。ソーラーパネルが多すぎて見栄え悪い。
75 歳以上	・議員さんの人数を少人数にしてほしい。70～80 以上高齢なので、除雪車のあとの雪投げがとてもできなくなってきました。がんばって休み休みやっても腰が悪くやれません。なんとか、1 回じゃなく、2 回家の前だけ取っていただきたいです。
75 歳以上	・市立病院の医師不足。
50 歳代	・高齢者や若年層への様々な施策を実行しているのは素晴らしいが、青・壮年層へも魅力的なものがないと、医療等の不安もあるし、ずっと住んでもらえないと思う。
75 歳以上	・ソーラーパネルはいらない。水産加工場で働く外国の方々も楽しめるイベントがもっとあるといいと思う。根室まで来てくれているのだから、その方々の料理をふるまって根室市民と交流など。
75 歳以上	・保育所～高校、老人入居施設、病院にエアコンを全施設設置してもらいたい。
65～74 歳	・高齢者に近づくとともに、地方に住む子供達の所へ行かなければならなくなり、という人が多くいらっしゃると思います。根室から離れたくない人は多いと思います。どんな形が良いか考えはつきませんが、高齢者の住宅等があっても良いかと思います。あと、お墓問題も、合同墓地に入る方も増えています。樹木墓地等も希望します。
50 歳代	・中標津町に人口で抜かれ、もう諦めろ状態。そんな根室市に未来なんかあるのかね。
75 歳以上	・漁業生産の減少により、産業の活動の減退、人口の減少等のある中で、根室市政は持ち堪えてよく運営していると感心している。
75 歳以上	・根室市の広報、カラーの部分が少なく残念です。釧路市のは字も大きく、写真も多く、見たいという気にさせます。予算のこともありましようが、毎月手にとって見てもらわなければ意味がありません。ただ詰め込むだけが広報とは思いません。もっと身近な行事や話題が載っていて親しみあるものにしてほしいです。根室のことを知ってもらう一番の物と思います。
75 歳以上	・市の施設は市の中心に集中して、市民、関係する人達が不便を感じないように（移動などの交通の便など）計画的にやってほしいです。
50 歳代	・JR に乗車して釧路に向かう森林の景観が感動できず、整備か、景色が美しいと観光につながると思う。最近は太陽光パネル、風車が目立ち、ふるさとの感動が薄い。
50 歳代	・まちに人、物、お金が流入してくるまちづくりをお願いしたい。
75 歳以上	・私は根室の自然、静かな街が好きです。できれば、長く住み続けたいと思います。老いを感じる時、一番不安なのは医療と介護です。必要な時、安心して病院に行ける、どうしても生活が成り立たなくなった時、自分らしく生活できる施設に入所できることが、根室で実現できたら幸せに思います。
60～64 歳	・路地の道がでこぼこなので直してほしい。昭和町。
65～74 歳	・活気がない街だといつも思う。外部からの企業誘致も積極的に対応していないし、新しい物を受け入れる努力もしていない。市議会は古い考えで何を議論しているのか。まずは外食できる所を作ってほしい。市長は街並みを見ていない。もう少し市民にかかわってほしい。一度民家に一泊して、生活を体験したら！
75 歳以上	・様々な取組をしていることを知りました（それが市民は知らない、もっと情報を明確に伝えることを望む）。

65～74 歳	・ 先日の津波の避難情報でも道路が悪すぎて車の傷みを考えると誰も避難する者はいなかった（実家の場合はわかりませんが）。一日でも早い道路の整備を望む。避難場所のトイレの設置。屋根のない所には誰も来ない。高齢者には難しすぎる質問が。
65～74 歳	・ 花咲小学校の空き地を有効活用してほしい。例えばコミュニティセンター。地域の人が利用できる場所、災害時の避難とか町内会の集まりなどイベントで使える部屋とか。まだ花咲小学校はあるものの、歴史の長いあの花咲小学校の跡地には、何があったのかの記憶の残る物を作ってほしい。自分達が卒業したあの場所を草地にしてほしくない。
20 歳代	・ 全国的にみても、こんなにお祭りが盛んな地域はそう多くないです。このエネルギーがもっと外に伝わればいいですね。
40 歳代	・ 涼しさが充分売りになる。舟を移動手段にできないものか。これができたらかなり市が栄えると思うが。知床半島まで行くとか。釧路港まで行くとか。
40 歳代	・ 人口減少をとめなければ全てがまわらない。自然豊かなところは誇りで居続けたいが、衣料品を買うにも満足できず、ガソリン代かけても地方へと出向く始末。また、どこの職場も昔ながらの考えを持ち、賃金も最低レベル（経営者＝根室を創る人と思う）。根室の未来が見えないので、人口も減少するのも当然です。年間通して魚介類を食すイベントを行う。観光船ツアー。地方から人を流入させ、定着させる（移住）。
75 歳以上	・ 根室市は水産物のおかげで、ふるさと納税が全国上位に属しているので、有難いと思っていますが、人口の減少、高齢化（自分もそうですが）、一番に若者が専門学校や大学に進学すると戻ってこない。まちづくりには人口の増加と活力にみなぎる若い若年層の減少がネックになっていると思います。
60～64 歳	・ 60 歳以上の人働いていても、収入が、生活保護よりも少ない時もあり、生活保護者の人の方が豊かな生活をしているような。働ける人なのに、なぜ保護？市は実態を知らないのではと思うことがある。働くことを探して聞いたりしているのですか？ひとり世帯で働いている人が、ケガや病気で急に働けなくなった時、市はすぐに対応できているのですか？貯蓄もなく、ギリギリで生活している人は、急なケガや病気で入院になっても、入院できません！低所得者、非課税者とかにはいろいろ援助的なことがありますが、高齢者のひとり世帯や、高齢者も 70 歳以上とかではなく、60 歳からとか、援助的なことが高額ではなくとも、あったら良いかなと思っています。援助の枠を緩くして下さい。
40 歳代	・ ソーラーパネル建設を禁止してほしい。観光資源のひとつなのに、景観が損なわれる。公共施設を新たに造るのは良いですが、何か、いつも中途半端なものになっている気がします（病院とわんぱーくです。小 6 までしか利用できないのも残念です）。専門学校や大学が欲しいです。あと、就職したくても、賃金が安いので根室に若者が残らないと思います。モラハラ、パワハラ対策として経営者や昔から働いている従業員の方々へ、アンガーマネジメントなどの講習をやってもらえるとありがたいです。生まれ育ったまちを失わせたくないという思いもあるので、本当に複雑な思いです。あと、外国人の人口が増えており、外国人労働者に手厚くするのは良いですが、根室にいる日本人の労働者にも、こころ穏やかに働ける環境を整備してほしいです。
75 歳以上	・ これから人口が減少していくことを考えると、コンパクトなまちづくりを考えて欲しい。新しい施設は大規模な物でなくて良いので複合施設にして利用しやすいようにして欲しい。例えば、図書館、児童館、高齢者のサロン、福祉や障害者のサロン等で大勢が交流できれば良いのではないのでしょうか。
75 歳以上	・ 市文化会館前の歩道で、つまずき、ころぶ方、時々いるようです。歩道の整備（他の歩道も含め）お願いします。循環バスのことを知らない方、多いようです。わかりやすい方法等で報せて下さい。市

	外の病院へ通院する機会がありますが、窓口等含めて対応もう少しやわらかに。病院に行く方は、不安等もあり、心が弱っているかと。忙しいとは思いますが、笑顔の言葉がけがあればと。
20 歳代	・市で婚活事業あれば良いなと思っていました。
65～74 歳	・今、釧路でも問題になっているソーラーパネルが根室でも増えてきています。自分の家の目の前にソーラーパネルが近々設置されます。西浜町でも設置されます。土地を誰に売るのも個人の自由で、止めることはできませんが、家の町内会は野鳥、特にオオワシ、オジロワシが多数見られる区域です。首をかしげて心配になるのは私だけでしょうか。
65～74 歳	・年を取ると社会への関心が薄れるわけではないが、情報が少なくなることで無関心のように見られるが、細かく提供していただければと思います。市長へのハガキを手の届く所に置かれることを望みます。
40 歳代	・漁獲の時期になった時、一般道路が海水でびちゃびちゃになるのを何とかして欲しいです。仕方ないことなのかもしれませんが、前を走るトラックからのしぶきが車に当たるのが困ります。
65～74 歳	・シカが多く困る。作物や花などを食べていくので困る。キツネもどうかしてほしい。市に電話しても？
50 歳代	・廃校になった学校や教員住宅の活用、観光客に使ってもらえるようにするとか。牧草地だけど、写真を撮っている観光客をよく見かけるのでそのための写真スポット用のイスを置くとか（友知近くの新茶屋あたり）。
60～64 歳	・1 市 4 町において温泉施設がないのは根室だけです。オホーツク側に良いロケーションがあるのにもったいないです。じん芥焼却場の排熱を使用した浴場施設あっても良いのでは。また、現在はキャンプ場もなく、子供たち、カニ族にも大変不便ではないですか？ ・今はオートキャンプ場が主流です。1 日キャンプ場みたいな不便な作り方ではなく、平坦な場所に作ってほしいものです。老人センターの建替を早く進めるべきです。涼しい場所での老人活動を早くさせてあげてください。近年の暑さだと老人も大変です。簡易的は冷房器具ではだめだと思います。とにかく市の施設にすべてエアコン設置を早くするべきです。
65～74 歳	・調査に関係ないのですが、市役所の職員が前より（15～20 年前）優しくなっている気がします。
65～74 歳	・根室市の顔となる駅前が整備されていない。根室駅の裏側は雑草でおおわれているために、花咲線で電車で来た観光客もがっかりする駅だと思います。
30 歳代	・道路の整備（国道以外の道）してほしい。車で走りづらい。リサイクルに力を入れてほしい。ゴミの分別を分かりやすくしてほしい。若い人でも気軽に健康診断できるようにしてほしい。道路にポイ捨てする人が許せない。キレイな根室市が良い。美味しいものがたくさんあるので、もっとアピールしたら良いと思う。老後は不安しかないけれど、自然とか食べ物とかはずっとずっと大事にしてほしいです。少しでも明るい根室市になってほしい。私は根室市民として応援します。皆で頑張って生きましょう。
50 歳代	・水道代が高い。 ・コンビニ以外のスーパー（24 時間）があったら良い。
75 歳以上	・根室管内のいたる所に、太陽光パネルの設置が増えています。このパネルは、事業者が確実に（パネルの寿命が来たら）撤去するのでしょうか。事業者が廃業した時は、事業者が責任を持ってパネルを撤去するのでしょうか。また、市の条例等での法律で事業者が撤去することになっているのでしょうか。パネル設置には、周りの環境を厳密に調べているのでしょうか。また、事業者はパネルの廃棄費用を根室市に積み立てているのでしょうか。根室の自然環境が破壊されないことを望んでいます。パ

	ネル廃棄時に税金の投入が無いようにして下さい。これ以上、パネルが増えないことを望みます。パネル含めて風力発電も。
50 歳代	・根室市の自然を守っていただきたいです。根室の良いところは緑が多いところだと思います。木々や自然は暑さを吸収してくれます。これ以上、自然が損なわれないことを心から祈っています（メガソーラーは反対です）。
50 歳代	今年夏に、富良野・美瑛方面に旅行に行きました。根室にはない、「観光と農業をリンクさせ発展させている」様子を見て、良い取り組みだと感じました。気候も生産物も違うので同じようにしてほしいとは思いますが、 ①大勢の客を受け入れられるトイレの完備 ②手軽なお土産品の開発 ③手軽に味わえるメニューの開発 （②③コンテストを実施するのも良いかもしれません。） ④景観＋気候を活かした長期滞在の推進。（インターネット完備、安価な宿、体験やアルバイトを通して小遣いを稼げたり、地元の方と交流できる方法の確立） これらのことから、花咲街道あたりに道の駅のようなものの建設や、キャンピングカーの方が町の公園を占領せずとも利用できるキャンプサイト（有料で）を建設してはどうでしょうか。 ※②手軽なお土産については、根室のお土産で。 ・300 円～500 円（1 人 1 人に渡すタイプのお土産） ・うすい形状（スーツケースに沢山しまえる） ・常温保管できる（カバンに入れて旅行できる） このようなものが少ないと感じています。
18 歳未満	・根室市は若い人の流出が進んでいるように感じます。そこで、「若者が将来根室に戻ってきたい」と感じるような街に少しでも近づけるために、次のような点が大切だと思います。まず一つ目は、若者（特に中高生）には、根室の地域の方々と交流をとる機会（一からそのような機会をつくるのが難しいければ、文化会館などで行われるイベントやサークルなどで中高生を積極的に参加させ、大人や高齢者と交流をとる機会などでも良いと思います）をつくることです。二つ目は、根室高校の生徒会がやっていた、「若い世代が地域活性化を目的に活動する場を作る」という活動をもっと行うことです。主に高校生が、小中学生と交流をとることで、未来の根室が過ごしやすく少しでも楽しい街になるかを自覚を持って考えることができると思います。三つ目は、フリースペースや遊び場がもう少しあったら良いです。フリースペースや学生の勉強スペースなどの設置が進んでいてとてもありがたいですが、中高生や大人も屋外で遊ぶことができ、自然の中で遊べる場所があったら良いなと個人的に感じます。屋内の遊び場は、個人的には十分です。
75 歳以上	・あちこちに空き地が増えてきましたが、必要とする若い世代に提供できる制度があれば良いと思います。
20 歳代	・移住者ですがとても良い町です。
50 歳代	・市道から家までの砂利道を舗装して欲しい。
75 歳以上	・これから益々進行していく人口の高齢化、少子化にあって子どもを産み育てる年齢層の大都市への流失が根室の大きな課題と考える。いくら子育て支援政策に財源をあてても、大学進学、専門学校等に進学してしまうと地元に戻らない。私は花咲港に住んでいるが、このところ国際的漁獲の取り決めで、漁業の衰退が著しく地盤の沈下が著しい。これからの街づくりを考えていくとき、私の家の周りに口

	シア人、ベトナム人、インドネシア人、ミャンマー人、それと元々の住民の日本人と、合わせて5か国の人種が狭い地域で生活をしている。これらの人々と共生しているから、防災訓練、祭り、地元小学校の運動会、文化祭等地域行事に参加してもらい、地域の人達と交流を図り、「いざ」という時の連携、協力関係の構築に地元として取り組んでいる。彼らの多くは技能実習生、特定技能者で在住期限があるが、この先家族も帯同できる熟練技能者が増えることが予想される。その際、一番大事なものは住むところ「住宅」である。今、花咲港小学校はインクルーシブ教育に力を注いでいるが、やはり広域から児童を就学させる（集める）には親の住居環境である。地元としては早くから、機会あるごとに公設住宅の建設要望を訴えているが、中々実現の気配がない。技能実習生等の就労は、これからは彼らから「選ばれる地域」にならないと地元に来てくれないと地元水産業関係者は危機感を募らせている。長期滞在の外国人就労者が増えてくると外国人の子どもも増える。しいては、今、児童が少ない花咲港小学校での児童数の増加や多国語の外国人による授業が可能と考えられ、目的に添った真のインクルーシブ教育学校となる。花咲港に公設の住宅の建設を！花咲港の賑わいを取り戻すために。
60～64 歳	・道の駅は、自然を眺めながらの食事などとても良いが、売店を改善して欲しい。1年半かけて北海道の道の駅を全制覇して、125 駅を見てきました。根室の道の駅にもキャンピングカー用の RV パークを作ったり、ドッグランもあっても良いかも。
30 歳代	・根室市内だけでなく、郡部にも目を向けるべきだと思う。東厚床に住んでいるのですが、家の前の砂利道が雨や雪解けの水で道路が削られ、凸凹になったり、砂利が無くなり道路が刺さりそうになっているので、予算が無いで片付けないでちゃんとして欲しい。
65～74 歳	・野球少年育成のためのバッティングセンター開設。 ・音楽活動の練習のための無料活動スタジオルーム。
75 歳以上	①市立病院の信頼回復・・・市民との連携 ②大学研究機関での漁業の今後についての調査・研究及び水産研究所の一層の充実 ③学力競争にとらわれない、地域に根ざした教育 ・本当に一人一人を大切にさせる行き届いた学校教育を期待（少子化をチャンスに、小規模校の利点を生かす） ④高齢者が安心して住み続けられる町づくり、交流の場と介護体制の充実 ⑤映画館等様々な文化・娯楽に接する機会を設ける ⑥緑町商店街の復活 ※農漁業が生きていける町であって欲しい、ふるさと納税に助けられてはいるが、本来の姿ではなく税金の奪い合いのように思える。 ・様々な公共施設については、市民へ意見を聞き、市財政と相談し過度な負担が後々にまわされないように。
75 歳以上	・根室市の産業基盤は水産・農林と思いますが、漁が豊漁でも運送の道路が低速制限のままです。釧路まで3車線又は4車線にして準高速道路にして、運送経費、時間短縮等考えるべきだと思います。 ・飛行場や温泉がないのが大変残念なことです。気候の大変動は雑草地を耕作したら、米や大豆ができるかもしれない、高価な米作ができれば根室にも畑作の大チャンスになり得るかもしれないが、日本の現政権下の農政政策ではノーかも？いずれにしても、食糧難の時代は来るものと思わなければならないが...。
50 歳代	・市立病院のブロック受付、NS の対応の悪さ、時間のかかりすぎ。

30 歳代	・ 広報に力を入れ、もっと知ってもらいましょう。
40 歳代	・ 納沙布岬の観光地客の方々の滞在時間を多くして沢山の思い出を残して欲しい。納沙布岬周辺には、沢山の「はまなす」が綺麗に咲いていたりするので、それを加工して、ジャムやお菓子、色々な特産物に加工したら喜ばれると思います。根室で有名なお店の方とコラボして根室限定（根室でしか食べられない物）を作ってほしいです。色々考えると楽しみでしかありません。もっともっと根室を人気観光地へ。頑張ってもらいたい。全国の方々が興味を持っていると思いますので。
40 歳代	・ 家の周辺は街灯が少なく真っ暗です。日中も人通りが少なく、物騒で、子どもを一人歩きさせられません。街灯を増やす、防犯カメラの設置など、安心できるまちづくりをお願いします。
75 歳以上	・ 根室の人口が減少しているので、市議の定数の削減が必要なのではないでしょうか。
20 歳代	・ 高齢者に対しての支援、子どもに対しての支援が手厚く感じるが、若者の都会進出の対策をしない限り廃れていくだろう。商業施設、娯楽施設の充実にも取り組んでほしい。市議の顔ぶれが変わらないのが、市の衰退につながっているのではないかと感じる。年配層の自分たちの今が良ければいいと思う考えが、市が変わらない原因なのでは。近くに釧路市という例があるので見習ってほしい。近々、私もこの市を出ていくことになるだろう。
30 歳代	・ 緑町の駐車場を増やしてほしい。夜出かけた時に、空き地に停めて良いのかもわからない。柵やチェーンがない所は停めてよいのか。1 時間くらいとかにして、止められるようにしたら使いやすいのでは。月額や〇〇専用と書いてある所でも、夜間〇時～〇時は OK など。 ・ 恋間跡地は何か建つのですか？お祭りの休憩場所がなく、雨の時などに休める場所がほしい。前と同じくイベント会場ができればうれしいです。 ・ 文化会館で個人でのフリマやイベントができるようになりませんか？以前にトラブルがあり、禁止になったと聞きましたが、年数が経っているようです。イベント関係者はみなさん、文化会館でできたらいいと言っています。根室を盛り上げたくても、駐車場や広さの問題で会場探しに困っています。
75 歳以上	・ 明確なビジョンが欲しいです。管内で中心地である根室市が、中標津町に追い越されつつ、北方領土の返還が絶望的であり、根室市としてどのような街にしていけるのか、20 年、30 年後の長期ビジョンが必要です。半島の街での地域的な不利益であり、経済的、観光面でも将来が不安で短期での投資も必要ですが、毎年魚の水揚げ量ばかり期待するのではなく、企業誘致も大変ですが、新しい街に向かって市民にも変革の夢があればと思います。
60～64 歳	・ 人口減少社会にあってコンパクトシティを目指しているにもかかわらず、市街地がどんどんドーナツ化していくような政策をとっているのが残念です。 ・ 根室市公共施設グランドデザイン構想で健康スポーツ機能エリアとしている運動公園周辺に大規模太陽光発電施設が計画されているのは、好ましくない。この用地の一部は、もともと運動公園構想に含まれていたエリアであり、健康スポーツ機能を最大限発揮するために、周辺地は緩衝地帯として確保しておくべきと考えます。特に、スケートリンクに面した斜面は、大雨でたびたび崩落を起こしており、その隣接部まで太陽光発電施設によって開発されることは、土地の保水力を低減させ、運動公園の災害リスクを高めるものと推量されます。グランドデザイン構想は公共施設の配置の指針となるものですが、民間による開発行為や施設建設等もエリアにふさわしいものであるべきです。こうした構想を策定するのであれば、各エリアの機能を最大限発揮されるよう行政としての指導力、調整力を発揮されることを期待します。

75 歳以上	・古いことを聞いてみたい。人生の経験を積んだ方の話を聞く機会を作って欲しい。行政も若い方の話を聞いてあげることも大切であるが、逆境の時こそ古い方の話は大切となってくると考える。根室はその時ではないのかと考える。先達の話からどのようにしてその逆境をこえてきたのか知りたい。
40 歳代	・私は、保育所で働く者として思うことがあります。発達の面で 3 歳児検診の前 2 歳児検診があったら良いと思います。人材の確保が大変だと思いますがよろしくお願いします。保育所、幼稚園で働くパートの賃金が最低賃金だったり、低すぎるのは考えて頂きたい。パートの有給休暇、福利厚生、事業所で正しく行われているのか調査して頂きたい。人手不足で有給がもらえない、言いづらい背景が人材不足に影響していると思います。子どもに携わる人達のこと考えると良い町になると思います。
65～74 歳	・根室では物価が高いです。年金では生活はできません。働きたくても年齢で決められたら働くこともできません。社会の活力の低下や少子化、人口減少という現象にまでつながっていると云えます。仕事と生活の調和を考えてください。
50 歳代	・図書館で道立図書館の本を借りられるようにしてほしい。近場の図書館の本を借りられるようにしてほしい。
40 歳代	・公園の野生動物の糞が季節によっては多く、子供を遊ばせられないことがあるので、運動公園や明治公園の芝生エリアだけでも動物が入ってこれない柵など工夫があれば嬉しいです。
75 歳以上	・この町づくりに本当に取り組んでいる皆様方は大変な仕事をしてくれていることは、あまり考えずにのほほんと暮していました。具合が悪ければ、病院のお世話になって、3 度の食事をして、ただ根室の市長さん達は、よく私達のために努力してくれて、いつもありがたいと思って過ごしてきました。ただ、病院に分娩がないことだけが気になっていました。何かと御苦勞なさっている方に感謝して、仕事にかかわっている方達に、本当にありがとうございました。（筆不精ですみません）
65～74 歳	・子供や非課税者は優遇されていて年金生活者には何の優遇がないですね。根室では全市民にということは何もないですね。
75 歳以上	・ソーラーシステムは根室には必要がないと思います。我が市にとって良いことがありますか。今後 20 年後のことを考え、絶対に反対したいと考えております。
65～74 歳	・市立病院の信頼のできる医者を確保してほしいです。
50 歳代	・根室市はコンパクトシティで道路も混雑なく、スムーズに買物や用足しができ、快適に生活できる。子育てをしていて困ることは、スポーツ用品店と靴屋が無いこと、中高生の息抜きの場所が無いこと。フードコートなどの小銭で気がねなく過ごせるカフェ的な所があると良い。市役所 1F や 4F のフリースペースは好評。文化会館も、誰もが気軽に休息できるイートインスペースであってほしい（勉強したり、話したり、本読んだり、おやつたべたり）。高齢者の休憩用に、明治公園のベンチを増やしてほしい。簡単な体力作りやリハビリが自主的にできる、指導員がいる所があると良い。
75 歳以上	・社会の急激な変化についていけない高齢者は置き去りにならざるを得ませんが、根室が大好きです。特に良き医療制度を望んでいます。また、自然を守り、市民の着実な生活基盤を大切に豊かな人間性と発想が育つ人材作りをして欲しいです。
40 歳代	・トラック等の交通量が多いので道路幅の拡幅
60～64 歳	・太陽光パネルや巨大な風車、気持ち悪い、やめてほしい。ゴミになったらどう処分するつもりなのか。建てるなら最後まで責任持たせないと。 ・野生動物が人を恐れなくなって近づいてきて怖い。人口減っているから動物が目立つのか。 ・根室の将来を思いたいけれど、国のやり方がひどすぎて、将来に期待できない。国民を蔑ろにしすぎる国である限り無理。植民地ってつらい。

40 歳代	・釧路～根室、中標津～根室の距離があるので、観光客にはハードル高いかなと思う。仮に根室に来たとしても、観光スポットまでは結構離れているので、1～2 か所見るだけでも時間はかかる。つい最近、納沙布に行ってみたが、なにか古くさい感じだし、展示している物も何年も変わってない感じで、私からしたら面白くはなかった。少し工夫とかは必要なのかもしれないと思う。もう 1 回根室に来たいと思える何か足りない。温泉とかもないので、娯楽施設あっても良いかもと思う。観光客に何のために来たのか聞いてみるのはどうですか。
50 歳代	・人口減少を食い止めてほしいが、やはり北方領土問題が何がしかの解決がないと難しいと思う（最果ての町なので）。北方領土の島に行き来ができれば根室が拠点となるので人や仕事も増えるかもしれないがやはり難しい問題かと。
40 歳代	・私は東京から移住してきましたが、田舎だからでしょうか、家庭でも仕事でも男性は指示はするけれど、実際に動いているのは女性という風習を強く感じます。女性側も、それが当たり前だと思っているのではないのでしょうか。移住して 15 年になりますが、ずっと違和感を感じています。きつい言い方ですが、男女平等にはほど遠いまちだと思っています。これを読んでいる男性の方、心あたりが無いと言えますか。根室市はやさしい人たちばかりで住みやすいのに、もったいないです。
50 歳代	・ソーラー、風力発電反対。2018 歳未満年、胆振地震の北海道全域のブラックアウト。あの時すでに、風車とソーラーできていました。自宅近くにあの規模のソーラー発電があつて（パークゴルフ付近）。根室全域ではなくとも近くの電力もまかなえないのか。必要な時に使えないものは必要ない。
60～64 歳	・明るく、楽しいまちづくり
50 歳代	・太陽光発電等、環境に配慮した規制を策定して欲しい。市内中心部をコンパクトシティ化になるように整備して欲しい。
30 歳代	・予算の消化を目的とした事業はするべきでない。
30 歳代	・ペットを飼っている人が多いのでペットと遊べる施設があれば良いと思う。近郊のペットの飼い主も遊びに来たくなるような施設があれば観光客増加にもつながると思います。まず運動公園のドッグランを直して欲しいです。
18 歳未満	・高校生が遊べる場所が欲しい。 ・高校生が上京しなくても良いように働ける場所を増やして欲しい。 ・病院の看護師さんの対応をもっと良くして欲しい。 ・札幌などから行き来しやすいようにして欲しい。 ・もう少しお店を増やして欲しい。 ・ファミレスがほしい。 ・前にあったように根室のことが書いている新聞がほしい。 ・公園の清掃をして欲しい（公園に落ちているゴミが飛んでくる）。 ・都会には売っててこっちには売ってないものが多すぎるから、もう少し物を増やして欲しい(お店で)。 ・動物が遊べる施設がほしい(ドッグラン)。 ・高速道路ほしい。 ・キャリーケースとかリュックを売る店を増やして欲しい。
40 歳代	・中学校へのスクールバス希望。18 歳未満歳以下は無料でバスに乗れるとのことですが、登下校時間に乗れるバスがなく、本当に意味がないです。
18 歳～19 歳	・持病や子育て・在宅介護によって災害時の対応が難しい市民に向けて、細かな注意点や避難所の設備について SNS や広報などを通じて知らせていただきたいです。

60～64 歳	・津波避難タワー等の避難施設を早急に
60～64 歳	・市の職員数が多いと思う。
65～74 歳	・健康のためにウォーキングを趣味にしていますが、歩道の状況が非常に悪いです。安心して歩けません。長年にわたり放置されているような印象を受けます。部分補修でも結構ですので、計画的に整備していただきたいと切に希望します。よろしくお願いします。
65～74 歳	・街の景観づくり。観光名所への道路脇の景観、草刈り等美化維持 明るくきれいな街
30 歳代	・北方領土エリカちゃんが SNS で人気を博しているのも、根室だけで手に入るエリカちゃんのぬいぐるみやグッズ、着ぐるみでの露出が増えると話題になると思います。今 X で行っているエリカちゃんぬいぐるみプレゼントキャンペーンをリポストしている友人も多いです。私自身もエリカちゃん（およびエリマルくん）が推しキャラなので、グッズが販売されたら欲しいので買います。ただ、人気が高いことで転売などが起こる可能性があるのも、転売対策は行う必要があるように思います。
50 歳代	・病院の開業時間が学校と重なっているため、通院が必要な子どもは学校を遅刻しなくては行けなくなる。学校が授業をしている時間ではない時間帯で小児科などが開いていると学力が保証されると思う。夕方 4 時から 7 時くらいだとありがたい。
50 歳代	・景観と自然を破壊するメガソーラーパネルの設置反対
40 歳代	・海産物などの水産系にしか力を入れていない印象。これでは若者はずっと根室に住みたいと思うわけがない。中標津がなぜ人口を増やしているか考えるべき。また、根室の店は SNS 系をほとんどやっていない。もしくはあるものの全く更新していない。
30 歳代	・高齢者や子供、赤ちゃん、ペットにも対応できる幅広い地震・津波対策（避難所の備蓄の充実等）を行ってほしい。
20 歳代	・根室外に伸びる高速道路、または車線増幅できただけで満足だが、今可決しても十数年はかかるため期待はない。
65～74 歳	・地場産業に欠かせない、若い外国人労働者が心安らかに市民と共生できる町にしてほしい。対立や争いが無く、理解し合い、平和に暮らしたいから。外国人労働者の存在無くして製造業が成り立たない現実がある以上必須だと思う。
65～74 歳	・人口減少を防ぐための方策が必要。
30 歳代	・観光の拠点となるような施設を街の中心部に欲しい。 ・キャンプ場の新設。
30 歳代	・まずは人口を増やす。観光に力を入れて魅力を知ってもらい、移住者を増やして子供を産んでもらう。
30 歳代	・太陽光発電の新規建設廃止、鹿対策、くま対策、外国人受け入れのルール作り、水源問題(地下水等)確保。 ・出来ればどっかの国のようにルールをしっかりと整備した（誰でも解釈一致する）安楽死制度の導入をして欲しい。年齢、事故の後遺症、病気の進行具合など、死にたいのに生かされる地獄、それに伴う保険料の増大が問題。
40 歳代	・地の利を活かし、ラスベガスのような非日常的な空間（カジノではない）。
20 歳代	・総合体育館建設の際、広いジムと広いキッズスペースを併設してほしい。
40 歳代	・以前の報道等で消滅都市として上がっている根室市が先を見据えて、ふるさと納税を活用し、この先の根室を支えていく子ども達の医療や、教育に力を入れいろいろな支援策を講じているのは大変素晴らしい。

	らしいことだと思います。子育て世代としてありがたいです。この支援策が今後どのような形で現れるのか期待したいです。他地域から来て現在根室で生活していますが、ふるさと根室を支える人材は教育に尽きると思っています。圧倒的に教育に対する意識が都市圏と比べて低いと感じています。この点に関してはどんどん差が開いていくと個人的に感じています。
40 歳代	・とにかく反対意見を聞きすぎなのでもっと思い切ってやってください。
40 歳代	・市長はじめ、職員の皆さんのおかげで楽しく生活ができています。わんぱーくも昼休み以外は自由に出入りできてだいぶ利用しやすくなりました。小学校の先生は、地域柄なのか若い先生が多いですね。経験の浅い先生も大切ですが、もう少し子供のことを考えてくれる熱い先生が増えたらなと思います。また、運転に慣れておらず、中標津や釧路に子供を連れて出かけられないご家庭もあるようですので、子育て世代向けのバスツアー（こども遊学館やゆめの森公園など）をしてみてもどうでしょうか。
30 歳代	・子供向けのイベントが多くなってきたように感じているし、バスも無料の券が発行できたりと、子育て支援に力を入れている感じはしますが、医療体制には心配な要素があります。根室に引っ越してきて、みんな優しくて温かくて大好きなまちですが、医療体制に問題があるのはいかなるものかと思います。以前は個人の小児科もあったと聞きました。難しいことなのかもしれませんが、早急に小児科病院があると良いと思います。 ・それと、もう一点。金比羅さんのお祭りの時の集金はどうにかならないのでしょうか。お祭りのために納めたい人だけ納められるような方法を取ってもらえたら良いと思います。
18 歳未満	・もっと娯楽を増やしたほうが良いと思う。今の根室には娯楽が少なく、娯楽を満喫するためには中標津や釧路など遠いところに行かなければならない。そのため費用がかかり、面倒くさい。
18 歳未満	・中高生の参画を視野に入れたイベントや中高生が主体となった取り組みが増えたと実感しています。
18 歳未満	・Instagramでは役割を切り替えて地域の魅力発信のみをすると良いと思う。
18～19 歳	・進学で市外に出た人も、そのまま残る人も、働く場所と若い人の健全な交流の場があれば住み続けたいと思う気がします。釧路や札幌に行きやすい（釧路や札幌から来やすい）環境が整うと、ここに住むハードルが下がります。
30 歳代	・今回のアンケートのようにもっと IT 技術を活用して頂けると市政に市民も参加しやすくなるので助かります。選挙も IT 化して頂けると投票率も上がると思います。
50 歳代	・美瑛駅と駅周辺商店街のように統一的デザインで再開発を行うことにより、街の魅力がアップして観光客も増えると思う。納沙布岬にある廃タワーは早く何とかした方が良い。このままでは倒壊して大きな被害が出る。市役所食堂の日替わりランチをネットで事前確認できるようにしてほしい。
50 歳代	・今の収支に見合う、物価にしてください。
65～74 歳	・今回の意識調査とは関係ないのですが、公衆トイレが、少なくなったような気がします。観光客の方達にも不便をかけているのではと思います。
50 歳代	・将来の根室市の状況を考察すると、少子化や自然減、市外流出などの要因により、人口が 1 万人を割り込むことが予想されます。行政が率先して、企業や団体に協力を仰ぎ、若者の U ターン促進や高校卒業生が地元に残りたいと思える街づくり、人づくり、地域の活性化が非常に重要だと思います。
18 歳未満	・光洋団地の歩道を綺麗にしてほしい。歩きづらく、道路に降りてしまう。街灯が少ない。学校帰りやバイト帰りがとても怖い。光洋団地から根室高校までバス通学ができるといいなと思う。

令和 7 年度「市民意識調査」へのご協力をお願い

根室市では、令和 3 年度に「第二期根室市創生総合戦略」を、令和 7 年度には「第 10 期根室市総合計画」を策定し、将来のまちづくりに向けた施策を進めております。これらを実現していくには、市民の皆さまのご理解とご参画が欠かせません。

この市民意識調査は、まちづくりに対する率直なご意見をうかがい、市政に反映させることを目的として毎年実施しており、これまでも産業振興、市内分岐の再開、保育施設の整備などの医療、子育て環境施策などの具体施策に生かされてきました。

今回は、市内にお住まいの 16 歳以上の方の中から無作為に 3,000 人を抽出し、あなたが対象となりました。過去にご回答いただいた方も、ぜひ改めて現在のお考えをお聞かせください。

なお、本調査は無記名で行いますので、個人が特定されることは一切なく、ご意見が公表されることもありません。ご安心のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

令和 7 年 8 月

根室市総合政策部

「市民意識調査」記載要領

【回答方法と期日】

- ・返信用封筒による回答：令和 7 年 9 月 12 日（金）までに同封の返信封筒に調査票を入れて投函（切手を貼る必要はありません）
- ・WEB による回答：令和 7 年 9 月 12 日（金）までに入力・送信

1. あて名のご本人がお答え下さい。
2. お答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んで下さい。（WEB の場合は選択式です）
3. 「その他」などを選ばれた場合は、その内容や理由をできるだけ具体的に記入して下さい。
4. この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

【WEB 回答先】

- ・下記二次元コードをお読みいただくか、URL をインターネットブラウザでお開きください。



（URL：<https://forms.gle/d5F9vo9AvbN8jxoV7>）

■根室市総合政策部

TEL：0153-23-6111（内線3382）

FAX：0153-24-8692

E-mail：sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp

調 査 票

問1. 最初に、あなた自身のことについてお伺いします。(1)～(4)の各項目について、該当する番号1つに○印をつけて下さい。

(1) 年齢

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18歳未満 | 2. 18～19歳 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 |
| 5. 40歳代 | 6. 50歳代 | 7. 60～64歳 | 8. 65～74歳 |
| 9. 75歳以上 | | | |

(2) 職業（その他の方は、具体的に記入してください）

- | | | |
|----------------|---------------------------------|--------------|
| 1. 農業・林業 | 2. 漁業 | 3. 製造業・建設業 |
| 4. 商業・金融・サービス業 | 5. 公務員・教育・団体職員 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 主婦（専業） | 8. 学生 | 9. 年金受給者 |
| 10. 無職 | 11. その他（ ） | |

(3) 根室市での居住年数（通算でお答えください）

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～19年 | 4. 20～29年 |
| 5. 30～39年 | 6. 40年以上 | | |

(4) 居住地域

- | | | | | |
|---------|---------|----------|----------|---------|
| 1. 北浜町 | 2. 琴平町 | 3. 弁天町 | 4. 駒場町 | 5. 汐見町 |
| 6. 海岸町 | 7. 千島町 | 8. 栄 町 | 9. 月見町 | 10. 明治町 |
| 11. 曙 町 | 12. 宝 町 | 13. 有磯町 | 14. 朝日町 | 15. 鳴海町 |
| 16. 本 町 | 17. 花咲町 | 18. 松ヶ枝町 | 19. 弥栄町 | 20. 幸 町 |
| 21. 大正町 | 22. 常盤町 | 23. 緑 町 | 24. 梅ヶ枝町 | 25. 弥生町 |
| 26. 清隆町 | 27. 光和町 | 28. 北斗町 | 29. 平内町 | 30. 岬 町 |
| 31. 定基町 | 32. 松本町 | 33. 敷島町 | 34. 花園町 | 35. 西浜町 |
| 36. 月岡町 | 37. 宝林町 | 38. 昭和町 | 39. 光洋町 | 40. 牧の内 |
| 41. 桂 木 | 42. 花咲港 | 43. 穂 香 | 44. 幌茂尻 | 45. 温根沼 |
| 46. 東 梅 | 47. 酪 陽 | 48. 東和田 | 49. 西和田 | 50. 長 節 |
| 51. 浜 松 | 52. 昆布盛 | 53. 落石東 | 54. 落石西 | 55. 別当賀 |
| 56. 初田牛 | 57. 東厚床 | 58. 厚 床 | 59. 西厚床 | 60. 明 郷 |
| 61. 湖 南 | 62. 川 口 | 63. 槍 昔 | 64. 友 知 | 65. 双 沖 |
| 66. 鹵 舞 | 67. 瑤瑤瑠 | 68. 納沙布 | 69. 温根元 | 70. 豊 里 |

《根室市の印象について》

問2. 根室市の印象（イメージ）についてお尋ねします。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 明るいまち
2. 清潔なまち
3. 活気のあるまち
4. 個性（特色）のあるまち
5. ふれあいや連帯感のあるまち
6. 市民として誇りや郷土愛があるまち
7. 人権を尊重するまち
8. その他（具体的に： _____）

《居住の満足度について》

問3. あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。

（1）次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 住みよい
2. どちらかというと住みよい
3. 普通
4. どちらかというと住みにくい
5. 住みにくい

（2）根室市の住みよさ・住みにくさについて、（1）でお答えした理由があればお答えください。

《誇りや愛着について》

問4. あなたは、根室市民であることに誇りや愛着を感じていますか。

（1）次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 誇りや愛着を感じる
2. どちらかというと誇りや愛着を感じる
3. 普通
4. どちらかというと誇りや愛着を感じない
5. 誇りや愛着を感じない

（2）根室市への誇りや愛着について、（1）でお答えした理由があればお答えください。

《定住度について》

問5. あなたは、今後も根室市に住み続けたいと思いますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|---------------|--------|
| 1. ずっと住み続けたい | } ⇒問7へ |
| 2. できれば住み続けたい | |
| 3. できれば住みたくない | } ⇒問6へ |
| 4. 住みたくない | |

問6. 問5で、「3. できれば住みたくない」、「4. 住みたくない」とお答えされた方にお尋ねします。
 そう思われた主な理由は何でしょうか。次の中から該当する番号を3つまで選んで番号に○印を
 つけて下さい。

1. 自分にあう職業がない
2. 商売や事業経営に不利
3. 交通の便が悪い
4. 買い物などの生活の利便が悪い
5. 物価が高い
6. 進学などの教育上の問題
7. 医療・福祉面が不安
8. 娯楽や余暇活動の場が少ない
9. 自然が厳しい
10. その他（具体的に： _____）

《子育て・医療・福祉について》

問7. あなたの健康状態と根室市の保健医療についてお尋ねします。

(1) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1. きわめて良好 2. 良好 3. 普通 4. 悪い 5. きわめて悪い

(2) あなたは日頃の健康管理に努めていますか。

1. 努めている 2. 努めていない

(3) あなたは1日30分以上の運動をどの程度行っていますか。

1. 毎日している 2. 週に2日以上している 3. 週に1日程度している
 4. 月に2～3日している 5. 月に1日している 6. ほとんどしていない

(4) あなたは、平成29年4月1日から経産婦の方を対象に市立根室病院にて分娩が再開されていることをご存知でしたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

(5) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①人材確保対策（医師及び看護師など医療従事者）として働くことを希望する学生等への月々の修学資金の貸付）	1. はい 2. いいえ
②帯状疱疹の発症を予防するためのワクチン接種費用の一部助成（50歳以上80歳以下を対象にした帯状疱疹予防、罹患後の重症化・後遺症予防）	1. はい 2. いいえ
③特定不妊治療に対する費用と交通費等の一部助成（不妊治療における経済的負担の軽減）	1. はい 2. いいえ

(6) あなたは、市内の病院などの医療機関の状況について、どの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(7) 根室市の保健医療について、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. 高齢者の医療の充実
2. 乳幼児・母子等医療の充実
3. 保健（健康づくり）対策の推進
4. 健康診断や予防対策の充実
5. 休日夜間などの救急医療対策
6. 人材確保対策
7. その他（具体的に： _____）

問8. 「少子化対策」、「地域の子育て支援」についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①結婚新生活支援制度の創設（住宅費用、引越し費用及び新生活準備費用について最大100万円を助成する取組み）	1. はい 2. いいえ
②出産祝金支給制度の創設（出産後にかかる経済的負担を軽減するため、新生児1人につき10万円を給付）	1. はい 2. いいえ
③乳児おむつ用品購入券支給制度の創設（乳児を持つ子育て世帯に対し、年間9万円（月額7,500円×12ヵ月）の乳児おむつ用品購入券を支給）	1. はい 2. いいえ
④3～5歳児の保育料無償化、0～2歳児の保育料を半額にする減免制度の創設（子育て世帯の経済的負担軽減）	1. はい 2. いいえ
⑤保育所等における給食費（副食）及び小中学校の給食費無償化（子育て世帯の経済的負担軽減）	1. はい 2. いいえ
⑥こども医療費給付の拡充（18歳以下の高校生までのこども医療費の無償化）	1. はい 2. いいえ
⑦人材確保対策（保育士・幼稚園教諭として働くことを希望する学生等への月々の修学資金の貸付）	1. はい 2. いいえ
⑧屋内遊戯施設わんぱーくの無料開放（子育て世帯の経済的負担軽減）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、乳幼児や子どものための福祉施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) あなたは、子育てのための環境や支援にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(4) あなたは、「少子化対策」、「地域の子育て支援」として、さらに、どのような施策が重要だと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. 出産や育児について気軽に相談できる環境づくり
2. 乳幼児保育の充実(延長保育など)
3. 学童保育の充実
4. 経済的負担の軽減(保育料の軽減など)
5. 子どもがのびのびと遊べる施設の整備
6. 地域の交通安全や防犯対策の強化
7. 地域全体で子育てを行う環境・体制づくり
8. その他(具体的に: _____)

問9. 根室市の高齢者支援の現状についてお伺いします。

(1) あなたは、趣味や楽しみ、生きがいになることがありますか。

1. ある
2. 以前はあったが今はない
3. 以前からない

(2) あなたは、町会等の行事、サークル活動、地域イベントに出かけたりしていますか。

1. よく出かける
2. たまに出かける
3. あまり出かけない

(3) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①老人福祉センターの整備に向けた基本計画・設計の着手(老朽化した老人福祉センターの建替え)	1. はい 2. いいえ
②高齢者見守りボランティア(町会やボランティアによる高齢者世帯の安否確認や声掛け活動)	1. はい 2. いいえ
③人材確保対策(介護職員資格取得費用に対する助成、介護従事者として働くことを希望する学生への月々の修学資金の貸付)	1. はい 2. いいえ
④要介護者支援(精神的・経済的負担の軽減支援として、要介護4又は5と認定された高齢者を介護する家族に対する介護用品の給付)	1. はい 2. いいえ

(4) あなたは、高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

(5) あなたは、高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足
2. やや満足
3. 普通
4. やや不満
5. 不満

(6) あなたは、高齢者が健康で生きがいを持ち、充実した老後を送るためには、どのような対策が必要だと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. 健康診断、検診機会の充実
2. 寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実
3. スポーツや学習機会の充実
4. 高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり
5. 若い世代との交流の機会の充実
6. 段差解消など公共施設・道路環境等の整備・改善
7. 介護付き高齢者専用住宅の充実
8. 自治会などの地域活動への参加促進
9. その他(具体的に:)

問10. 根室市の社会福祉政策について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. 高齢者のための施策の充実
2. 障がい者のための施策の充実
3. ひとり親家庭対策の充実
4. 子育て支援対策の充実
5. 保育サービスの充実
6. 地域ボランティア活動の推進
7. その他(具体的に:)

《防災・都市基盤について》

問11. 根室市内の交通状況についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)下記の事業をご存知でしたか。

①JR花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み(花咲線存続に向けたブランド再構築や魅力の情報発信)	1. はい	2. いいえ
②市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、釧路線(根室市と釧路市を結ぶ都市間バス)への財政支援	1. はい	2. いいえ
③18歳以下の市民について市内路線バス利用料を無償化する取組み	1. はい	2. いいえ
④路線バス「落石線(落石地区～根室市内)」の実証試験運行(落石地区の通院・通学の利便性向上のため実証試験)	1. はい	2. いいえ
⑤予約運行型乗合交通の実証試験運行(公共交通不便地域の新たな交通手段としての実証試験)	1. はい	2. いいえ
⑥70歳以上の市民に対する優待バス券若しくはJR券の交付(高齢者の外出機会の促進)	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、公共交通機関の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) あなたは、市内の幹線道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(4) あなたは、市外へ通じる道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(5) 根室市の交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. 高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備
2. 鉄道便の確保
3. バス便の確保
4. 身近な生活道路の整備
5. 高齢者や障がい者等に配慮した安全な歩道の整備
6. 除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実
7. 街路灯・防犯灯や案内板の整備
8. 信号・ガードレールなどの安全対策
9. 駐車場や駐輪場の整備
10. その他(具体的に:)

問12. 根室市内の生活環境についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①廃棄物処理施設建設事業の推進(経年劣化が進むじん芥焼却場の建設に向けた事業の推進)	1. はい 2. いいえ
②公園の遊具等更新・整備(既設遊具の定期点検・維持補修等整備)	1. はい 2. いいえ
③市営住宅整備事業(市営住宅(光洋団地)の建替を実施)	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、郊外の森林景観にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) あなたの住んでいる地域の緑の豊かさにどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(4) あなたは、上水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(5) あなたは、下水道の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(6) あなたは、公園や広場の利用しやすさにどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(7) あなたは、買い物の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(8) 根室市の生活環境について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. 公営住宅の整備
2. 宅地の供給
3. 水道や下水道の整備
4. ゴミの減量化、再利用の促進
5. 公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備
6. 防犯対策の充実
7. 美しい景観(まちなみ)の創出
8. その他(具体的に:)

問13. 防災・減災対策についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①根室港海岸高潮対策事業(防災・安全)(根室港区岬町地区護岸(延長66m)を整備)	1. はい 2. いいえ
②デジタル防災行政無線整備事業(津波情報や避難情報などの緊急情報を屋外一斉放送する設備の整備)	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは「防災対策」として何が重要だと考えますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. 食料・水・日常生活用品の備蓄
2. 災害時の情報連絡手段の整備
3. 指定避難所など防災拠点の整備
4. 防災マニュアル・マップの配布
5. 自主防災組織の育成
6. 防災講習会・防災訓練の開催
7. その他(具体的に:)

《教育・文化について》

問14. 学校教育についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①「市立学校適正配置計画」に基づく小・中学校の移転統合及び義務教育学校化に向けた学校整備事業(北斗小学校校舎の柏陵中学校敷地への移転など)	1. はい 2. いいえ
②ふるさと給食事業(ふるさと給食の日を実施し、地産地消による食育を推進)	1. はい 2. いいえ
③高校生への1人1台ノートPCの貸与(ICT利活用能力の向上)	1. はい 2. いいえ
④JR 通学をしている高校生への定期券購入費の全額助成(遠距離通学費の助成)	1. はい 2. いいえ
⑤インクルーシブ教育推進の取組み(人種の別、男女の差、障がいなどの有無に関わらず、多様性を尊重しながら学ぶ教育)	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、子どもの教育施設や教育環境にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. 少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進
2. 個に応じたきめ細やかな特別支援教育の充実
3. 生きる力を育てる総合的な学習の充実
4. 社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実
5. 個性や才能を伸ばす教育の充実
6. ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実
7. 情報化社会に適合した教育内容の充実
8. 国際化に対応できるコミュニケーション能力の育成
9. その他（具体的に： ）

問15. 根室市の社会教育について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. 生涯学習教育の指導者育成
2. 各種サークル活動の充実
3. 各種講座・教室などの充実
4. 放課後教室・児童会館・児童教室などの充実
5. 青少年の健全育成
6. その他（具体的に： ）

問16. 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①屋内体育施設の老朽化等に伴う総合体育会館の整備に向けた基本構想策定（4つの屋内体育施設を一つに複合化・集約化し、柏陵中学校跡地を建設予定地とする構想）	1. はい 2. いいえ
②みらいのアスリート・アーティスト応援事業（高校生までの学校教育活動以外の体育・文化活動遠征費の助成）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、スポーツ施設の状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。(複数回答)

1. スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備
2. 芸術・文化の振興・文化施設の整備
3. 文化財や史跡の保護・伝承
4. 音楽会・講演等の開催
5. 学校施設開放の推進
6. その他（具体的に： ）

《自然・共生、地域経済について》

問17. 根室市の産業・地域振興についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①漁業の振興（ホタテ資源増大、陸上養殖研究促進支援、サーモン養殖実証試験、沿岸漁業資源の高付加価値化、水産品の普及、販路拡大等）	1. はい 2. いいえ
②農業の振興（根室産農畜産物のブランド化、酪農業担い手確保等）	1. はい 2. いいえ
③観光の振興（観光プロモーション動画の作成、各種観光イベントの開催）	1. はい 2. いいえ
④鳥獣被害防止の対策（ハンターの育成支援や猟銃購入への補助金）	1. はい 2. いいえ
⑤移住交流の促進（地域おこし協力隊の受入れ、移住体験住宅の運営、オンライン移住相談等）	1. はい 2. いいえ

(2) 根室市の産業・地域振興について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。重要と思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。（複数回答）

1. 水産業基盤及び生産体制の整備
2. 農林業基盤及び生産体制の整備
3. 農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成
4. 企業誘致による雇用の場の確保
5. 魅力ある商店街づくり
6. 後継者の育成・確保
7. 観光開発、観光関連産業の育成
8. 特色あるイベントの展開
9. 新たな特産品の開発
10. その他（具体的に： _____）

《情報の共有化について》

問18. 市政情報等の共有化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

「ねむろメール」やフェイスブック・X（旧ツイッター）・インスタグラム・市公式LINE、地上デジタル方法を活用した「地デジ広報」等による行政情報の発信（防災・子育て・イベント情報など）	1. はい 2. いいえ
---	--------------

(2) あなたは、行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。受けたいと思う項目を選んで番号に○印をつけて下さい。（複数回答）

1. 行政に関する総合的な情報
2. 道路交通・除雪・気象等の情報
3. 各種統計情報
4. 公共施設利用状況
5. 観光・レジャー情報
6. 文化行事・イベント情報
7. その他（具体的に： _____）

《行政運営について》

問19. あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①市民、事業者、市職員で組織する「ねむろ未来塾」による公共施設グランドデザイン構想の策定（30年後を見据えたまちの将来像をデザイン）	1. はい 2. いいえ
②人づくり・まちづくり補助事業（市民が主体となる団体などが行うイベント・講演会等に対する財政支援）	1. はい 2. いいえ
③共創のまちづくり元気ファンドの創設（クラウドファンディング型ふるさと納税制度を活用した、NPO法人や企業等に対する補助制度）	1. はい 2. いいえ

問20. まちづくりには、市民のみなさんの主体的な活動が不可欠です。市民みなさんの一人ひとりが「誰もが何か1つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。次の中から該当する番号を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 清掃活動や花いっぱい運動
2. 高齢者や障がい者等のためのボランティア活動
3. 郷土の歴史、文化を守り育てる活動
4. 自然保護活動
5. リサイクル活動、省資源活動
6. 子ども会などの青少年育成のための活動
7. 祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事
8. 交通安全や防災・防犯活動
9. 新しい特産品や土産品の研究開発
10. 自治会やNPO（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援
11. 特にない
12. その他（具体的に： _____）

問21. これからのまちづくりには、市民のみなさんの参加が必要ですが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。次の中から該当する番号を選んで番号に○印をつけて下さい。（複数回答）

1. まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
2. 町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
3. 説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
4. 投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
5. 世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
6. 市役所や議会に一任し、自分では参加しない
7. あまり必要性を感じない（理由： _____）
8. その他（具体的に： _____）

問22. あなたは家庭において男女は平等になっていると思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている
3. 男女平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が優遇されている
6. わからない

問23. あなたは仕事において男女は平等になっていると思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている
3. 男女平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が優遇されている
6. わからない

問24. あなたは行政サービスにおいて男女は平等になっていると思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている
3. 男女平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が優遇されている
6. わからない

問25. あなたは「ワーク・ライフ・バランス」の言葉や意味を知っていましたか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 言葉・意味ともに知っていた
2. 言葉は知っていたが意味は知らなかった
3. 言葉・意味ともに知らなかった

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と私生活との調和をとり、その両方が充実していることをいいます。

現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまで繋がっていると言えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現です。（内閣府ホームページより引用）

問26. 「ワーク・ライフ・バランス」の推進におけるお困りごとや希望する支援等があれば教えてください。

問27. 根室市のまちづくりについて、ご意見・ご提案やアイデアがあれば、自由にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

*記入済みの調査票は、同封の封筒に入れ、8月22日（金）までに、投函してください。